

2025

共通教育履修案内

授業時間割表



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

令和7(2025)年度 共通教育 学年暦

前期										後期									
	日	月	火	水	木	金	土	備考			日	月	火	水	木	金	土	備考	
4			1	2	③	④	5	3日 共通教育 新入生ガイダンス 4日 入学式・ガイダンス 7,8,9日 ガイダンス 8日 健康診断 10日 前期授業開始		10				1	2	3	4	14日 月曜日の授業を実施	
	6	⑦	⑧	⑨	10	11	12				5	6	7	8	9	10	11		
	13	14	15	16	17	18	19				12	13	14	15	16	17	18		
	20	21	22	23	24	25	26				19	20	21	22	23	24	25		
	27	28	29	30							26	27	28	29	30	31			
5					1	2	3	1日 火曜日の授業を実施 2日 月曜日の授業を実施		11							1	5日 月曜日の授業を実施	
	4	5	6	7	8	9	10				2	3	4	5	6	7	8		
	11	12	13	14	15	16	17				9	10	11	12	13	14	15		
	18	19	20	21	22	23	24				16	17	18	19	20	21	22		
	25	26	27	28	29	30	31				23	24	25	26	27	28	29		
6	1	2	3	4	5	6	7			12		1	2	3	4	5	6	27日～ 冬季休業(1/4まで)	
	8	9	10	11	12	13	14				7	8	9	10	11	12	13		
	15	16	17	18	19	20	21				14	15	16	17	18	19	20		
	22	23	24	25	26	27	28				21	22	23	24	25	26	27		
	29	30									28	29	30	31					
7			1	2	3	4	5	30～31日 期末試験期間		1					1	2	3	16日 臨時休業日 (大学入学共通テスト準備)	
	6	7	8	9	10	11	12				4	5	6	7	8	9	10		
	13	14	15	16	17	18	19				11	12	13	14	15	16	17		
	20	21	22	23	24	25	26				18	19	20	21	22	23	24		
	27	28	29	30	31						25	26	27	28	29	30	31		
8					1	2		1～5日 期末試験期間 6日～ 夏季休業(9/28まで)		2	1	2	3	4	5	6	7		
	3	4	5	6	7	8	9				8	9	10	11	12	13	14		
	10	11	12	13	14	15	16				15	16	17	18	19	20	21		
	17	18	19	20	21	22	23				22	23	24	25	26	27	28		
	24	25	26	27	28	29	30												
9		1	2	3	4	5	6	29日～ 後期授業開始		3	1	2	3	4	5	6	7		
	7	8	9	10	11	12	13				8	9	10	11	12	13	14		
	14	15	16	17	18	19	20				15	16	17	18	19	20	21		
	21	22	23	24	25	26	27				22	23	24	25	26	27	28		
	28	29	30								29	30	31						

前期授業期間（期末試験期間含む）：4月10日（木）～8月5日（火） 後期授業期間（期末試験期間含む）：9月29日（月）～1月30日（金）



振替授業日



期末試験期間



休業日

○ 入学式・ガイダンス等

令和7年度 新入生のスケジュール

	事項（*印は該当者のみ）	日程	参照ページ
前期	共通教育新入生ガイダンス（新入生履修関係資料配付）	4月3日（木）	
	入学式	4月4日（金）	
	学部ガイダンス	4月3日（木）～4月9日（水） ※詳細は4/3配付の「共通教育新入生ガイダンス配布資料」参照	
	健康診断	4月8日（火）	
	学術リテラシー エントリー	エントリー：4月3日（木）9:00～4月7日（月） 抽選：4月8日（火）以降	48～49
	*キャンパス・実習・アウト・アス・実習 エントリー	エントリー：4月3日（木）～4月8日（火）15:00まで 抽選：4月8日（火）16:00以降	54 230～231
	*既修得単位認定申請	4月1日（火）～4月8日（火）13:00締切〔厳守〕 ※高年次生は、3月26日（水）～3月28日（金）17:00締切	66～68
	授業開始	4月10日（木）～	
	履修登録期間	4月3日（木）～4月22日（火）	50 224～225
	基盤系（統計・科学史・現代社会論）・ 教養系 抽選エントリー期間	4月10日（木）～4月16日（水） ※授業の開講曜日ごとに期間が異なる	51～53 228～229
	基盤系（統計・科学史・現代社会論）・ 教養系 追加募集エントリー期間	4月16日（水）～4月22日（火） ※授業の開講曜日ごとに期間が異なる	
	*各種英語資格試験による 英語科目の単位認定申請（第1回）	4月10日（木）～4月16日（水）	69～70
	履修登録確認・訂正期間	4月24日（木）～4月29日（火）	53
	履修登録取消期間	4月30日（水）～5月30日（金）	55
	振替授業日	5月1日（木）は【火曜日】の授業	
	振替授業日	5月2日（金）は【月曜日】の授業	
	学生による授業アンケート	原則として、各授業の最終日	74
	前期期末試験期間	7月30日（水）～8月5日（火）	60～61
	夏季休業（集中講義期間）	8月6日（水）～9月28日（日）	
	校舎施設（教職員「一斉夏季休業」）	8月9日（土）～8月18日（月）	
	共通教育科目前期成績開示	9月1日（月）～	62
後期	授業開始	9月29日（月）～	
	履修登録期間	9月17日（水）～10月13日（月）	50 224～225
	基盤系（統計・科学史・現代社会論）・ 教養系 抽選エントリー期間	9月19日（金）～9月26日（金） ※授業の開講曜日ごとに期間が異なる	51～53 228～229
	基盤系（統計・科学史・現代社会論）・ 教養系 追加募集エントリー期間	9月26日（金）～10月2日（木） ※授業の開講曜日ごとに期間が異なる	
	*各種英語資格試験による 英語科目の単位認定申請（第2回）	9月22日（月）～10月3日（金）	69～70
	履修登録確認・訂正期間	10月15日（水）～10月21日（火）	53
	履修登録取消期間	10月22日（水）～11月28日（金）	55
	振替授業日	10月14日（火）は【月曜日】の授業	
	振替授業日	11月5日（水）は【月曜日】の授業	
	振替授業日	11月27日（木）は【月曜日】の授業	
	冬季休業（集中講義期間）	12月27日（土）～1月4日（日）	
	臨時休業（大学入学共通テスト準備）	1月16日（金）	
	学生による授業アンケート	原則として、各授業の最終日	74
	後期期末試験期間	1月26日（月）～1月30日（金）	60～61
	春季休業	1月31日（土）～3月31日（火）	
	共通教育科目後期成績開示	2月27日（金）～	62

※共通教育科目試験は、各授業科目シラバスの授業計画によるほか、授業時の担当教員の指示に基づき実施されます。

授業時間	時 限	1	2	3	4	5	6
	時 間	9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30

（注） 予鈴 ： 8:50, 12:50

信大コンピテンシー*

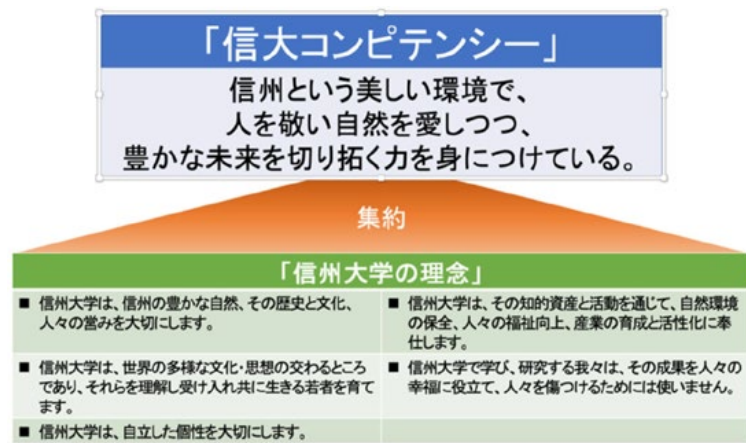
■未来を共創するためのバックボーン

信州大学は、創設時から 70 年以上今日まで信州の豊かな自然のなかで、その歴史と文化・人々の営みに寄与し、信州と共に歩み続けています。

これまでの歩みが持つ意味・意義を自覚し自信と誇りとし、これからの豊かな地域・我が国、そして世界に向かって、本学の学生・教職員の皆さんが、この信州で「縁」あって共に在ることの意味・意義、バックボーンが必要とされています。

■『信大コンピテンシー*』：信州大学の理念を集約

未来を共創するためのバックボーンとして、『信大コンピテンシー*』が、信州大学の理念を集約する形で取りまとめられました。



■『信大コンピテンシー*』：大学生活全体を通じて学生に育まれます！



■『信大コンピテンシー*』の運用方針

- ◆学生が自己評価の視点とし、自らの強みとして自覚する。
 - ポートフォリオ（開発中）で学生が前期末と後期末に自己レビューを記入する。
 - 学面談等で学生と教員が共有し、学生への支援に活かす。
 - 就職活動で雇用側に提示するなど、自己判断で活用する。
- ◆教員による評価の対象としない。
 - 授業達成目標に結びつけない。
 - 授業で育成している可能性があれば、シラバスでチェックをいれる。
 - 教員に対する評価として使わない。

【参考】中期目標・中期計画（４）－１「各学部における専攻分野の教育及び全学的なリベラルアーツ教育の充実に取り組む。また、学生が自らの学修成果を適切に把握して主体的に学びを深めていくための仕組みとして「学びの履歴書」（ディプロマ・サプリメント）を発行し、学修成果の可視化を行う。これらの取組により、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む能力等である「信大コンピテンシー*」を有する学生を養成する。」

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

信州大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー^{*}）

信州大学の理念と教育目標に基づき、学士課程において、次の方針に従って学位を授与します。

1. 各学部教育理念により設定された教育課程において、基準となる単位を修得し、かつ学部が定める審査に合格している。
2. 次に掲げる各項の能力を有している。
 - ① 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力
 - ② 的確に情報を収集し、理解し、発信する力
 - ③ 持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力

信州大学教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー^{*}）

1. 信州大学は、学位授与の方針を達成するためのカリキュラムを体系的に編成します。
2. 信州大学は、学位授与の方針に基づいて授業の目標を設定します。
3. 信州大学は、授業目標を学生が適正な学修を通じて達成できるように授業をデザインし、実施します。
4. 信州大学は、授業において、授業目標への到達度で成績評価します。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

共通教育カリキュラム・ポリシー*

全学教育センターは、信州大学の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー*)を踏まえ、以下の方針でカリキュラムを編成し、教育を実施します。

- ・他者と協働して主体的に学ぶ能力を育成する
- ・思考力・判断力・表現力を育成する
- ・大学教育の基礎となる知識・技能を育成する

教育内容・方法

共通教育科目は、高校から大学への導入の観点から、初年次教育を含む学問形成に不可欠な基礎的知識・能力を修得する「基盤系」、幅広い教養の修得と問題解決力・探求力を涵養する「教養系」、専門教育の基礎となる知識・能力を修得する「専門基礎系」から構成されます。主体的・能動的な学びを支援するため、講義形式の授業だけでなく演習形式の授業を配置します。また、全ての授業において、適切な事前事後学習を設定します。

成績評価

全ての授業において、学位授与の方針に基づき設定した到達目標を設定し、その到達度を明確な評価基準に基づき成績評価します。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

カリキュラムの評価

全学生を対象とする学生調査により、上記編成方針に示した能力が着実に身についているかを検証し、継続的に自己点検を行うことにより、不断の教育改善に努めます。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

共通教育の目的・目標

目的

- ・ かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人を育成する。
- ・ 専門教育の基礎となる教育を行いつつ、専門教育と連携して、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神とユニークな個性を育成する。

目標

① 信州の豊かな自然と文化についての理解の促進

本学の基盤である信州・長野県という地域の特色を理解し、その特徴である豊かな自然と文化について学ぶ。信州はその自然をいかして、文化や産業も生み出し発展してきた。次世代に残すべき大いなる資産を受け継ぐために、環境を保全し持続可能な社会の実現に資する素養を培う。これらに鑑み、共通教育では教養科目に「環境科学」を置き、全学生を対象に、学際的・複眼的に課題に取り組む能力を育成する。

② 基礎的な学問の成果と世界の多様な文化・思想の受容と共存に対する理解の促進

大学において専門教育を受ける者に必要な人類の基礎的な学問の成果と文化を学ぶ。異なる歴史的・文化的背景や価値観を持つ人々と共生していくために、自らがよって立つ国や地域の歴史や伝統、文化を理解する能力を養う。また、地球規模で物事を考える基礎を培うために、世界の多様な国や地域の歴史や文化に対する理解を深める。

③ 高い倫理性と責任感を持って判断し行動できる、自立した市民の育成

新しい世代を担う責任ある個人として、論理的に物事をとらえ、自らの主張を的確に表現する能力を育成する。その上で、授業において討論やプレゼンテーションを積極的に行い、他者と協働して主体的に学ぶ能力を育成し、物事の多面的な理解と総合的な洞察力を涵養する。

④ 科学リテラシーの向上

科学技術の最近の進歩は未曾有のものであり、それに伴って、大学教育に携わる教員と学生にとって必要な科学リテラシーは大きく変化しつつある。とりわけ遺伝子工学等の生命科学の革新や地球環境問題の発生などにともない、倫理的な判断を必要とする問題も増えてきている。そのため、科学技術の分野を専門とするか否かにかかわらず、自然科学に関する基礎知識とともに、それに基づく判断力を培う。

⑤ 大学教育における基礎的な能力の育成

大学教育を受けるための基礎的な能力を育成し、外国語科目によって、外国語コミュニケーション能力を育成する。また、基礎科学科目等によって学部・学科（課程）の専門教育への基礎を築き、情報活用能力を向上させる。また、大学生活を健全に送り、かつ生涯にわたって健康を維持促進するための健康科学の知識と実践を修める。信州大学は、すべての授業において、授業目標への到達度で成績を評価する。

目次

学年暦・新入生のスケジュール	
信大コンピテンシー	
信州大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	
信州大学教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	
共通教育カリキュラム・ポリシー	
共通教育の目的・目標	

履修解説	1
1 信州大学のカリキュラムと共通教育	2
1-1 全学のカリキュラムについて	2
1-2 共通教育のカリキュラムについて	2
※令和7年度入学生の履修要件表	4
2 共通教育科目について	27
2-1 基盤系	27
2-1-1 リテラシー	27
2-1-2 統計・科学史・現代社会論	28
2-1-3 健康	29
2-1-4 言語（1年次）	29
2-2 教養系	31
2-3 専門基礎系	35
2-3-1 言語（2年次）	35
2-3-2 基礎科学	36
3 授業の実施について	37
3-1 開講期・学期・履修期間	37
3-2 授業時間	37
3-3 規定単位数	37
3-4 対象学生	37
4 履修の方法と注意	38
4-1 全体的な履修上の注意	38
4-2 基盤系	40
4-2-1 リテラシー	40
4-2-2 統計・科学史・現代社会論	40
4-2-3 健康	40
4-2-4 英語（1、2年次）	41
4-2-5 初修外国語（1、2年次）	42
4-3 教養系	43
4-4 専門基礎系	44
4-4-1 言語（2年次）	44
4-4-2 基礎科学	44
4-5 e-Learning を用いた科目	45
5 履修登録の方法ー受講するための手続きー	46
5-1 履修計画	47
5-2 学術リテラシーのエントリー	48
5-3 キャンパス情報システムでの履修登録	50
5-4 基盤系(統計・科学史・現代社会論)および教養系の初回授業・抽選エントリー	51
5-5 履修登録の確認	53
キャンパススポーツ実習・アウトドアスポーツ実習のエントリーについて	54
6 履修取消について	55
6-1 履修取消期間	55
6-2 履修取消した授業の扱い	55
7 出席・欠席について	56
7-1 QRコード読取りによる着席登録	56
7-2 欠席について	57
学校保健安全法に基づく出席停止手続きについて	58
8 試験と成績について	60
8-1 試験	60
8-2 成績	62

9 GPA制度について	63
9-1 GPAについて	63
9-2 GPAの計算式について	63
9-3 GPAの通知について	64
10 入学前の既修得単位の取り扱い	66
11 各種英語資格試験による英語の単位認定について	69
12 放送大学との単位互換について	71
13 長野県内大学単位互換協定に基づく県内大学授業の履修について	72
14 国内大学と連携したオンライン国際共修授業について	72
15 信州大学市民開放授業について	73
16 学内のネットワーク・プリンター利用について	73
17 学生による授業アンケートについて	74
台風・大雪等における授業及び試験の取り扱い	75
信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項	76
信州大学における授業の出席に関する要項	77
信州大学共通教育の実施に関する要項	78
信州大学の学修・教育におけるAI活用に関するガイドライン	80
卒業に必要な所定の単位数への「遠隔授業科目」の算入について	80
開設授業科目表	81
開設授業科目表の見方	81
1 共通教育科目	85
(1) 基盤系	85
(2) 教養系	92
(3) 専門基礎系	100
2 専門科目（1年次）	103
3 教育の基礎的理解に関する科目等・大学が独自に設定する科目	109
4 日本語・日本事情教育科目	110
松本地区高年次（専門基礎系）	111
松本地区以外高年次（専門基礎系）	113
授業時間割表（学部別）	115
授業時間割表（曜日・時限別）	144
履修登録上の注意及び時間割表の見方	146
前期	147
後期	175
付 録	203
クラス(ゼミ)担任・副担任教員名簿	204
授業担当教員名簿（専任教員）	206
授業担当教員名簿（特任教員・非常勤講師）	210
用語解説	212
シラバスーはじめにお読みくださいー	214
ポータルサイトACSU・信州大学 メール利用方法	218
学内無線LANの利用方法	220
キャンパス情報システム 利用の手引き	221
「ディプロマ・サブリメント」について	225
「Webによる履修登録・成績確認」操作手引書	226
共通教育科目（体育以外）履修抽選登録方法	230
スポーツ実習エントリー方法と抽選システム	232
eALPS利用の手引き	234
ハラスメント（嫌がらせ）にあったら	237
松本キャンパス建物配置図	238
共通教育校舎配置図	239
共通教育平面図	240
地震発生時の初動マニュアル・避難経路	243

履 修 解 説

1 信州大学のカリキュラムと共通教育

1-1. 全学のカリキュラムについて

(1) カリキュラムの目的

信州大学では令和2年度より、共通教育の目的を「『生きる力』の育成」と位置づけ、カリキュラムを構築しています。「生きる力」は、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康と体力」の3要素から構成されます。

みなさんはこれからそれぞれの所属する学部固有の専門教育を受けることになります。そしてみなさんはきたるべき時代をつくり、これからの社会を構成する市民でもあります。21世紀を迎え、国際交流はいちだんと活発になり、技術革新もなお一層進み、地球環境の諸問題は人間の生活により大きな影響をおよぼしています。その他、多くの社会的国際的問題が生じる状況の中で、みなさんは地域に生きる健全な意識と行動規範を備えた市民として、みなさんの専門的な知識を広く社会的に活かすことが期待されています。

そのため、みなさんは4年間(医学部医学科は6年間)の自己形成において、知識や技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、問題を解決する資質や能力を自ら培わなければなりません。本学のカリキュラムはそのための機会をみなさんに提供することを目的としています。

(2) カリキュラムの二本の柱と学部一貫教育

上で述べた目的を実現するために、信州大学のカリキュラムは次の2本の柱からなっています。

共通教育

専門教育

どの学部のカリキュラムもこの2つによって構築されています。これらは、それぞれの学部の教育理念や性格に応じて、有機的かつ体系的に関連づけられ、4年(医学部医学科は6年)一貫のカリキュラムが編成されます。こうして編成されるカリキュラムは学部一貫教育という考え方に基づいています。

1-2. 共通教育のカリキュラムについて

共通教育科目の構成は、次頁の表を参照してください。各学部の共通教育科目の履修要件(卒業に必要な単位)は4～26頁の「履修要件表」を、各科目区分の概要は27～36頁、各科目区分の履修方法などについては40～45頁を参照してください。

共通教育科目の構成

科目区分		科目	単位数	備考
基盤系	リテラシー	学術リテラシー	1	必修（履修に関しては、各学部の手定めによる）
		データサイエンスリテラシー	1	必修
	コア科目	統計	2	選択（履修に関しては、各学部の手定めによる）
		科学史	2	
		現代社会論	2	
		健康	1	必修
	言語（1年次）	英語	1	必修（履修に関しては、各学部の手定めによる）
		中国語	1	履修に関しては、各学部の手定めによる
		ドイツ語	1	
		フランス語	1	
		ハングル	1	
		スペイン語	1	
教養系	人文・社会	教養系を構成する科目については、31～34頁を参照。	1又は2	選択（履修に関しては、各学部の手定めによる）
	自然・技術		2	
	環境・健康		1又は2	
専門基礎系	言語（2年次）	英語	2	必修（履修に関しては、各学部の手定めによる）
		中国語	2	履修に関しては、各学部の手定めによる
		ドイツ語	2	
		フランス語	2	
		ハングル	2	
		スペイン語	2	
	基礎科学	数学	2	履修に関しては、各学部の手定めによる。
		物理学	2	
		化学	2	
		生物学	2	
		地学	2	

*それぞれの授業科目について、複数の副題が設定されています。履修登録は副題単位で行います。

共通教育科目以外の科目

専門科目	各学部の理念目的の達成のために学部または学科（課程）で開講している、専門分野について学ぶ科目 ※専門科目の履修については、各学部の学生便覧を参照してください。
教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教員免許取得のために必要な、教職について学ぶ科目 ※教育の基礎的理解に関する科目等、大学が独自に設定する科目の履修については、各学部の学生便覧と教職ガイダンスの資料を参照してください。
日本語・日本事情教育科目	グローバル化推進センターが開講する、外国人留学生を対象とする科目 ※履修については、各学部の学生便覧と留学生ガイダンスの資料を参照してください。

2025 年度（令和 7 年度）入学生

履 修 要 件 表

（学部・学科等 別）

□ 履修要件表

・ 人文学部	5 頁
・ 教育学部	6 頁
・ 経法学部	13 頁
・ 理 学 部	14 頁
・ 医 学 部（医学科）	17 頁
・ 医 学 部（保健学科）	18 頁
・ 工 学 部	20 頁
・ 農 学 部	23 頁
・ 繊維学部	25 頁

※履修要件については、各学部の学生便覧も必ず確認してください。

※学部・学科ごとに、1 学期または 1 年度に履修登録できる単位数の上限が決められています。履修要件表には、履修登録単位数の上限も書かれているので、併せて確認してください。

信州大学全学教育センター

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■人文学部人文学科

科目区分等			単位数
リテラシー	学術リテラシー	※	1
	データリテラシー	必修	1
コア科目	統計	選択	4
	科学史		
基礎系	現代社会論	必修	1
	健康		
共通教育科目	英語	必修	1
	英語(1年次)		
教養系	初修外国語	必修※	4
	人文・社会	選択	12
専門基礎系	英語		
	英語(2年次)	必修	2
日本語・日本事情教育科目	初修外国語	必修※	4
	日本語・日本事情教育科目	※	
共通教育科目合計			35

※：大学での学びを支え充実にしていくための科目となるので、必ず1年次で履修すること。ただし、諸般の事情により万一修得できなかった場合は、他の共通教育科目で代替することができる。

※：必要最低単位数を超えて修得した場合、基礎系と専門基礎系とを合わせて4単位を限度に教養系人文・社会の単位として認定する。

※：外国人留学生は、日本語・日本事情教育科目の単位を上限16単位まで修得できる。それらは共通教育科目の、英語の修得単位に読み替える(上限8単位)。または教養系科目の修得単位に含めることができる。

1年次専門科目	※	新入生ゼミナール	2
	必修	人文科学通論Ⅰ	2
	必修	人文科学通論Ⅱ	2
上記の他に、他の専門科目から選択することができる。科目名等については、学生便覧で確認すること。			

※：2年次以降の勉学や研究の基礎となるので、必ず1年次で履修すること。ただし、諸般の事情により万一修得できなかった場合は、他の専門科目で代替することができる。

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目 前期28 後期28 対象科目は卒業要件科目(専門科目の集中講義を除く)とする。
-----------	---

履修解説

履修要件表
教育学部

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育コース 野外教育コース		科目区分等	単位数
基礎系	学術リテラシー	※2	1
	統計	必修	1
	科学史	選択	2
	現代社会論		
	健康	必修	1
	英語	必修	1
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ (B)		1
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ (B)		1
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ		1
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ		1
必修系	初修外国語	※1	
必修系	人文・社会	以下の条件を満たした上で、17単位修得すること。 ・「人文・社会」区分の「政治学」から「日本国憲法」12単位【必修】 ・「経済・健康」区分の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」から1単位【必修】 ・「自然・健康」区分の「環境科学」から2単位【必修】 ・「自然・健康」区分から2単位【必修】 ・演習形式の科目を単位含むと修得すること【必修】	17
専門基礎系	英語	必修 (2年次)	2
専門基礎系	初修外国語	※1	
基礎系	基礎科学		0
共通教育科目合計			30
共通教育科目合計			30

※ 1970年以前、中国語・フランス語・ドイツ語・英語・スペイン語に相当し、2年度まで従来の単位に算入する。
※ 2007年以前、中国語・フランス語・ドイツ語・英語・スペイン語に相当し、2年度まで従来の単位に算入する。
※ 初修・再修の区別なく、1年次から2年次の間で指定した単位数を超えて修得した単位をあることがきる。
時間・曜日・Qから始まる教科科目は履修対象外科目。
外国人留学生は自国・日本・事情教科科目を履修得た単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができ

必修	野外教育ゼミナール 383	2
必修	教養・カリキュラム論 383	2
必修	総合的な学習の時間の指導法 383	2
必修	野外教育 383	1
必修	環境教育 383	2
必修	発達・教育心理学概論	2
必修	特別支援教育概論 383	2
選択	スポーツ・体育学入門 383	2
選択	体育学基礎	2
選択	水泳 383	1
選択	剣道 383	1
以下の科目は開修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ開修すること。 (1年次で履修指定されていないものは、2年次以降開修する。)		
選択	算数科指導法基礎	2
選択	初等理科指導法基礎	2
選択	初等音楽科指導法基礎	2
選択	初等体育科指導法基礎	2
選択	国語基礎	2
選択	社会基礎	2
選択	家庭生活基礎	2
以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。		
	数学教育教材論 383 (中・数学免許 必修)	2
	図形代数学 383 (中・数学免許 選択)	1
	心理学的概論 (公認心理師 必修)	1
	学習科学概論 383 384	1
	STEAM教育概論 383 384	1
	地域教育概論 I 383	1

※3は松本キャンパスでのみ開講

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目 専門科目の集中による授業を除く	前期24単位 後期24単位
-----------	--------------------------------	------------------

教育学部 現代教育コース

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

科目区分等		単位数
基礎系	リテラシー	※2
	学術リテラシー	必修
	統計	2
	科学史 現代社会論	必修
基礎系	健康	必修
	英語	1
	英語 (1 年次)	1
	初修外国語	※1
教養系	人文・社会	17 単位修得すること 以下の単位をうち、17 単位修得すること ・「人文・社会」区分の「法曹・政治学」と「日本国憲法」2 単位【必修】 ・「環境・健康」区分の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」から 1 単位【必修】 ・「自然・技術」区分の「環境科学」から 2 単位【必修】 ・「自然・技術」区分の 2 単位【必修】 ・演習形式の科目を 2 単位含んで修得すること【必修】
	自然・技術	2
	環境・健康	2
	英語	2 (2 年次)
専門基礎系	初修外国語	※1
	基礎科学	0
共通基盤科目		30

※ 初年度から2年度連続して「英語」を必修する場合は、2年度連続して「英語」の科目に入ります。

必修	現代教育セミナーⅢ	※3	2
必修	総論、カリキュラム論	※3	2
必修	総合的な学習の時間の指導法	※3	2
必修	野外教育	※3	1
必修	環境教育	※3	2
必修	発達・教育心理学概論		2
必修	現代教育入門	※3	2
必修	特別支援教育概論	※3	2
以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 (1年次で履修指定されていないものは、2年次以降履修する。)			
必修	算数科指導法基礎		2
必修	初等理科指導法基礎		2
必修	初等音楽科指導法基礎		2
必修	初等体育科指導法基礎		2
選択	国語基礎		2
選択	社会基礎		2
選択	家庭生活基礎		2
以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。			
	体育学基礎	(中・体育免許 必修)	2
	水泳	(中・体育免許 選択)	1
	剣道	(中・体育免許 選択)	1
	数学教育教材論	※3 (中・数学免許 必修)	2
	図形と数字	※3 (中・数学免許 選択)	2
	心理学概論	(公認心理師 必修)	1
	学習科学概論	※3 ※4	1
	STEAM教育概論	※3 ※4	1
	地域教育概論Ⅰ	※3	1

※※3は松本キャンパスでのみ開講

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目	前期24単位	後期24単位
	専門科目の集中による授業を除く		

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 国語教育コース

基礎系	科目区分等	※2	単位数	17
		必修	1	
	学術リテラシー	必修	1	
		必修	1	
	統計	必修	1	
		必修	1	
	科学史	必修	1	
		必修	1	
	現代社会論	必修	1	
		必修	1	
健康	必修	1		
	必修	1		
英語	必修	1		
	必修	1		
英語（1年次）	必修	1		
	必修	1		
初修外国語	必修	1		
	必修	1		
人文・社会	必修	1		
	必修	1		
自然・技術	必修	1		
	必修	1		
環境・健康	必修	1		
	必修	1		
英語（2年次）	必修	1		
	必修	1		
初修外国語	必修	1		
	必修	1		
基礎科学	必修	1		
	必修	1		

基礎系		以下の要件を満たした上で、17単位修得すること。 ・「人文・社会」区分の法学・政治学から「日本国憲法」2単位【必修】 ・「環境・健康」区分の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」から1単位【必修】 ・「環境・健康」区分の「環境科学」から2単位【必修】 ・「自然・技術」区分から2単位【必修】 ・演習形式の科目を2単位含んで履修すること【必修】	2
専門基礎系		ブラクテ・イカル・イングリッシュⅢ ブラクテ・イカル・イングリッシュⅣ	2
共通教育科目			0
共通教育科目合計			30

※1初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンゲル・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。

※2学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。

外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「英語」のいずれかの「年次」に修得すべき単位に算入することである。

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 英語教育コース

科目区分等		単位数
学術リテラシー （リーディング・ライティング）	※2	1
総合	必修	1
コア科目	選択	
科学史 現代社会論	必修	2
健康	必修	1
英語（1年次）	必修	1
初修外国語	必修	1
人文・社会	選択	17
自然・技術	必修	
環境・健康	必修	
英語（2年次）	必修	2
専門基礎系	必修	2
初修外国語	必修	
基礎科学	必修	0
共通教育科目合計		30

※1初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガール・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。

※2学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。

・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。

・外国人留学生在日本語・日本事情教科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの「年次」に修得すべき単位に算入することができるとする。

必修	英語教育ゼミナール ^{※3}	2
必修	教職・カリキュラム論 ^{※3}	2
必修	総合的な学習の時間の指導法 ^{※3}	1
必修	野外教育 ^{※3}	1
必修	環境教育 ^{※3}	2
必修	発達・教育心理学概論 ^{※3}	2
必修	特別支援教育概論 ^{※3}	2
以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 (1年次で履修予定されていないものは、2年次以降履修する。)		
必修	算数科指導法基礎	2
必修	初等理科指導法基礎	2
必修	初等音楽科指導法基礎	2
必修	初等体育科指導法基礎	2
必修	国語基礎	2
選択	社会基礎	2
選択	家庭生活基礎	2
以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択で履修すること。		
	体育学基礎 (中・保体免許 必修)	2
	水泳 ^{※3} (中・保体免許 選択)	1
	剣道 ^{※3} (中・保体免許 選択)	1
	数学教育教材論 ^{※3} (中・数学免許 必修)	2
	線形代数学 ^{※3} (中・数学免許 選択)	2
	心理科学概論 (公認心理師 必修)	1
	学習科学概論 ^{※3} Ⅱ ^{※4}	1
	STEAM教育概論 ^{※3} Ⅱ ^{※4}	1
	地域教育概論Ⅰ ^{※3}	1

※3は秋本キャンパスでの受講
※4はSTEAM概論・善後寺・プログラム科目

※3は松本キャンパスでのみ開講

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目	前期24単位	後期24単位
	専門科目の集中による授業を除く		

履修要件表
教育学部

履修解説

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■教育学部 数学教育コース

科目区分等		単位数
リテラシー	※2	1
リテラシー データサイエンスリテラシー	必修	1
統計		
科学史	選択	2
現代社会論		
科目健康		
基礎系	必修	1
言語（1年次）		
英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ（B） アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ（B） ブラクティカル・イングリッシュⅠ ブラクティカル・イングリッシュⅡ
初修外国語	※1	
人文・社会		以下の要件を満たした上で、17単位修得すること。 ・「人文・社会」区分の法学・政治学から1日本国憲法〔2単位〔必修〕 ・「環境・健康」区分の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」から1単位〔必修〕 ・「環境・健康」区分の「環境科学」から2単位〔必修〕 ・「自然・技術」区分から2単位〔必修〕 ・演習形式の科目を2単位含んで履修すること〔必修〕
自然・技術	選択	17
環境・健康		
基礎系	必修 （2年次）	2
言語（2年次）		
英語	必修外国語	ブラクティカル・イングリッシュⅢ ブラクティカル・イングリッシュⅣ
専門基礎系	※1	2
基礎科学		0
共通教育科目合計		30

※1初修外国語（中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリー・スペイン語）を修得した場合は、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができる。

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■教育学部 社会科教育コース

科目区分等		単位数
基礎系	リテラシー	※2
	学術リテラシー	必修
	データサイエンスリテラシー	
	統計	
	科学史	選択
	現代社会論	
	科目健康	必修
	言語（1年次）	
	英語	必修
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ（B）	
共通教育科目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ（B）	
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	
	初修外国語	※1
	人文・社会	以下の要件を満たした上で、17単位修得すること。 「人文・社会」区分の法学・政治学から「日本国憲法」2単位【必修】 「環境・健康」区分の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」から1単位【必修】 「環境・健康」区分の「環境科学」から2単位【必修】 「自然・健康」区分から2単位【必修】 ・演習形式の科目を2単位含んで履修すること【必修】
	選択	
	環境・健康	
	言語（2年次）	
	英語	必修（2年次）
	ブラクティカル・イングリッシュⅢ	2
専門基礎系	ブラクティカル・イングリッシュⅣ	2
	初修外国語	※1
	基礎科学	0
共通教育科目合計		30

※1初修外国語（中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリー・スペイン語）を修得した場合は、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができる。

専門科目	必修	社会科教育ゼミナール ※3	2
	必修	教職・カリキュラム論 ※3	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ※3	1
	必修	野外教育 ※3	1
	必修	環境教育 ※3	2
	必修	発達・教育心理学概論 ※3	2
	必修	特別支援教育概論 ※3	2
	以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 （1年次に履修指定されていないものは、2年次に以降履修する。）		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	必修	国語基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2
	以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。		
		体育学基礎（中・保体免許、必修）	2
		水泳 ※3（中・保体免許、選択）	1
		剣道 ※3（中・保体免許、選択）	1
		数学教育教材論 ※3（中・数学免許、必修）	2
		現代数学 ※3（中・数学免許、選択）	2
		心理学概論（公認心理師、必修）	1
		学習科学概論 ※3 ※4	1
		STEAM教育概論 ※3 ※4	1
		地域教育概論 I ※3	1

※3は松本キャンパスでのみ開講 ※4はSTEAM教育認定プログラム科目
履修登録単位数上限
共通教育科目＋専門科目 前期24単位 後期24単位
専門科目の集中による授業を除く

■教育学部 数学教育コース

専門科目	必修	数学教育ゼミナール ※3	2
	必修	教職・カリキュラム論 ※3	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ※3	1
	必修	野外教育 ※3	1
	必修	環境教育 ※3	2
	必修	発達・教育心理学概論 ※3	2
	必修	特別支援教育概論 ※3	2
	必修	数学教育教材論 ※3	2
	必修	現代数学 ※3	2
	以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 （1年次に履修指定されていないものは、2年次に以降履修する。）		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	必修	国語基礎	2
	選択	社会基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2
	以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。		
		体育学基礎（中・保体免許、必修）	2
		水泳 ※3（中・保体免許、選択）	1
		剣道 ※3（中・保体免許、選択）	1
		心理学概論（公認心理師、必修）	1
		学習科学概論 ※3 ※4	1
		STEAM教育概論 ※3 ※4	1
		地域教育概論 I ※3	1

※3は松本キャンパスでのみ開講 ※4はSTEAM教育認定プログラム科目
履修登録単位数上限
共通教育科目＋専門科目 前期24単位 後期24単位
専門科目の集中による授業を除く

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 理科教育コース			
科目区分等			単位数
リテラシー ラーニング データサイエンスリテラシー	※2		1
	必修		1
	選択		2
	左記の3区分のうち1区分から選択し、2単位修得すること。		
コア 科学史 現代社会論	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎系 言語(1年次)	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
共通教育科目 初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
人文・社会	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
自然・技術	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
環境・健康	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
英語(2年次)	必修		2
	必修		2
	必修		2
	必修		2
初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎科学	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1

※1初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリス語・スペイン語)を修得した場合は、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2専門リテラシーの成績が「B」であった場合は、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を認めることができる。
※3外国語コード「O」から始まる教養科目は履修対象外科目。
※4外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができ
る。

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 音楽教育コース			
科目区分等			単位数
リテラシー ラーニング データサイエンスリテラシー	※2		1
	必修		1
	選択		2
	左記の3区分のうち1区分から選択し、2単位修得すること。		
コア 統計 科学史 現代社会論	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎系 言語(1年次)	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
共通教育科目 初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
人文・社会	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
自然・技術	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
環境・健康	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
英語(2年次)	必修		2
	必修		2
	必修		2
	必修		2
初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎科学	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1

※1初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリス語・スペイン語)を修得した場合は、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2専門リテラシーの成績が「B」であった場合は、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を認めることができる。
※3外国語コード「O」から始まる教養科目は履修対象外科目。
※4外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができ
る。

■教育学部 音楽教育コース			
科目区分等			単位数
リテラシー ラーニング データサイエンスリテラシー	※2		1
	必修		1
	選択		2
	左記の3区分のうち1区分から選択し、2単位修得すること。		
コア 統計 科学史 現代社会論	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎系 言語(1年次)	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
共通教育科目 初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
人文・社会	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
自然・技術	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
環境・健康	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
英語(2年次)	必修		2
	必修		2
	必修		2
	必修		2
初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎科学	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1

※1初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリス語・スペイン語)を修得した場合は、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2専門リテラシーの成績が「B」であった場合は、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を認めることができる。
※3外国語コード「O」から始まる教養科目は履修対象外科目。
※4外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができ
る。

履修解説

履修要件表

教育学部

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目	前期24単位	後期24単位
	専門科目の集中による授業を除く		

■教育学部 理科教育コース			
科目区分等			単位数
リテラシー ラーニング データサイエンスリテラシー	※2		1
	必修		1
	選択		2
	左記の3区分のうち1区分から選択し、2単位修得すること。		
コア 統計 科学史 現代社会論	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎系 言語(1年次)	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
共通教育科目 初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
人文・社会	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
自然・技術	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
環境・健康	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
英語(2年次)	必修		2
	必修		2
	必修		2
	必修		2
初修外国語	※1		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1
基礎科学	必修		1
	必修		1
	必修		1
	必修		1

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目	前期24単位	後期24単位
	専門科目の集中による授業を除く		

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 保健体育コース

科目区分等			単位数
リテラシー ラーニング （ リーディング・ライティング・ラーニング ）	※2		1
	必修		1
	統計		
	科学史 現代社会論		2
コア 科目 基礎系	選択		
	健康		1
	英語		1
	英語 （1年次）		1
基礎系 （1年次）	必修		
	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅠ（B）		1
	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅡ（B）		1
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ		1
共通教育科目 （1年次）	ブラクティカル・イングリッシュⅡ		1
	※1		
	初修外国語		
	人文・社会		
教養系	選択		
	自然・技術		17
	環境・健康		
	英語 （2年次）		2
専門基礎系	必修 （2年次）		
	ブラクティカル・イングリッシュⅣ		2
	※1		
	初修外国語		
基礎科学			0
共通教育科目合計			30

※初修外国語（中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス語・スペイン語）を修得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2学術リテラシーの成績が「不可」であった場合は教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができ

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 図面工作・美術教育コース

科目区分等			単位数
リテラシー ラーニング （ リーディング・ライティング・ラーニング ）	※2		1
	必修		1
	統計		
	科学史 現代社会論		2
コア 科目 基礎系	選択		
	健康		1
	英語		1
	英語 （1年次）		1
基礎系 （1年次）	必修		
	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅠ（B）		1
	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅡ（B）		1
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ		1
共通教育科目 （1年次）	ブラクティカル・イングリッシュⅡ		1
	※1		
	初修外国語		
	人文・社会		
教養系	選択		
	自然・技術		17
	環境・健康		
	英語 （2年次）		2
専門基礎系	必修 （2年次）		
	ブラクティカル・イングリッシュⅣ		2
	※1		
	初修外国語		
基礎科学			0
共通教育科目合計			30

※初修外国語（中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス語・スペイン語）を修得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2学術リテラシーの成績が「不可」であった場合は教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することでき

専門科目	必修	図面工作・美術教育ゼミナール ^{※3}	2
	必修	教職・カリキュラム論 ^{※3}	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ^{※3}	1
	必修	野外教育 ^{※3}	1
	必修	環境教育 ^{※3}	2
	必修	発達・教育心理学概論 ^{※3}	2
	必修	特別支援教育概論 ^{※3}	2
	必修	造形基礎演習 ^{※3}	2
	選択		
	以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 （1年次で履修指定されていないものは、2年次以降履修する。）		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	選択	国語基礎	2
	選択	社会基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2

以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択により選択して履修すること。		
体育学基礎	（中・保体免許 必修）	2
水泳 ^{※3}	（中・保体免許 選択）	1
剣道 ^{※3}	（中・保体免許 選択）	1
数学教育教材論 ^{※3}	（中・数学免許 必修）	2
線形代数学 ^{※3}	（中・数学免許 選択）	2
心理学概論	（公認心理師 必修）	1
学習科学概論 ^{※3} ^{※4}		1
STEAM教育概論 ^{※3} ^{※4}		1
地域教育概論Ⅰ ^{※3}		1

※3は松本キャンパスでのみ開講 ※4はSTEAM教育認定プログラム科目
履修登録単位数上限 共通教育科目＋専門科目 前期24単位 後期24単位
専門科目の集中による授業を除く

専門科目	必修	保健体育ゼミナール ^{※3}	2
	必修	教職・カリキュラム論 ^{※3}	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ^{※3}	1
	必修	野外教育 ^{※3}	1
	必修	環境教育 ^{※3}	2
	必修	発達・教育心理学概論 ^{※3}	2
	必修	特別支援教育概論 ^{※3}	2
	必修	体育学基礎	2
	選択	水泳 ^{※3}	1
	選択	剣道 ^{※3}	1
	選択	スポーツ・体育学入門 ^{※3}	2
	選択		
	以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 （1年次で履修指定されていないものは、2年次以降履修する。）		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	選択	国語基礎	2
	選択	社会基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2

以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択により選択して履修すること。		
数学教育教材論 ^{※3}	（中・数学免許 必修）	2
線形代数学 ^{※3}	（中・数学免許 選択）	2
心理学概論	（公認心理師 必修）	1
学習科学概論 ^{※3} ^{※4}		1
STEAM教育概論 ^{※3} ^{※4}		1
地域教育概論Ⅰ ^{※3}		1

※3は松本キャンパスでのみ開講 ※4はSTEAM教育認定プログラム科目
履修登録単位数上限 共通教育科目＋専門科目 前期24単位 後期24単位
専門科目の集中による授業を除く

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■教育学部 ものづくり・技術教育コース

科目区分等		単位数
リテラシー	※2	1
	必修	1
	選択	2
	必修	1
コア科目	統計	1
	科学史	1
	現代社会論	1
	健康	1
基礎系	必修	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ（B）	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ（B）	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	1
共通教育科目	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	1
	※1	
	初修外国語	
	以下の特件を満たした上で、17単位修得すること。 ・「人文・社会」区分の法学・政治学から「日本国憲法」2単位【必修】 ・「環境・健康」区分の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」から1単位【必修】 ・「環境・健康」区分の「環境科学」から2単位【必修】 ・「自然・技術」区分から2単位【必修】 ・演習形式の科目を2単位含んで履修すること【必修】	17
教養系	人文・社会	2
	自然・技術	2
	環境・健康	
	※1	
専門基礎系	英語（2年次）	2
	ブラクティカル・イングリッシュⅣ	2
	※1	
	初修外国語	
基礎科学		0
共通教育科目合計		30

※1初修外国語（中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリス・スペイン語）を修得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2学術リテラシーの成績が「B」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード O から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができる。

専門科目	必修	ものづくり・技術教育ゼミナール ※3	2
	必修	教職・カリキュラム論 ※3	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ※3	1
	必修	野外教育 ※3	1
	必修	遠征教育 ※3	2
	必修	発達・教育心理学概論	2
	必修	特別支援教育概論 ※3	2
	選択	技術と環境	2
	以下の特件を満たした上で、17単位修得すること。 （1年次で履修指定されていないものは、2年次以降履修する。）		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	選択	国語基礎	2
	選択	社会基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2
	以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。		
	体育学基礎（中・保体免許 必修）		
	水泳 ※3（中・保体免許 選択）		
	剣道 ※3（中・保体免許 選択）		
	数学教育教材論 ※3（中・数学免許 必修）		
	線形代数学 ※3（中・数学免許 選択）		
	心理学概論（公認心理師 必修）		
	学習科学概論 ※3 ※4		
	STEAM教育概論 ※3 ※4		
	地域教育概論Ⅰ ※3		

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目 前期24単位 後期24単位 専門科目の集中による授業を除く
-----------	--

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■教育学部 家庭科教育コース

科目区分等		単位数
リテラシー	※2	1
	必修	1
	選択	2
	必修	1
コア科目	統計	1
	科学史	1
	現代社会論	1
	健康	1
基礎系	必修	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ（B）	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ（B）	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	1
共通教育科目	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	1
	※1	
	初修外国語	
	以下の特件を満たした上で、17単位修得すること。 ・「人文・社会」区分の法学・政治学から「日本国憲法」2単位【必修】 ・「環境・健康」区分の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」から1単位【必修】 ・「環境・健康」区分の「環境科学」から2単位【必修】 ・「自然・技術」区分から2単位【必修】 ・演習形式の科目を2単位含んで履修すること【必修】	17
教養系	人文・社会	2
	自然・技術	2
	環境・健康	
	※1	
専門基礎系	英語（2年次）	2
	ブラクティカル・イングリッシュⅣ	2
	※1	
	初修外国語	
基礎科学		0
共通教育科目合計		30

※1初修外国語（中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリス・スペイン語）を修得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2学術リテラシーの成績が「B」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード O から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができる。

専門科目	必修	家庭科教育ゼミナール ※3	2
	必修	教職・カリキュラム論 ※3	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ※3	1
	必修	野外教育 ※3	1
	必修	遠征教育 ※3	2
	必修	発達・教育心理学概論	2
	必修	特別支援教育概論 ※3	2
	以下の特件を満たした上で、17単位修得すること。 （1年次で履修指定されていないものは、2年次以降履修する。）		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	選択	国語基礎	2
	選択	社会基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2
	以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。		
	体育学基礎（中・保体免許 必修）		
	水泳 ※3（中・保体免許 選択）		
	剣道 ※3（中・保体免許 選択）		
	数学教育教材論 ※3（中・数学免許 必修）		
	線形代数学 ※3（中・数学免許 選択）		
	心理学概論（公認心理師 必修）		
	学習科学概論 ※3 ※4		
	STEAM教育概論 ※3 ※4		
	地域教育概論Ⅰ ※3		

履修登録単位数上限	共通教育科目＋専門科目 前期24単位 後期24単位 専門科目の集中による授業を除く
-----------	--

履修解説

履修要件表 教育学部

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 心理支援教育コース			
科目区分等		科目区分等	単位数
基礎系	リテラシー	※2	1
	データサイエンスリテラシー	必修	1
	統計		
	科学史・現代社会論	選択	2
基礎系	健康	必修	1
	英語		
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(B)	必修	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B)	必修	1
基礎系	英語		
	アカデミック・イングリッシュⅠ	必修	1
	アカデミック・イングリッシュⅡ		
	初修外国語	※1	1
基礎系	人文・社会		
	自然・技術	選択	17
	環境・健康		
	英語	必修(2年次)	2
基礎系	英語		
	アカデミック・イングリッシュⅢ		
	アカデミック・イングリッシュⅣ		
	初修外国語	※1	2
基礎系	基礎科学		
			0
共通教育科目合計			30

※1初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を獲得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生在が日本語、日本事情教育科目を獲得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができる。

専門科目	必修	心理支援教育ゼミナール ※3	2
	必修	教職・カリキュラム論 ※3	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ※3	1
	必修	野外教育 ※3	1
	必修	環境教育 ※3	2
	必修	発達・教育心理学概論 ※3	2
	必修	特別支援教育概論 ※3	2
	選択	基礎心理学	2
	以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 (1年次で履修指定されていないものは、2年次以降履修する。)		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	選択	国語基礎	2
	選択	社会基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2
	以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。		
		体育学基礎 (中・保体免許 必修)	2
		水泳 ※3 (中・保体免許 選択)	1
		剣道 ※3 (中・保体免許 選択)	1
		数学教育教材論 ※3 (中・数学免許 必修)	2
		線形代数学 ※3 (中・数学免許 選択)	2
		心理學概論 (公認心理師 必修)	1
		学習科学概論 ※3 ※4	1
		STEM教育概論 ※3 ※4	1
		地域教育概論 I ※3	1
※3は松本キャンパスでのみ開講 ※4はSTEAM教育認定プログラム科目			

履修登録単位数上限	共通教育科目+専門科目 前期24単位 後期24単位 専門科目の集中による授業を除く
-----------	--

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■教育学部 特別支援教育コース			
科目区分等		科目区分等	単位数
基礎系	リテラシー	※2	1
	データサイエンスリテラシー	必修	1
	統計		
	科学史・現代社会論	選択	2
基礎系	健康	必修	1
	英語		
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(B)	必修	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B)	必修	1
基礎系	英語		
	アカデミック・イングリッシュⅠ	必修	1
	アカデミック・イングリッシュⅡ		
	初修外国語	※1	1
基礎系	人文・社会		
	自然・技術	選択	17
	環境・健康		
	英語	必修(2年次)	2
基礎系	英語		
	アカデミック・イングリッシュⅢ		
	アカデミック・イングリッシュⅣ		
	初修外国語	※1	2
基礎系	基礎科学		
			0
共通教育科目合計			30

※1初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を獲得した場合、2単位まで教養系の単位に算入する。
※2リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位をあてることができる。
・時間割コード Q から始まる教職科目は履修対象外科目。
・外国人留学生在が日本語、日本事情教育科目を獲得した単位は「教養系」または「英語」のいずれかの1年次に修得すべき単位に算入することができる。

専門科目	必修	特別支援教育ゼミナール ※3	2
	必修	教職・カリキュラム論 ※3	2
	必修	総合的な学習の時間の指導法 ※3	1
	必修	野外教育 ※3	1
	必修	環境教育 ※3	2
	必修	発達・教育心理学概論 ※3	2
	必修	特別支援教育特論 ※3	2
	以下の科目は履修対象のコース指定がある。開設授業科目表を確認のうえ履修すること。 (1年次で履修指定されていないものは、2年次以降履修する。)		
	必修	算数科指導法基礎	2
	必修	初等理科指導法基礎	2
	必修	初等音楽科指導法基礎	2
	必修	初等体育科指導法基礎	2
	選択	国語基礎	2
	選択	社会基礎	2
	選択	家庭生活基礎	2
	以下の科目は取得予定の教員免許または資格により選択して履修すること。		
		体育学基礎 (中・保体免許 必修)	2
		水泳 ※3 (中・保体免許 選択)	1
		剣道 ※3 (中・保体免許 選択)	1
		数学教育教材論 ※3 (中・数学免許 必修)	2
		線形代数学 ※3 (中・数学免許 選択)	2
		心理學概論 (公認心理師 必修)	1
		学習科学概論 ※3 ※4	1
		STEM教育概論 ※3 ※4	1
		地域教育概論 I ※3	1
※3は松本キャンパスでのみ開講 ※4はSTEAM教育認定プログラム科目			

履修登録単位数上限	共通教育科目+専門科目 前期24単位 後期24単位 専門科目の集中による授業を除く
-----------	--

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■経法学部 応用経済学科

科目区分等			単位数
リ テ ラ シ ー	学術リテラシー	必修扱い※1)	1
	データサイエンスリテラシー	必修	1
	統計		
	科学史		
コア科目			4
基 礎 系	現代社会論	選択	
	健康	必修	1
	言語		
	英語	必修	1
共 通 教 育 科 目	英語（1年次）		1
	英語（2年次）		1
	初修外国語	※2	
	人文・社会	選択	20
教 養 系	自然・技術		
	環境・健康		
	専門基礎（2年次）	必修	2
	英語	必修（2年次）	2
専 門 基 礎 系	初修外国語	※2	
	日本語・日本事情教育科目	※3	
	＜外国人留学生対象科目＞		
	共通教育科目合計		35

※1 当該科目は、「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開」(学校教育法第83条)するための礎となるものであり、高等学校から大学への学びの質の転換を目的に開講している。そのため、全ての信州大学の学生に対して、必修相当の学修を課しており、必ず1年次で履修すること。万一単位を修得できなかった場合は、他の科目(学術リテラシーは共通教育科目から、新入生ゼミナールⅠ・Ⅱは専門科目の経済学基礎科目から)で代替することになる。詳細については、学生便覧で確認すること。

※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス語・スペイン語)を修得した場合、4単位まで教養系の単位に算入する。

※3 外国人留学生は、日本語・日本事情教育科目のうち「日本語」4単位を修得すること。この「日本語」の修得単位は、「言語(英語)」に振り替えることができる。

なお、「言語(英語)」に振り替えた単位を超える日本語・日本事情教育科目の単位数は、「教養系」の履修すべき単位数に振り替えることができる。

【注】ShinXiaoコース選択希望者は98頁の科目一覧及びShinXiaoコースの案内リーフレットに従い、必要な科目を履修すること。なお、コースへの正式な登録は1年次後期からとなります。

専 門 科 目	必修扱い※1)	新入生ゼミナールⅠ	
	必修扱い※1)	新入生ゼミナールⅡ	
	必修	統計Ⅰ	
	必修	経済数学A	
	必修	経済数学B	
	必修	ミクロ経済学Ⅰ	
	選択	社会科学のための基礎力演習 ※4	
	上記の他に、他の専門科目から選択することができる。科目名等については、学生便覧で確認すること。		

※4 当該科目は、外国人留学生対象科目である。

履修登録単位数上限	1学期あたり24単位まで(専門科目を除く)
	1年度あたり45単位まで(全科目)

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■経法学部 総合法律学科

科目区分等			単位数
リ テ ラ シ ー	学術リテラシー	必修扱い※1)	1
	データサイエンスリテラシー	必修	1
	統計		
	科学史		
コア科目			4
基 礎 系	現代社会論	選択	
	健康	必修	1
	言語		
	英語	必修	1
共 通 教 育 科 目	英語（1年次）		1
	英語（2年次）		1
	初修外国語	※2	
	人文・社会	選択	20
教 養 系	自然・技術		
	環境・健康		
	専門基礎（2年次）	必修	2
	英語	必修（2年次）	2
専 門 基 礎 系	初修外国語	※2	
	日本語・日本事情教育科目	※3	
	＜外国人留学生対象科目＞		
	共通教育科目合計		35

※1 当該科目は、「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開」(学校教育法第83条)するための礎となるものであり、高等学校から大学への学びの質の転換を目的に開講している。そのため、全ての信州大学の学生に対して、必修相当の学修を課しており、必ず1年次で履修すること。万一単位を修得できなかった場合は、他の科目(学術リテラシーは共通教育科目から、新入生ゼミナールⅠ・Ⅱは専門科目の演習系科目から)で代替することになる。詳細については、学生便覧で確認すること。

※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス語・スペイン語)を修得した場合、4単位まで教養系の単位に算入する。

※3 外国人留学生は、日本語・日本事情教育科目のうち「日本語」4単位を修得すること。この「日本語」の修得単位は、「言語(英語)」に振り替えることができる。

なお、「言語(英語)」に振り替えた単位を超える日本語・日本事情教育科目の単位数は、「教養系」の履修すべき単位数に振り替えることができる。

専 門 科 目	必修扱い※1)	新入生ゼミナールⅠ	
	必修扱い※1)	新入生ゼミナールⅡ	
	必修	刑法Ⅰ	
	必修	民法総論・物権法	
選 択	必修	民法総論・物権法	
	必修	民法総論・物権法	
※4 当該科目は、外国人留学生対象科目である。			

履修登録単位数上限	1学期あたり24単位まで(専門科目を除く)
	1年度あたり45単位まで(全科目)

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■理学部 理学部物理学コース

科目区分等				単位数
リテラシー	学術リテラシー	※1	必修	1
	データサイエンスリテラシー		必修	1
コア科目	統計	選択	「統計」「科学史」「現代社会論」から2単位選択	2
	科学史			
	現代社会論			
	健康			
基礎系	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)	1
	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)	1
	英語	必修	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	1
	英語	必修	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	1
共通教育科目				
教養系	初修外国語	※2		
	人文・社会	選択	以下に示す①～③の要件を満たした上で1単位修得する ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得する ②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位修得する ③演習形式の授業を2単位修得する ※1	11
	自然・技術			
	環境・健康			
専門基礎系	英語	必修 (2年次)	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ	2 2
	初修外国語	※2		
	初修外国語	※3		
	日本語・日本事情教育科目	※3		
共通教育科目合計				24

※1 学生便覧を参照すること。
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、基礎系と専門基礎系とを合わせて2単位以内を教養系「人文・社会」の単位に算入することができる。
※3 外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を履修し、修得した単位については、教養系又は英語の単位に算入することができる。

専門科目			

履修登録単位数上限	年間54単位
-----------	--------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■理学部 数学科

科目区分等				単位数
リテラシー	学術リテラシー	※1	必修	1
	データサイエンスリテラシー		必修	1
コア科目	統計	選択	「統計」「科学史」「現代社会論」から2単位選択	2
	科学史			
	現代社会論			
	健康			
基礎系	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)	1
	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)	1
	英語	必修	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	1
	英語	必修	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	1
共通教育科目				
教養系	初修外国語	※2		
	人文・社会	選択	以下に示す①～③の要件を満たした上で1単位修得する ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得する ②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位修得する ③演習形式の授業を2単位修得する ※1	11
	自然・技術			
	環境・健康			
専門基礎系	英語	必修 (2年次)	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ	2 2
	初修外国語	※2		
	初修外国語	※3		
	日本語・日本事情教育科目	※3		
共通教育科目合計				24

※1 学生便覧を参照すること。
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、基礎系と専門基礎系とを合わせて2単位以内を教養系「人文・社会」の単位に算入することができる。
※3 外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を履修し、修得した単位については、教養系又は英語の単位に算入することができる。

専門科目			

履修登録単位数上限	年間54単位
-----------	--------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■理学部 理学科化学コース				単位数
科目区分等				
リ テ ラ シ ー	学術リテラシー	※1	必修	1
	データサイエンスリテラシー		必修	1
コ ア リ ン グ コ ー ス	統計			
	科学史			
	現代社会論			
	健康			
基礎系				
言 語 (1年次)	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)		必修	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)		必修	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ		必修	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ		必修	1
共通教育科目				
教 養 系	初修外国語	※2		
	人文・社会			
	自然・技術			
	環境・健康			
専 門 基 礎 系	英語		必修 (2年次)	2
	英語		必修 (2年次)	2
	初修外国語	※2		
	初修外国語	※3		
日本語・日本事情教育科目				
共通教育科目合計				24

※1学生便覧を参照すること。
※2初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、
基礎系と専門基礎系とを合わせて2単位以内を教養系「人文・社会」の単位に算入することができる。
※3外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を履修し、修得した単位については、教養系又は英語の単位に算入することができる。

専門科目		学生便覧で確認すること

履修登録単位数上限	年間54単位
-----------	--------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■理学部 理学科地球コース				単位数
科目区分等				
リ テ ラ シ ー	学術リテラシー	※1	必修	1
	データサイエンスリテラシー		必修	1
コ ア リ ン グ コ ー ス	統計			
	科学史			
	現代社会論			
	健康			
基礎系				
言 語 (1年次)	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)		必修	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)		必修	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ		必修	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ		必修	1
共通教育科目				
教 養 系	初修外国語	※2		
	人文・社会			
	自然・技術			
	環境・健康			
専 門 基 礎 系	英語		必修 (2年次)	2
	英語		必修 (2年次)	2
	初修外国語	※2		
	初修外国語	※3		
日本語・日本事情教育科目				
共通教育科目合計				24

※1学生便覧を参照すること。
※2初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、
基礎系と専門基礎系とを合わせて4単位以内を教養系「人文・社会」の単位に算入することができる。
※3外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を履修し、修得した単位については、教養系又は英語の単位に算入することができる。

専門科目		学生便覧で確認すること

履修登録単位数上限	年間54単位
-----------	--------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■理学部 理学科物質循環学コース

科目区分等				単位数
基礎系	学術リテラシー	必修	※1	1
	データサイエンスリテラシー	必修		1
	統計			
基礎系	科学史	選択	「統計」「科学史」「現代社会論」から2単位選択	2
	現代社会論			
	健康			
基礎系	英語	必修		1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)			1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)			1
基礎系	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	必修		1
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ			1
	初修外国語	※2		
教養系	人文・社会	選択	以下に示す①～③の要件を満たした上で1単位修得する ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得する ②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位修得する ③演習形式の授業を2単位修得する ※1	11
	自然・技術			
	環境・健康			
専門基礎系	英語	必修 (2年次)		2
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ			2
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ			
共通教育科目	初修外国語	※2		
	日本語・日本事情教育科目	※3	<外国人留学生対象科目>	
	共通教育科目合計			24

※1 学生便覧を参照すること。
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、基礎系と専門基礎系とを合わせて4単位以内を教養系「人文・社会」の単位に算入することができる。
※3 外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を履修し、修得した単位については、教養系又は英語の単位に算入することができる。

専門科目		
	学生便覧で確認すること	

履修登録単位数上限	年間54単位
-----------	--------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■理学部 理学科生物科学コース

科目区分等				単位数
基礎系	学術リテラシー	必修	※1	1
	データサイエンスリテラシー	必修		1
	統計			
コア科目	科学史	選択	「統計」「科学」「現代社会論」から2単位選択	2
	現代社会論			
	健康			
基礎系	英語	必修		1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)			1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)			1
共通教育科目	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	必修		1
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ			1
	初修外国語	※2		
教養系	人文・社会	選択	以下に示す①～③の要件を満たした上で1単位修得する ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得する ②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位修得する ③演習形式の授業を2単位修得する ※1	11
	自然・技術			
	環境・健康			
専門基礎系	英語	必修 (2年次)		2
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ			2
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ			
共通教育科目	初修外国語	※2		
	日本語・日本事情教育科目	※3	<外国人留学生対象科目>	
	共通教育科目合計			24

※1 学生便覧を参照すること。
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、基礎系と専門基礎系とを合わせて4単位まで教養系「人文・社会」の単位に算入することができる。
※3 外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を履修し、修得した単位については、教養系又は英語の単位に算入することができる。

専門科目		
	学生便覧で確認すること	

履修登録単位数上限	年間54単位
-----------	--------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■医学部 保健学科 検査技術科学専攻

科目区分等			単位数
基礎系	リテラシー	※1	1
	リーディング	必修	1
	統計		
	ア科学史	選択	2
	現代社会論		
基礎系	健康	必修	1
	英語	必修	1
	英語(1年次)	必修	1
	クリティカル・リーディングⅡ	必修	1
共通教育科目	初修外国語	※2	
	人文・社会		
	自然・技術	選択	9
	環境・健康	必修	2
専門基礎系	環境科学	必修	2
	英語	必修(2年次)	2
	初修外国語	※2	
	基礎科学	必修	2
専門基礎系	力学		2
	電磁気学		2
	一般化学Ⅰ		2
	一般化学Ⅱ		2
日本語・日本事情教育科目	選択	生物学A ※3	
	※4	＜外国人留学生対象科目＞	
共通教育科目合計			32

※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)の成績が履修して「不可」であった場合、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。

※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス語・スペイン語)を修得した場合、4単位まで教養系の単位に算入する。

※3 生物学A(2単位)は教養系の単位に算入する。

※4 外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は教養系の修得すべき単位に算入することができる。

専門科目	必修	学生便覧で確認すること	
	選択		
履修登録単位数上限		前期37単位、後期37単位	

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■医学部 保健学科 看護学専攻

科目区分等			単位数
基礎系	リテラシー	※1	1
	リーディング	必修	1
	統計		
	ア科学史	選択	2
	現代社会論		
基礎系	健康	必修	1
	英語	必修	1
	英語(1年次)	必修	1
	クリティカル・リーディングⅡ	必修	1
共通教育科目	初修外国語	※2	
	人文・社会		
	自然・技術	選択	8
	環境・健康	必修	2
専門基礎系	環境科学	必修	2
	英語	必修(2年次)	2
	初修外国語	※2	
	基礎科学	選択	
日本語・日本事情教育科目	※3	生物学A ※3	
	※4	＜外国人留学生対象科目＞	
共通教育科目合計			23

※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)の成績が履修して「不可」であった場合、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。

※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス語・スペイン語)を修得した場合、4単位まで教養系の単位に算入する。

※3 生物学A(2単位)は教養系の単位に算入する。

※4 外国人留学生が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は教養系の修得すべき単位に算入することができる。

専門科目	必修	学生便覧で確認すること	
	選択		

履修登録単位数上限	前期32単位 後期32単位
-----------	---------------

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■医学部 保健学科 理学療法学専攻			
科目区分等		単位数	
基礎系	リテラシー	※1	1
	学術リテラシー	必修	1
	統計	選択	2
	科学史	必修	1
	現代社会論	必修	1
	健康	必修	1
	英語	必修	1
	初修外国語	※2	1
	人文・社会	選択	5
	自然・技術	必修	2
教養系	環境・健康	必修	2
	環境科学	必修	2
	英語	必修	2
	初修外国語	※2	2
	基礎科学	必修	2
	力学	必修	2
	選択	必修	2
	※4	必修	2
	＜外国入留学生対象科目＞	必修	2
	共通教育科目合計	必修	20
※1 学術リテラシー(1単位) 教養系の演習形式の科目(2単位)の成績が履修して「不可」であった場合、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。			
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガール・スペイン語)を修得した場合、4単位まで教養系《人文・社会》の単位に算入する。			
※3 力学(2単位)は教養系の単位に算入する。			
※4 外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は教養系の修得すべき単位に算入することができる。			

専門科目	学生便覧で確認すること	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
選択		
前期28単位、後期28単位		
履修登録単位数上限		

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■医学部 保健学科 作業療法学専攻			
科目区分等		単位数	
基礎系	リテラシー	※1	1
	学術リテラシー	必修	1
	統計	選択	2
	科学史	必修	1
	現代社会論	必修	1
	健康	必修	1
	英語	必修	1
	初修外国語	※2	1
	人文・社会	選択	5
	自然・技術	必修	2
教養系	環境・健康	必修	2
	環境科学	必修	2
	英語	必修	2
	初修外国語	※2	2
	基礎科学	必修	2
	力学	必修	2
	選択	必修	2
	※4	必修	2
	＜外国入留学生対象科目＞	必修	2
	共通教育科目合計	必修	20
※1 学術リテラシー(1単位) 教養系の演習形式の科目(2単位)の成績が履修して「不可」であった場合、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。			
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガール・スペイン語)を修得した場合、4単位まで教養系《人文・社会》の単位に算入する。			
※3 力学(2単位)は教養系の単位に算入する。			
※4 外国人留学生在が日本語・日本事情教育科目を修得した単位は教養系の修得すべき単位に算入することができる。			

専門科目	学生便覧で確認すること	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
	必修	
選択		
前期30単位、後期28単位		
履修登録単位数上限		

履修解説

履修要件表 工学部

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■工学部 電子情報システム工学科				
科目区分等				単位数
基礎系	リテラシー	学術リテラシー	必修 ※1	1
		データサイエンスリテラシー	必修	1
	コア科目	統計	選択	左記の3科目から、1科目(2単位)修得すること
		科学史		
基盤系		健康	必修	1
	言語 (1年次)	英語	必修	1
		クリティカル・リーディングⅠ	1	
共通教育科目		クリティカル・リーディングⅡ	1	
	人文・社会	初修外国語	※2	以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得すること ②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位修得すること【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修すること【必修】※1
		自然・技術 環境・健康	選択	12
専門基礎系	英語 言語 (2年次)	必修	2	
		アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ(2年次)	2	
	初修外国語	必修	2	
		アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ(2年次)	2	
	基礎科学	※2	数学(微分積分学Ⅰ)	2
		必修	数学(微分積分学Ⅱ)	2
			数学(線形代数Ⅰ)	2
			数学(線形代数Ⅱ)(2年次)	2
			物理学(力学)	2
		化学(一般化学Ⅰ)		
	必修	化学(一般化学Ⅱ)		
		生物学(生物学A)		
		生物学(生物学B)	2	
地学(地学概論Ⅰ)				
地学(地学概論Ⅱ)				
物理学(波動と光)(2年次)				
日本語・日本事情教育科目	※3	<外国人留学生対象科目>		
共通教育科目合計				37
※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)を、1年次に履修のうえ修得できなかった場合には、その他の基盤系、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。				
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリス・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系(人文・社会)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。				
※3 外国人留学生が、日本語・日本事情教育科目を修得した場合、教養系又は英語(基盤系又は専門基礎系)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。				
【注】SPARC コース選択希望者は98頁の科目一覧及びSPARC コースの案内リーフレットに従い、必要な科目を履修すること。なお、コースへの正式な登録は1年次後期からとなります。				
1年次専門科目		必修	電子情報システム工学ゼミナール	2
		必修	基礎数学	2
		必修	電気物理	2
		必修	基礎電気電子回路	2
		必修	プログラミング言語Ⅰ	2
		必修	基礎論理回路	2
1年次履修登録単位数上限		前期 26 後期 26		

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■工学部 物質化学科				科目区分等		必修 ※1	単位数
基礎系	リテラシー	学術リテラシー	必修 ※1	1			
		学術リテラシー(英語)	必修	1			
	コア科目	統計					
		科学史					
共通教育科目	英語 (1年次)	現代社会論	選択	左記の3科目から、1科目(2単位)修得すること			
		健康	必修	1			
	初修外国語	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フュエイズⅠ(A)			
		英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フュエイズⅡ(A)			
専門基礎系	英語 (2年次)	クリティカル・リーディングⅠ	必修	クリティカル・リーディングⅠ			
		クリティカル・リーディングⅡ	必修	クリティカル・リーディングⅡ			
	初修外国語	以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得すること ②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位修得すること【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修すること【必修】※1	選択	12			
		英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フュエイズⅢ(2年次)			
基礎系	初修外国語	アカデミック・イングリッシュ・フュエイズⅣ(2年次)	必修	2			
		数学(微分積分学Ⅰ)	必修	2			
	基礎科学	数学(微分積分学Ⅱ)	必修	2			
		数学(線形代数Ⅰ)	必修	2			
日本語・日本事情教育科目	英語	物理学(力学)	必修	2			
		化学(一般化学Ⅰ)	必修	2			
	初修外国語	化学(一般化学Ⅱ)	必修	2			
		日本語・日本事情教育科目	※3	<外国人留学生対象科目>	37		

※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)を、1年次に履修のうえ修得できなかった場合には、その他の基礎系、教養系の授業科目を当該単位以上に修得することにより、振り替えることができる。

※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリー語)を修得した場合、2単位まで教養系(人文・社会)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。

※3 外国人留学生が、日本語・日本事情教育科目を修得した場合、教養系又は英語(基礎系又は専門基礎系)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。

【注】SPARC コース選択希望者は90頁の科目一覧及び SPARC コースの案内リーフレットに従い、必要な科目を履修すること。なお、コースへの正式な登録は1年次後期からとなります。

1年次専門科目	必修	物質化学ゼミナール	2
	必修	物質化学入門	2

前期 26 後期 26

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■工学部 水環境・土木工学科

科目区分等			単位数
リテラシー	学術リテラシー	必修 ※1	1
	リテラシー	必修	1
	統計		
	科学史		
コア科目			2
基礎系	現代社会論	選択	左記の3科目から、1科目(2単位)修得すること
	健康	必修	
	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A) アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)
	英語 (1年次)	必修	クリティカル・リーディングⅠ クリティカル・リーディングⅡ
初修外国語			※2
教養系	人文・社会	選択	以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得すること ②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得すること【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修すること【必修】※1
	自然・技術		
	環境・健康		
	英語 (2年次)	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(2年次) アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ(2年次)
初修外国語			※2
専門基礎系	数学(微分積分学Ⅰ)	必修	2
	数学(微分積分学Ⅱ)	必修	2
	数学(線形代数学Ⅰ)	必修	2
	数学(線形代数学Ⅱ)(2年次)	必修	2
基礎科学	物理学(力学)		2
	化学(一般化学Ⅰ)		
	生物学(生物学A)		
	生物学(生物学B)		
選択	地学(地学概論Ⅰ)		
	地学(地学概論Ⅱ)		
	物理学(波動と光)(2年次)		
	日本語・日本事情教育科目	※3	＜外国人留学生対象科目＞
共通教育科目合計			37

※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)を、1年次に履修のうえ修得できなかった場合には、その他の基礎系、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系(人文・社会)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。
※3 外国人留学生が、日本語・日本事情教育科目を修得した場合、教養系又は英語(基礎系又は専門基礎系)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。

1年次専門科目	必修	水環境・土木工学ゼミナール	2
	必修	水環境・土木工学基礎	2

1年次履修登録単位数上限	前期 26 後期 26
--------------	-------------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■工学部 機械システム工学科

科目区分等			単位数
リテラシー	学術リテラシー	必修 ※1	1
	リテラシー	必修	1
	統計		
	科学史		
コア科目			2
基礎系	現代社会論	選択	左記の3科目から、1科目(2単位)修得すること
	健康	必修	
	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A) アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)
	英語 (1年次)	必修	クリティカル・リーディングⅠ クリティカル・リーディングⅡ
初修外国語			※2
教養系	人文・社会	選択	以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること ①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得すること ②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得すること【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修すること【必修】※1
	自然・技術		
	環境・健康		
	英語 (2年次)	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(2年次) アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ(2年次)
初修外国語			※2
専門基礎系	数学(微分積分学Ⅰ)	必修	2
	数学(微分積分学Ⅱ)	必修	2
	数学(線形代数学Ⅰ)	必修	2
	数学(線形代数学Ⅱ)(2年次)	必修	2
基礎科学	物理学(力学)		2
	化学(一般化学Ⅰ)		
	化学(一般化学Ⅱ)		
	生物学(生物学A)		
選択	生物学(生物学B)		
	地学(地学概論Ⅰ)		
	地学(地学概論Ⅱ)		
	物理学(波動と光)(2年次)		
日本語・日本事情教育科目			※3
＜外国人留学生対象科目＞			
共通教育科目合計			37

※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)を、1年次に履修のうえ修得できなかった場合には、その他の基礎系、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガルス・スペイン語)を修得した場合、教養系(人文・社会)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。
※3 外国人留学生が、日本語・日本事情教育科目を修得した場合、教養系又は英語(基礎系又は専門基礎系)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。

1年次専門科目	必修	機械システム工学ゼミナール	2
	必修	数学演習	1
	必修	機械設計製図Ⅰ	1
	選択	力学Ⅱ	2
選択			2

1年次履修登録単位数上限	前期 26 後期 26
--------------	-------------

履修要件表

工学部

履修解説

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■工学部 建築学科			
科目区分等		必修 ※1	単位数
基礎系	リテラシー	必修	1
	学術リテラシー	必修	1
	統計	選択	2
	コア科目	左記の3科目から、1科目(2単位)修得すること	
基礎系	現代社会論	必修	1
	健康	必修	1
	英語	必修	1
	英語 (1年次)	必修	1
共通教育科目	初修外国語	※2	1
	人文・社会	以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること	
	自然・技術	①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得すること	12
	環境・健康	②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位修得すること【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修すること【必修】 ※1	
専門基礎系	英語 (2年次)	必修	2
	英語	必修	2
	初修外国語	※2	
	数学(微分積分学Ⅰ)	必修	2
専門基礎系	数学(微分積分学Ⅱ)	必修	2
	数学(線形代数Ⅰ)	必修	2
	数学(線形代数Ⅱ)(2年次)	必修	2
	物理学(力学)	必修	2
基礎系	化学(一般化学Ⅰ)	必修	2
	生物学(生物学A)	必修	2
	生物学(生物学B)	必修	2
	地学(地学概論Ⅰ)	必修	2
基礎系	地学(地学概論Ⅱ)	必修	2
	物理学(波動と光)(2年次)	必修	2
	物理学(波動と光)(2年次)	必修	2
	物理学(波動と光)(2年次)	必修	2
共通教育科目			
日本語・日本事情教育科目		※3	37
日本語・日本事情教育科目		＜外国人留学生対象科目＞	37
共通教育科目合計			
※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)を、1年次に履修のうえ修得できなかった場合には、その他の基礎系、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。			
※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガリー・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系(人文・社会)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。			
※3 外国人留学生が、日本語・日本事情教育科目を修得した場合、教養系又は英語(基礎系又は専門基礎系)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。			

1年次専門科目	必修	建築ゼミナール	2
	必修	設計基礎Ⅰ	2
	必修	設計基礎Ⅱ	2
	必修	設計基礎演習	1

1年次履修登録単位数上限	前期 26 後期 26
--------------	-------------

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■農学部 農学生命科学科 生命・食品科学コース

科目区分等			単位数
学術リテラシー	必修※		1
	必修		1
	選択		2
	必修		1
	必修		1
基礎系	英語	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ（A） アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ（A） クリティカル・リーディングⅠ クリティカル・リーディングⅡ	1 1 1 1
	初修外国語	基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガルスベイン語）は、2単位まで教養系として認定する。	1
	人文・社会	以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること	
	選択	①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得すること ②「環境・健康」のうち、「環境科学」から必ず2単位以上修得すること【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修すること【必修※】	12
	環境・健康		
専門基礎系	英語	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ	2 2
	初修外国語	専門基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガルスベイン語）は、2単位まで教養系として認定する。	
	基礎科学		0
	日本語・日本事情教育科目	外国人留学生のみ履修可 2単位まで教養系として認定する。	
	共通教育科目合計		25

学術リテラシー及び教養系の演習形式の授業は必ず1年次で履修すること、原則当該科目の再履修は認めない。
※学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
※教養系の演習形式の授業の成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■農学部 農学生命科学科 食料生産システム科学コース

科目区分等			単位数
学術リテラシー	必修※		1
	必修		1
	選択		2
	必修		1
	必修		1
基礎系	英語	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ（A） アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ（A） クリティカル・リーディングⅠ クリティカル・リーディングⅡ	1 1 1 1
	初修外国語	基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガルスベイン語）は、2単位まで教養系として認定する。	
	人文・社会	以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること	
	選択	①左記の3区分から、それぞれ2単位以上修得すること ②「環境・健康」のうち、「環境科学」から必ず2単位以上修得すること【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修すること【必修※】	12
	環境・健康		
専門基礎系	英語	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ	2 2
	初修外国語	専門基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガルスベイン語）は、2単位まで教養系として認定する。	
	基礎科学		0
	日本語・日本事情教育科目	外国人留学生のみ履修可 2単位まで教養系として認定する。	
	共通教育科目合計		25

学術リテラシー及び教養系の演習形式の授業は必ず1年次で履修すること、原則当該科目の再履修は認めない。
※学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
※教養系の演習形式の授業の成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。

科目区分等		単位数		
1年次専門科目	必修	一般化学Ⅰ	2	
		一般化学Ⅱ	2	
		有機化学Ⅰ	2	
		生化学	2	
		生物学A	2	
		生物学B	2	
		生命・食品科学概論	2	
		新入生ゼミナール	2	
	選択	物理学概論	自由科目に充てることができる。 ことが出来る。	2
		地学概論Ⅰ		2
地学概論Ⅱ		2		
食料生産システム科学概論		2		
山岳園森林・環境共生学概論		2		
履修登録単位数上限		前期26 後期26		

科目区分等		単位数
	生化学	2
	生物学A	2
	食料生産システム科学概論	2
	新入生ゼミナール	2
選択	一般化学Ⅰ	2
	一般化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅰ	2
	生物学B	2
	物理学概論	2
	地学概論Ⅰ	2
	地学概論Ⅱ	2
	生命・食品科学概論	2
	山岳園森林・環境共生学概論	2
	8単位選択	2
履修登録単位数上限	前期26 後期26	

履修解説

履修要件表 農学部

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■農学部 農学生命科学科 地域協創特別コース			
科目区分等			単位数
基礎系	学術リテラシー	必修※	1
	データサイエンスリテラシー	必修	1
	統計	選択	2
	科学史		
	現代社会論	必修	1
	健康		
	英語	必修	1
	英語（1年次）	必修	1
	クリティカル・リーディングⅠ	必修	1
	クリティカル・リーディングⅡ		
共通教育科目	基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語）は、2単位まで教養系として認定する。		
	基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語）は、2単位以下に示す①～④の要件を満たした上で12単位修得すること		
	人文・社会	選択	12
	自然・技術		
	環境・健康		
	英語（2年次）	必修	2
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ	専門基礎系	2
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ		
	専門基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語）は、2単位まで教養系として認定する。		
	基礎科学		0
日本語・日本事情教育科目			
外国人留学生のみ履修可 2単位まで教養系として認定する。			
共通教育科目合計			25

学術リテラシー及び教養系の演習形式の授業は必ず1年次で履修すること、原則当該科目の再履修は認めない。
※学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
※教養系の演習形式の授業の成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。

科目区分等		単位数
1年次専門科目	新入生ゼミナール	2
	必修	2
	生命・食品科学概論	2
	食料生産システム科学概論	2
	山岳園森林・環境共生学概論	2
	課題解決基礎PBL	2
	選択	2
		2
		2
		2
		2
	8単位選択 ※「生物学A」「生物学B」「物理学概論」いずれか4単位を含むこと	2
	4単位選択 ※左記4科目と2年次開講の「底意学入門」「財政学」「マーケティング」の中から選択すること	2
履修登録単位数上限		前期26 後期26

2025年度（令和7年度）入学生の履修要件表

■農学部 農学生命科学科 山岳園森林・環境共生学コース			
科目区分等			単位数
基礎系	学術リテラシー	必修※	1
	データサイエンスリテラシー	必修	1
	統計	選択	2
	科学史		
	現代社会論	必修	1
	健康		
	英語	必修	1
	英語（1年次）	必修	1
	クリティカル・リーディングⅠ	必修	1
	クリティカル・リーディングⅡ		
共通教育科目	基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語）は、2単位まで教養系として認定する。		
	基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語）は、2単位以下に示す①～③の要件を満たした上で12単位修得すること		
	人文・社会	選択	12
	自然・技術		
	環境・健康		
	英語（2年次）	必修	2
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ	専門基礎系	2
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ		
	専門基礎系の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語）は、2単位まで教養系として認定する。		
	基礎科学		0
日本語・日本事情教育科目			
外国人留学生のみ履修可 2単位まで教養系として認定する。			
共通教育科目合計			25

学術リテラシー及び教養系の演習形式の授業は必ず1年次で履修すること、原則当該科目の再履修は認めない。
※学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
※教養系の演習形式の授業の成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。

科目区分等		単位数
1年次専門科目	物理学概論	2
	地学概論Ⅰ	2
	山岳園森林・環境共生学概論	2
	山岳園森林・環境共生学基礎演習	2
	新入生ゼミナール	2
	選択	2
		2
		2
		2
		2
	8単位選択	2
履修登録単位数上限		前期26 後期26

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■繊維学部 先進繊維・感性工学科

科目区分等		単位数
リ テ ラ シ ー	学術リテラシー	必修※1
	データサイエンスリテラシー	必修
	統計	必修
	科学史	必修
	現代社会論	必修
コ ア 科 目	健康	必修
	健康科学・理論と実践	必修
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(A)	必修
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(A)	必修
	アカデミック・イングリッシュⅠ	必修
基礎 系	英語	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅢ	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅣ	必修
共通 教育 科目	初修外国語	必修
	人文・社会	必修
	環境・健康	必修
	自然・技術	必修
	環境・健康	必修
専門 基礎 系	微分積分Ⅰ	必修
	微分積分Ⅱ	必修
	線形代数Ⅰ	必修
	線形代数Ⅱ	必修
	力学Ⅰ	必修
基礎 系	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
日本語・日本事情教育科 目	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
共通教育科目合計		35

※「学術リテラシー」の成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
※2初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガール・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系「人文・社会」の単位に算入する。
【注】ShinXiaコース選択希望者は98頁の科目一覧及びShinXiaコースの案内リーフレットに扱い、必要な科目を履修すること。なお、コースへの正式な登録は1年次後期からとなります。

1年次専門科目	必修	繊維科学の基礎(講義)	2
	必修	新人生ゼミナール	2
	必修	先進繊維・感性工学概論	2
	必修	先進繊維・感性工学概論	6
	必修	先進繊維・感性工学概論	6
1年次に修得を要する単位(共通教育+学部専門)			37

履修登録単位数上限	前期24単位、後期24単位
-----------	---------------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■繊維学部 機械・ロボット学科

科目区分等		単位数
リ テ ラ シ ー	学術リテラシー	必修※1
	データサイエンスリテラシー	必修
	統計	必修
	科学史	必修
	現代社会論	必修
コ ア 科 目	健康	必修
	健康科学・理論と実践	必修
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(A)	必修
	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(A)	必修
	アカデミック・イングリッシュⅠ	必修
基礎 系	英語	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅢ	必修
	ブラクティカル・イングリッシュⅣ	必修
共通 教育 科目	初修外国語	必修
	人文・社会	必修
	環境・健康	必修
	自然・技術	必修
	環境・健康	必修
専門 基礎 系	微分積分Ⅰ	必修
	微分積分Ⅱ	必修
	線形代数Ⅰ	必修
	線形代数Ⅱ	必修
	力学Ⅰ	必修
基礎 系	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
	卒業要件 外	必修
日本語・日本事情教育科 目	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
	初修外国語	必修
共通教育科目合計		35

※「学術リテラシー」の成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
※2初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガール・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系「人文・社会」の単位に算入する。

1年次専門科目	必修	繊維科学の基礎(講義)	2
	必修	新人生ゼミナール	1
	必修	機械・ロボット学概論	2
	必修	機械・ロボット学概論	5
	必修	機械・ロボット学概論	5
1年次に修得を要する単位(共通教育+学部専門)			36

履修登録単位数上限	前期24単位、後期24単位
-----------	---------------

履修解説

履修要件表

繊維学部

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■繊維学部 化学・材料学科

科目区分等		単位数
リテラシー	学術リテラシー	必修※1
	学術リテラシー	必修
統計		2
コア科目	科学史	選択
	現代社会論	必修
基礎系	健康	必修
	健康科学・理論と実践	1
(1年語次)	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)	1
(2年語次)	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	1
初修外国語		※2
以下に示す①～③の要件を満たした上で11単位修得すること		
人文・社会	①左記の3区分から、それぞれ2単位以上選択	
	②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位必修	
自然・技術	③演習形式の授業2単位を含めること(演習形式の授業が「不可」であった場合、演習形式以外の教養系で修得した単位を充てることができる。この場合も、右の教養系区分の単位数を満たせばよい。)	11
環境・健康	④ブラクティカル・イングリッシュⅢ	2
	⑤ブラクティカル・イングリッシュⅣ	2
(2年語次)	英語	必修(2年次)
	初修外国語	※2
基礎系	微分積分学Ⅰ	2
	線形代数Ⅰ	2
専門基礎系	力学	2
	一般化学Ⅰ	2
卒業要件外	一般化学Ⅱ	2
	◇教職理科免許取得希望者は上記以外に、地学概論(Ⅰ又はⅡ)、地学実験を各2単位修得	
日本語・日本事情教育科目		※11単位までを教養系に振替可
共通教育科目合計		34

※1:学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。

※2:初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハングル・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系「人文・社会」の単位に算入する。

【注】ShinXiaコース選択希望者は98頁の科目一覧及びShinXiaコースの要因リフレットに使い、必要な科目を履修すること。なお、コースへの正式な登録は1年次後期からとなります。

1年次専門科目	必修	繊維科学の基礎(講義)	2
	必修	新入生ゼミナール	1
	必修	情報科学演習	2
	必修	化学・材料ゼミナール	7
1年次に修得を要する単位(共通教育+学部専門)			37

履修登録単位数上限	前期24単位、後期24単位
-----------	---------------

2025年度(令和7年度)入学生の履修要件表

■繊維学部 応用生物科学科

科目区分等		単位数
リテラシー	学術リテラシー	必修※1
	学術リテラシー	必修
統計		2
コア科目	科学史	選択
	現代社会論	必修
基礎系	健康	必修
	健康科学・理論と実践	1
(1年語次)	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)	1
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)	1
(2年語次)	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	1
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	1
初修外国語		※2
以下に示す①～③の要件を満たした上で10単位修得すること		
人文・社会	①左記の3区分から、それぞれ2単位以上選択	
	②「環境・健康」のうち、「環境科学」を2単位必修	
自然・技術	③演習形式の授業2単位を含めること(演習形式の授業が「不可」であった場合、演習形式以外の教養系で修得した単位を充てることができる。この場合も、右の教養系区分の単位数を満たせばよい。)	10
環境・健康	④ブラクティカル・イングリッシュⅢ	2
	⑤ブラクティカル・イングリッシュⅣ	2
(2年語次)	英語	必修(2年次)
	初修外国語	※2
専門基礎系	微分積分学Ⅰ	2
	線形代数Ⅰ	2
基礎科学	力学	
	生物学A	
卒業要件外	生物学B	
	地学概論Ⅰ	
日本語・日本事情教育科目		◇教職理科免許取得希望者は、地学概論(Ⅰ又はⅡ)、地学実験を各2単位修得
共通教育科目合計		31

※1:学術リテラシーの成績が「不可」であった場合、教養系の区分で指定した単位数を超えて修得した単位を充てることができる。

※2:下記の科目を修得した場合、合計2単位まで教養系の単位に算入する。
・初修外国語(中国語・フランス語・ハングル・スペイン語)「人文・社会」に算入
・基礎科学の選択必修6科目のうち、4単位を超えて修得した科目「自然・技術」に算入

1年次専門科目	必修	繊維科学の基礎(講義)	2
	必修	新入生ゼミナール	2
	必修	応用生物学入門	2
	必修	基礎生物学	2
1年次に修得を要する単位(共通教育+学部専門)			8

履修登録単位数上限	前期24単位、後期24単位
-----------	---------------

2 共通教育科目について

2-1. 基盤系

基盤系は、初年次教育を含む学問形成に不可欠な基礎的知識・能力を修得することを目的とした枠組みです。

以下の3つの科目区分に分けられます。

- ①リテラシー（学術リテラシー，データサイエンスリテラシー）
- ②コア科目（統計，科学史，現代社会論，健康）
- ③言語（1年次）
（英語，中国語，ドイツ語，フランス語，ハンゲル，スペイン語）

2-1-1. リテラシー

（1）「リテラシー」の履修について

①学術リテラシー

「学術リテラシー」(1単位)は、全学部 of 1年生が必ず履修をしなければならない科目です(**必修**)。1年次の前期に受講生50名のクラス規模で開講されます。授業は原則として隔週(1週間おき)で開講され、全8回で終了します。

②データサイエンスリテラシー

「データサイエンスリテラシー」(1単位)は、全学部 of 1年生が必ず履修をしなければならない科目です(**必修**)。1年次の前期または後期の前半に開講されます。

（2）「リテラシー」のねらいと概要

①学術リテラシー

高校時代に学んだことを大学生としての視点から改めて学習し、学習者が自己を開拓するための科目です。高校時代までに得た知識・技能を、学術的な見識に裏付けられ、生きて働く知識・技能へと発展させ、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等を養い、社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力の育成を目指します。

②データサイエンスリテラシー

数理・データサイエンス・AI についての知識・技術は、今後のデジタル社会の基本的な素養として、あらゆる分野で活躍するために必要です。社会におけるデータ活用、データリテラシー、データ・AI 利活用の全般にわたってオンライン教材を通じて学習します。

2-1-2. コア科目**2-1-2-1. 統計・科学史・現代社会論****(1) 「統計」・「科学史」・「現代社会論」の履修について**

「統計」、「科学史」、「現代社会論」(いずれも2単位)は受講生100名のクラス規模で行われる科目です。この3科目の中から1～2科目(2～4単位)を選択して、単位を修得しなければなりません。修得を要する科目(単位)数は学部・学科等により異なりますので、学部の学生便覧または「履修要件表」(4～26頁)を確認してください。

(2) 「統計」・「科学史」・「現代社会論」のねらいと概要**① 統計**

現実の事象は複雑であり、私たち自身と、それを成員とする社会、人間を含む生物や環境に関する問題において際立っています。これらに関する評価は「絶対正しい」ことはありません。そこで「間違える可能性は1割以下である」と考えるための技術が必要です。それが確率の数学を基盤とする統計科学です。一方で、ビッグデータを処理するコンピュータ技術の発達に伴い「半分以上は正しいかも」という発見で先に進むことも多くなりました。このため、コンピュータ利用の成果を適切に評価するリテラシーである統計学は私たちに必須です。

② 科学史

私たちの歴史は失敗に満ちています。しかし科学・技術に関する領域では高い再現性があるために、数々の失敗を私たちは克服してきました。科学史においては、新たな事実や視点の発見により今までの成果が言い直され、技術史においては今まで不可能だったことが実現して行き、科学理論は新しい挑戦を試すべき良い制約をもたらします。それらは社会に対する見方の更新を、何度も私たちに促してきました。また、社会的文脈の中で語られるものが産業史であり、この信州でも養蚕その他の地域に根ざす学ぶべき歴史が多くあります。

③ 現代社会論

急激に変容する現代社会において、自己と自身がおかれている状況をクリティカルに理解し、積極的かつ民主的に関わっていくことが求められています。実際、私たちの社会生活では、政治、経済、宗教、法律、教育、メディア、消費文化などの諸制度が、日々変化・発展し、多様化しています。ここでは、それらを歴史的、社会・文化的、法的など多様な視点から検討し、諸課題を発見し、異なる文化や価値観に対して、寛容かつ望ましいものの見方・考え方を身につけます。

(3) 「統計」・「科学史」・「現代社会論」で開講される授業について

「統計」、「科学史」、「現代社会論」は、信州大学にある8学部及び総合人間科学系(全学教育センターおよび各センターなど)の教員が、それぞれの専門分野を生かした授業を提供します。文系、理系に関係なく、自身の興味がある分野の科目を選択して受講してください。

開講される授業は、開設授業科目表(86頁)を参照してください。

2-1-2-2. 健康

(1) 「健康」の履修について

「健康」(1単位)は、全学部の学生が必ず単位を修得しなければならない科目です(**必修**)。この科目はクラス指定で行われます。

「健康」は、講義形式の【理論】(全7回)と実技形式の【実践】(全8回)で構成されています。【理論】と【実践】(計15回)を両方合わせて1単位となります。

(2) 「健康」のねらいと概要

健康は個人、社会、地球環境にまたがる大きな課題です。こうした観点から、この科目は心身の健康、キャンパスにおける安全、社会における望ましい人間関係、環境と健康等についての知識と行動規範の習得を目標としています。健康なキャンパスライフを送る基礎、そして将来健康な知的職業人として社会で活躍するための出発点を形成することが目的です。また、実際に体力の向上を目指した運動の方法を学び、生涯にわたって運動を継続的に行うための基礎的知識と実践方法を学びます。

2-1-3. 言語(1年次)

(1) 1年次における「言語」の履修について

共通教育科目のうち、外国語を学ぶ科目は**基盤系**および**専門基礎系**に配置されています。基盤系が1年次生対象、専門基礎系が2年次生対象となっており、ここでは1年次生対象の基盤系で開講されている言語について説明します。2年次生対象の専門基礎系の言語については、35～36頁掲載の「2-3-1. 言語(2年次)」を参照してください。

基盤系の言語は、①英語と②英語以外の言語(初修外国語^{*})の2つに分けられます。

① 英語(1年次)の履修について

全学部の学生が、1年次において英語を4単位修得しなくてはなりません(**必修**)。修得すべき授業は学部・学科等によって異なります。詳細は学部の学生便覧または「履修要件表」(4～26頁)を確認してください。

英語はクラス指定で行われます。クラス分けの掲示を4月初旬に公用掲示板に貼り出しますので、自身が受講すべきクラスを必ず確認してください。

② 初修外国語(1年次)の履修について

初修外国語^{*}の履修については、学部・学科等によって要件が異なります。詳細は学部の学生便覧または「履修要件表」(4～26頁)を確認してください。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

(2) 1年次における「言語」のねらいと概要

① 英語(1年次)のねらいと概要

副 題	クラスサイズ	概 要
アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A) (AEⅠ(A))	30 名	・文法、コロケーション、語彙や構文の確認と演習をしながら、単文・複文・重文といった文レベルと段落レベルで正しい文章が書けるようになることを目指します。 ・記述、原因、結果、議論といった様々なタイプのワンパラグラフレベルの読解力の養成を目指します。
アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A) (AEⅡ(A))		
アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(B) (AEⅠ(B))	30 名	・自己紹介、調べに基づいた内容を紹介するプレゼンテーションができるアカデミックコミュニケーション能力の下地を養います。さらに、一段落程度の内容を英語で発表用の原稿を作り、意見交換や議論ができるようになることを目指します。
アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B) (AEⅡ(B))		
プラクティカル・イングリッシュⅠ (PEⅠ)	50 名	・英語による受信型コミュニケーション能力の向上、日常的なビジネス英語等プラクティカルな英文や英会話の構造の理解、英語による通知や広告、手紙などを読み、聞いて理解すること等を含むプラクティカル・英語運用能力を養います。結果として、TOEIC 等の外部試験に対応する語彙力、文法力、リスニング力、速読力を修得することを目指します。
プラクティカル・イングリッシュⅡ (PEⅡ)		
クリティカル・リーディングⅠ (CRⅠ)	50 名	・エッセイ等を読み、多様な角度からその内容を捉え、論理的・客観的に理解する思考能力を養います。(クリティカル・リーディング) ・英語によるコミュニケーション能力の養成を目指します。
クリティカル・リーディングⅡ (CRⅡ)		

② 初修外国語(1年次)のねらいと概要

言 語	クラスサイズ	概 要
中国語	25～40 名	1年次には発音・声調・基礎的な語彙と文法を身につけ、簡単な日常会話や比較的易しい読み物を読解する能力を身につけます。
ドイツ語		1年次には、基礎的な文法を身につけ、簡単な読解力とコミュニケーション能力の獲得を行います。
フランス語		1年次には、基礎文法と簡単なコミュニケーション能力の習得を目指し、初級程度のフランス語力を育成します。
ハングル		1年次には、文字の書き方や発音を学習した後、初歩的な文法を学習します。「聴く・話す・読む・書く」にわたる力をつけます。
スペイン語		1年次においては、基礎的な文法とコミュニケーション能力と日常必要となる簡単な文書を理解し表現できる能力の獲得を目指します。

2-2. 教養系

教養系は、幅広い教養の修得と問題解決力・探求力を涵養することを目的とした枠組みです。

以下の3つの区分に分けられます。

- ①人文・社会
- ②自然・技術
- ③環境・健康

講義形式の授業は100名程度、演習形式の授業(「〇〇ゼミ」という名前の授業)は20～30名程度、実技形式の授業(「キャンパススポーツ実習」、「アウトドアスポーツ実習」)は約20名以上というクラス規模を基準としています。

(1)「教養系」の履修について

教養系の修得すべき単位数は、学部・学科等によって異なります。詳細は学部の学生便覧または「履修要件表」(4～26頁)を確認してください。

ただし、以下の要件は全学部・学科共通です。

①「環境・健康」のうち、「環境科学」(2単位)を必ず修得すること。【必修】

②演習形式の授業(「〇〇ゼミ」という名前の授業)(2単位)を必ず履修すること。【必修※】

※演習形式の授業は原則として1年次に履修してください。演習形式の授業の単位を履修したうえで修得できなかった場合は、各学部・学科等により対応が異なりますので、所属学部・学科等の担任教員または学務窓口にご相談ください。

(2)「教養系」のねらいと概要

《人文・社会》

人文とは、人が生み出す文化の研究を通じて、人を理解しようとする研究分野の総称です。人の経験や知識を、表現されたもの、実践されていること、記録・記憶されていることから明らかにします。また社会とは、人が人と関わることによって生じる様々な現象を研究する分野の総称です。日々の営みのなかで起こる問題を解決し、秩序を取り戻し、人を思い育む方法を模索しています。

科目名	ねらいと概要
哲学	私たちが生きている世界を理解するうえで必要な知の枠組みを構築する分野が哲学です。古今東西の哲学者や思想家、著作家、芸術家、宗教家によって培われた「知識」、先行者の思索に触発されながら自己の思考を深める「能力」、それらを現代における考え方や価値観と照らし合わせ、自らのよって立つ基盤を問い直し、より良く生きるための糧とする「態度」の三者を身につけることが哲学の目的です。
芸術学	芸術学は「芸術とは何か」を探究している学問分野です。絵画・彫刻・建築・工芸・音楽から写真・映画・デザインにいたるまで、人間による表現を幅広く対象としています。人類の歴史において様々な社会が生まれ、そのなかで人々の感性が形作られてきたこと、様々な表現が試みられてきたことによって人々の感性が変化し、社会も変容してきたことを踏まえて、人と社会と表現の新たな関係を模索することが芸術学の役割です。
文学	文学という語は、言語によって生み出される芸術作品とその総体を意味します。また、それらを読み、解釈し、考察し、その成果を文章で書き記し、さらには作品としての文学を創作することも文学と呼びます。文学によって私たちは他者の多様な経験や知識について知り、自らの想像力を養うことができます。文学を学ぶことは、①文字と文章の読み書き、②他者を想い、理解を試みる精神＝教養、③あらゆる言語表現を対象とした読解力を身につけることにつながります。

科目名	ねらいと概要
言語学	人類は種の特長として言語能力を普遍的に持っています。そして、私たちは言語によって思考し、状況を把握し、自己と他者と社会に関わりながら生きています。言語学は、①言語の構造、②言語の多様性、③音声を作り出す生理的メカニズム、④言語と社会の関係について研究をおこなっています。
歴史学	過去に起こった出来事の意味を明らかにするのが歴史学です。歴史的な認識は厳密な実証的手続きによって明らかにされた史実に基づかなければなりません。また、事象と事象との間の関連性を把握する上では論理的であることが求められます。歴史学を学ぶことによって、私たちは現在の国家や社会、個人の在り方を、歴史的に形成されたものとして認識することができるようになります。また、様々な歴史観を尊重しつつ検討することによって、歴史観の相違から生じる対立を解くことも可能になります。
社会学	社会学は「社会とは何か」という問いを探究する学問分野です。社会とは、人と物と出来事の複雑な関わりの全体です。社会学は、この社会現象を調査に基づいて明らかにする実証的な側面と、様々な概念を用いて論理的に説明しようとする理論的な側面をあわせ持っています。さらには、ある社会現象が私たちにとって望ましくないと判断した場合には、それを改善・改良する方法を構想する実践的・政策的な学問でもあります。
心理学	心理学は、心とは何かを問い、心のはたらきを解明する学問領域です。そのために、人間が外界から情報を受け取り、理解し、行動するにいたる過程を脳の機能にまでさかのぼって、現象的・機能的に明らかにすることを目的とします。その上で、心理学では①人間の心を科学的に探究すること、②学問知とフィールド知を双方向的に探究すること、③社会的諸課題に応えることの3点が重視されます。
教育学	人は育つなかで、人から多くのことを教わります。では、人は何を、どのように、なぜ教わる、あるいは教えるのでしょうか。教育学は①教育とはどのようなことなのか、②時代や社会による教育の違いについて、③どのように教育を実施してゆけば良いのか、を検討する学問分野です。変化が激しい現代社会において、どのような人に育つ・育てるのが望ましいのか。教育学の研究課題はますます重要になってきています。
法学・政治学	どのような社会であっても、人々が共同生活を円滑に営むうえでは決まり＝法が必要です。法学は主に、①人々の行動の規範となる法の機能、②法の作られ方、使われ方といった法の制度的な側面、③法を解釈し適用する技術的な側面に関する研究をおこなっています。 政治学では、人間の多様性を前提とした上で、価値観やアイデンティティ、あるいは諸利益をめぐって生じる対立・紛争を、いかに解決し社会的に統合するかが探究されています。
経済学・経営学	経済学は、人々の幸福の達成に必要な物資や労働の利用および権利の配分における個人や社会の活動を分析します。また、幸福の意味やそれを実現するための制度的仕組みを検討し、望ましい政策的対応のあり方を考える学問です。 経営学は、①営利・非営利のあらゆる「継続的事業体」（私企業、国・地方自治体、学校、病院、NPO、家庭など）を「経営者の視点」で見る、②組織の企画・運営上の課題を効率的に解決する、③事業体の活動を社会全体の発展と関連づけて点検する科学的知識の体系です。
文化論	文化論とは、文化人類学、民俗学、地理学などからなる分野です。ある人々を対象に、人々が暮らす自然環境、社会環境を踏まえて、生活の端々まで丹念に調査することによって、人々の行為や認識、価値観の体系＝文化を明らかにします。国の別を問わず身近なところにも様々な人の生き方＝文化があることを前提に、それらの相違点と共通点を認めたうえで理解を試みること、文化の異なる人々が共に生きられる社会を構想することが文化論の役割です。
国際共修	国際共修とは、文化的背景や言語の異なる学習者同士が、共通のテーマや社会課題について、対面もしくはオンライン上でグループワークなどの協働学習を通じて、他者を理解し、自己を見つめ直すような思考過程を促す能動的な学習機会です。 協働学習を体験することで、現代社会で必要とされる異文化理解力やコミュニケーション力、協働する力に加え、視野が広がることで新しい価値観や批判的思考力を習得できるようになります。

《自然・技術》

自然科学は中世以降の実験観測技術の発達に伴い、思弁的な哲学などから分離しました。自然科学における理論と実験技術の発達は相補的な関係を築いてきましたが、とくに最近のバイオ・情報・ナノ技術の発展は著しく、現在では技術先行の状況が強くなっています。この領域は、対象の特性に応じた「なぜ」を考える手法に大きく特徴をもつ物理学・化学・生物学などの理学系と、適用可能な技術から「どのように」を考える手法に大きく特徴をもつ工学系とに大きく分けられます。

科目名	ねらいと概要
数理科学の世界	「世界は数式で書かれている」とはガリレイの有名な言葉ですが、実際に、さまざまな現象を数式の言葉で記述すること（数理モデリング）と、それを解くことで現象への理解を深めることが、考え方の基本です。現代の数学でも解けない数学的問題はまだ多く、近年、発達の著しいコンピュータを利用して理解を進めるシミュレーション技法も多く発展中です。コンピュータの与えた成果を理解するためにも、数学理解の重要性が社会的に高まっています。
物理学の世界	物理学は、物質の根源的な構造および物質同士の根源的な関係の探求を課題としています。微視的な方向では、原子の中の構造の探求からさまざまな素粒子が発見されました。そうした素粒子の誕生の理解が巨視的な宇宙の創生を理解する手がかりになります。このため現代天文学は物理学の方法で語られることが多くなっています。ここでは、そうした根源的な問いを探す行為や見方に触れます。
化学の世界	私たちの身の回りには、衣服・家電製品・自動車などの様々な「もの」が溢れています。これらの「もの」は、多くの物質を素材に様々な技術を加えて作られています。「もの」は生活を豊かにしてくれますが、その素材・物質は、時として環境破壊や健康を蝕む元凶にもなります。ここでは、物質・素材及び派生する現象を、化学や物理学の観点で扱います。物質の構造に関する革新的な発見の歴史や、現在生活の中で利用されている様々な物質・素材の機能性、安全性、リサイクル性なども扱います。「ものづくり」の科学の役割を理解し、その楽しさを見ていきます。
生物学の世界	地球上に発現した生命は、35億年という長い時間を経過して、初期の原始的な形態から多種多様な生命体へと進化を遂げてきました。そして生命体を対象とした科学技術は、細胞工学、遺伝子組み換え、臓器移植、クローン動物の作出などへと展開しています。ここでは、遺伝子、生命維持に必要な因子、生命の進化、生物の環境への適応、生命の相互作用等の事柄を、生態学的な立場、動・植物学的な立場、あるいは生化学的な立場から扱い、生命体を扱う最先端技術も含む。「生命とは何か」、「地球上での人(ヒト)とは何か」などを考えます。
地学の世界	地球に関する歴史や環境を扱うのが地学です。身近な自動車の排気ガスは地球圏の大気内の諸現象に影響を及ぼします。工業廃棄物や森林の伐採は生態系や自然環境の破壊につながります。このため環境汚染物質の生態系での挙動、環境破壊の発生機構や問題点を扱います。また、日本列島を構成する地層や岩石の特徴、自然災害の発生メカニズムや予知方法なども含まれます。豊かな自然環境を持つ信州に位置するため、森林における資源の持続的生産性や樹木の水利用特性、自然保護の理念、山岳の自然と人の共存などを考えます。
工学入門	工学の対象となるものづくりの営みは、さまざまな技術を組合せて特定の目的に働くものを実際に実現する過程です。ものづくりの対象に応じた分類、ものづくりの方法に応じた分類、ものづくりの過程に応じた分類などがあります。とくに環境問題は、ものづくりでの部分的合理性が、ものをとりまく環境まで含めた視点から見た全体的合理性に相反する事象のあることに気づき、それを解決しようと取り組む工学的問題です。
情報学入門	私たちを取り巻く環境にあるデータは、それを解釈可能なものとして捉えるとき情報となります。情報をよりよく理解するためには、さまざまな数学的处理を行います。それが情報処理です。多くの情報処理自体は単純であっても、膨大な処理は人の手に余ります。このため情報を機械的に処理する装置（コンピュータ）が不可欠になります。ここでは、授業ごとに固有の特徴をもつ、さまざまな対象に応じた情報の捉え方や情報処理と活用の仕方に取り組みます。

《環境・健康》

人間とそれを取りまく環境との相互関係を理解し、その関係を持続的に維持し、改善させるために必要な知識や分析の技能を習得します。その上で、持続可能な社会の実現に向けて積極的な行動に結びつくことを目指しています。

健康に関する科目では、球技やアウトドア活動、さらには専門的なトレーニングや特殊なエクササイズを体験します。それら様々なスポーツや活動体験を通じて、健康に関連する種々の知識や技術を獲得します。さらに、身体運動のメカニズムに代表される学術知識や健康関連産業の発展に資する知識を得ることで、社会における「健康、スポーツ」の意義についても学びます。

科目名	ねらいと概要
環境科学	環境科学は、人間とそれを取りまく自然的、物理的、化学的環境との相互作用を扱い、その関係を持続的に維持するための方法論の体系です。信州大学では、単に理論だけでなく、全学を挙げてエコキャンパスを構築し、その継続的改善という実践を通じて「環境マインドをもつ人材の養成」に力を入れてきました。「環境マインド」とは、人と自然を愛する心の豊かさを志向しつつ、現代社会が直面する環境問題を科学的に理解し、問題解決に向けて行動する精神のことです。
社会と健康	様々なスポーツ活動の機会が、老若男女や障害の有無に関わらず門戸が開かれているものであり、身体・健康の維持増進や居場所づくりの場としての一助となっています。「社会と健康」では、それら健康や障害に関する基礎知識を学びます。また、障害のある人とのスポーツ交流を通して、幅広い見識を得ることを目的とします。理想や倫理観をもって社会の平和的・持続的発展のために行動できる社会的行動マインドや、みずからを他者や社会との関わりの中で捉え、自己啓発に努めることができる自己認識・自己啓発マインドの獲得を目指します。
人体と科学	人体と科学科目では、人体の構造や機能、生命の仕組みなどに着目し、それらについての新たな見識を得ることを目的とします。また、これらの知識に基づき、ヒトの運動制御のアルゴリズムを学ぶとともに、それらの原理が自然界の現象とどのような関わりがあるか、さらには人間が自然界に与える影響についてまで学びます。
運動科学	ヒトの身体運動は、単純に見えて複雑な制御メカニズムに基づいて実現されています。運動科学科目では、様々な運動種目やスポーツ活動に着目します。それらの基本知識や応用実践例について各自で調査および学習することで、身体運動のメカニズムを理解します。さらに、運動科学科目で得た知識や実践方法の有益性についてゼミ形式で学び、より実践的な経験まで派生できるようにします。これらを通して、コミュニケーション能力や問題発見・解決能力の向上を目指します。
キャンパススポーツ実習	キャンパススポーツ実習では、サッカー、バレーボールやバドミントンなどの球技、ラケットバットスポーツから、コーディネーションやフィットネスなどの専門的なトレーニングまで幅広い内容が設定されています。いずれの科目においても、基礎から応用までを一連の流れで学習します。また、実際に体を動かし、仲間とのコミュニケーションを図りながら取り組むことから、学部や学科を超えた人間関係の構築にも寄与します。運動能力の高低は全く関係なく、楽しみながら体を動かすことで身体運動の意義を再認識します。
アウトドアスポーツ実習	アウトドア実習では、信州の自然を活かしたフィールドを主とした様々な活動を行います。四季に応じた自然の中での身体活動を体験し、求められる知識や技術を獲得します。種々の活動を行う上で、計画立案や実施方法を個々あるいはグループで考えていきます。これらを通して、コミュニケーション能力、リーダーシップ能力、問題発見・解決能力の向上を目指します。
高年次スポーツ実習	高年次スポーツ実習は、1年次に学習したアウトドアスポーツ実習の内容を発展したものとなっています。さらに深い知識と高い技術向上を目指す、あるいは、より幅広く新たな経験をすることを目的とします。これにより、信州の自然を活かした身体活動に対して専門家に近い人材となることを目指します。高年次スポーツ実習の単位認定を受けた学生には、「マスター」の称号が信州大学から付与されます。

2-3. 専門基礎系

専門基礎系は、学部専門につなげるための知識や能力を修得することを目的とした枠組みです。

以下の2つの区分に分けられます。

①言語(2年次)

(英語, 中国語, ドイツ語, フランス語, ハングル, スペイン語)

②基礎科学

(数学, 物理学, 化学, 生物学, 地学)

2-3-1. 言語(2年次)

(1) 2年次における「言語」の履修について

共通教育科目のうち、外国語を学ぶ科目は基盤系および専門基礎系に配置されています。基盤系が1年次生対象、専門基礎系が2年次生対象となっており、ここでは2年次生対象の専門基礎系で開講されている言語について説明します。1年次生対象の基盤系の言語については、29～30頁掲載の「2-1-3. 言語(1年次)」を参照してください。

専門基礎系の言語は、①英語と②英語以外の言語(初修外国語^{*})の2つに分けられます。

① 英語(2年次)の履修について

全学部の学生が、2年次において英語を4単位修得しなくてはなりません(必修)。修得すべき授業は学部・学科等によって異なります。詳細は学部の学生便覧または「履修要件表」(4～26頁)を確認してください。

2年次の英語もまた、クラス指定で行われます。詳細は各学部から掲示等で周知されますので、必ず確認するようにしてください。

② 初修外国語(2年次)の履修について

初修外国語^{*}の履修については、学部・学科等によって要件が異なります。詳細は学部の学生便覧または「履修要件表」(4～26頁)を確認してください。

(2) 2年次における「言語」のねらいと概要

① 英語(2年次)のねらいと概要

副 題	クラスサイズ	概 要
アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ (AEⅢ)	40 名	・記述, 原因, 結果, 議論といった様々なタイプの段落で構成されたエッセイや学術論文の構成を理解し, エッセイ・複数の段落(序論・本論・結論)の英文が書けるようになることを目指します。
アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ (AEⅣ)		
プラクティカル・イングリッシュⅢ (PEⅢ)		・英語による受信型コミュニケーション能力の向上, 日常的なビジネス英語等プラクティカルな英文や英会話の構造の理解, 英語によるお知らせや広告, 手紙などを読み, 聞いて理解を含むプラクティカル・英語運用能力を養います。結果として, TOEIC等の外部試験に対応する語彙力, 文法力, リスニング力, 速読力の修得を目指します。
プラクティカル・イングリッシュⅣ (PEⅣ)		

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

② 初修外国語(2年次)のねらいと概要

言語	クラスサイズ	概要
中国語	25～30 名	2年次にはより多くの語彙と文法知識を蓄積し、ピンインに頼らず豊かな内容の会話と複雑な文章の読解ができる能力を身につけます。
ドイツ語		2年次には、辞書を使えばドイツ語の文章が読め、ドイツ語圏の人々と簡単なコミュニケーションがとれるドイツ語力を育成します。
フランス語		2年次には、1年次に習得した基礎的フランス語力をさらに伸ばし、中級程度(フランス語圏の人々と簡単なコミュニケーションができる程度)のフランス語力を養います。
ハンガール		2年次には、中級文法を学習し、さらに高度な「聴く・話す・読む・書く」が出来るように授業を進めます。
スペイン語		2年次においては、中級程度のスペイン語能力をめざします。日常的で身近な表現を理解し、コミュニケーションを取る能力の獲得を目指します。

2-3-2. 基礎科学

(1) 「基礎科学」の履修について

「基礎科学」は、専門科目の基盤となる科学を学ぶ科目で、特定の学部・学科等において開講されます。学部・学科等により、履修要件が異なります。詳細は学部の学生便覧または「履修要件表」(4～26頁)を確認してください。

(2) 「基礎科学」のねらいと概要

科目名	ねらいと概要
数学	数学的諸性質は誰でも証明を通じて正否を判断できるという大きな特徴もあり、科学の礎となりました。ここでは、中でも基礎となる微分積分学および線形代数学を学びます。近年、利用の盛んなコンピュータで得られる結果のほとんども数学的手順の実現であり、その結果を解釈したいという社会的要請には、数学を証明まで理解できることが有用です。とくに最近の人工知能技術では、微分積分学による最小2乗法や極値への収束法、線形代数学での固有値とその固有ベクトルへの理解が、技術を適切に扱う上で重要です。
物理学	初年次では、主として物体の運動状態の物理を中心とした力学を勉強します。日常よく耳目に触れる、エネルギーという概念の基礎的なことも学びます。大学の物理では、すべてを公式として暗記するのではなく、現象を少数の法則のもとに分析的に考える姿勢が重要になります。また、微積分やベクトルといった数学の力も必要です。こうしたことは、物理学だけでなく、理科系の学問全般の共通基盤です。ここで学ぶ内容は、将来、専門の学修を進めていく上でも、いろいろなところで役に立ちます。
化学	化学は「もの」を扱う(作る、測定する、解析をする)分野です。例えば、化学反応は「もの」の反応であり、フラスコのようなガラス器具内だけで起こるものだけではなく、宇宙、大気、身体の中でも起こっています。「何が、どこで、どれだけ、なぜ…」のように定性的な見方および定量的な見方を通して、一般法則を見出してきました。このため、化学を理解するためには他の自然科学分野(数学、物理、生物、地学)の知識も必要です。これらの見方を通して、化学も含めた科学についてこれからの新しい世界を切り開くための基礎理解力を身に付けます。
生物学	「生物とは何か?」という主題に対して、われわれ自身、つまり、個体を基準として生物学 A ではより小さな(ミクロ)、生物学 B ではより大きな(マクロ)観点から全体像を描きます。前者では、遺伝学や生化学、分子生物学を中心に、核酸やタンパク質の働きから遺伝情報のセントラルドグマを確認したうえで、細胞分裂の制御機構とその破綻としてのガンについて考えます。後者では進化学、系統・分類学、生態学を中心に、生物の多様性とそれを生み出す環境との関わりを理解し、個体群の性質や生態系の構造と機能について考えます。
地学	地球とその環境の成立の歴史を、太陽系の成立から人類の時代に至るまで時代順にとらえたものが地球史です。地球史という大きな観点をもつことによって、大学で学ぶことの意義と地球環境に携わる人類社会の一構成員としての自分自身の見方・考え方が養えます。それにより、当たり前と思ってきた自然の諸現象に関しても、見方を深めれば多様な捉え方があるということが理解できます。気象学や海洋学は地球から見たその環境の捉え方の一つです。

3 授業の実施について

3-1. 開講期・学期・履修期間

学則により、1学年は4月1日から9月30日までの前学期と、10月1日から翌年3月31日までの後学期に分けられています。(ただし、学則第27条2項により、本年度は9月29日(月)から後学期が始まります。)これを「前期」、「後期」と略称します。前期、後期いずれか一方の学期だけを「1期(セメスター^{*})」と呼びます。

授業は、「前期」又は「後期」に開設されています。毎週授業を行うもの、隔週(1週間おき)で授業を行うもの、休日や長期休業中に集中して行うもの、また、これらを組み合わせた授業もあります。

同じ曜日・時限の授業を16回(授業15回+試験1回)実施するために、振替授業日が設定されていますので、学年暦(表紙の裏に掲載しています)で確認してください。

3-2. 授業時間

1日の「授業時間」は、次の表のとおりです。

時 限	時 間
第 1 時限	9:00 ~ 10:30
第 2 時限	10:40 ~ 12:10
第 3 時限	13:00 ~ 14:30
第 4 時限	14:40 ~ 16:10
第 5 時限	16:20 ~ 17:50
第 6 時限	18:00 ~ 19:30

原則、1つの授業は週に1時限行われますが、実験や実習等のように2時限連続で行われる授業もあります。また、集中講義は授業によって時間がそれぞれ異なりますので、シラバス^{*}や掲示で確認してください。

3-3. 規定単位数

ある授業を履修し、成績評価された時に与えられる単位数を「規定単位数」と呼びます。

大学での単位数は、授業科目ごとに定めており、前期15週(回)、または後期15週(回)の授業と各自の予習・復習及び試験に合格した学生に授業科目に明記された『単位』が与えられます。

※15週(回)は授業回数であり、試験は含みません。(各学期とも授業15週(回)+試験1回)

単位の修得には授業に出席するだけでは不十分で、自学自習が必要です。週1コマの授業(講義・2単位)の場合に学生は4時間の授業時間外学修が求められています。宿題や試験問題もこの前提に立って出題されています。

なお、卒業に必要な単位数は各学部・学科等により異なるため、所属する学部の学生便覧で確認し、新入生ガイダンス等の機会にしっかりと把握しておくことが重要です。

また、遠隔授業科目により取得できる単位数の上限は共通教育科目と専門科目をあわせて60単位とします。124単位を超える単位数を卒業要件としている学部は例外がありますので、所属学部の学務窓口に確認してください。詳細は80頁の「卒業に必要な所定の単位数への「遠隔授業科目」の算入について」で確認してください。

3-4. 対象学生

各授業は、全学生を対象とするものと、対象学生を指定しているものがあります。対象学生が指定されている場合は、指定された対象学生以外の学生はその授業を受講することができません。

開設授業科目表やシラバス^{*}の「対象学生」欄を確認してください。英語や基礎科学などの「クラス分け」は、掲示でお知らせするので確認してください。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

4 履修の方法と注意

4-1. 全体的な履修上の注意

(1) 授業への出席について

学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とします。やむを得ず欠席する場合の取扱いについては、57頁を参照してください。

(2) 授業に関する情報を得る（掲示板を見る習慣をつけましょう！）

共通教育の授業に関する情報は、共通教育第一講義棟前の公用掲示板に掲示されます。また、休講情報・教室変更・時間割変更はキャンパス情報システム^{*}にも掲載されますので毎日確認する習慣をつけましょう。キャンパス情報システム^{*}はパソコン、スマートフォンなどからログインして確認してください。

(3) 履修案内・シラバス^{*}を読む

シラバス^{*}には「授業に関する情報」が詰まっています。授業を受ける前に必ず読みましょう！

シラバス^{*}は信州大学のホームページ(在学生の方へシラバス)に掲載されています。専門科目を含めた信州大学の全ての授業のシラバス^{*}を見ることができます。

(4) 履修登録上限単位^{*}について

1学期に履修登録できる単位の上限^{*}が学部ごとに定められています。

大学での勉学は授業での学習に加えて、出席する授業の予習、復習を含む十分な自主的学習時間の確保が前提となっています。こうした趣旨から、履修登録単位数の上限^{*}制度が設けられています。学部が定めた履修登録単位数の上限^{*}を超えて履修することはできません。

なお、前期の成績が優秀な学生で、学部長の許可がある場合には、後期に個々の学生ごとに履修登録単位数の上限^{*}を設定することが認められます。

学部ごとの「履修登録上限^{*}単位数」は、4～26頁の「履修要件表」で確認してください。

※教職に関する科目は履修登録単位数の上限^{*}には含まれません(学部が指定した一部科目を除く)。

※共通教育科目の集中授業は上限^{*}に含むものと含まないものがあります。対象の授業は、前期は173頁、後期は201頁で確認してください。専門科目の集中授業については、各学部で扱いが異なりますので、学部の学生便覧を参照してください。

※その他、学部・学科によって上限^{*}に含まない科目があります。詳細は各学部の学生便覧または「授業時間割表(学部別)」(115～143頁)で確認してください。

(5) 重複履修の禁止

同じ副題の授業(または内容が重複するとして掲示等がされている授業)は重複して履修することはできません。開講年度、開講学期が違う場合も同様です(単位が修得できなかった授業を再履修する場合を除く)。

(6) 授業担当教員に連絡を取る場合

まずシラバス^{*}に載っている「質問、相談への対応」を確認し、指定された方法で連絡を取ってください。共通教育科目を担当している専任教員(1年次生対象の専門科目担当教員も含む)の研究室の電話番号は、206～209頁に記載してあります。非常勤講師の連絡先は、シラバス^{*}に記載されているもの以外は個人情報保護のため教えることはできません。

※注意

松本以外のキャンパス(教育・工・農・繊維学部)に研究室のある教員、また非常勤講師は、基本的に授業時間しか松本キャンパスにいませんので、できる限り授業の際に連絡をとるようにしてください。

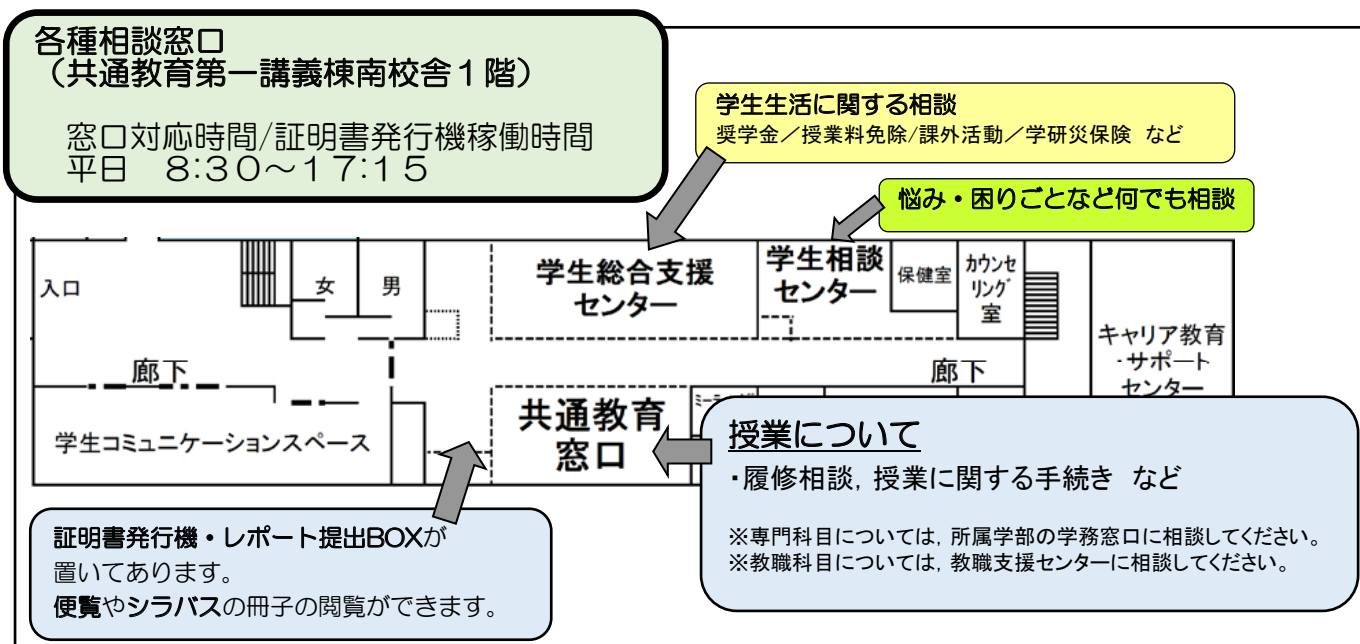
^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

(7) AIの活用について

人類とAIが共創する社会に向けて、授業等の学びの場でAIを活用しましょう。ただし、**情報保護や著作権等保護の徹底及び授業ごとに定められるルールを遵守してください**(詳細は80頁の「信州大学の学修・教育におけるAI活用に関するガイドライン」参照)。

(8) 相談窓口について

履修について分からないことがある場合は、共通教育窓口にご相談に来てください。また、担任・副担任の先生も相談にのってくれます。(連絡先は204～205頁に記載)



LINEで、共通教育科目の履修登録や授業に関するQ&Aを利用することもできます。共通教育窓口の対応時間外にも利用可能なので、不明な点がある場合はこちらも利用してください。

◆利用するには…

- ①LINEの「友だち追加」から、右のQRコードを読み取らせるか、ID検索を行い、友だち追加を行ってください。
- ②トーク画面下部にある「属性登録」をタップし、学部、学年等を登録してください。
- ③トーク画面に質問のカテゴリが表示されるので、質問したい内容に応じて選択してください。



ID @813yhxli

※「Q&A」は期間限定です(前期:4月末まで 後期:10月末まで)。

※「公用掲示板」、「キャンパス情報システム」、「共通教育履修案内」に掲載された情報への案内がメインです。詳細は掲載元を必ずご確認ください。

※この「Q&A」は、主に1年生を対象としたものです。高年次生の場合は取り扱いが異なる場合がありますので、高年次生を対象とした掲示を確認のうえ、不明な点がある場合は共通教育窓口にお問い合わせください。



画面のイメージ

4-2. 基盤系の履修の方法と注意

4-2-1. リテラシーの履修の方法と注意

(1) 学術リテラシー

①学術リテラシーのクラス分けについて

「学術リテラシー」は全24クラスが開講されます。「学術リテラシー」は全学部^{*}の学生が必修となっている科目ですので、全ての1年生がいずれかのクラスで受講する必要があります。

クラス分けは学生からの希望に基づいて行います。学術リテラシーのエントリー期間(4月3日(木)9:00～7日(月))を設けますので、必ず期間内にエントリーしてください。エントリー方法およびそれぞれのクラスの開講曜日・時限、講義室は48～49頁を確認してください。

②隔週開講について

授業は通常全15回で構成されていますが、「学術リテラシー」はその半分の全8回で構成される授業です。そのため、通常の授業とはスケジュールが異なる点に注意してください。

授業の日程については、49、85頁およびシラバスを参照してください。

③単位を修得できなかった場合について

本科目の単位を修得できなかった場合は、各学部・学科等により対応が異なりますので、所属学部・学科等の担任教員または学務窓口にご相談ください。

(2) データサイエンスリテラシー

①履修方法について

「データサイエンスリテラシー」は、1年次前期または後期の前半に複数クラスが開講されます。対面ではなく、すべてオンライン(eALPS^{*})上での履修です。eALPS^{*}の利用方法については、234～236頁を確認してください。

②クラス分けについて

自身が履修すべきクラスを確認し、授業が始まる前に履修登録を行ってください。

③再履修について

「データサイエンスリテラシー」の単位を修得できなかった場合は、同じ期の後半に開講される再履修生用のクラスを受講してください。詳細は別途通知します。

なお、学部ごとの「履修登録上限^{*}単位数」を超えてしまう場合は同じ期の後半に再履修できませんので、翌年度以降に所属学部の同じ授業を再履修してください。

4-2-2. コア科目(統計・科学史・現代社会論)の履修の方法と注意

「統計」、「科学史」、「現代社会論」の修得すべき単位数は学部・学科等により、定められています。3科目ともに、複数の授業が開講されていますので、学部・学科等の履修要件や自身の時間割の空き状況、学びたい分野に応じて、選択してください。

4-2-3. コア科目(健康)の履修の方法と注意

(1) 履修方法

「健康」は「健康科学・理論と実践」(1単位)が全学部学生に必修として課されています。

教員免許取得希望の学生は、「健康科学・理論と実践」1単位と教養系の「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」1単位以上を修得する必要がありますので、注意してください。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

(2) クラス分けについて

「健康科学・理論と実践」は1年次前期または後期に複数クラスが開講されます。4月初旬に公用掲示板にクラス分けの掲示を貼り出しますので、自身が履修すべきクラスを確認してください。なお、指定されたクラス以外での履修はできません。

(3) 通常の運動が困難な学生の履修方法について

29頁で説明したように、「健康科学・理論と実践」は、講義形式の【理論】、実技形式の【実践】という2つのパートに分かれています。怪我や病気等により【実践】を受講できない学生は、個々の状況を確認の上、個別に対応する必要があるため、各学期初めに行うガイダンスにて履修方法を指示します。ガイダンスの詳細は、公用掲示板にてお知らせします。

(4) 再履修について

「健康科学・理論と実践」の単位を修得できなかった場合は、翌年度以降再履修してください。初回の授業時に、再履修を希望するクラスの担当教員に申し出て、許可を得て履修してください。

前期に「健康科学・理論と実践」の単位を修得できなかった学生が、後期に再履修することはできませんので、注意してください。

4-2-4. 英語（1・2年次）の履修の方法と注意

(1) 英語学習に関する全般的注意

英語はある程度の力はあると思いますが、読み書きをはじめとする英語のコミュニケーション能力については、十分に修得されているとは言えない状況にあります。基礎的な練習や課題などをいとわずに卒業するまで努力を重ねてください。

とりわけ外国語は教室外での不断の努力なしには身につけませんので、個人に適した方法を工夫し、教室外での取り組みへの努力も欠かさないようにしてください。そのため、英語教員はいつでも皆さんの質問に答え、また必要なアドバイスをを行う用意があります。

(2) どのクラスを履修するか

英語のクラスは、すべて学部別であり、また習熟度別クラス編成になっています。(上級)(中級)(初級)の3レベルです。習熟度別クラスが編成され、授業が始まる前までに掲示されます。指定されたクラス以外のクラスを履修することは原則としてできません。各クラスの授業内容の詳細については、シラバス^{*}を参照してください。

なお、英語については、クラスの指定が掲示されたら、授業が始まる前に履修登録をしてください。

(3) 各種英語資格試験による単位認定について

TOEIC, TOEFL, IELTS, 実用英語技能検定(英検)等によって英語(1年次対象の英語のうち、所定の2単位分)の単位認定ができます。(詳細は69～70頁を参照)

(4) 再履修について

英語は、各所属学部・学科等により、クラスが指定されていますが、修得できなかった場合は、次学期以降に所属学部の同じ副題の授業を履修してください(やむを得ず他学部向けのクラスを履修する場合は、事前に所属学部の学務窓口を確認をとってください)。また、初回の授業前に、再履修を希望するクラスの担当教員に申し出て、許可を得て履修してください。再履修者は、初級もしくは中級クラスを履修してください。

なお、松本以外のキャンパス(教育・工・農・繊維学部)にいる学生は、松本地区以外の高年次再履修生向けに開講しているe-Learning英語【EA】^{*}を履修できます。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

4-2-5. 初修外国語（1・2年次）の履修の方法と注意

(1) 初修外国語学習に関する全般的注意

英語以外の外国語は、ほとんどの学生にとっては大学に入ってはじめて学ぶ言語なので、初修外国語^{*}と呼ばれています。そのため、まったく基礎の基礎から学んでいくことになります。まずは発音からはじまり、文字や綴りを覚え、基礎的な文法や簡単な会話などから入っていくことになるでしょう。そして、引き続きその基礎知識を応用して、より高度な文法や読解や会話を習得していくことになります。ですから教科書もはじめは初学者向けの簡単な文章からはじまります。

授業の到達度は、それぞれの外国語によって多少の相違はあるでしょうが、英語にたとえるなら、中学校3年間で学習した程度の実力をつけることが1年次での目標となります。具体的には、1年間で、辞書を片手にやさしい文章が読めて理解できるレベルです。

また、どんな科目でもそうですが、とりわけ外国語は、教室外での地道な学習なくして実力は身に付きません。教室外での努力及び自主的・積極的な学習を欠かさないでください。

(2) 初修外国語ガイダンス:4月3日(木), 4日(金), 8日(火), 9日(水) 共12番講義室

共通教育新入生ガイダンスの日とオリエンテーションの期間中の三日間に「初修外国語ガイダンス」を開催します。ガイダンスでは、全体的な説明(初修外国語^{*}の履修・学習について、受講の仕方)の他、各言語の担当教員によるその言語や文化の魅力の紹介もあります。直接教員と話をしたり、質問をしたり、ということもできるので、気軽に参加して質問をしてください。学部ガイダンスと重複しない時間に実施します。

(3) どのように履修するか

人文学部	中国語、ドイツ語、フランス語、ハングル、スペイン語の5言語から 1言語を選択必修
人文学部以外	中国語、ドイツ語、フランス語、ハングル、スペイン語の5言語を履修可能

※初修外国語^{*}の単位を修得した場合(人文学部の場合は必要最低単位数を超えて修得した場合)、学部・学科等の定めるところにより、一定単位数を教養系の単位数に算入することが可能です。詳細は、学部・学科等の学生便覧または履修要件表(4～26頁)を確認してください。

選択必修とは別に初修外国語^{*}を履修する際には、前期と後期にそれぞれ以下のような組み合わせで受講することを推奨します。(他の組み合わせについては、初修外国語ガイダンスで質問してください。)

- ・週1回受講の場合:「**語初級(総合)」クラス
- ・週2回セット受講の場合:「**語初級(文法)」+「**語初級(読解・会話)」

なお上記の5言語と並行して、初修外国語担当教員による教養系または基盤系(現代社会論)の授業(講義)「**の文化」「**語圏の文化」を開設しています。言語の背景となる文化を知ることにより、言語学習と異文化理解力を融合させた学びが可能になりますので、併せて受講することを勧めます。詳細や疑問な点は、初修外国語ガイダンスで気軽に尋ねてください。

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

回数/週 組合せ	受講組合せモデル	
	初修外国語	教養系または 基盤系(現代社会論)(講義)
週1回受講の場合	「**語初級(総合)」クラス	「**の文化」
週2回セット受講の場合	「**語初級(文法)」 +「**語初級(読解・会話)」	あるいは「**語圏の文化」

(4) クラス分け

人文学部1年次対象の授業については、どの言語も月曜日3限と水曜日1限のセット受講になります。月曜日3限と水曜日1限の授業で複数クラスが開講されている言語のクラス分けは、以下のようになります。

中国語: 学籍番号の末尾の数字で以下のように分かります。

月曜日3限: 奇数は陳先生のクラス、偶数は中島先生のクラス

水曜日1限: 奇数は伊藤先生のクラス、偶数は李先生のクラス

(再履修生や人文学部以外の受講希望者は、担当教員に相談してください。)

ドイツ語: 4月14日(月)の初回授業時に52番講義室に集まってください。

(ドイツ語の月曜日3限と水曜日1限の授業は、人文学部生のみが対象です。)

フランス語: 4月14日(月)の初回授業時に43番講義室に集まってください。

(月曜3限と水曜1限の授業はセットですので、人文学部生以外で、月3限の「読解・会話」のみを受講する人は、自分で文法を勉強する必要があります。)

- ・これ以外ではクラス分けを行いませんので、シラバスの内容を確認し希望するクラスを受講してください。
- ・授業前には、必ずそれぞれの授業のeALPS^{*}サイトを確認してください。
- ・4月3日(木)、4日(金)、8日(火)、9日(水)に開催する初修外国語ガイダンスでは、受講の仕方を含めた説明を行いますので、履修する際の参考にしてください。

(5) 再履修について

単位修得できなかった授業は、翌年度再履修してください。再履修を希望する学生は初回の授業時に、再履修を希望するクラスの担当教員に必ず申し出て履修してください。なお、人文学部の再履修については、人文学部学生向けに開講されているクラスのみが対象クラスとなります。

4-3. 教養系の履修の方法と注意

(1) 教養系の履修の方法に関する全般的な注意

教養系は31～34頁で説明したように、3つの区分に分かれており、計26科目が用意されています。それぞれの科目には複数の授業が用意されており、それぞれの授業で行う内容は副題で示されています。

各学部・学科等の履修要件に従って、区分や科目名に注意しながら履修する授業を選択してください。

(2) 演習形式の授業(「〇〇ゼミ」)の履修について

31頁で説明したように、教養系のうち演習形式の授業を必ず2単位履修する必要があります(必修[※])。演習形式の授業は、教養系のうち、副題が「〇〇ゼミ」となっている授業です。また、開設授業科目表(92～95頁)においても、演習形式であることが分かるように記載してあります。授業の性質上、演習形式の授業は原

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

則として1年次に履修してください(高年次生対象の授業を除く)。

なお、演習形式の授業は必修のため、履修抽選の際には未履修者が優先されます。

※演習形式の授業の単位を履修したうえで修得できなかった場合は、各学部・学科等により対応が異なりますので、所属学部・学科等の担任教員または学務窓口にご相談ください。

(3)「環境・健康」の区分のうち「環境科学」の履修について

「環境・健康」の区分のうち、「環境科学」(2単位)は全学部の学生が修得しなければなりません(必修)。

また、「環境科学」には、講義形式の授業と演習形式の授業がありますが、どちらでも必修としての「環境科学」2単位を満たすことができます。演習形式の「環境科学」の単位を修得した場合は、31頁で述べた教養系に係る2つの履修要件(「①「環境・健康」のうち、「環境科学」(2単位)を必ず修得すること。【必修】」, 「②演習形式の授業(「〇〇ゼミ」という名前の授業)(2単位)を必ず履修すること。【必修】」)を両方満たすことになります。

なお、「環境科学」(2単位)の授業は必修のため、履修抽選の際には未履修者が優先されます。

(4)「環境・健康」の区分のうち「キャンパススポーツ実習」、「アウトドアスポーツ実習」の履修について

「キャンパススポーツ実習」および「アウトドアスポーツ実習」は履修登録方法が他の科目と異なります。履修希望者は54頁を必ず確認してください。

(5)「環境・健康」の区分のうち「高年次スポーツ実習」の履修について

「高年次スポーツ実習」は、高年次生(2年生以上)を対象として開講されている科目です。前年度までに「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」のうち、指定された授業の単位を修得していることが履修するための条件となっています。条件については、シラバス^{*}を確認してください。

4-4. 専門基礎系の履修の方法と注意

4-4-1. 言語(2年次)の履修の方法と注意

専門基礎系のうち、2年次対象の英語については「4-2-4. 英語(1・2年次)の履修の方法と注意」を、2年次対象の初修外国語については「4-2-5. 初修外国語(1・2年次)の履修の方法と注意」を参照してください。

4-4-2. 基礎科学の履修の方法と注意

(1) 履修方法

基礎科学の履修方法は学部・学科等により異なりますので、各学部・学科等の履修指導に従ってください。学部・学科等でクラスが指定されますので、指定のクラスで受講してください。

なお、力学及び電磁気学については、高校における履修状況等を考慮し、一部の学生についてクラスの指定があります。対象となる学生が学部・学科から掲示等で指定されますので、指示に従って受講してください。

(2) 再履修について

単位修得できなかった授業は、翌年度以降に再履修してください。再履修の場合、クラス指定はありませんが、原則として自身の所属学部・学科等のクラスを履修してください(他学部対象のクラスを履修する場合は、所属学部の学務窓口を確認をとってください)。また、初回の授業時に、再履修を希望するクラスの担当教員に申し出て、許可を得てください。

なお、前期に開講する基礎科学の授業のうち、一部の授業については後期に再履修することが可能です。詳細は9月頃に掲示でお知らせします。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

4-5. e-Learningを用いた授業の履修案内

(1) e-Learningとは

情報通信技術(ICT)を利用した教育方法で、主にコンピューターとそのネットワークを利用して、通常の講義と同等の内容となる学習を進めたり、通常の授業を支援したりするためにICTが活用されています。信州大学では、「eALPS^{*}」と呼ばれるe-Learning^{*}システムを用意しています。

(2) オンライン授業の種類

EA授業を履修する場合は、自身がやる気を持って、自主的に学習を進めていく必要があります。

①同期型(リアルタイム型)オンライン授業

Zoom, Google Meet, SkypeなどのWeb会議システムを利用し、リアルタイムで授業を行う形式。

②非同期型(オンデマンド型)オンライン授業

動画・スライド・テキスト等のコンテンツをオンラインで公開し、学生がアクセスして学習する形式。

信州大学では基本的にeALPS^{*}を使用します。開講する曜日・時限は指定されていません。

(3) 【EA】授業(e-Learningを中心に)行う授業について

授業の副題に【EA】^{*}と記載されている授業は、すべてあるいは1, 2回のガイダンス、試験等を除いた授業をe-Learning^{*}で実施する授業です。

① 受講手続きと受講上の注意

通常の授業と同様にキャンパス情報システム^{*}（もしくは履修抽選システム）での履修登録が必要となります。受講上の注意事項等がシラバス^{*}に記載されていることがあるので、必ずシラバス^{*}を確認してください。

② 受講に必要な条件

・【EA】授業では、対象学生を指定しているものがあります。開設授業科目表の「対象学生」欄で確認してください。

・シラバス^{*}に、受講のための条件(スキルや環境など)が示されています。この条件をよく考慮して、受講してください。さらにコンピューターやそのネットワークに関する条件などは、授業担当教員からの案内に加えて、信州大学のACSU^{*}にログイン後に表示されるeALPSヘルプに記載してある事項も参考にしてください。(英語等の一部授業では申込期限があるので、シラバス^{*}をよく確認してください。)

③ e-Learning授業の卒業に必要な単位数への算入制限

e-Learning^{*}で実施される【EA】授業は、遠隔授業科目であり取得できる単位数の上限は共通教育科目と専門科目あわせて60単位です。学部により例外がありますので、所属学部の学務窓口を確認してください。(詳細は80頁「卒業に必要な所定の単位数への「遠隔授業科目」の算入について」も参照。)

(4) 通常授業でのeALPSの利用について

【EA】ではない通常の授業でも、課題の提出や資料配布などをeALPS^{*}上で行うことが多いです。担当教員の指示に従うとともに、eALPS^{*}はこまめに確認するようにしてください。eALPS^{*}の利用については、234～236頁付録の『eALPS利用の手引き』を参照してください。

■eALPS^{*}の授業サイトを利用するためには、履修登録が必要です。

履修登録期間中に、各自でキャンパス情報システム^{*}から履修登録してください。

キャンパス情報システム^{*}で行われた履修登録の情報が、翌日以降eALPS^{*}の時間割画面に反映されます。

特に、英語や基礎科学等の必修授業については、教養系等の履修抽選エントリー前に履修登録をしておいてください。また、第1週からeALPS^{*}で課題が出される場合がありますので注意してください。

※ 基盤系(統計・科学史・現代社会論)及び教養系については、抽選エントリー期間及び追加募集エントリー期間に限り履修登録前に閲覧可能です。

※ それ以外にも、教員の依頼により、予めeALPS^{*}に登録されている授業もあります。

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

5 履修登録の方法 — 受講するための手続き —

授業を受講するための手続きは前期分を4月、後期分を9月中旬から10月に行います。受講手続きの大まかな流れは下記のとおりです。

それぞれの実施時期および方法は、詳細の記載されている頁を必ず確認してください。授業によって、履修登録方法およびスケジュールが異なるのでご注意ください。

やること	概要	詳細
①履修計画	・履修要件を確認する。（学部便覧，ガイダンス等） ・シラバス*で授業内容を確認する。 ・授業時間割表（学部別）（115～143頁）を使って時間割を作成する。	47頁
②学術リテラシーのエントリー	・希望する曜日・時限を選び，パソコンまたはスマートフォンでエントリーする。<u>※前期のみ</u>	48～49頁
③キャンパス情報システム*での履修登録 <u>※基盤系（データサイエンスリテラシー・健康・言語） 専門基礎系 専門科目・教職関係科目等</u>	パソコンまたはスマートフォンで当該学期に履修する全ての授業を履修登録する（学術リテラシー，基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系を除く）。	50頁
④履修抽選エントリー <u>※基盤系（統計，科学史，現代社会論） 教養系（スポーツ実習除く）</u>	・受講を希望する場合は履修抽選システム*にてエントリーをする。 ・定員を超えた場合には抽選となる。 ・当選の場合は自動的にキャンパス情報システムに履修登録される。	51～53頁
⑤追加募集エントリー <u>※基盤系（統計，科学史，現代社会論） 教養系（スポーツ実習除く）</u>	・初回抽選後，定員に空きがある授業を対象に，履修抽選システム*にて追加募集を行う。 ・エントリー期間に注意すること。 ・定員を超えた場合には抽選となる。 ・当選の場合は自動的にキャンパス情報システム*に履修登録される。	52～53頁
⑥履修登録の確認	・登録内容に誤りやもれがないか確認！ ・履修登録に不備があると，成績が付与されないことがあるのでしっかり確認する。	53頁

※教養系「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の履修希望者は54頁参照

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

5-1. 履修計画

共通教育新入生ガイダンス（4/3）終了後すぐに、次の手順に従って履修計画を立てましょう。

やること	概要	備考
①履修要件（卒業に必要な単位）の確認	「自分が所属する学部・学科等の履修要件」 「1年次に修得すべき単位」 「履修登録単位数の上限」* を以下の資料等で確認する。 ・「学部の便覧」 ・「学部のガイダンスでの説明や資料」 ・共通教育履修案内 4～26 頁「履修要件表」	前期に履修計画を作成する際には、後期に受講する授業も予め考えておく必要があります。 前期と後期で『1年次に修得しなければならない共通教育科目・専門科目の単位数』が修得できるように計画してください。
②授業内容の確認	シラバス*（授業内容の紹介）で授業内容の確認をする。特に「履修上の注意」をよく確認してください。	アクセス方法は214～217頁を参照
③クラス指定のある授業の確認	クラス指定のある授業は、決められたクラスを受講してください。クラスは掲示、キャンパス情報システム等でお知らせします。 全1年生必修の科目、「学術リテラシー」のクラス分け結果は4月9日（水）の朝までに掲示します。	
④時間割の作成	「授業時間割表（学部別）」（115～143頁）に受講を希望する授業を記入して時間割を作成する。 必要に応じて、以下を使用する。 「開設授業科目表」81～114頁 「授業時間割表（曜日別）」144～202頁	



「履修案内」や「便覧」は卒業まで必要になるので、大事に保管してください。

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

5-2. 学術リテラシーのエントリー（前期のみ）

「学術リテラシー」は全1年生に履修が義務付けられている科目で、次の頁で示したように、全24クラスが開講されます。履修するクラスは、学生の希望により決定します。履修を希望する曜日・時限を決め、(1)の説明をよく読んだ上でエントリーを行ってください。エントリーを行わないと、希望する曜日・時限のクラスを受講することができないので、忘れずに行うようにしてください。

(1) エントリー方法

エントリー期間中にパソコン又はスマートフォンなどから、エントリーサイトにアクセスしてください。自身の学部、学籍番号、氏名などを入力し、履修を希望する曜日・時限（次の頁を参照）を第1希望から第2希望まで選択したうえで、「送信」をクリック（タップ）してください。

【エントリー期間】4/3(木)9:00～ 4/7(月)まで

【エントリーサイト】<https://forms.gle/bemWR9g4cmWcpJ478>



PCで左のURLを入力するか、スマートフォン等で左のQRコードを読み取ってアクセスして下さい。

学籍番号を記入してください。*

※学籍番号は、4月3日にお渡ししたピンク色の紙（アカウント通知書）に書かれています。

22A1234A

氏名を記入してください。*

信大 太郎

電話番号を記入してください。

①学部、学籍番号、氏名などを記入してください（学籍番号の入力間違いに注意してください）。

②希望する曜日・時限を第1～第2希望までチェックを入れてください。
※第1～第2希望まで全てチェックを入れないとエントリーできません。

③全ての入力が終わったら、画面一番下の「送信」を押してください。

	月1	月2	火2	火3	水1	水2	木1	木2	金1
第1希望	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
第2希望	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

* 第1～第2希望を全て選択しないと、エントリーすることができません。

* 次頁の「学術リテラシークラス一覧」および115～143頁の「授業時間割表(学部別)」を参照の上、学部・学科等の必修科目(健康、英語、基礎科学、専門科目等)と同じ曜日・時限にはエントリーしないよう、注意してください。

* 期間中であれば、エントリーは何回でも行うことができます。間違えてしまった場合、希望する曜日・時限を変更する場合は、再度エントリーを行ってください。最後に送信されたエントリーのみを受理します。

(2) 抽選方法・結果の掲示

コンピューターによって抽選を行います。結果は4月9日(水)の朝までに公用掲示板に掲示します。科目の性質上、1つのクラスに特定の学部の学生が偏らないようにクラス分けを行います。

(3) 履修登録

抽選によって履修するクラスが決定した後は、自動的にキャンパス情報システム*に履修登録されますので、自分で登録する必要はありません。履修登録期間中に、履修を認められたクラスがキャンパス情報システム*に登録済みであることを、必ず自分で確認してください。なお、抽選により決定したクラスを変更することはできません。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

学術リテラシークラス一覧(全クラス前期開講)

令和7年度に開講する学術リテラシーのクラスは以下のとおりです。希望するクラスの曜日・時限を前の頁に記載したエントリー方法に従ってエントリーしてください。

初回授業は、主担当教員ごとに同じ日に同じ教室で行います。赤枠で囲った部分を確認してください。2回目の授業から開講日が異なります。自身が所属するクラスの時間割コードおよび下表の開講日欄と「共通教育 学年暦」(表紙裏)の日付枠内の数字を確認し、間違えずに出席してください。

※学部・学科等の必修科目と重複しないようにエントリーをしてください。

曜日・時限	時間割コード	開講日 ※学年暦も参照してください	主担当教員	教員の所属	講義室	初回授業日 初回講義室
月 1	G0A10025	月1, 月3, 月5, 月7, 月9, 月11, 月13, 月15	高野 嘉寿彦	(G)	共37講	4/14
	G0A10026	月1, 月2, 月4, 月6, 月8, 月10, 月12, 月14				共13講
	G0A10037	月1, 月3, 月5, 月7, 月9, 月11, 月13, 月15	太田家 健佑	(G)	共28講	4/14
	G0A10038	月1, 月2, 月4, 月6, 月8, 月10, 月12, 月14				共20講
月 2	G0A10003	月1, 月3, 月5, 月7, 月9, 月11, 月13, 月15	関 良徳	(E)	共28講	4/14
	G0A10004	月1, 月2, 月4, 月6, 月8, 月10, 月12, 月14				共12講
	G0A10011	月1, 月3, 月5, 月7, 月9, 月11, 月13, 月15	中島 岳郎	(M)	共37講	4/14
	G0A10012	月1, 月2, 月4, 月6, 月8, 月10, 月12, 月14				共20講
	G0A10027	月1, 月3, 月5, 月7, 月9, 月11, 月13, 月15	鈴木 球子	(G)	共47講	4/14
	G0A10028	月1, 月2, 月4, 月6, 月8, 月10, 月12, 月14				共42講
火 1	G0A10029	火1, 火3, 火5, 火7, 火9, 火11, 火13, 火15	杉本 光公	(G)	共37講	4/15
	G0A10030	火1, 火2, 火4, 火6, 火8, 火10, 火12, 火14				共12講
火 2	G0A10013	火1, 火3, 火5, 火7, 火9, 火11, 火13, 火15	松岡 浩仁	(T)	共28講	4/15
	G0A10014	火1, 火2, 火4, 火6, 火8, 火10, 火12, 火14				共47講
火 3	G0A10043	火1, 火3, 火5, 火7, 火9, 火11, 火13, 火15	今津 道夫	(G)	共47講	4/15
	G0A10044	火1, 火2, 火4, 火6, 火8, 火10, 火12, 火14				共47講
水 1	G0A10033	水1, 水3, 水5, 水7, 水9, 水11, 水13, 水15	岩井 恵利奈	(G)	共47講	4/16
	G0A10034	水1, 水2, 水4, 水6, 水8, 水10, 水12, 水14				共47講
水 2	G0A10041	水1, 水3, 水5, 水7, 水9, 水11, 水13, 水15	山崎 真照	(G)	共47講	4/16
	G0A10042	水1, 水2, 水4, 水6, 水8, 水10, 水12, 水14				共13講
	G0A10031	水1, 水3, 水5, 水7, 水9, 水11, 水13, 水15	松宮 慎治	(G)	共37講	4/16
	G0A10032	水1, 水2, 水4, 水6, 水8, 水10, 水12, 水14				共61講
木 1	G0A10023	木1, 木3, 木5, 木7, 木9, 木11, 木13, 木15	小池 洋平	(G)	共28講	4/10
	G0A10024	木1, 木2, 木4, 木6, 木8, 木10, 木12, 木14				共61講
	G0A10039	木1, 木3, 木5, 木7, 木9, 木11, 木13, 木15	藤井 善章	(G)	共37講	4/10
	G0A10040	木1, 木2, 木4, 木6, 木8, 木10, 木12, 木14				共71講
	G0A10045	木1, 木3, 木5, 木7, 木9, 木11, 木13, 木15	勝木 明夫	(G)	共47講	4/10
	G0A10046	木1, 木2, 木4, 木6, 木8, 木10, 木12, 木14				共47講
木 2	G0A10001	木1, 木3, 木5, 木7, 木9, 木11, 木13, 木15	今井 章	(L)	共28講	4/10
	G0A10002	木1, 木2, 木4, 木6, 木8, 木10, 木12, 木14				共28講
	G0A10015	木1, 木3, 木5, 木7, 木9, 木11, 木13, 木15	濱野 光市	(A特)	共37講	4/10
	G0A10016	木1, 木2, 木4, 木6, 木8, 木10, 木12, 木14				共37講
	G0A10017	木1, 木3, 木5, 木7, 木9, 木11, 木13, 木15	本吉谷 二郎	(非)	共47講	4/10
	G0A10018	木1, 木2, 木4, 木6, 木8, 木10, 木12, 木14				共47講
金 1	G0A10005	金1, 金3, 金5, 金7, 金9, 金11, 金13, 金15	小林 比出代	(E)	共28講	4/11
	G0A10006	金1, 金2, 金4, 金6, 金8, 金10, 金12, 金14				共12講
	G0A10019	金1, 金3, 金5, 金7, 金9, 金11, 金13, 金15	平井 佑樹	(G)	共37講	4/11
	G0A10020	金1, 金2, 金4, 金6, 金8, 金10, 金12, 金14				共61講
	G0A10035	金1, 金3, 金5, 金7, 金9, 金11, 金13, 金15	永井 康史	(G)	共47講	4/11
	G0A10036	金1, 金2, 金4, 金6, 金8, 金10, 金12, 金14				共71講
金 2	G0A10007	金1, 金3, 金5, 金7, 金9, 金11, 金13, 金15	六浦 光一	(J非)	共28講	4/11
	G0A10008	金1, 金2, 金4, 金6, 金8, 金10, 金12, 金14				共13講
	G0A10009	金1, 金3, 金5, 金7, 金9, 金11, 金13, 金15	関 有沙	(S非)	共37講	4/11
	G0A10010	金1, 金2, 金4, 金6, 金8, 金10, 金12, 金14				共42講
	G0A10021	金1, 金3, 金5, 金7, 金9, 金11, 金13, 金15	小山 茂喜	(G特)	共47講	4/11
	G0A10022	金1, 金2, 金4, 金6, 金8, 金10, 金12, 金14				共47講

※「教員の所属」欄の記号

L: 人文科学系 E: 教育学系 J: 社会科学系 S: 理学系 M: 医学系 H: 保健学系 T: 工学系 A: 農学系 F: 繊維学系 G: 総合人間科学系
特: 特任教員 非: 非常勤講師

5-3. キャンパス情報システムでの履修登録

キャンパス情報システム* (パソコンやスマートフォンでアクセス可能) から以下のスケジュールで履修登録を行います。登録方法の詳細は226～229頁付録『Webによる履修登録・成績確認』操作手引書を参照してください。履修の登録を怠ると、試験の受験資格が認められないため、単位の修得ができません。

前期 履修登録期間 令和7年4月 3日(木)～ 4月22日(火)

後期 履修登録期間 令和7年9月17日(水)～10月13日(月)

※「学術リテラシー」、「基盤系(統計・科学史・現代社会論)」および「教養系」については、キャンパス情報システム*での履修登録ではなく、別の方法により履修登録を行いますので注意してください。

「学術リテラシー」のエントリー	48～49 頁
「基盤系(統計・科学史・現代社会論)」および「教養系」の初回授業・抽選エントリー	51～53 頁
「キャンパススポーツ実習」および「アウトドアスポーツ実習」のエントリー	54 頁

※2年次以上(医学科は3年次以上)の学生は、所属学部で定める期間となります。詳細は所属学部の学務窓口におたずねください。

ただし、「基盤系(統計・科学史・現代社会論)」および「教養系」の履修登録期間および方法は全学年統一です(51～53 頁参照)。

▼履修登録を行う際の注意事項

- 副題が同じ授業が複数ある場合、時間割コードを間違えないようにしてください。
- 授業時間割は変更がなされることがあるので公用掲示板を必ず確認してください。
- 集中講義の履修登録は前期開講の集中講義については4月の履修登録期間中に、後期開講の集中講義については9月中旬から10月の履修登録期間中に、「その他」の欄に登録してください。
ただし、教養系の集中講義については、授業によって履修登録方法が異なります。詳細は公用掲示板で確認してください。
- 「履修登録上限単位」*を超えないようにしてください。
- 教職1単位科目など同一時限に2科目登録する場合は、前半の科目を当該曜日・時限に、後半の科目を「その他」の欄に登録してください。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

5-4. 基盤系(統計・科学史・現代社会論)および教養系の初回授業・抽選エントリー

「基盤系(統計・科学史・現代社会論)」および「教養系(スポーツ実習を除く)」については、履修希望者数を見込むことができないため、抽選で履修者を決定します。そのため、初回授業の実施方法と履修登録方法が他の授業とは異なります。初回授業の実施方法については(1)を、履修登録方法(抽選エントリー)については(2)を確認してください。

(1) 基盤系(統計・科学史・現代社会論)および教養系(スポーツ実習を除く)の初回授業について

基盤系(統計・科学史・現代社会論)および教養系(スポーツ実習を除く)の初回授業は、前期と後期とで実施方法が異なります。それぞれについて説明します。

◎前期の初回授業の実施方法について(非同期型オンライン および 二部制(対面))

初回授業(4/10～16)は、講義室に希望者が集中することを防ぐため、①eALPS*による非同期型オンラインおよび②二部制(対面)で行います。初回授業は①、②のいずれかの方法で受講してください。

①eALPS による非同期型オンライン

初回授業日の前日までに、eALPS*に初回授業(動画、PDF 資料等、形式は授業によって異なります)を掲載します。eALPS*を開き、希望する授業を検索、アクセスのうえ、初回授業を受講してください。

※eALPS*の利用方法については、234～236頁を確認してください。

②二部制(対面)

通常、授業は90分で行われますが、初回授業は混雑を避けるため二部制(40分×2セット)で行います。第一部・第二部ともに同じ内容であり、どちらを受講しても構いません。ただし、教室の定員を超える受講者が集まった場合は入室制限を行います。第一部・第二部どちらも教室に入らなかった場合は、①の方法(eALPS*による非同期型オンライン)で受講してください。

二部制のスケジュールは、以下の表のとおりです。

	第一部(前半40分)	移動時間(10分)	第二部(後半40分)
1時限	9:00～9:40	9:40～9:50	9:50～10:30
2時限	10:40～11:20	11:20～11:30	11:30～12:10
3時限	13:00～13:40	13:40～13:50	13:50～14:30
4時限	14:40～15:20	15:20～15:30	15:30～16:10
5時限	16:20～17:00	17:00～17:10	17:10～17:50

※オンラインで実施する授業については初回授業も原則としてオンラインで実施します。詳細は各授業のシラバスおよびeALPS*を確認してください。

※「集中講義」は授業によって初回授業日が異なりますので、シラバス*および公用掲示板で確認してください。

◎後期の初回授業の実施方法について

後期は初回授業実施前に抽選で履修者を決定します。そのため、後期の初回授業は履修者が決定した状態で実施します。

抽選の日程は53頁を確認してください。前期と時期が異なりますので注意してください。

シラバス及びeALPS*で各授業の概要を確認してください(eALPS*には何も記載がない場合もあります)。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

(2) 「履修抽選システム」へのエントリー

基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系（スポーツ実習を除く）は、抽選で履修者を決定します。「履修抽選システム」へのエントリーが必要です。なお、前期と後期とで実施時期が異なりますので、それぞれについて説明します。

◎前期

初回授業を受講後、履修登録したい場合は「履修抽選システム」でエントリーします。

- ・エントリー期間は初回授業日当日です（詳細は後述のスケジュールを参照してください）。
- ・一部の授業では、エントリーに必要なパスワードを設定しています。パスワードは初回授業（非同期型オンラインおよび二部制）においてお知らせします。

◎後期

シラバス及び eALPS^{*}で各授業の概要を確認してください（eALPS^{*}には何も記載がない場合もあります）。履修登録したい場合は「履修抽選システム」でエントリーします。

- ・エントリー期間は初回授業日の約 1 週間前です（詳細は後述のスケジュールを参照してください）。
- ・一部の授業では、エントリーに必要なパスワードを設定しています。パスワードは eALPS^{*}の資料においてお知らせします。

◎共通事項

- ・「集中講義」および「非同期型オンライン」（開講時間割が「集中不定」となっている授業）の「履修抽選システム」へのエントリーは掲示で別途指示がある場合を除き、**指定した曜日の授業と同日（前期：水曜日授業、後期：金曜日授業）に行います**ので注意してください。
- ・抽選結果は、大学が付与したメールアドレス（…@shinshu-u.ac.jp）に送られます。当選した授業は自動的に履修登録が行われるので、自身での履修登録は不要です。残念ながら落選した場合は、別の曜日の授業にエントリーする、追加募集している授業にエントリーする等、履修計画の見直しを行ってください。

(3) 追加募集について

抽選エントリー期間後に定員に達していない授業は、「履修抽選システム」で追加募集を行います。追加募集のエントリー期間を間違えないよう注意してください。

なお、追加募集の科目は、対象科目が決まり次第、曜日ごとに公用掲示板及びキャンパス情報システムの「大学からのお知らせ」に掲載します。

▼抽選エントリーの注意事項

- 授業の性質や教室の定員に基づき、授業ごとに定員を設定しています。定員を超えた場合の抽選は基本的に無作為で実施します。人気の授業に複数エントリーした場合はすべて落選することもあります。
- 抽選エントリー前に、データサイエンスリテラシーや言語（英語）等の必修授業の履修登録を行ってください。必修授業と重複がないよう、自分の履修計画を十分検討・確認したうえでエントリーしてください。
- 抽選で当選した授業は必ず履修してください。勝手な理由での履修放棄・変更は認められません。
- 抽選エントリーのスケジュールは、後述の「基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系の抽選エントリーのスケジュール」を確認してください。
- 抽選のエントリー画面では、その時点のエントリー数が確認できますので、参考にしてください。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

基盤系(統計・科学史・現代社会論)および教養系の抽選エントリーのスケジュール

前 期						
対象授業	募集(第1週目)			追加募集(第2週目:空きがある授業のみ)		
	エントリー期間	結果発表日	エントリー期間	結果発表日		
木曜日授業	4/10(木)	0:00 ~ 23:59	4/11(金)	0:00 ~ 15:00	4/16(水)	4/16(水) 16:00~4/17(木)
金曜日授業	4/11(金)		4/14(月)		4/17(木)	4/17(木) 16:00~4/18(金)
月曜日授業	4/14(月)		4/15(火)		4/18(金)	4/18(金) 16:00~4/21(月)
火曜日授業	4/15(火)		4/16(水)		4/21(月)	4/21(月) 16:00~4/22(火)
水曜日授業	4/16(水)		4/17(木)		4/22(火)	4/22(火) 16:00~4/23(水)
非同期型オンライン 集中授業	4/16(水)		4/17(木)		4/22(火)	4/22(火) 16:00~4/23(水)

後 期						
対象授業	募集(9/19(金)~9/26(金))			追加募集(9/26(金)~10/2(木):空きがある授業のみ)		
	エントリー期間	結果発表日	エントリー期間	結果発表日		
月曜日授業	9/19(金)	0:00 ~ 23:59	9/22(月)	0:00 ~ 15:00	9/26(金)	9/26(金) 16:00~9/29(月)
火曜日授業	9/22(月)		9/24(水)		9/29(月)	9/29(月) 16:00~9/30(火)
水曜日授業	9/24(水)		9/25(木)		9/30(火)	9/30(火) 16:00~10/1(水)
木曜日授業	9/25(木)		9/26(金)		10/1(水)	10/1(水) 16:00~10/2(木)
金曜日授業	9/26(金)		9/29(月)		10/2(木)	10/2(木) 16:00~10/3(金)
非同期型オンライン 集中授業	9/26(金)		9/29(月)		10/2(木)	10/2(木) 16:00~10/3(金)

5-5. 履修登録の確認

履修登録確認・訂正期間に登録内容を再確認して、受講しているすべての授業について科目区分、時間割コード、授業科目名、副題、教員名、曜日・時限に誤りがないか、また登録漏れがないかを、各自下記の方法で確認してください。

共通教育窓口にある「証明書発行機」で
「履修登録確認表」を印刷して確認。

「キャンパス情報システム^{*}」にログインして、履修登録を確認。



訂正の必要がある場合は、必ず下記期間中にキャンパス情報システム^{*}で各自行ってください。

前期 履修登録確認・訂正期間 令和7年 4月24日(木) ~ 4月29日(火)

後期 履修登録確認・訂正期間 令和7年10月15日(水) ~ 10月21日(火)

※2年次以上(医学科は3年次以上)の学生は、所属学部で定める期間となります。詳細は所属学部の学務窓口におたずねください。

この確認を怠って登録誤りや登録漏れ、履修登録単位数の上限^{*}を超えて履修登録が行われていた場合は、成績評価が出ず、単位の修得や進級に支障をきたすので注意してください。

※自分自身のために必要な手続きです。自分に不利をきたすことのないように責任を持ちましょう。

^{*}...冊子巻末付録『用語解説』参照

「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」のエントリーについて

① エントリー方法

「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の履修希望者は、エントリー期間中にパソコン又はスマートフォンなどから希望種目にエントリーしてください。エントリーを行わない場合は「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」を履修することができません。エントリー方法・期間については、232～233頁付録に詳しく記載されているので確認してください。

【エントリー】4/3（木）～ 4/8（火）15：00まで 抽選日：4/8（火）16：00以降

*** 抽選は前期・後期を同時に行いますので、後期種目の履修希望者も、必ず上記期間にエントリーしてください。**

* 原則として、前期・後期を通じて、1種目履修することができます。

* 履修可能な種目に最低でも3種目以上エントリーするようにしてください。（5種目までエントリーできます。）

* 「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」が必修である教育学部生については、一定の優先枠が設けられています。

* 人文・理・工・農・繊維学部生の内、教員免許取得希望者は、「キャンパススポーツ実習」または「アウトドアスポーツ実習」の単位の修得が必須です。詳細については、教職ガイダンスにてお知らせします。

② 抽選方法

コンピューターによって自動的に抽選が行われ、結果はメール送信されます。

※4/3（木）に配付された「信州大学 学生氏名等確認／アカウント通知書」に記載のメールアドレス宛に結果が送信されます。

③ 履修登録

抽選によって履修が認められた場合、自動的にキャンパス情報システム*に履修登録されますので、自分で登録する必要はありません。履修登録期間中に、履修を認められた種目がキャンパス情報システム*に登録済みであることを、必ず自分で確認してください。（後期の種目については、後期の履修登録期間中に確認をしてください。）

なお、**抽選で当選した種目は必ず履修してください。取消は原則認められません。**当選した種目を取消した場合は、当該年度の「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の履修を認めません。

④ 追加募集

「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の開講種目のうち、定員に満たない種目がある場合、追加で履修希望者を募集します。この場合の募集は、公用掲示板でお知らせするので注意してください。

★高年次生のうち、すでに「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の単位を修得している学生は、エントリーすることはできません。履修を希望する場合は、④の追加募集に応募してください。

★教養系の「環境・健康」のうち、「高年次スポーツ実習」は高年次生対象の授業です。

エントリーは不要で、通常の履修登録期間中にキャンパス情報システム*から履修登録してください。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

6 履修取消について

履修登録した授業の内容が、みなさんの見込みと違った場合、あるいは何らかの理由により受講が出来なくなった場合など、その授業の履修登録を取り消すことができます。

6-1. 履修取消期間

以下の期間中に所定のWebサイトから申請を行ってください(詳細は掲示でお知らせします)。なお、演習・実習形式の授業および専門科目の履修登録を取り消す場合は、事前に授業担当教員の許可が必要です。また、この期間中に新たに授業を受けて履修登録を追加することはできません。

	履修登録取消期間
前期	4月30日(水)～ 5月30日(金)
後期	10月22日(水)～11月28日(金)
※1 長期休業中に行われる集中授業については、 <u>授業開始日の1ヶ月前を申請期限</u> とします。ただし、経費がかかる授業については、経費の全てを返納できない場合があります。 ※2 学期の前半または後半のみで終了する授業については、授業回数の半分以上が終了した日を申請期限とします。 ※3 通年で実施される授業は、後期に取り消すことはできません。 ※4 「※1」、「※2」、「※3」について、各学部開講の専門科目については取り扱いが異なることがあるため、履修取消を希望する場合は早めに各学部の学務窓口を確認してください。 ※5 2年次以上の学生は、所属学部で定める期間・方法となります。詳細は所属学部の学務窓口におたずねください。 ※6 抽選によって当選した授業については、落選した学生がいることも考慮し、取消をせずに最後まで履修するように心掛けてください。また、スポーツ実習の取消については、54頁もあわせて参照してください。	

6-2. 履修取消した授業の扱い

履修取消した授業科目は、履修登録上限単位数^{*}に含まれますが、GPA^{*}には算入されません。キャンパス情報システム「履修・成績」で「登録取消」と表示されていることを確認してください。なお、eALPS^{*}の登録は、前期は6月上旬、後期は12月上旬に削除します。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

7 出席・欠席について

7-1. QRコード読み取りによる着席登録

QRコードとACSU認証を利用して、皆さんの授業への出席を確認します。着席時に、自身が着席する机のQRコードをスキャンして着席登録を済ませてください。

※着席登録時間は【授業開始10分前から授業終了時間まで】です。それ以外の時間に行っても、出席確認システムには反映されませんので注意してください。なお、授業開始時間後に打刻した場合の取り扱いは授業によって異なります。詳細はシラバス等を確認してください。

※スマートフォン、タブレット等、QRコードを読み取れる端末を忘れた場合や持っていない場合は、授業担当教員に申し出て指示に従ってください。

※出席していないにもかかわらず授業に出席しているかのように着席登録を行った場合、不正行為として懲戒の対象となる可能性があります。

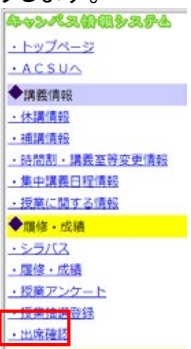
①スマートフォン等のブラウザから https://qr-tsc.shinshu-u.ac.jp/qr/ にアクセスしてください。こちらが本学の出席確認システムに対応した専用サイトです(右のQRコードからもアクセス可能です)。 ※このサイトをブックマーク(お気に入り)に入れておくとう便利です。 ※このサイトはACSUのクイックリンクからもアクセス可能です。	
②アクセスすると、ACSUログイン画面が表示されるので、ログインIDとパスワードを入力の上、「ログイン」をタップしてください。既にログイン済の場合は自動で③に進みます。	
③[QR読み取り]ボタンをタップしてください。	
④QRコードリーダーが起動します。出席確認用のQRコードを読み取ってください。 ※出席確認用ではないQRコードを読み取ると「不正なQRコードです」というメッセージが表示されます。	
⑤打刻履歴に日時が記録されたら、登録完了。失敗した場合は手順③からやり直してください。 ※「通信に失敗しました」というエラー画面が表示される場合は、端末がネットワークに繋がっていない可能性があります。学内のWi-Fiまたはモバイル回線が正常に繋がっているかを確認してください。	

自身の出席状況は、キャンパス情報システムで確認することができます。

※出席は当該授業時間終了後に反映されます。(反映までしばらくかかる場合があります。)

※履修登録済みの授業のみ表示されます。

※「打刻履歴(打刻日時・講義室・座席)の検索」をクリックすると、過去の打刻履歴を確認することができます。

①ACSUにログインし、「キャンパス情報システム」をクリックする。 シラバス・キャンパス情報・出席確認 	②「出席確認」をクリックします。 	③各授業の出席状況が確認できます。 
---	---	---

7-2. 欠席について

学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とします。ただし、「信州大学における授業の出席に関する要項」に規定する事由により授業に出席できない場合は、当該授業について学修の補充を受けるための申出を行うことができます。

(1) 欠席による学修の補充について

信州大学では、「信州大学における授業の出席に関する要項」(77頁)第4条第1項の事由に該当する場合、当該授業について学修の補充を受けるための申出を行うことができると規定しています。

対象となる事由・必要書類等については、77頁を確認してください。

※部活・サークル活動や就職活動等は、「学修の補充の対象とする事由」に該当しません。

これらの事由に該当する場合、共通教育科目については、以下の方法で申し出てください。専門科目の手続き方法については、所属学部の学務窓口へお問い合わせください。

- ① 登録フォームで必要事項の入力と必要書類のアップロード(画像)を行ってください。

【登録フォーム】:<https://forms.gle/KSfsAp5wCofuruv98>(右のQRコードからもアクセス可能)



- ② 入力内容・必要書類等を共通教育窓口から担当教員へ送付します。
- ③ 学生はグーグルフォームの入力が完了したら、自ら授業担当教員に連絡を取り、学修の補充について教員から指示を受けてください。授業担当教員への報告がない場合、学修の補充が受けられず、成績評価に影響することがあります。

※期末試験期間中の欠席の場合は、「追試験」制度があります。詳細は60頁を参照してください。

(2) 出席停止について

学生が新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の学校保健安全法施行規則第18条に規定する学校において予防すべき感染症にかかった又はかかった疑いがある場合は、感染症拡大防止のため、「信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項」(76頁)に基づき、「出席停止」となります。

感染症にかかった場合やその疑いがある場合(風邪症状等)は、感染症等報告システムにより、速やかに報告してください。出席停止と判断された場合は、その期間に行われた授業は欠席扱いとはしません。感染症報告システムから送信された出席停止期間が記載されているメールを授業担当教員に転送または印刷して提示することで、出席停止となったことを速やかに授業担当教員に報告し、出席停止期間中の授業の学修の補充について、教員から指示を受けてください。授業担当教員への報告がない場合、欠席扱いにはなりませんが、学修の補充が受けられず、成績評価に影響することがあります。手続の詳細は58～59頁を参照してください。

※欠席が続く場合、担任の先生から確認の連絡が入ることがあります。病気やけがによる入院等、長期に授業を欠席する場合は、早めに授業担当教員や担任の先生に連絡をしてください。

学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する感染症にかかった場合等の手続について

学生が新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症にかかった場合等においては、感染症拡大防止のため、「信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項」に基づき、「出席停止」となりますので、以下のとおり手続を行ってください。

※感染症に関する問合せ：総合健康安全センター

※授業に係る手続に関する問合せ：所属学部/学部の学務係、共通教育窓口

信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項	実際の手続
第 1 趣旨 この要項は、信州大学の学生が学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症（以下「感染症」という。）にかかった場合等の授業の出席の取扱いに関し、必要な事項を定める。	・学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症の詳細は、総合健康安全センターのウェブサイト以案内を掲載していますので、参照してください。 URL: https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/health/common/docs/common/restrictions.pdf
第 2 出席停止 1 学長は、感染症にかかった学生、かかっている疑いがある学生又はかかるおそれのある学生があるときは、授業への出席を停止させることができる。ただし、オンラインで実施する授業への出席について学生が申し出た場合は、これを妨げない。 2 出席停止の期間は、学校保健安全法施行規則第 19 条の規定を基準として、総合健康安全センター長が決定し、出席停止の理由とともに学生に通知する。	・感染症にかかった又はかかっている疑いがある場合は、ACSU にログインし、「【学生用】感染症等発生・消失報告」メニューから「発生報告」登録を行ってください。 ・登録が完了すると、感染症等報告システムから登録完了メール及び出席停止期間通知（始期）メールが送信されます。 ・登録内容について、総合健康安全センターから電話で聞き取りをする場合がありますので、必ず対応してください。
第 3 感染症にかかった場合等の申告 学生は、感染症にかかった場合又はかかっている疑いがある場合は、速やかにその旨を大学に申告しなければならない。	・症状が消失したら、再度、「【学生用】感染症等発生・消失報告」メニューから「症状消失」登録を行ってください。出席停止期間（終期）通知メールが送信されます。 ・感染症等報告システムから出席停止の旨をメールで通知された学生は、対面で行われる授業への出席が停止されます。 ・体調に支障がなく、オンラインで実施されている授業へ自宅からアクセス可能な場合は、出席しても構いません。 ・<u>出席停止期間中、入院していない場合は、自宅待機してください。感染拡大防止のためサークル活動やアルバイト等も行わないでください。</u>
第 4 出席停止期間中の授業の扱い 1 出席停止期間中の授業については、欠席扱いとしない。 2 出席停止期間が長期間にわたる場合の取扱いについては、その都度当該学生の所属部局及び学生が受講する授業の開講部局間で協議する。	※出席確認システムには出席停止期間は反映されません。
第 5 授業担当教員への情報共有 学生が出席停止となった場合は、当該学生が履修登録している授業の担当教員に情報共有する。	・学生が出席停止になると、教員が利用するキャンパス情報システムの受講者名簿に出席停止期間が表示されます。

第6 授業担当教員への報告 出席停止とされた学生は、第2第2項の通知を示して授業担当教員に出席停止を受けたことを報告する。	・感染症等報告システムから送信された出席停止期間が記載されているメールを授業担当教員に転送または印刷して提示することで、出席停止を受けたことを報告し、出席停止期間中の授業の学修の補充について、教員から指示を受けてください。 ・教員への報告は、状況に応じて、出席停止通知後または症状消失後速やかに行ってください。
第7 出席停止とされた学生への配慮義務 第6の報告を受けた授業担当教員は、当該学生に対し、レポートやe-Learningの活用等、当該授業の特性に合わせた方策により出席停止期間中の学修を補充する支援を行い、当該学生が履修上不利とならないように配慮しなければならない。	・学生から報告を受けた教員は、キャンパス情報システムの受講者名簿に記載されている出席停止期間が学生の申し出と一致するかを確認した上で、学生に対し、出席停止期間中の授業について、レポートやe-Learningの活用等の方策により学修を補充する支援を行います。
第8 試験の取扱い 出席停止期間中の試験の取扱いについては、当該授業科目を開講する部局の判断において、追試験の実施やレポート等に対応し、当該学生が履修上不利とならないように配慮する。	・当該授業の開講部局で追試験制度が定められている場合には、その手続きに従ってください。追試験制度が定められていない場合には、授業担当教員の指示に従ってください。
附 則 (略) 附 則 (令和4年11月16日令和4年度要項第5号) この要項は、令和5年4月1日から実施する。	

《感染症等発生・消失報告システムの利用手引》

ACSU ログイン後の画面に表示されるメニュー「【学生用】感染症等発生・消失報告」をクリックします。



※メニューの表示位置は変更となる場合があります。

●症状が発生した場合：

「発生報告」をクリックすると、発生報告の入力画面に移動します。各画面に表示される指示に従って、必要事項を入力してください。登録が完了すると、登録完了画面に注意事項が表示されるので、必ず確認してください。

●発生報告後、症状が無くなった場合：

「消失報告」をクリックすると、消失報告の入力画面に移動します。各画面に表示される指示に従って、必要事項を入力してください。登録が完了すると、登録完了画面に注意事項が表示されるので、必ず確認してください。



※画面に表示されるメッセージは変更される場合があります。

8 試験と成績について

8-1. 試験

学生は、自己責任のもと、通常授業・自主学習に対して真摯に取り組むことは当たり前であり、学期末等に行われる試験に対しても、真剣に臨まなければなりません。

(1) 期日と形態

試験は、成績評価のために行うもので、シラバス^{*}の授業計画によるほか、臨時に行う試験については講義時間内に授業担当教員によって指示されます。

(2) 追試験

① 共通教育科目の追試験は、期末試験期間中に、病気その他やむを得ない理由のため所定の期日に試験を受験できない学生を対象として、学生本人の申請に基づき、その事由を「真にやむを得ない事由」として認められる場合に限り、実施される試験制度です。

② 追試験を受けようとする学生は、

(1) 共通教育窓口へ連絡し、追試験の申請方法を確認してください。

(2) 当該授業の試験日の翌日(土曜日・日曜日・祝日をのぞく)から原則として3日以内に、共通教育窓口へ「共通教育科目追試験願」・「その事由を証明できる書類等」を提出しなければなりません。なお、入院・感染症等により窓口に来ることができない場合、事前にその旨を電話連絡の上、担当者の指示に従ってください。

(共通教育窓口取扱時間： 平日 8:30～17:15 TEL 0263-37-2978)

事 由	必要な証明書	備 考
病気・けが	医師の診断書	当該試験日に療養のため大学に来ることができないと判断できる日付・内容が記載されたもの ※58～59 頁の手続きを完了している場合、診断書は不要です。
近親者の葬儀出席	会葬御礼状等	2親等以内(父母、祖父母、兄弟等)の親族の死亡日から1週間以内
国体等への出場	県からの依頼状等	
自然災害	運休証明書等	

③ 追試験申請が認められた場合、学生本人が担当教員に連絡を取り、通常は当該試験日から2週間以内の教員が指定する日時・場所にて追試験を受験してください。2週間以内に受験できない場合は、担当教員と打ち合わせをし、できる限り早い日程で追試験を受験してください。

④ 追試験により合格した場合の成績評価は「良(B)」又は「可(C)」のみとなります。ただし、58～59頁の手続きを完了している場合及び自然災害を事由とするものを除きます。

※ 専門科目の追試験申請については、所属する学部の学務窓口を確認してください。

(3) 受験の心得

① 受験に際しては、カンニング等の不正行為^{*}は絶対に行わないこと。万一、不正行為^{*}が発覚した場合は、信州大学学則第65条により以下(※)のとおり懲戒処分(退学、停学、訓告)の対象となるので留意すること。

※ 試験時における不正行為^{*}は、学生としての本分に反する行為として信州大学学則等により、退学、停学(無期又は有期)又は訓告処分とし、不正行為^{*}を行った授業科目の単位を認定しないほか、当該学期の全履修科目の単位を不認定とする場合があります。その場合には、進級・卒業が1年延期されます。

② 受験態度は、厳正でなくてはならない。

③学生証なしでは試験を受けることはできないので、忘れないようくれぐれも注意すること。

1)学生証を汚損又は紛失した場合

- (a)速やかに共通教育第1講義棟南校舎1階学生総合支援センターに申請し再交付を受けておくこと。
- (b)再交付には2週間程度を要するので、再交付が試験日に間に合わない場合は次の「2)試験当日に学生証を忘れてきた場合」の手続きに準ずる。

2)試験当日に学生証を忘れてきた場合

- (a)試験開始前に、共通教育窓口申し出て、【学生情報票】の貸与を受けること。
- (b)【学生情報票】は、当日の試験が終了したら、その日のうちに本人が共通教育窓口に戻却すること。

④受験に際しては、学生証を必ず机の上に置くこと。

⑤試験開始から30分以内の退室、30分以後の入室は、監督教員の許可がない限り原則として認められない。

⑥試験中のトイレ等は、挙手のうえ監督教員の許可を得て静かに退室すること。

(トイレ等は休憩時間に済ませておくこと。)

⑦試験中は必ず監督教員の指示に従うこと。(従わない場合は、不正行為^{*}とみなします。)

⑧スマートフォン及びスマートウォッチ(通信機能や画像表示機能があるもの)等の利用(時計機能等)は認めません。(電源を切ってバッグにしまってください。)

学生の懲戒

学生としての本分に反する試験時における不正行為^{*}をはじめ学内秩序を乱す行為、犯罪行為、交通事故・違反は、信州大学学則第65条等により懲戒処分(退学、停学、訓告)の対象となります。

以下は、『試験等における不正行為の事例』です。その他の懲戒に関する詳細は、学部学生便覧等を参照してください。

本学が実施する試験等における不正行為の事例		単位認定の可否	
		当該科目	不正行為を行なった学期の科目
単位認定に係る試験時の行為	替え玉受験をすること及び替え玉受験を依頼すること。	認定しない	認定しない
	許可されていないノート又は参考書等を使用すること。		
	答案を交換すること。		
	他の受験者の答案を見ること又は他の受験者に答案を見せること。		
	試験監督者の注意又は指示に従わない場合で特に悪質と認められるもの。		
	その他不正な行為と認められること。		
単位認定に係るレポート(卒業論文等含む)の行為	他人の著作物を盗用すること。	認定しない	認定しないことができる
	実験や調査結果のデータを捏造又は偽造すること。		
	他人が書いたレポート並びに著作物を自分のものとして提出すること。		
他の学生に成り代わり授業に出席又は代返等の行為を行なった者並びに同行為を依頼した者。		認定しないことができる	特に悪質な場合認定しないことができる
授業の実施に係るその他不正な行為と認められること。			

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

8-2. 成績

(1) 成績評価の方法・基準

成績は定期試験の結果だけによるものではなく、「小テスト」、「レポート提出」、「履修状況」などを含めて総合的に評価されます。成績評価の方法および基準は、各授業のシラバス^{*}((5)成績評価の方法, (6)成績評価の基準)に明記されています。

	評語	評点	GP	評価の基準
合格	秀 (S)	90-100	4	授業の達成目標から見て卓越している
	優 (A)	80-89	3.33	授業の達成目標から見て合格水準のかなり上にある
	良 (B)	70-79	2.67	授業の達成目標から見て合格水準のやや上にある
	可 (C)	60-69	2	授業の達成目標から見て合格水準にある
不合格	不可 (D)	50-59	1	授業の達成目標から見て合格水準に少し足りない
	不可 (F)	0-49	0	授業の達成目標から見て合格水準に届いていない

※ある授業の成績について「不可」と評価された場合は、その単位を修得することができなかったことになります。その単位の修得を希望する者は、副題が同じ授業(または内容が重複するとして掲示等がされている授業)の再履修が必要です。

(2) 成績発表

キャンパス情報システム^{*}によってなされた履修登録をもとにして、成績が付与されます。成績は各自キャンパス情報システム^{*}で確認するか、共通教育窓口及び学生総合支援センターにある証明書発行機で成績通知書^{*}を印刷することによって確認できます。履修登録から成績の確認まで各自が責任をもって行いましょう。成績が付与されていない等の疑義がある場合は、次項(3)を読んだうえで手続きを行ってください。

※電話による成績の問い合わせには応じません。

共通教育科目の成績は、前期:9月1日(月)、後期:2月27日(金)からWebにて開示します。

* 専門科目の成績開示日は学部によって異なるので、公用掲示板で確認してください。

(3) 成績に関する疑義の取り扱いについて

《共通教育科目》の成績に疑義のある場合は、成績を開示した日から1週間以内(土日・祝日含む)に共通教育窓口で受け付けます。申請方法等、詳細は各学期の期末試験期間前に掲示でお知らせします。

該当の授業担当教員には、共通教育窓口から照会します。

《専門科目》の成績に疑義のある学生は、学部で定める方法で手続きを行ってください。詳細については、所属する学部の学務窓口を確認してください。

例年「授業に毎回出席しレポートも提出したのに、不可だった。」と疑義の申し出がありますが、大学の講義は特別な事情がない限り、毎回出席し、課されたレポート提出は評価の必須条件です。各教員はそれらを踏まえた上で、理解度等を厳格に評価しています。

(4) 進級

学部によっては1年次に規定の単位数を修得できなかった場合には、2年次に進級できません。

進級要件は各学部・学科等によって異なるので、修得単位数だけでなく進級要件(履修要件)を、各自が所属する学部の学生便覧やガイダンス等に注意して、よく理解してください。

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

9 GPA制度について

信州大学では、学生が適切に履修計画をたて、自主的、意欲的に学習することを促すとともに、適切な修学指導に資することを目的として、「GPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度」を導入しています。

このGPAは、世界の大学で広く用いられている学生の成績評価方法です。会社に就職する、大学院に進学する、海外の大学に留学するような場合に応募先での採否の判断となるものです。

教員は、GPAを活用することにより成績不振学生を早期に発見し、適切な指導に繋げることができます。

9-1. GPAについて

「GPA」とは、秀、優、良、可及び不可の5種の評語をもって表した成績の単位数に、それぞれの科目のGP(Grade Point)を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、GPの平均値(Average)です。評語と評点とGPの関係を以下に示します。

評語	評点	GP
秀(S)	90-100	4
優(A)	80-89	3.33
良(B)	70-79	2.67
可(C)	60-69	2
不可(D)	50-59	1
不可(F)	0-49	0

※各科目の単位修得には、「可」以上が必要です。

9-2. GPAの計算式について

$$\text{GPA} = \frac{[\text{履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGP}] \text{の合計}}{\text{履修登録した科目の単位数(不可(D・F)を含む, 履修取消した授業は除く)合計}}$$

【GPAの計算例】

授業の成績	GPの計算
科目 A(2単位)で B(良)	$2.67 \times 2 = 5.34$
科目 B(4単位)で A(優)	$3.33 \times 4 = 13.32$
科目 C(2単位)で D(不可)	$1.00 \times 2 = 2.00$
科目 D(4単位)で S(秀)	$4.00 \times 4 = 16.00$
科目 E(2単位)で F(不可)	$0 \times 2 = 0$

$$\begin{aligned} \text{GPA} &= (5.34 + 13.32 + 2.00 + 16.00 + 0) \div (2 + 4 + 2 + 4 + 2) \\ &= 36.66 \div 14 \\ &= 2.62 \end{aligned}$$

※小数第3位を四捨五入した数値を小数第2位まで表示し、その値をGPA値とします。

1. 履修登録した授業のうち、GPAの計算式に入らない授業があります。

- ① 成績を「合格」・「不合格」で評価する授業
 - ② 他大学等で単位修得し、本学が「認定」とした科目
 - ③ 学部で指定する科目(所属学部毎にお知らせします。)
- ※履修取消した授業科目は、GPA計算式から除外されます。

2. 「不可(D・F)」の科目を再履修して合格(単位修得)した場合、再履修前の「不可(D・F)」の成績はGPAの計算式に入りません。

- ・同じ副題の授業(または内容が重複するとして掲示等がされている授業)でなければ「再履修」にはなりません。
- ・「不可(D・F)」と成績評価された授業を、再び履修登録して合格した場合は、「可」以上(GP=2~4)の成績がGPAの計算式に入り、「不可」(GP=0, 1)の成績は合格した学期以降のGPA計算式から除外されます。なお、再履修して再び「不可(D・F)」と成績評価された場合も、再履修後のGP値に置き換わります。
- ・授業は来年度も同じものが開講されるとは限りませんので、再履修ができない場合もあります。「履修登録した授業は必ず合格する」という覚悟が必要です。

9-3. GPAの通知について

- ・学期毎に、キャンパス情報システム^{*}(Web)から、成績評価と、授業ごとのGP値及び学期毎・在学中の通算のGPA値が確認できます。
- ・学期毎及び在学中の通算GPA値を確認することで、学習成果の指標としましょう。例えば、1年次前期のGPA値が2.0以下であった場合、1年次後期や2年次以降の学習に支障をきたす可能性が高いので、1年次前期の内容を復習すると同時に後期の勉強の準備をしっかりしましょう。
- ・なお、GPA値は担任との面談でも利用されます。

【キャンパス情報システム^{*}(Web) 修得単位確認画面】

修得単位確認

学籍番号 14L9999X 氏名 信州 花子 所属 人文学部

科目区分	修得単位	履修単位	合計単位	GPA計算 単位数
共通科目	36	2	38	36
教養科目	22	0	22	22
環境科学群	4	0	4	4
人文科学群	6	0	6	6
社会科学群	6	0	6	6
自然科学群	4	0	4	4
芸術・スポーツ群	2	0	2	2
基礎科目	14	2	16	14
外国語科目	10	2	12	10
英語	6	2	8	6
中国語	4	0	4	4
健康科学科目	2	0	2	2
健康科学・理論と実践	2	0	2	2
新入生ゼミナール	2	0	2	2
専門科目	60	20	80	50
必修科目	4	0	4	4
選択科目(A)	16	0	16	22
選択必修(A)	8	0	8	8
選択科目(B)	22	8	30	24
選択必修(B)	10	2	12	10
自由科目	18	12	30	18
== 合計 ==	96	22	118	86
教職に関する科目	4	0	4	4

GPA(学期)

年度	前期			後期・通年		
	GPA	修得単位数	GPA計算単位数	GPA	修得単位数	GPA計算単位数
2014	3.45	22	22	3.17	26	26
2015	3.31	18	20	2.68	24	24
2016	2.50	10	16			

GPA(通算)

GPA	修得単位数	GPA計算単位数
3.15	96	86

※単位数は修得した授業の単純合計です。卒業要件は考慮されていないのでご注意ください。

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

【キャンパス情報システム*(Web)成績確認画面】

成績確認

学籍番号 14L9999X 氏名 信州 花子 所属 人文学部

履修年度 年度
 講義期間
 科目区分
 授業名 (授業名の一部で検索します)

GPA : 3.15

コード	授業名	教員名	年度	単位	評価	G P
【共通科目】						
【教養科目】						
－環境科学群－						
00003	N H Kビデオで学ぶ地球環境の歴史		2014	2	優	3.33
00119	環境とは何か？－環境倫理学入門－		2014	2	優	3.33
－人文科学群－						
01006	ブッダと大乗仏教の世界		2014	2	優	3.33
01007	哲学と政治Ⅱ：現代を見つめる		2014	2	良	2.67
01108	漱石「こころ」を読む		2014	2	良	2.67
－社会科学群－						
01201	民族学入門		2014	2	可	2
01209	考古学入門		2014	2	優	3.33
02409	経済指標の読み方		2014	2	良	2.67
－自然科学群－						
03001	臨床心理学の基礎を学ぶ		2015	2	可	2
03008	他者を知り、自分を知る心理学		2014	2	優	3.33
－芸術・スポーツ群－						
04215	弓道		2014	2	優	3.33
【基礎科目】						
－外国語科目－						
／英語／						
30002	F A E I (中級)		2014	1	良	2.67
30102	F A E II (中級)		2014	1	良	2.67
30301	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (中級)		2014	1	良	2.67
30600	リーディング・プラスⅠ		2014	1	良	2.67
31000	アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)		2015	2	可	2
31100	アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)		2015	2	不受講	-
31100	アカデミック・イングリッシュⅢ (上級)		2016	2	優	-
／中国語／						
34020	中国語初級 (文法)Ⅰ		2014	1	優	3.33
34030	中国語初級 (文法)Ⅱ		2014	1	良	2.67
34041	中国語初級 (読解・会話)Ⅰ		2014	1	良	2.67
34051	中国語初級 (読解・会話)Ⅱ		2014	1	良	2.67
－健康科学科目－						
／健康科学・理論と実践／						
40016	健康科学・理論と実践		2014	2	優	3.33
－新入生ゼミナール－						
61001	新入生ゼミナール		2014	2	優	3.33
【専門科目】						
【必修科目】						
LH001	人間情報学概論Ⅰ		2014	2	良	2.67
LH002	人間情報学概論Ⅱ		2014	2	良	2.67
【選択科目(A)】						
L0220100	社会学概論Ⅰ		2016	2	不可	1

L0310100	心理学概論Ⅰ	2016	2	不可	1
L0410100	日本史概論Ⅰ	2016	2	優	3.33
L0420100	世界史概論Ⅰ/Ⅱ	2016	2	不可	1
L0430100	世界史概論Ⅰ/Ⅱ	2016	2	可	2
LH026	心理学概論Ⅱ	2014	2	可	2
LH027	社会心理学概論Ⅰ	2014	2	良	2.67
－選択必修(A)－					
LH003	西洋思想概論Ⅰ	2014	2	可	2
LH004	西洋思想概論Ⅱ	2014	2	可	2
LH005	東洋思想概論Ⅰ	2015	2	秀	4
LH006	東洋思想概論Ⅱ	2015	2	可	2
【選択科目(B)】					
L0110900	哲学特論Ⅰ	2016	2	優	-
L0111600	比較哲学特論Ⅳ	2016	2	優	-
L0112100	東洋思想特論Ⅰ	2016	2	優	3.33
L0112200	東洋思想特論Ⅱ	2016	2	不受講	-
L0112800	倫理思想論Ⅰ/Ⅱ	2016	2	優	-
LH019	論理学Ⅰ	2015	2	良	2.67
LH020	論理学Ⅱ	2015	2	優	3.33
LH022	哲学特論Ⅱ	2015	2	不可	-
LH024	比較哲学特論Ⅱ	2015	2	優	3.33
LH025	比較哲学特論Ⅲ	2015	2	良	2.67
LH026	東洋思想特論Ⅱ	2015	2	可	2
LH028	東洋思想特論Ⅳ	2015	2	不可	1
－選択必修(B)－					
L0113500	哲学演習Ⅰ/Ⅲ/V	2016	2	可	2
L0115100	西洋思想演習Ⅱ/Ⅳ/Ⅵ	2016	2	優	-
LH007	哲学・思想論基礎演習Ⅰ	2015	2	優	3.33
LH008	哲学・思想論基礎演習Ⅱ	2015	2	良	2.67
LH011	西洋思想演習Ⅴ	2015	2	不受講	-
LH017	東洋哲学講義Ⅴ	2015	2	優	3.33
LH018	東洋哲学講義Ⅵ	2015	2	良	2.67
【自由科目】					
L0311200	心理学特論Ⅱ	2016	2	優	3.33
L0321400	グループ・ダイナミクスⅠ	2016	2	優	-
L0410300	地域文化史特論Ⅰ/Ⅱ	2016	2	優	-
L0430500	西洋史特論Ⅲ/Ⅳ	2016	2	優	-
L0430900	西洋史特論Ⅵ/XⅡ	2016	2	優	-
L0431000	西洋史特論Ⅶ/XⅡ	2016	2	優	-
L0920900	朝鮮文化事情Ⅱ	2016	2	優	-
LC003	日本文学概論Ⅰ	2015	2	可	2
LC004	日本文学概論Ⅱ	2015	2	優	3.33
LH115	歴史学特論Ⅰ	2015	2	優	3.33
LH116	歴史学特論Ⅱ	2015	2	秀	4
LH117	歴史学特論Ⅲ	2015	2	秀	4
LH118	歴史学特論Ⅳ	2015	2	優	3.33
LH119	歴史学特論Ⅶ	2015	2	良	2.67
LH120	歴史学特論Ⅷ	2015	2	優	3.33
【教職に関する科目】					
Q2001	教職論	2014	2	良	2.67
Q9000	教育相談の理論と実践	2014	2	良	2.67

・成績評価基準
 秀：100-90点
 優：89-80点
 良：79-70点
 可：69-60点

[履修・成績メニューに戻る](#)

履修解説

9 GPA制度について

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

10 入学前の既修得単位の取り扱い (既修得単位認定について)

みなさんが入学する前に大学又は短期大学(外国の大学等を含む)等において履修した授業科目について、修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を本学における授業科目の履修により修得したものとみなす「既修得単位認定の制度」があります。

本章の内容は、4年制大学又は短期大学に在籍したことのある学生だけに適用されます。

10-1. 対象学生

わが国の4年制大学又は短期大学(もしくは、これに相当する外国の大学)等を卒業又は中退して、新たに信州大学の1年次に入学した学生です。(以下「再入学生」といいます。)なお、信州大学のある学部を卒業又は中退して、改めて信州大学のある学部に入学生もこれに含まれます。

再入学生が以前在籍していた大学又は学部並びに短期大学等を以下「前大学(学部)」といいます。

10-2. 既修得科目

再入学生が前大学(学部)で単位を修得した個々の授業科目を以下「既修得科目」と呼びます。

10-3. 既修得単位の認定と「認定科目」

「既修得単位の認定」とは、既修得科目のうち、信州大学で現に開設されているものと同一であるか、もしくは実質的に同一であるとみなされるものについて、本学における授業科目の履修により修得したものとして、申請によりその単位を認定することをいいます。またその科目を「認定科目」と呼びます。認定科目に関し、再入学生はこれを新たに履修する、あるいは単位認定試験を受ける必要はありません。

なお、全学教育センターでは、共通教育科目のみ申請できます。(医学部医学科は10-4. ※4に注意)

申請内容の審査及び単位の認定は、各科目の該当する全学教育センター部門を通して行われます。ただし、既修得単位は、申請したもののすべてが認定されるとは限りません。

審査の結果不認定となった場合は、新規に履修登録を行う等、履修計画の訂正をすることになります。この点をあらかじめ考慮した上で申請結果が判明するまでは、信州大学の卒業要件となっている共通教育科目の授業に出席するなど配慮してください。

10-4. 既修得単位の認定の限度

認定可能な単位数は、学部ごとに異なっており、内訳は次の表のとおりです。

区 分		共通教育科目	専門科目	合 計	備 考
人文学部		60単位 ※1		60単位	
教育学部		60単位 ※2		60単位	
経法学部		60単位 ※3		60単位	
理 学 部		60単位 ※2		60単位	
医学部	医学科	24単位 ※4	0	24単位 ※4	
	保健学科	60単位 ※2		60単位	
工 学 部		60単位 ※2		60単位	
農 学 部		60単位 ※2		60単位	
繊維学部		60単位 ※2		60単位	

※1 共通教育科目を申請し、残った分について2年次に専門科目で申請できます。

※2 共通教育科目を申請し、残った分について専門科目で申請できます。

※3 専門科目の取り扱いについては、具体的なケースが出た場合、改めて学部で検討します。

※4 共通教育科目のみとする。

◎ 他の単位互換制度により、この上限が変わる場合があるので所属学部のクラス担任教員に相談してください。

◎ 外国人留学生で、日本語・日本事情教育科目を申請する場合は、日本語・日本事情教育科目も含めた全ての単位の合計が、各学部・学科が定めた認定可能な単位数の合計を超えないように注意してください。

10-5. 認定科目の成績評価

認定科目の成績評価は、秀、優、良、可(S, A, B, C)による成績評価はされず、「認定」と表記されます。

※「認定」の成績には、GP^{*}は付与されず、GPA^{*}にも算入されません。

10-6. 既修得単位認定書

既修得単位認定の申請が認められれば、「既修得単位認定書」を交付します。

▼既修得単位認定の申請が認められた場合は

- ・「認定科目」の単位数は、履修登録単位数の上限^{*}に含まれません。
- ・「認定科目」であることは承知しているが、聴講のみを希望する場合（授業を聴くのみで評価は不要の場合）、授業担当教員から了承を得て聴講することは可能です。この場合は、「既修得認定科目のため、聴講のみ希望し、評価不要」であることを教員に伝えて了承を得て、履修登録は行わないでください。

▼既修得単位認定の申請が認められなかった場合は、

- ・履修登録済みの授業は、そのまま受講してください。
- ・履修登録を行っていない場合は、履修登録の手続きを行ってください。

10-7. 新たに履修すべき科目と単位数

再入学生は、学部別卒業要件から認定科目及びその単位数を除いた科目・単位数を履修し、修得してください。

認定を受け履修・試験を免除された場合に生じる時間的余裕は、他の科目を履修したり、自学自習を深めるなど勉学上有意義に活用してください。

なお、2年次以降の履修科目と修得すべき単位数を見落とさないように注意してください。

10-8. 申請書類

既修得単位の認定を申請しようとする再入学生は、必ず、次のサイトにアクセスし、記入上の注意を確認してください。所定様式へのデータ入力・書類提出等の注意事項が記載されています。

（不備がある場合は、受け付けません。自身の不備により、今年度申請できなかった場合は、翌年度以降申請してください。）

◆次のサイトにアクセスしてください。（記入上の注意、申請書様式をダウンロードし、作成）

信州大学ホームページ（<https://www.shinshu-u.ac.jp/>）

→ 学部・大学院「全学教育センター」 → 「履修関連」 → 既修得単位認定

※3月中に『成績証明書』『既修得科目のシラバス』等の準備が必要です。本学の開設科目の内容と申請科目が実質的に同一とみなすことが可能かを判断するための資料となります。各書類の指定事項等の詳細は、上記サイトの『【共通教育科目】既修得単位申請書記入上の注意』を参照してください。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

10-9. 申請書の作成

書類の作成については、前述(10-8)の「【共通教育科目】既修得単位認定申請書記入上の注意」に必要な事項が指示されているので、よく読みそれに従ってください。

なお、申請書提出後の記入変更は認められませんので、注意してください。

10-10. 提出期限

10-8. で指定された申請書類の提出期間は以下の通りです。下記指定時刻までに、共通教育窓口（松本キャンパス以外の学部の高年次生は、所属学部の学務窓口）必着とします。

① 高年次生：3月26日（水）～ 3月28日（金）【17時まで】

② 1年次生：4月1日（火）～ 4月8日（火）【13時まで】

（※共通教育窓口受付時間…平日8:30～17:00。②の最終日（4/8）は13:00〆切。）

10-11. 2年次以降の申請

1年次では申請を行わなかった学生でも、2年次以降も認定単位数の限度内で必要な書類を決められた期間内に共通教育窓口（松本キャンパス以外の学部生は、所属学部の学務窓口）へ提出すれば、共通教育科目の既修得単位の認定を申請することができます。

なお、2年次以降に履修する科目については、当該年次に申請してください。

10-12. 専門科目の申請

専門科目の既修得単位の申請については、各学部で行うので、詳しくはみなさんが所属する各学部の学務窓口を確認してください。

また、申請に際しては、全学教育センターで発行する既修得単位認定書を専門科目の申請書と一緒に提出してください。

10-13. 日本語・日本事情教育科目【外国人留学生対象】の申請

外国人留学生で、日本語・日本事情教育科目の申請を行う場合は、グローバル化推進センターに手続き方法を確認してください。

10-14. 共通教育科目に係わる既修得単位認定の流れ

○ 既修得単位認定申請期間

① 高年次生：令和7年3月26日（水）～ 3月28日（金）17:00【厳守】

② 1年次生：令和7年4月1日（火）～ 4月8日（火）13:00【厳守】

○ 既修得単位認定審査：4月10日（木）～ 4月11日（金）

○ 既修得単位認定結果の通知：4月22日（火）

※4/22（火）午前中に認定結果を通知しますので、必ず共通教育窓口に受け取りに来てください。

4/24（木）～4/29（火）が履修登録確認・訂正期間となります。必ず、4/22（火）午前中に認定結果通知書を受け取り、内容を確認してください。

○ 履修登録確認・訂正期間：4月24日（木）～4月29日（火）

1 1 各種英語資格試験による英語の単位認定について

本章の内容は、TOEIC、TOEFL等で一定の点数を得た者及び実用英語技能検定(英検)等の特定の級に合格した者にだけ適用されます。

単位認定は申告制です。申請期間中に申請がないかぎり認定されません。

1 1 - 1. 単位認定の対象科目とスコア及び級

各種英語資格試験により単位認定される英語は、以下の4科目です。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ・プラクティカル・イングリッシュ I (PE I) | ・プラクティカル・イングリッシュ II (PE II) |
| ・クリティカル・リーディング I (CR I) | ・クリティカル・リーディング II (CR II) |

2年次対象の英語および「アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A), II (A), I (B), II (B)」は申請の対象とはしません。

認定を希望する学生は、下記のとおり申請してください。

レベル (スコア/級)	TOEIC 870 点以上 TOEFL iBT95 点以上 IELTS 7.0 以上 英検 1 級	【PE I と PE II】または【CR I と CR II】を認定する。 ※認定する科目は所属学部が卒業要件としている科目です。
	TOEIC 740 点以上 TOEFL iBT76 点以上 IELTS 6.0 以上 英検準 1 級	PE I / PE II / CR I / CR II のいずれか1単位を認定する。 ※認定する科目は所属学部が卒業要件としている科目です。
	※その他の資格試験については、個々に窓口で相談して確認してください。 ※既に単位を修得した科目を重ねて申請することはできません。 ※同一レベル(スコア/級)内において、複数回申請することはできません。 ※各種英語資格試験による単位認定の申請ができるのは、1年次生及び編入学生(編入1年目)のみです。	
申請期間	第1回: 令和7年4月10日(木) ~ 4月16日(水) 第2回: 令和7年9月22日(月) ~ 10月3日(金) ※上記期間以外はいかなる理由であっても一切認めません。	
申請方法	共通教育窓口で申請 *単位認定申請書を提出すること。(申請書は以下のサイトからダウンロードしてください。) 信州大学ホームページ (https://www.shinshu-u.ac.jp/) → 学部・大学院「全学教育センター」 → 「履修関連」 → 「各種英語資格試験による英語の単位認定について」 *以下の(1)(2)のいずれかの必要書類を提出すること。 (1)原本での申請 ・「スコアレポート」あるいは「認定書」の原本を提出してください。 ※TOEIC-IP を受けた学生は、IIBC(国際ビジネスコミュニケーション協会)の印が印刷されているもの。 (2)デジタル公式認定証, デジタル証明書での申請	

①TOEIC の場合

- ・デジタル公式認定証を印刷したものを提出してください。
- ・モバイル端末を持参してください。

※デジタル公式認定証に改ざんがないか確認するために使用します。

②英検の場合

- ・事前に「カナ氏名とデジタル証明書共有キー」または「デジタル証明書ファイル」を共通教育窓口(acacia@shinshu-u.ac.jp)に送信してください。
- ・デジタル証明書を印刷したものを提出してください。

*スコアレポートや認定書は、申請時より過去2年前までのものを有効とします。

- * TOEICには、TOEIC IP(Institutional Program＝団体特別受験制度)を、TOEFLには、TOEFL-ITP(Institutional Testing Program＝団体向けテストプログラム)を、英検には、英検 S-CBT を含みます。
- * iBT (Internet-based Testing) はインターネット試験のことです。
- * 上記のほか、ケンブリッジ英語検定試験(ケンブリッジ英検)、国際連合公用語英語検定試験(国連英検)なども単位認定になる場合がありますので、相談してください。
- * 各種英語資格試験による英語の単位認定については、入学年度に配付した共通教育履修案内に掲載した基準に従います。入学年度に配付した共通教育履修案内を持っていない場合は、共通教育窓口にお問い合わせください。
- * TOEIC Listening & Reading IPテスト(オンライン)の結果は、この単位認定には利用できません。

11-2. 認定科目に関する注意事項

(1) 申請した授業の履修登録について

申請した授業の履修登録は不要です。認定後、共通教育窓口にて成績を登録します。

(2) 成績の表記

認定された単位は「認定科目」となり、評価は付かず、成績表には「認定」と表記されます。(GP*は付与されず、GPA*にも算入されません。)

なお、認定科目の単位数は、履修登録単位数の上限*に含まれません。

(3) 認定された場合の履修について

「認定科目」について、履修登録をせずに受講することを希望する場合、授業担当教員の下承を得て受講することが可能です(聴講)。ただし成績評価はされません。

※人文学部学生の注意事項

「各種英語資格試験による英語科目の単位認定」制度により単位を認定された学生は、その認定に使用した成績またはそれに相当する成績を使って、重ねて人文学部の「英語コミュニケーション初級Ⅰ、Ⅱ」「英語コミュニケーション中級Ⅰ、Ⅱ」の単位認定を受けることはできません。

また、人文学部の「英語コミュニケーション初級Ⅰ、Ⅱ」「英語コミュニケーション中級Ⅰ、Ⅱ」での単位認定に、使用した成績またはそれに相当する成績を使って、重ねて「各種英語資格試験による英語科目の単位認定」の単位認定を受けることはできません。

詳細は人文学部学生便覧あるいは学務係にて確認してください。

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

12 放送大学との単位互換について

本学に在籍する学生が放送大学との単位互換(本学の授業の代わりに放送大学の授業を受講して単位を修得すれば、本学で修得したものとみなす制度)を希望する場合は、「特別聴講学生」として受講することができます。ただし、受講の対象は教育学部、医学部、工学部、農学部及び繊維学部の学生に限ります。

(人文学部、経法学部、及び理学部の学生は、受講の対象となっていません。)

12-1. 事前確認

学部・学科等により、放送大学で履修できる科目及び修得することが可能な単位数の上限は異なりますので、必ず詳細を所属学部の学務窓口事前に確認してください。

12-2. 放送大学における学生身分

特別聴講学生として受け入れられます。

12-3. 出願手続・学費

- (1) 掲示によりお知らせしますので、掲示板に注意してください。
- (2) 在籍する学部の学務窓口に応じ出願関係書類を入手するとともに、願書の記入方法等の指導を受けるなどし、間違いのないように手続してください。
- (3) 授業料: 1科目(2単位) 12,000円
- (4) 入学金, 検定料: 必要ありません。

12-4. 履修方法、通信指導及び単位認定試験等

- (1) 履修方法: 単位互換科目の履修に際しては、放送大学に受講科目の登録をする必要があります。
- (2) 単位互換科目(放送大学の授業)は、インターネット、BS放送等、放送大学より案内されている方法で、放送大学の放送を直接視聴してください。
- (3) (2)の方法で視聴することができない場合は、具体的な履修方法について、在籍する学部の学務窓口にご相談してください。
- (4) 通信指導: 学期の途中に1回、一定の範囲内の問題についての添削及び放送大学担当教員の指導を受ける通信指導があります。この通信指導に合格することによって単位認定試験の受験資格が得られます。
- (5) 単位認定試験: 各学期の放送授業(15回)が終了した後、自宅等のパソコンなどから、インターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・回答提出を行います。
- (6) 単位認定: 単位認定試験で60点以上の場合、合格となります。合格した科目については、本学の共通教育科目の単位として認定されます。(成績が「認定」となった場合、GP*は付与されず、GPA*にも算入されません。)
- (7) 通信指導又は単位認定試験において不合格となった場合、次の学期に限り再提出又は再試験が認められます。(放送大学から送付される教材等をよく確認してください。)

★放送大学との単位互換について不明な点は、所属する学部の学務窓口にご相談ください★

参 考 (令和7年度放送大学日程) ※ 第1学期の出願手続は終了しています。

学 期	出 願 期 間	授 業 期 間	単位認定試験期間
第1学期	R6 年 12 月中旬～R7 年 1 月中旬	R7 年 4 月 1 日～R7 年 7 月 14 日	【択一式科目】 R7 年 7 月 16 日～R7 年 7 月 24 日 【記述式・併用式科目】 R7 年 7 月 16 日～R7 年 7 月 20 日
第2学期	R7 年 6 月中旬～R7 年 7 月中旬	R7 年 10 月 1 日～R8 年 1 月 13 日	【択一式科目】 R8 年 1 月 19 日～R8 年 1 月 27 日 【記述式・併用式科目】 R8 年 1 月 19 日～R8 年 1 月 23 日

※出願期間については、公用掲示板にて周知します。

※日程は変更となる可能性があります。最新の情報は放送大学のホームページで確認してください。

*...冊子巻末付録『用語解説』参照

1 3 長野県内大学単位互換協定に基づく県内大学授業の履修について

信州大学は、長野県内の他大学(公立諏訪東京理科大学、佐久大学、清泉大学、長野県看護大学、長野県立大学、長野大学、長野保健医療大学、松本看護大学、松本歯科大学、松本大学)と単位互換協定を結んでいます。

信州大学の学生は、この協定により長野県内他大学が開講する授業を受講することができ、その受講により取得した単位は、信州大学の単位として認定されます。単位互換の授業は e-Learning^{*}での受講となります。

単位互換制度を利用することは、単に他大学の授業を受講することができるだけでなく、他大学の学生と交流するきっかけにも繋がりますので、是非この制度を利用してみてください。長野県内他大学の単位互換の対象授業は、学期の始めに各大学が募集します。また、長野県内の高等教育機関で組織する「高等教育コンソーシアム信州」のホームページ(<https://www.c-snet.jp/>)でも、単位互換に関することが掲載されています。

なお、全学教育センターでは、令和7年度開設する共通教育科目の授業のうち、授業担当教員が開放することを認めた授業について、県内の他大学の学生の受け入れを実施します。

【e-Learning^{*}による受講】

長野県内の他大学で開講される授業をオンデマンドで受講できます。e-Learning^{*}による他大学の開講科目は、共通教育科目のうち「教養系」として認定され、卒業に必要な単位に算入されます。

e-Learning^{*}を利用した単位互換授業の詳細については、共通教育新入生ガイダンスで配付した高等教育コンソーシアム信州が作成する「令和7年度長野県内大学単位互換受講の手引き」を参照してください。

1 4 国内大学と連携したオンライン国際共修授業について

信州大学は、国際共修(留学生と国内学生の協働を取り入れた授業)を実施する国内大学のネットワーク(Intercultural Collaborative Learning - Channels)に参加しており、加盟大学(東北大学・東京外国語大学・大阪大学・神戸大学)で実施されるオンライン国際共修授業を受講することができます。ICL 履修申請は信州大学の授業開始より前になります。募集の詳細内容をグローバル化推進センターのホームページ(<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/>)に掲載しますので確認してください。

●受講希望者は履修説明会に必ず参加してください。

●各大学開講の授業科目・シラバスは、ICL-Channels のホームページを確認してください。

<https://intercul.ihe.tohoku.ac.jp/icl/>

- ・開講大学の学年暦・時間割に従って行われますので、開始時間が異なります。授業履修が2限にまたがる場合があります。同じ時間帯に信州大学の授業を重複して履修することはできません。
- ・科目により受講定員が定められており、希望する科目の履修ができない場合もあります。
- ・各大学で受講した授業は、信州大学の「教養系」の単位「オンライン国際共修 ICL」として単位認定を行います。開講大学から提出される成績をもとに単位認定を行いますので、通常の成績開示より単位認定が遅くなります。直近の進級・卒業判定にかかわる場合はご注意ください。

不明な点・聞いてみたいことなどありましたら、グローバル化推進センターにおたずねください。

グローバル化推進センター(共通教育第1講義棟南校舎2階 icl-shinshu@shinshu-u.ac.jp)

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

15 信州大学市民開放授業について

信州大学が行う大学開放の一環として、各学部、全学教育センターが開設している正規の授業を一般市民の方に開放しています。これは生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めることを目的として平成13年度後期授業から実施しています。

全学教育センターでは、令和7年度開講予定の授業のうち、「教養系」講義科目(集中講義を除く)、専門基礎系「基礎科学」(実験、集中講義を除く)、及び教職に関する科目について開放する予定です。

みなさんが受講する授業を、一般市民が受講する場合があります。お互いに良い刺激になることを期待しています。

16 学内のネットワーク・プリンター利用について

16-1. 学内でのネットワーク利用

信州大学の学生は、キャンパス内に各自のパソコンを持ち込み、ネットワークを利用することができます。ほとんどの教室および生協食堂において、無線 LAN への接続が可能です。また、全学教育センターの一部教室(42, 43, 56, 62, 65, 71番教室)においては、有線 LAN ケーブルの接続口(情報コンセント)や電源コンセントが机に設置されています(13番教室は電源コンセントのみが各席に設置されています)。

オンライン授業の受講において、自宅のネットワーク環境が十分に整っていない場合、移動の関係上自宅でオンライン授業が受けられない場合は、授業で使用していない教室でネットワークを利用することが可能です。詳細は公用掲示板等でお知らせします。

■学内 LAN に接続する方法

<https://loginsp.shinshu-u.ac.jp> にアクセスし、利用者 ID (ACSU^{*}アカウント) とパスワードによりログインし、ネットワークに接続してください。ログイン中のみネットワーク接続利用できます。

詳細は218・220頁を参照してください。

■ログイン ID・パスワードを忘れてしまったら

共通教育窓口にて学生証持参の上、問い合わせてください。

■困ったときは

- 利用者 ID および教室一般の問題→共通教育窓口
- e-Learning^{*}(eALPS^{*})利用の際の問題→e-Learning センター^{*}(南校舎2階)
- その他→ピアサポート室(北校舎1階・東奥)

16-2. 学生用プリントシステム (パブリックプリント)

キャンパス内でコピーやプリントアウトをする場合は、学生用プリントシステム(支払方法は現金のみ)を利用できます。中央図書館 2F, 旭会館 1F, 医学部図書館 1F に設置されています。

◆プリントシステムの機能◆

1. パブリックプリント … インターネットで登録したデータをプリントできます。
2. USB プリント … 持参した USB メモリ内のデータ(PDF 等)をプリントできます。
3. コピー … 白黒・カラーコピーができます。

※大学生協設置のコピー機については、生協購買部へお問い合わせください。

^{*}…冊子巻末付録『用語解説』参照

17 学生による授業アンケートについて

以下の日程で、各学期の学期末に「学生による授業アンケート」を実施します。学生からの声をよりよい授業の実践につなげていこうというものです。みなさんのご協力をお願いします。

<令和7年度 共通教育「学生による授業アンケート」実施日程>

アンケート種別	アンケート実施期間
前期期末	各授業の最終日（授業によっては別の週で実施します）
後期期末	各授業の最終日（授業によっては別の週で実施します）

（1）どうやって回答するの？

WEB（インターネット）により回答します。

※詳しい回答方法は eALPS* に掲載しているマニュアルをご覧ください。

各学期の期末アンケートは、原則として各授業の最終日（全15週の授業の場合、15週目）、授業の時間内に行われます。教員から指示に従って、自身のスマートフォンまたはパソコンから回答してください。

インターネットに接続できれば、学外からでも回答可能です。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
16週	電子情報システム 概論(16T12)				データベース(16T12)
26週				データベース(16T12)	
36週		プログラミング基礎Ⅰ(16T12)	デザインプロジェクトⅡ(16T12)		
46週		プログラミング基礎Ⅰ(16T12)	デザインプロジェクトⅡ(16T12)		
56週			デザインプロジェクトⅡ(16T12)		

（2）私がどんな評価をしたか、先生が見て機嫌を悪くしたらどうしよう？

教員が授業アンケートの結果を見るときには、評価をした学生個人を特定できないようになっています。誰がどのような評価をしたのか、教員にはわかりません。ですから安心して率直に回答してください。

ただし、授業とは関係ない記述や、誹謗・中傷はしないでください。

（3）アンケートの回答結果はどうなるの？

アンケートの回答結果は、アンケート実施期間終了後、担当教員が確認します。自由記述欄に記載された意見については、授業期間終了後に返答されます。

受講生のみなさんも、回答結果を閲覧することができます。回答結果は、アンケート実施期間終了後、キャンパス情報システム*より閲覧可能です。

また、各学期末には、全学教育センターHP に授業アンケート総括を掲載する予定です。

*…冊子巻末付録『用語解説』参照

○信州大学における大雨・大雪・暴風時の授業の取扱いに関する要項
(令和5年9月20日信州大学要項第86号)

第1 趣旨

この要項は、信州大学における大雨・大雪・暴風時の授業の取扱いに関し、必要な事項を定める。

第2 定義

この要項において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 警報 大雨警報、大雪警報、暴風警報又は暴風雪警報をいう。
- (2) 特別警報 大雨特別警報、大雪特別警報、暴風特別警報又は暴風雪特別警報をいう。
- (3) 公共交通機関 鉄道(新幹線及び特別急行列車を除く。)及び路線バスをいう。
- (4) 遠隔授業 履修する学生全員に対しオンラインで実施する授業をいう。

第3 休講の決定者

各キャンパスにおける休講の決定者は、次の各号のとおりとする。

- (1) 松本キャンパス 教務担当の理事
- (2) 長野(教育)キャンパス 教育学部長
- (3) 長野(工学)キャンパス 工学部長
- (4) 伊那キャンパス 農学部長
- (5) 上田キャンパス 繊維学部長

第4 休講の判断基準

- 1 各キャンパスの所在地域を対象とする警報が発表された場合又は警報の発表が予想される場合、第3に規定する休講の決定者は、当該キャンパス所在地域の公共交通機関の運休又は運休計画の状況を勘案して、休講措置を決定する。
- 2 前項に規定する休講措置を決定する時期と対象授業の範囲は次の表のとおりとする。

時期	対象授業の範囲
前日午後4時時点	翌日に開講する全時限又は一部の時限の授業
午前7時時点	当日に開講する全時限又は一部の時限の授業
午前10時時点	当日午後(夜間含む)に開講する全時限又は一部の時限の授業

- 3 各キャンパスの所在地域を対象とする特別警報が発表された場合、当該キャンパスにおいてその日に実施する授業を直ちに休講とする。

第5 休講措置の特例

- 1 第4に基づく休講措置にかかわらず、次の各号に掲げる要件をすべて満たす場合には、授業担当教員の判断により、休講とせずに遠隔授業を実施すること又は面接授業を遠隔授業に変更して実施することができる。なお、面接授業を遠隔授業に変更する場合には、面接授業に相当する教育効果を有する必要があることに留意するものとする。

- (1) 当該授業を履修するすべての学生に対し、休講とせずに遠隔授業を実施することについて、事前の周知を行うこと。
- (2) 当該授業を履修するすべての学生の安全及び通信環境が確保できることについて、授業担当教員が事前に確認していること。
- 2 各キャンパス以外の施設で行う実習等の授業は、第4に規定する判断基準を準用して授業担当教員が休講措置を決定する。

第6 学生への周知等

- 1 休講の決定を行った場合は、学生に対し、次の各号に掲げる方法で周知するものとする。ただし、不測の事態によりこれらの周知方法をとることができない場合は、この限りでない。

- (1) ウェブサイトへの掲載
 - ア 松本キャンパス 信州大学ウェブサイト (在学生向けお知らせのページ)
 - イ 松本キャンパス以外の各キャンパス 各学部ウェブサイト
- (2) キャンパス情報システムの「大学からのお知らせ」への掲載
- (3) 対象学生へのメール送信
- 2 当日の授業開始後に休講に関する周知を要する場合は、前項に掲げる方法に加え、必要に応じて校内放送又は授業担当教員を通じて周知を行うものとする。

第7 補講

休講措置を講じた場合は後日補講を行うものとし、補講日は各授業開講部局で決定する。

第8 授業への出席が困難な場合の取扱い

休講措置を講じない場合であっても、災害又は公共交通機関の遅延・運休により、学生が授業に出席できないときは、信州大学における授業の出席に関する要項(令和4年信州大学要項第82号)に基づき、必要な措置を講ずる。

附 則

- 1 この要項は、令和5年9月21日から実施する。
- 2 台風・大雪等における授業及び試験の取り扱いについて(平成21年12月16日教育研究評議会決定)は、廃止する。

○信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項

(令和3年1月7日信州大学要項第74号)

第1 趣旨

この要項は、信州大学の学生が学校保健安全法施行規則第18条に規定する学校において予防すべき感染症（以下「感染症」という。）にかかった場合等の授業の出席の取扱いに関し、必要な事項を定める。

第2 出席停止

- 1 学長は、感染症にかかった学生、かかっている疑いがある学生又はかかるおそれのある学生があるときは、授業への出席を停止させることができる。ただし、オンラインで実施する授業への出席について学生が申し出た場合は、これを妨げない。
- 2 出席停止の期間は、学校保健安全法施行規則第19条の規定を基準として、総合健康安全センター長が決定し、出席停止の理由とともに学生に通知する。

第3 感染症にかかった場合等の申告

学生は、感染症にかかった場合又はかかっている疑いがある場合は、速やかにその旨を大学に申告しなければならない。

第4 出席停止期間中の授業の扱い

- 1 出席停止期間中の授業については、欠席扱いとしない。
- 2 出席停止期間が長期間にわたる場合の取扱いについては、その都度当該学生の所属部局及び学生が受講する授業の開講部局間で協議する。

第5 授業担当教員への情報共有

学生が出席停止となった場合は、当該学生が履修登録している授業の担当教員に情報共有する。

第6 授業担当教員への報告

出席停止とされた学生は、第2第2項の通知を示して授業担当教員に出席停止を受けたことを報告する。

第7 出席停止とされた学生への配慮義務

第6の報告を受けた授業担当教員は、当該学生に対し、レポートやe-Learningの活用等、当該授業の特性に合わせた方策により出席停止期間中の学修を補充する支援を行い、当該学生が履修上不利益とならないように配慮しなければならない。

第8 試験の取扱い

出席停止期間中の試験の取扱いについては、当該授業科目を開講する部局の判断において、追試験の実施やレポート等で対応し、当該学生が履修上不利益とならないように配慮する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から実施する。

附 則(令和3年2月12日令和2年度要項第10号)

この要項は、令和3年4月1日から実施する。

附 則(令和4年11月16日令和4年度要項第5号)

この要項は、令和5年4月1日から実施する。

信州大学における授業の出席に関する要項

第1 趣旨

この要項は、信州大学の学生の授業の出席に関し、必要な事項を定める。

第2 授業への出席

学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とする。

第3 授業に出席できない場合の学修の補充

1 学生は、第4に規定する事由により授業に出席できない場合は、第5に規定する方法により、授業担当教員に、当該授業内容について学修の補充を受けるための申出を行うことができる。

2 学生から前項に基づく申出を受けた授業担当教員は、当該授業時間分の学修について補充し、当該学生が履修上不利とならないように配慮するものとする。ただし、複数回にわたり出席できない等の理由により単位の修得が困難であると授業開講部局が判断した場合には、これを行わないことがある。

3 前項に規定する学修の補充は、レポートやe-Learningの活用等、当該授業の特性に合わせた方策により行うものとする。

4 学生が第4に規定する事由以外の事由で授業に出席できない場合の学修の補充は、授業担当教員の判断によるものとする。

5 学生が学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症にかかった場合等の学修の補充は、信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項(令和3年信州大学要項第74号)において定める。

第4 学修の補充の対象とする事由、対象期間及び学修の補充の申出に必要な書類

第3第2項に規定する学修の補充の対象とする事由、対象期間及び学修の補充の申出に必要な書類は次の表のとおりとする。

学修の補充の対象とする事由	必要書類	学修の補充の対象期間
2親等以内の親族又は配偶者(婚姻の届出をしないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下この表において同じ。)が死亡し、葬儀等のために授業への出席が困難である場合	会葬状等、事実が確認できる書類	1親等の親族又は配偶者の死亡は連続する7日以内、2親等の親族は連続する3日以内
病気やけがで授業への出席が困難である場合	授業への出席が困難であることの事情及び期間が分かる診断書等の書類	病気やけがで授業への出席が困難であると認められる期間
裁判員の参加する刑事裁判に関する法律に基づく裁判員の選任手続及び裁判員の職務従事のため裁判所に出席する場合	裁判所からの呼出状又は出頭証明書の写し	移動時間を含めた、当該手続及び職務の遂行に必要であると認められる期間
災害又は公共交通機関の遅延・運休により、授業への出席が困難である場合	罹災証明書、公共交通機関が発行する遅延又は運休等の事実が確認できる証明書類	災害又は公共交通機関の遅延・運休により当該授業に出席できなくなると認められる期間
その他授業開講部局の長が認める場合	授業に出席できない事由の概要及び期間が分かる書類	授業開講部局の長が認める期間

2 前項のその他授業開講部局の長が認める場合の詳細は、授業開講部局の学生便覧等において定める。

第5 学修の補充の申出に関する手続

1 学生は、第3第1項に規定する申出として、授業開講部局が定める申出書に第4に規定する必要書類を添えて、各部局の事務担当者、事由の発生後できるだけ速やかに提出する。

2 各部局の事務担当者は、学生から提出された申出書を、学生が履修登録している授業の担当教員に送付する。

3 その他の手続に関する詳細は、授業開講部局の学生便覧等において定める。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から実施する。

○信州大学共通教育の実施に関する要項

(平成 16 年 4 月 1 日信州大学要項第 14 号)

改正 平成 17 年 3 月 31 日平成 16 年度要項第 11 号 平成 18 年 3 月 30 日平成 17 年度要項第 11 号
平成 20 年 3 月 19 日平成 19 年度要項第 13 号 平成 23 年 3 月 17 日平成 22 年度要項第 7 号
平成 24 年 2 月 16 日平成 23 年度要項第 6 号 平成 25 年 2 月 21 日平成 24 年度要項第 8 号
平成 26 年 2 月 20 日平成 25 年度要項第 8 号 平成 27 年 2 月 19 日平成 26 年度要項第 2 号
平成 28 年 2 月 18 日平成 27 年度要項第 6 号 平成 29 年 3 月 17 日平成 28 年度要項第 8 号
平成 30 年 3 月 20 日平成 29 年度要項第 13 号 平成 31 年 3 月 22 日平成 30 年度要項第 9 号
令和 2 年 2 月 20 日令和元年度要項第 38 号 令和 4 年 2 月 16 日令和 3 年度要項第 18 号
令和 5 年 2 月 15 日令和 4 年度要項第 9 号 令和 5 年 3 月 29 日令和 4 年度要項第 28 号
令和 6 年 2 月 21 日令和 5 年度要項第 9 号 令和 6 年 9 月 18 日令和 6 年度要項第 9 号
令和 7 年 1 月 31 日令和 6 年度要項第 15 号

第 1 趣旨

信州大学(以下「本学」という。)における共通教育(各学部が編成する教育課程のうち、本学学生に対する教養教育及び基礎教育について、全学協力体制のもとに、全学共通に行う教育をいう。)の実施に関しては、この要項の定めるところによる。

第 2 開講方式

共通教育に係る授業は、前学期及び後学期の学期(1 セメスタ)制により開講するものとする。

第 3 授業科目

授業科目については、別表第 1 に掲げるとおりとする。

第 3 の 2 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に規定する科目

教育職員免許法施行規則(昭和 29 年文部省令第 26 号)第 66 条の 6 に規定する科目は、別表第 2 に掲げるとおりとする。

第 4 履修方法

- 各学部が定める卒業に必要な授業科目の単位数のうち、共通教育に係る単位数は、37 単位以下(医学部医学科にあっては、48 単位以下)とする。
- 前項の共通教育に係る単位数のうち、次の各号に掲げる授業科目及び単位数については、全学部の学生に共通に修得させるものとする。
 - 基盤系のうち、学術リテラシー 1 単位
 - 基盤系のうち、データサイエンスリテラシー 1 単位
 - 基盤系のうち、統計、科学史又は現代社会論 2 又は 4 単位
 - 基盤系のうち、健康 1 単位
 - 基盤系のうち、英語 4 単位
 - 教養系のうち、環境科学 2 単位
 - 教養系のうち、演習形式の科目 2 単位

附 則

この要項は、平成 16 年 4 月 1 日から実施する。

(中略)

附 則(令和 7 年 1 月 31 日令和 6 年度要項第 15 号)

この要項は、令和 7 年 4 月 1 日から実施する。

別表第 1(第 3 関係)

共通教育科目				
授業科目区分		授業科目名	単位数	授業形態
基盤系	リテラシー	学術リテラシー	1	講義 演習
		データサイエンスリテラシー	1	講義
		統計	2	講義
	コア科目	科学史	2	講義
		現代社会論	2	講義
		健康	1	講義 実技
	言語 (1 年次)	英語	1	実習
		中国語	1	
		ドイツ語	1	
		フランス語	1	
		ハンガール	1	
		スペイン語	1	
教養系	人文・社会	哲学	1 又は 2	講義 演習
		芸術学	2	
		文学	2	
		言語学	1 又は 2	
		歴史学	2	
		社会学	1 又は 2	
		心理学	2	
		教育学	1 又は 2	
		法学・政治学	2	
		経済学・経営学	1 又は 2	
		文化論	1 又は 2	
		国際共修	1 又は 2	

- (8) 専門基礎系のうち、英語 4 単位

- 3 前項第 1 号又は第 7 号に規定する授業科目及び単位数を、開講対象となる 1 年次に修得できなかった場合には、その他の授業科目を当該単位数以上修得することにより代替する。

第 5 単位の計算方法

共通教育に係る授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、その授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね 15 時間から 30 時間までの範囲で定める時間の授業をもって 1 単位として単位数を計算するものとする。

第 6 履修登録単位数の上限

共通教育に係る履修登録単位数の上限については、信州大学全学教育センター教員会議(以下「教員会議」という。)が、別に基準を定める。

第 7 受講人数基準

共通教育における受講人数基準は、科目区分及び授業形態に応じ、別表第 3 に掲げるとおりとする。

第 8 履修の手続

共通教育を履修する学生は、所定の期日までに、履修しようとする授業科目及びその単位数を担当教員に届け出て、受講の許可を受けなければならない。

第 9 単位の授与

単位の授与は、学則第 47 条の規定に基づき行うものとする。

第 10 試験

- 共通教育を履修する学生は、第 8 の手続を経て履修した授業科目に限り試験を受けることができる。
- 試験は、各学期末に行うほか臨時に行うことがある。

第 11 成績の評価

成績の評価は、学則第 48 条の規定に基づき行うものとする。

第 12 追試験

病気その他やむを得ない事由のため、第 10 の試験を所定の期日に受験できない学生については、追試験を行うことができる。

第 13 その他

この要項に定めるもののほか、共通教育の実施に関し必要な事項は、教員会議が定める。

	自然・技術	数理学の世界	2	
		物理学の世界	2	
		化学の世界	2	
		生物学の世界	2	
		地学の世界	2	
		工学入門	2	
		情報学入門	2	
		環境科学	2	
	環境・健康	社会と健康	1 又は 2	実技
		人体と科学	2	
		運動科学	2	
		キャンパススポーツ実習	1	
専門基礎系	言語 (2 年次)	アウトドアスポーツ実習	1	実技
		高年次スポーツ実習	1	
		英語	2	
		中国語	2	
		ドイツ語	2	
		フランス語	2	
		ハンガール	2	
		スペイン語	2	
	基礎科学	数学	2	講義 実験
		物理学	2	
		化学	2	
		生物学	2	
		地学	2	

別表第2(第3の2関係)

教育職員免許法施行規則に定める科目	左記に対応する本学の授業科目		単位数
	授業科目名	副題	
日本国憲法	法学・政治学	日本国憲法	2
体育	健康	健康科学・理論と実践	1
	キャンパススポーツ実習	ソフトボール	1
		バドミントン	1
		インクルーシブスポーツ	1
		ターゲットスポーツ	1
		コオーディネーションエクササイズ	1
		ニュースポーツ	1
		剣道	1
		テニス	1
		サッカー	1
		バレーボール	1
		バスケットボール	1
		弓道	1
		フィットネス	1
	アウトドアスポーツ実習	トレッキング	1
		スポーツフィッシング	1
		信大マラソン	1
		ゴルフ	1
		スノー・スポーツ	1
外国語コミュニケーション	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)	1
		アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)	1
		アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(B)	1
		アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B)	1
情報機器の操作		※各学部において定める。	※各学部において定める。

別表第3(第7関係)

科目区分	授業形態	受講人数基準
基盤系	講義	100人
	講義・演習(学術リテラシー)	50人
	講義・実技(健康)	50～100人
	実習(英語)	30～50人
教養系	実習(初修外国語)	25～40人
	講義	100人
	演習	20～30人
専門基礎系	実技	20人以上
	演習(言語)	25～40人
	講義(基礎科学)	50～60人
	実験(基礎科学)	40人

信州大学の学修・教育におけるAI活用に関するガイドライン

国立大学法人信州大学教育企画委員会（令和5年7月21日承認）

学生・教員共通

【AIの活用】

人類とAIが共創する社会に向けて、授業等の学びの場でAIを活用しましょう。

【情報保護の徹底】

個人情報や守秘義務のある情報等の保護を徹底してください。AIの中には、入力された情報を蓄積し再利用するものがあり、情報が外部に漏れる可能性があります。

【著作権等保護の徹底】

著作権等の侵害にならないように注意してください。AIの出力と自らのアイデアを区別し、必要に応じて適切な引用を行ってください。AIの出力に著作物の内容がそのまま含まれている場合、これに気付かず当該の出力を用いると剽窃に当たる可能性があります。

【情報収集の必要性】

AIと学びに関係する情報収集に常に努めましょう。AIは急速に進化していますので、新たな問題が短期間で現れてくる可能性があります。

学生

【批判的判断の重要性】

AIの出力が正しいとは限らないことに注意してください。AIの出力が本当に正しいのか、別な見方や考え方があってはならないか、筋道立てて考えているか等、常に批判的に考察することが、あなたの知的な成長につながります。

【授業達成目標に適した活用】

授業達成目標に適した活用を心がけてください。自分の解答をAIに委ねるなど、あなたの学びを妨げないようにしてください。

【授業ルールの遵守】

授業ごとに定められるルールに従ってください。教員は授業達成目標や授業内容に応じてルールを定めることがあります。学びの効果を高めるための配慮ですので、教員の指示に従ってください。

教員

【授業ルールの公開・周知】

授業達成目標や授業内容に応じて必要なAI活用ルールを定め、周知してください。その際には、活用の範囲や条件を具体的に示してください。

【評価方法の工夫】

必要に応じて、AI活用を前提に、AIだけでは解決できない課題設定を検討してください。

【AI活用方法の提案】

AIの活用方法をそれぞれの学術分野で探究し、学生にAIに対する理解を深めるよう求め、有用な活用方法を伝えてください。

卒業に必要な所定の単位数への「遠隔授業科目」の算入について

大学設置基準に基づき、信州大学学則において、卒業に必要な所定の単位数に算入できる遠隔授業科目の単位数の上限は60単位までと定められています。（※ただし、卒業に必要な所定の単位数が124単位を超える場合において、面接授業科目で64単位以上を修得しているときは、遠隔授業科目は60単位を超えることができる。）

遠隔授業科目を 60 単位以上履修することは可能ですが、修得した単位を定められた上限を超えて卒業に必要な所定の単位数に算入することはできませんので、注意してください。

遠隔授業科目の定義は次のとおりです。

- ①全授業時数において「遠隔授業」を実施する授業科目
- ②「面接授業」と「遠隔授業」を併用する場合で、授業時数の半数を超えて「遠隔授業」を実施する授業科目

◆「遠隔授業」の具体例

- ・教員と学生が異なる場所にいる状態で、オンライン会議システム等のツールを利用して同時双方向でやりとりする授業【いわゆる同期型（リアルタイム型）オンライン授業】
- ・授業動画を視聴し、質疑応答や課題提出をメールやeALPS等で行う授業【いわゆる非同期型（オンデマンド型）オンライン授業】
- ・教員と学生が同一の教室等で対面して行う授業を、教室外にいる学生にもリアルタイム配信する授業【いわゆるハイフレックス型オンライン授業】

遠隔授業科目は、シラバスの「遠隔授業科目」欄に「該当」の文言が表示されます。また、どの科目が遠隔授業科目に該当するかは、キャンパス情報システムの履修登録・確認、成績確認の画面や、証明書自動発行機で発行する「成績通知書」等でも確認することができます。

＜参考：本件に関する学内規則＞

- ・信州大学学則（第 45 条参照）
<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/frame/frame110000056.htm>
- ・信州大学における遠隔授業の実施に関する要項
<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/frame/frame110001297.htm>

開設授業科目表

開設授業科目表の見方

1. 「担当教員(所属)」欄の()内は、担当教員の所属する学部等の略記です。

人文学部	系	— L	繊維学部	系	— F
教育学部	系	— E	総合人間科学部	系	— G
社会学部	系	— J			
理学部	系	— S			
医学部	系	— M			
保健学部	系	— H	非常勤講師	-----	非
工学部	系	— T	特任教員	-----	特
農学部	系	— A			

2. 「対象学生」欄の略記

全 = 全学部生

学部	略記	学科／課程	略記	コース／専攻	略記
人文学部	L	人文学科			
教育学部	E	学校教育教員養成課程	学	現代教育	現
				野外教育	野
				国語教育	国
				英語教育	英
				社会科教育	社
				数学教育	数
				理科教育	理
				音楽教育	音
				図画工作・美術教育	図
				保健体育	保
				ものづくり・技術教育	も
				家庭科教育	家
経法学部	J	応用経済学科	経		
		総合法律学科	法		
理学部	S	数学科	数		
		理学科	理	物理学	物
				化学	化
				地球学	地
				生物学	生
				物質循環学	循

学部	略記	学科／課程	略記	コース／専攻	略記
医学部	M	医学科	医	看護学	看
		保健学科	保	検査技術科学	検
工学部	T	物質化学科	質	理学療法	理
		電子情報システム工学科	電情	作業療法	作
		水環境・土木工学科	水土		
		機械システム工学科	機械		
		建築学科	建		
農学部	A	農学生命科学科	農	生命・食品科学	生命
				食料生産システム科学	食料
				山岳園森林・環境共生学	山岳
				地域協創特別	地域
繊維学部	F	先進繊維・感性工学科	織		
		機械・ロボット学科	機		
		化学・材料学科	化		
		応用生物科学科	生		

J I (経) … 経法学部応用経済学科1年次生
S II … 理学部2年次生

3. 「講義室」欄の略記

(例) 共12講 = 共通教育第1講義棟12番講義室
共312演 = 共通教育第1講義棟312番演習室
人 = 人文学部の建物の教室
経 = 経法学部 //
理 = 理学部 //
医 = 医学部医学科 //
保 = 医学部保健学科 //
共生実験 = 共通教育第1講義棟生物学生実験室
理PC = 理学部パソコン実習室

共1体 = 第一体育館
共2体 = 第二体育館
武道場 = 武道場(第一体育館に併設)
共テニス = 第一テニスコート

※「講義室」欄に【EA】と記載した授業は、オンラインを主体に実施する授業です。

4. 時間割コードの見方

共通教育科目 8 桁の時間割コードの内訳は以下の通りです。

①大区分		②中区分		③④小区分		⑤⑥科目				⑦⑧題目番号		
共通教育科目	G	基盤系 (リテラシー)	0	リテラシー		A1	学術リテラシー			00		
						A2	データサイエンスリテラシー			00		
		コア科目		統計	B1	統計 統計 (ShinXia)			00 A*			
				科学史	B2	科学史			00			
				現代社会論	B3	現代社会論			00			
				健康	C1	健康			00			
		言語	1	基盤系	D1	英語	1	英語 (アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A))			1	
								英語 (アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A))			2	
								英語 (アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (B))			3	
								英語 (アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (B))			4	
								英語 (プラクティカル・イングリッシュⅠ)			5	
								英語 (プラクティカル・イングリッシュⅡ)			6	
								英語 (クリティカル・リーディングⅠ)			7	
								英語 (クリティカル・リーディングⅡ)			8	
						中国語	2	中国語 (中国語初級 (総合)Ⅰ)			1	
								中国語 (中国語初級 (総合)Ⅱ)			2	
								中国語 (中国語初級 (文法)Ⅰ)			3	
								中国語 (中国語初級 (文法)Ⅱ)			4	
								中国語 (中国語初級 (読解・会話)Ⅰ)			5	
								中国語 (中国語初級 (読解・会話)Ⅱ)			6	
						ドイツ語	3	ドイツ語 (ドイツ語初級 (総合)Ⅰ)			1	
								ドイツ語 (ドイツ語初級 (総合)Ⅱ)			2	
								ドイツ語 (ドイツ語初級 (文法)Ⅰ)			3	
								ドイツ語 (ドイツ語初級 (文法)Ⅱ)			4	
								ドイツ語 (ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅰ)			5	
								ドイツ語 (ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅱ)			6	
						フランス語	4	フランス語 (フランス語初級 (総合)Ⅰ)			1	
								フランス語 (フランス語初級 (総合)Ⅱ)			2	
	フランス語 (フランス語初級 (文法)Ⅰ)							3				
	フランス語 (フランス語初級 (文法)Ⅱ)							4				
	フランス語 (フランス語初級 (読解・会話)Ⅰ)							5				
	フランス語 (フランス語初級 (読解・会話)Ⅱ)							6				
	ハンガール					5	ハンガール (ハンガール初級 (総合)Ⅰ)			1		
							ハンガール (ハンガール初級 (総合)Ⅱ)			2		
							ハンガール (ハンガール初級 (文法)Ⅰ)			3		
							ハンガール (ハンガール初級 (文法)Ⅱ)			4		
							ハンガール (ハンガール初級 (読解・会話)Ⅰ)			5		
							ハンガール (ハンガール初級 (読解・会話)Ⅱ)			6		
	スペイン語					6	スペイン語 (スペイン語初級 (総合)Ⅰ)			1		
							スペイン語 (スペイン語初級 (総合)Ⅱ)			2		
							スペイン語 (スペイン語初級 (文法)Ⅰ)			3		
							スペイン語 (スペイン語初級 (文法)Ⅱ)			4		
							スペイン語 (スペイン語初級 (読解・会話)Ⅰ)			5		
							スペイン語 (スペイン語初級 (読解・会話)Ⅱ)			6		
									01～99			

※「*」は「0～9」

①大区分		②中区分		③④小区分		⑤⑥科目		⑦⑧題目番号
共通教育科目	G	教養系	2	人文・社会	B4 講義	哲学	01	01～99
						芸術学	02	
						文学	03	
						言語学	04	
						歴史学	05	
						社会学	06	
						心理学	07	
						教育学	08	
						法学・政治学	09	
						経済学・経営学	10	
						文化論	11	
						国際共修	12	
					B4 演習	哲学	51	
						芸術学	52	
						文学	53	
						言語学	54	
						歴史学	55	
						社会学	56	
						心理学	57	
						教育学	58	
						法学・政治学	59	
						経済学・経営学	60	
						文化論	61	
						国際共修	62	
				ShinXia		哲学	A*	
						芸術学	B*	
						文学	C*	
						言語学	D*	
						歴史学	E*	
						社会学	F*	
						心理学	G*	
						教育学	H*	
						法学・政治学	I*	
						経済学・経営学	J*	
						文化論	K*	
						国際共修	L*	
				自然・技術	B5 講義	数理学の世界	01	
						物理学の世界	02	
						化学の世界	03	
						生物学の世界	04	
						地学の世界	05	
						工学入門	06	
						情報学入門	07	
					B5 演習	数理学の世界	51	
						物理学の世界	52	
						化学の世界	53	
						生物学の世界	54	
						地学の世界	55	
						工学入門	56	
						情報学入門	57	
					ShinXia	数理学の世界	A*	
						物理学の世界	B*	
						化学の世界	C*	
						生物学の世界	D*	
						地学の世界	E*	
						工学入門	F*	
						情報学入門	G*	
				環境・健康	B6 講義	環境科学	01	
						社会と健康	02	
						人体と科学	03	
						運動科学	04	
					B6 演習	環境科学	51	
						社会と健康	52	
						人体と科学	53	
						運動科学	54	
					ShinXia	環境科学	A*	
						社会と健康	B*	
						人体と科学	C*	
						運動科学	D*	
				B6 実習		キャンパススポーツ実習	05	
						アウトドアスポーツ実習	06	
						高年次スポーツ実習	07	

※「*」は「0～9」

①大区分	②中区分	③④小区分	⑤⑥科目			⑦⑧題目番号		
共通教育科目	G	専門基礎系	言語	英語	英語（アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ）	1	01～99	
					英語（アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ）	2		
					英語（ブラクティカル・イングリッシュⅢ）	3		
					英語（ブラクティカル・イングリッシュⅣ）	4		
				中国語	2	中国語（中国語中級Ⅰ）		1
						中国語（中国語中級Ⅱ）		2
				ドイツ語	3	ドイツ語（ドイツ語中級Ⅰ）		1
						ドイツ語（ドイツ語中級Ⅱ）		2
				フランス語	4	フランス語（フランス語中級Ⅰ）		1
						フランス語（フランス語中級Ⅱ）		2
				ハングル	5	ハングル（ハングル中級Ⅰ）		1
						ハングル（ハングル中級Ⅱ）		2
				スペイン語	6	スペイン語（スペイン語中級Ⅰ）		1
						スペイン語（スペイン語中級Ⅱ）		2
		基礎科学	E1	数学	1	数学（微分積分学Ⅰ）		1
						数学（微分積分学Ⅱ）		2
						数学（線形代数学Ⅰ）		3
						数学（線形代数学Ⅱ）		4
				物理学	2	物理学（力学）		1
						物理学（力学Ⅰ）		2
						物理学（力学Ⅱ）		3
						物理学（電磁気学）		4
						物理学（波動と光）		5
				化学	3	化学（一般化学Ⅰ）		1
						化学（一般化学Ⅱ）		2
				生物学	4	生物学（生物学A）		1
						生物学（生物学B）		2
				地学	5	地学（地学概論Ⅰ）		1
						地学（地学概論Ⅱ）		2
						地学（地学実験）		3

5. その他

【E A】：e-Learning システムを利用して受講する授業です。主に同期型（リアルタイム型）オンライン授業，非同期型（オンデマンド型）オンライン授業の2種類に分けられます。

詳細は44～45頁を確認してください。

1 共通教育科目
(1) 基盤系
○学術リテラシー

R7 (2025) 年度

前期≪奇数週(第1・3・5・7・9・11・13・15週)≫										前期≪偶数週(第1・2・4・6・8・10・12・14週)≫									
授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室
学術 リテラシー	G0A10001	－	今井 章		(L)	全	1	木 2	共28講	学術 リテラシー	G0A10002	－	今井 章		(L)	全	1	木 2	共28講
	G0A10003	－	関 良徳		(E)	全	1	月 2	共28講		G0A10004	－	関 良徳		(E)	全	1	月 2	共28講
	G0A10005	－	小林 比出代		(E)	全	1	金 1	共28講		G0A10006	－	小林 比出代		(E)	全	1	金 1	共28講
	G0A10007	－	六浦 光一		(I非)	全	1	金 2	共28講		G0A10008	－	六浦 光一		(I非)	全	1	金 2	共28講
	G0A10009	－	関 有沙		(S非)	全	1	金 2	共37講		G0A10010	－	関 有沙		(S非)	全	1	金 2	共37講
	G0A10011	－	中島 岳郎	森 淳一郎	(M)	全	1	月 2	共37講		G0A10012	－	中島 岳郎	森 淳一郎	(M)	全	1	月 2	共37講
	G0A10013	－	松岡 浩仁		(T)	全	1	火 2	共28講		G0A10014	－	松岡 浩仁		(T)	全	1	火 2	共28講
	G0A10015	－	濱野 光市		(A特)	全	1	木 2	共37講		G0A10016	－	濱野 光市		(A特)	全	1	木 2	共37講
	G0A10017	－	本吉谷 二郎		(F特)	全	1	木 2	共47講		G0A10018	－	本吉谷 二郎		(F特)	全	1	木 2	共47講
	G0A10019	－	平井 佑樹		(G)	全	1	金 1	共37講		G0A10020	－	平井 佑樹		(G)	全	1	金 1	共37講
	G0A10021	－	小山 茂喜		(G特)	全	1	金 2	共47講		G0A10022	－	小山 茂喜		(G特)	全	1	金 2	共47講
	G0A10023	－	小池 洋平		(G)	全	1	木 1	共28講		G0A10024	－	小池 洋平		(G)	全	1	木 1	共28講
	G0A10025	－	高野 嘉寿彦		(G)	全	1	月 1	共37講		G0A10026	－	高野 嘉寿彦		(G)	全	1	月 1	共37講
	G0A10027	－	鈴木 球子		(G)	全	1	月 2	共47講		G0A10028	－	鈴木 球子		(G)	全	1	月 2	共47講
	G0A10029	－	杉本 光公		(G)	全	1	火 1	共37講		G0A10030	－	杉本 光公		(G)	全	1	火 1	共37講
	G0A10031	－	松宮 慎治		(G)	全	1	水 2	共37講		G0A10032	－	松宮 慎治		(G)	全	1	水 2	共37講
学術 リテラシー	G0A10033	－	岩井 恵利奈		(G)	全	1	水 1	共47講		G0A10034	－	岩井 恵利奈		(G)	全	1	水 1	共47講
	G0A10035	－	永井 康史		(G)	全	1	金 1	共47講		G0A10036	－	永井 康史		(G)	全	1	金 1	共47講
	G0A10037	－	太田家 健佑		(G)	全	1	月 1	共28講		G0A10038	－	太田家 健佑		(G)	全	1	月 1	共28講
	G0A10039	－	藤井 善章		(G)	全	1	木 1	共37講		G0A10040	－	藤井 善章		(G)	全	1	木 1	共37講
	G0A10041	－	山崎 真照		(G)	全	1	水 2	共47講		G0A10042	－	山崎 真照		(G)	全	1	水 2	共47講
	G0A10043	－	今津 道夫		(G)	全	1	火 3	共47講		G0A10044	－	今津 道夫		(G)	全	1	火 3	共47講
	G0A10045	－	勝木 明夫		(G)	全	1	木 1	共47講		G0A10046	－	勝木 明夫		(G)	全	1	木 1	共47講

○データサイエンスリテラシー

前期 (前半)										後期 (前半)									
授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室
データサイエンス リテラシー [EA]	G0A20001	－	太田家 健佑		(G)	L I	1	集中 不定	[EA]	データサイエンス リテラシー [EA]	G0A20006	－	鈴木 治郎		(G特)	S I	1	集中 不定	[EA]
	G0A20002	－	平井 佑樹		(G)	E I	1	集中 不定	[EA]		G0A20007	－	鈴木 治郎		(G特)	M I (保)	1	集中 不定	[EA]
	G0A20003	－	高野 嘉寿彦		(G)	J I	1	集中 不定	[EA]		G0A20008	－	平井 佑樹		(G)	T I	1	集中 不定	[EA]
	G0A20004	－	鈴木 治郎		(G特)	M I (医)	1	集中 不定	[EA]		G0A20009	－	太田家 健佑		(G)	F I	1	集中 不定	[EA]
	G0A20005	－	太田家 健佑		(G)	A I	1	集中 不定	[EA]										

○統計・科学史・現代社会論

前 期				後 期			
授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時間
統計	G1B10001	Rで学ぶ統計の基礎	前田 豊	(L)	全	2	水 5
	G1B10005	統計学の基礎	湯田 彰夫	(G特)	全	2	水 1
	G1B10014	統計学入門	永井 康史	(G)	全	2	木 3
	G1B10016	統計学入門	永井 康史	(G)	全	2	金 3
	G1B10031	統計学からデータサイエンスへ【EA】	鈴木 治郎	(G特)	全	2	集中 不定
	G1B10032	機械学習入門	太田家 健佑	(G)	全	2	月 2
科学史	G1B1A101	統計リテラシー【EA】	平井 佑樹	(G)	全	2	集中 不定
	G1B20001	農学の視点からみた自然科学と技術の歩み	荒瀬 輝夫	(A)	全	2	水 3
	G1B20002	意外と長い人工知能の歴史	鈴木 治郎	(G特)	全	2	火 2
	G1B20003	科学と政治の日本戦後史	小池 洋平	(G)	全	2	木 2
	G1B20005	論理とパラドクスの思想史	篠原 成彦	(L)	全	2	水 4
	G1B20011	現代生物学史:分子遺伝学編	伊藤 靖夫	(G)	全	2	月 3
	G1B20013	ものづくり、互換性と標準化	松岡 浩仁	(T)	全	2	火 3
	G1B30001	大学生が出会う法・律問題	寺前 慎太郎	(0)	全	2	火 5
	G1B30003	人生100年時代のDEI【EA】	中島 美帆	(S)	全	2	水 5
	G1B30004	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	小山 茂喜	(G特)	全	2	金 3
現代社会論	G1B30007	キャリア形成論 I	勝亦 達夫	(G)	全	2	火 4
	G1B30008	キャリア形成論 I【EA】	勝亦 達夫	(G)	全	2	集中 不定
	G1B30010	地域未来論	林 靖人	(G)	全	2	金 5
	G1B30011	鶴国の文化(映画で学ぶ)	延 鐘淑	(非)	全	2	水 2
	G1B30022	地域のトップリーダーを繋ぐ【EA】	林 靖人	(G)	全	2	月 5
	G1B30024	異文化理解(中国の文化)	李 丹丹	(非)	全	2	木 4
	G1B30027	スタートアップ入門	松山 紀里子	(G)	全	2	木 4
	G1B30029	知の扉を開く(学長・理事・副学長等による初年度生対象特別講義)	安田 弘法	(G特)(G)	全	2	金 4
	G1B30016	キャリア形成論 II	勝亦 達夫	(G)	全	2	火 4
	G1B30017	キャリア形成論 II【EA】	勝亦 達夫	(G)	全	2	集中 不定
現代社会論	G1B30019	新聞と私たちの社会(信濃毎日新聞社寄付講義)	分藤 大翼	(G)	全	2	金 2
	G1B30020	現代社会における人権	小池 洋平	(G)	全	2	木 4
	G1B30023	スタートアップ入門【EA】	松山 紀里子	(G)	全	2	集中 不定
	G1B30026	ビジネスとマネジメント【EA】	藤野 義和	(0)	全	2	集中 不定
	G1B30028	異文化理解(中国の文化)	李 丹丹	(非)	全	2	木 4
	G1B30030	リーダーズレッスン-未来を拓く挑戦者たち	安田 弘法	(G特)(G)	全	2	金 4

授業科目	前期				後期				R7 (2025) 年度
	時間割 コード	副題	主担当教員	所属 担当	対象学生	規定 単位数	曜日 時間	講義室	
健康	G1C10001	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	F I (機)	1	月 2	前半：R61講 後半：共1体	(注) 前期に「健康科学・理論と実践」の単位を修得できなかった学生は、後期に開講する 他学部対象の「健康科学・理論と実践」を受講することはできません。
	G1C10002	健康科学・理論と実践	杉本 光公	(G)	F I (生)	1	月 2	前半：R61講 後半：共2体	
	G1C10003	健康科学・理論と実践	廣野 準一	(G)	F I (織：①)	1	月 2	前半：R61講 後半：共2体	
	G1C10004	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	F I (織：②)	1	月 2	前半：共1体 後半：R61講	
	G1C10005	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	T I (電情：①)	1	月 3	前半：R61講 後半：共1体	
	G1C10006	健康科学・理論と実践	杉本 光公	(G)	T I (電情：②)	1	月 3	前半：R61講 後半：共2体	
	G1C10007	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	T I (電情：③)	1	月 3	前半：共1体 後半：R61講	
	G1C10008	健康科学・理論と実践	杉本 光公	(G)	T I (電情：④)	1	月 3	前半：共1体 後半：R61講	
	G1C10009	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	J I (経：①)	1	月 4	前半：R61講 後半：共1体	
	G1C10010	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	J I (経：②)	1	月 4	前半：R61講 後半：共2体	
	G1C10011	健康科学・理論と実践	廣野 準一	(G)	J I (法：①)	1	月 4	前半：R61講 後半：共2体	
	G1C10012	健康科学・理論と実践	杉本 光公	(G)	J I (法：②)	1	月 4	前半：共1体 後半：R61講	
	G1C10013	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	M I (保：①)	1	火 1	前半：R61講 後半：共2体	
	G1C10014	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	M I (保：②)	1	火 1	前半：R61講 後半：共1体	
	G1C10015	健康科学・理論と実践	速水 達也	(G)	M I (保：③)	1	火 1	前半：共1体 後半：R61講	
	G1C10016	健康科学・理論と実践	加藤 彩乃	(G)	T I (質：①)	1	火 1	前半：共2体 後半：R61講	
	G1C10017	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	L I ①	1	火 2	前半：R61講 後半：共1体	
	G1C10018	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	L I ②	1	火 2	前半：R61講 後半：共2体	
	G1C10019	健康科学・理論と実践	加藤 彩乃	(G)	L I ③	1	火 2	前半：共2体 後半：R61講	
	G1C10020	健康科学・理論と実践	速水 達也	(G)	T I (建)	1	火 2	前半：共1体 後半：R61講	
健康	G1C10041	健康科学・理論と実践	森田 洋	他 (M)	全 I (通常の運動が困難な学生)	1	※1 集中 不定	※1	(注) 前期に「健康科学・理論と実践」の単位を修得できなかった学生は、後期に開講する 他学部対象の「健康科学・理論と実践」を受講することはできません。
	G1C10043	健康科学・理論と実践	加藤 彩乃	他 (M)	全 I (通常の運動が困難な学生)	1	※2 集中 不定	※2	

※1 通常の運動が困難な学生は、4月・9月に行うガイダンスにて履修方法を指示しますので、共通教育＜公用掲示板＞のガイダンス掲示に各自注意してください。

※2 再履修生対象クラス(G1C10043)履修希望者は、事前にシラバスを確認のうえ、早めに履修登録を行い、eALPSで受講を開始してください。通年開講です。

再履修生および2・3年次編入生については、原則として再履修生対象クラス(G1C10043)を受講してください。

(ただし、時間割上、各週開講クラス [G1C10001～G1C10040のいずれかのクラス] での受講が可能であり、かつ学生が希望する場合は、その受講を妨げるものではありません。

各週開講クラスでの受講を希望する再履修生および2・3年次編入生は、初回授業開始日までに各授業担当教員に申し出て受講許可を得てください。)

○言語 (1 年次)

R7 (2025) 年度

注：()アカデミック・イングリッシュ・フエイズ I ブラクティカル・イングリッシュ 《》クリティカル・リーディング

区分	授業科目	前 期					後 期									
		時間割 コード	副 題	主担当教員	所 属 担当	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室	時間割 コード	副 題	主担当教員	所 属 担当	対象学生	規定 単位数	曜日 時限
英 語	言語 (1 年次)	GID11301	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(上級)	マウー キム キセラ	(G) L I (1)	1	金 3	共 3 3 講	GID11401	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(上級)	マウー キム キセラ	(G) L I (1)	1	金 3	共 3 3 講	講義室
		GID11302	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(中級)	足立 総世	(非) L I (2)	1	金 3	共 3 6 講	GID11402	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(中級)	未定	(非) L I (2)	1	金 3	共 3 6 講	
		GID11303	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	ロドリック ミツキム	(非) L I (3)	1	金 3	共 2 3 講	GID11403	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	ロドリック ミツキム	(非) L I (3)	1	金 3	共 2 3 講	
		GID11304	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	デイヴィッド ルンダカ	(G) L I (4)	1	金 3	共 2 5 講	GID11404	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	未定	(非) L I (4)	1	金 3	共 2 5 講	
		GID11305	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	森木 順子	(非) L I (5)	1	金 3	共 2 6 講	GID11405	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	森木 順子	(非) L I (5)	1	金 3	共 2 6 講	
		GID11701	クリティカル・リーディングⅠ(上級)	兼元 美友	(G) L I 《1》	1	水 2	共 5 6 講	GID11801	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	兼元 美友	(G) L I 《1》	1	水 2	共 5 6 講	
		GID11702	クリティカル・リーディングⅠ(中級)	デイヴィッド ルンダカ	(G) L I 《2》	1	水 2	共 5 3 講	GID11802	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	デイヴィッド ルンダカ	(G) L I 《2》	1	水 2	共 5 3 講	
		GID11703	クリティカル・リーディングⅠ(初級)	フレッド カルス	(非) L I 《3》	1	水 2	共 4 6 講	GID11803	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	フレッド カルス	(非) L I 《3》	1	水 2	共 4 6 講	
		GID11704	クリティカル・リーディングⅠ(初級)	森木 順子	(非) L I 《4》	1	水 2	共 4 0 1 演	GID11804	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	森木 順子	(非) L I 《4》	1	水 2	共 4 0 1 演	
		GID11306	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(上級)	マウー キム キセラ	(G) E I (1)	1	月 3	共 3 3 講	GID11406	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(上級)	マウー キム キセラ	(G) E I (1)	1	月 3	共 3 3 講	
		GID11307	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(中級)	林 英美	(非) E I (2)	1	月 3	共 2 4 講	GID11407	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(中級)	林 英美	(非) E I (2)	1	月 3	共 2 4 講	
		GID11308	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	デイヴィッド グレイ	(非) E I (3)	1	月 3	共 2 5 講	GID11408	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	未定	(非) E I (3)	1	月 3	共 2 5 講	
		GID11309	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	フレッド カルス	(非) E I (4)	1	月 3	共 2 6 講	GID11409	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	フレッド カルス	(非) E I (4)	1	月 3	共 2 6 講	
		GID11310	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(上級)	フレッド カルス	(非) E I (5)	1	水 3	共 3 5 講	GID11410	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(上級)	フレッド カルス	(非) E I (5)	1	水 3	共 3 5 講	
		GID11311	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(中級)	リアナ ジョセフ	(非) E I (6)	1	水 3	共 2 4 講	GID11411	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(中級)	リアナ ジョセフ	(非) E I (6)	1	水 3	共 2 4 講	
		GID11312	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(中級)	マイケル ジョアンソン	(非) E I (7)	1	水 3	共 2 6 講	GID11412	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(中級)	マイケル ジョアンソン	(非) E I (7)	1	水 3	共 2 6 講	
		GID11313	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	マーク ブライアリー	(G) E I (8)	1	水 3	共 3 4 講	GID11413	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	マーク ブライアリー	(G) E I (8)	1	水 3	共 3 4 講	
		GID11501	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(上級)	清澤 美恵	(非) E I 【1】	1	月 3	共 6 4 講	GID11601	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(上級)	清澤 美恵	(非) E I 【1】	1	月 3	共 6 4 講	
		GID11502	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(中級)	岩井 恵利奈	(G) E I 【2】	1	月 3	共 2 8 講	GID11602	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(中級)	岩井 恵利奈	(G) E I 【2】	1	月 3	共 2 8 講	
		GID11503	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(初級)	近藤 富英	(G特) E I 【3】	1	月 3	共 4 6 講	GID11603	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(初級)	近藤 富英	(G特) E I 【3】	1	月 3	共 4 6 講	
		GID11504	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(上級)	ジェシカ ピオーラ	(非) E I 【4】	1	水 3	共 3 7 講	GID11604	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(上級)	ジェシカ ピオーラ	(非) E I 【4】	1	水 3	共 3 7 講	
		GID11505	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(中級)	岩井 恵利奈	(G) E I 【5】	1	水 3	共 2 8 講	GID11605	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(中級)	岩井 恵利奈	(G) E I 【5】	1	水 3	共 2 8 講	
		GID11506	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(初級)	蓬萊 朋子	(G) E I 【6】	1	水 3	共 4 6 講	GID11606	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(初級)	蓬萊 朋子	(G) E I 【6】	1	水 3	共 4 6 講	
		GID11314	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(上級)	リアナ ジョセフ	(非) J I (1)	1	火 1	共 3 5 講	GID11414	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(上級)	リアナ ジョセフ	(非) J I (1)	1	火 1	共 3 5 講	
		GID11315	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(中級)	スプリング 有木子	(非) J I (2)	1	火 1	共 2 4 講	GID11415	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(中級)	スプリング 有木子	(非) J I (2)	1	火 1	共 2 4 講	
		GID11316	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(中級)	サカサト ローレン	(G) J I (3)	1	火 1	共 3 6 講	GID11416	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(中級)	未定	(非) J I (3)	1	火 1	共 3 6 講	
		GID11317	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	兼元 美友	(G) J I (4)	1	火 1	共 2 8 講	GID11417	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	兼元 美友	(G) J I (4)	1	火 1	共 2 8 講	
		GID11318	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	宮坂 るみ	(非) J I (5)	1	火 1	共 2 5 講	GID11418	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	宮坂 るみ	(非) J I (5)	1	火 1	共 2 5 講	
		GID11319	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅠ(Ⅷ)(初級)	マーク ブライアリー	(G) J I (6)	1	火 1	共 3 4 講	GID11419	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅡ(Ⅷ)(初級)	マーク ブライアリー	(G) J I (6)	1	火 1	共 3 4 講	
		GID11507	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(上級)	ジェシカ ピオーラ	(非) J I 【1】	1	水 4	共 3 7 講	GID11607	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(上級)	未定	(非) J I 【1】	1	水 4	共 3 7 講	
		GID11508	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(中級)	長谷部 めぐみ	(G) J I 【2】	1	水 4	共 5 3 講	GID11608	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(中級)	長谷部 めぐみ	(G) J I 【2】	1	水 4	共 5 3 講	
		GID11509	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(初級)	岩井 恵利奈	(G) J I 【3】	1	水 4	共 2 8 講	GID11609	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(初級)	岩井 恵利奈	(G) J I 【3】	1	水 4	共 2 8 講	
		GID11510	ブラクティカル・イングリッシュⅠ(初級)	蓬萊 朋子	(G) J I 【4】	1	水 4	共 4 6 講	GID11610	ブラクティカル・イングリッシュⅡ(初級)	蓬萊 朋子	(G) J I 【4】	1	水 4	共 4 6 講	

区分	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員 副 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員 副 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室
英	語	GID11101	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	リアナ ジョセフ	(非)	SI (1)	1	水 2	共 3 5 講	GID11201	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	リアナ ジョセフ	(非)	SI (1)	1	水 2	共 3 5 講
		GID11102	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	マータ プライアリー	(G)	SI (2)	1	水 2	共 3 4 講	GID11202	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	マータ プライアリー	(G)	SI (2)	1	水 2	共 3 4 講
		GID11103	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	ジャスティン ハーグー	(非)	SI (3)	1	水 2	共 3 6 講	GID11203	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	ジャスティン ハーグー	(非)	SI (3)	1	水 2	共 3 6 講
		GID11104	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	デイヴィッド グレイ	(非)	SI (4)	1	水 2	共 3 3 講	GID11204	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	デイヴィッド グレイ	(非)	SI (4)	1	水 2	共 3 3 講
		GID11105	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	スプリング 有木子	(非)	SI (5)	1	水 2	共 2 6 講	GID11205	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	スプリング 有木子	(非)	SI (5)	1	水 2	共 2 6 講
		GID11106	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	内川 安江	(非)	SI (6)	1	水 2	共 2 3 講	GID11206	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	内川 安江	(非)	SI (6)	1	水 2	共 2 3 講
		GID11107	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	長谷部 めぐみ	(G)	SI (7)	1	水 2	共 2 4 講	GID11207	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	長谷部 めぐみ	(G)	SI (7)	1	水 2	共 2 4 講
		GID11511	ブラクタイカル・イングリッeshⅠ(上級)	ナカサト ローレン	(G)	SI【1】	1	木 1	共 5 3 講	GID11611	ブラクタイカル・イングリッeshⅡ(上級)	岩井 恵利奈	(G)	SI【1】	1	木 1	共 5 3 講
		GID11512	ブラクタイカル・イングリッeshⅠ(上級)	岩井 恵利奈	(G)	SI【2】	1	木 1	共 5 5 講	GID11612	ブラクタイカル・イングリッeshⅡ(中級)	岩井 恵利奈	(G)	SI【2】	1	木 1	共 5 5 講
		GID11513	ブラクタイカル・イングリッeshⅠ(中級)	宮坂 るみ	(非)	SI【3】	1	木 1	共 4 6 講	GID11613	ブラクタイカル・イングリッeshⅡ(中級)	宮坂 るみ	(非)	SI【3】	1	木 1	共 4 6 講
		GID11514	ブラクタイカル・イングリッeshⅠ(初級)	宮崎 ひろ美	(非)	SI【4】	1	木 1	共 4 0 1 演	GID11614	ブラクタイカル・イングリッeshⅡ(初級)	未定	(非)	SI【4】	1	木 1	共 4 0 1 演
		GID11515	ブラクタイカル・イングリッeshⅠ(初級)	藤原 隆史	(非)	SI【5】	1	木 1	共 6 4 講	GID11615	ブラクタイカル・イングリッeshⅡ(初級)	藤原 隆史	(非)	SI【5】	1	木 1	共 6 4 講
		GID11320	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(上級)	マイケル ジョンソン	(非)	MI (医)	(1)	水 4	共 2 6 講	GID11420	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	マイケル ジョンソン	(非)	MI (医)	(1)	水 4	共 2 6 講
		GID11321	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(上級)	デイヴィッド カジカ	(G)	MI (医)	(2)	水 4	共 3 4 講	GID11421	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	デイヴィッド カジカ	(G)	MI (医)	(2)	水 4	共 3 4 講
		GID11322	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(上級)	ジャスティン ハーグー	(非)	MI (医)	(3)	水 4	共 2 4 講	GID11422	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	ジャスティン ハーグー	(非)	MI (医)	(3)	水 4	共 2 4 講
		GID11323	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	デイヴィッド グレイ	(非)	MI (医)	(4)	水 4	共 2 5 講	GID11423	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	デイヴィッド グレイ	(非)	MI (医)	(4)	水 4	共 2 5 講
		GID11705	クリタイカル・リーディングⅠ(上級)	近藤 富英	(G特)	MI (医)	《1》	月 1	共 2 4 講	GID11805	クリタイカル・リーディングⅡ(上級)	近藤 富英	(G特)	MI (医)	《1》	月 1	共 2 4 講
		GID11706	クリタイカル・リーディングⅠ(上級)	デイヴィッド グレイ	(非)	MI (医)	《2》	月 1	共 2 5 講	GID11806	クリタイカル・リーディングⅡ(上級)	デイヴィッド グレイ	(非)	MI (医)	《2》	月 1	共 2 5 講
		GID11707	クリタイカル・リーディングⅠ(上級)	サミュエル ワイントリ	(非)	MI (医)	《3》	月 1	共 5 6 講	GID11807	クリタイカル・リーディングⅡ(上級)	サミュエル ワイントリ	(非)	MI (医)	《3》	月 1	共 5 6 講
英	語	GID11324	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(上級)	リアナ ジョセフ	(非)	MI (保)	(1)	水 1	共 3 5 講	GID11424	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	リアナ ジョセフ	(非)	MI (保)	(1)	水 1	共 3 5 講
		GID11325	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	ナカサト ローレン	(G)	MI (保)	(2)	水 1	共 2 4 講	GID11425	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	未定	(G)	MI (保)	(2)	水 1	共 2 4 講
		GID11326	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	マータ プライアリー	(G)	MI (保)	(3)	水 1	共 3 4 講	GID11426	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	マータ プライアリー	(G)	MI (保)	(3)	水 1	共 3 4 講
		GID11327	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	兼元 美友	(G)	MI (保)	(4)	水 1	共 5 6 講	GID11427	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	兼元 美友	(G)	MI (保)	(4)	水 1	共 5 6 講
		GID11328	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	スプリング 有木子	(非)	MI (保)	(5)	水 1	共 2 6 講	GID11428	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	スプリング 有木子	(非)	MI (保)	(5)	水 1	共 2 6 講
		GID11708	クリタイカル・リーディングⅠ(上級)	サミュエル ワイントリ	(非)	MI (保)	《1》	金 2	共 5 3 講	GID11808	クリタイカル・リーディングⅡ(上級)	未定	(非)	MI (保)	《1》	金 2	共 5 3 講
		GID11709	クリタイカル・リーディングⅠ(中級)	ジョン マーメット	(非)	MI (保)	《2》	金 2	共 4 0 1 演	GID11809	クリタイカル・リーディングⅡ(中級)	ジョン マーメット	(非)	MI (保)	《2》	金 2	共 4 0 1 演
		GID11710	クリタイカル・リーディングⅠ(中級)	ロザリッタ ミツヤマ	(非)	MI (保)	《3》	金 2	共 4 6 講	GID11810	クリタイカル・リーディングⅡ(中級)	ロザリッタ ミツヤマ	(非)	MI (保)	《3》	金 2	共 4 6 講
		GID11108	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(上級)	マータ プライアリー	(G)	TI (1)	1	木 3	共 3 4 講	GID11208	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	マータ プライアリー	(G)	TI (1)	1	木 3	共 3 4 講
		GID11109	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	蓬萊 朋子	(G)	TI (2)	1	木 3	共 4 0 1 演	GID11209	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	蓬萊 朋子	(G)	TI (2)	1	木 3	共 4 0 1 演
		GID11110	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	清澤 美恵	(非)	TI (3)	1	木 3	共 2 4 講	GID11210	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	清澤 美恵	(非)	TI (3)	1	木 3	共 2 4 講
		GID11111	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	近藤 富英	(G特)	TI (4)	1	木 3	共 2 6 講	GID11211	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	近藤 富英	(G特)	TI (4)	1	木 3	共 2 6 講
		GID11112	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	宮崎 ひろ美	(非)	TI (5)	1	木 3	共 3 5 講	GID11212	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	未定	(非)	TI (5)	1	木 3	共 3 5 講
		GID11113	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	宮坂 るみ	(非)	TI (6)	1	木 3	共 3 6 講	GID11213	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	宮坂 るみ	(非)	TI (6)	1	木 3	共 3 6 講
		GID11114	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	大島 香織	(非)	TI (7)	1	木 3	共 2 5 講	GID11214	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	大島 香織	(非)	TI (7)	1	木 3	共 2 5 講
		GID11115	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	芦田 真樹子	(非)	TI (8)	1	木 3	共 2 8 講	GID11215	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	芦田 真樹子	(非)	TI (8)	1	木 3	共 2 8 講
		GID11116	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(上級)	有賀 メアリー	(非)	TI (9)	1	金 4	共 2 4 講	GID11216	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(上級)	有賀 メアリー	(非)	TI (9)	1	金 4	共 2 4 講
		GID11117	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	ジェシカ ビョーラ	(非)	TI (10)	1	金 4	共 3 6 講	GID11217	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	ジェシカ ビョーラ	(非)	TI (10)	1	金 4	共 3 6 講
		GID11118	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	蓬萊 朋子	(G)	TI (11)	1	金 4	共 2 5 講	GID11218	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	蓬萊 朋子	(G)	TI (11)	1	金 4	共 2 5 講
		GID11119	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(中級)	森木 順子	(非)	TI (12)	1	金 4	共 2 6 講	GID11219	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(中級)	森木 順子	(非)	TI (12)	1	金 4	共 2 6 講
英	語	GID11120	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	村田 明	(非)	TI (13)	1	金 4	共 3 4 講	GID11220	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	村田 明	(非)	TI (13)	1	金 4	共 3 4 講
		GID11121	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	長谷部 めぐみ	(G)	TI (14)	1	金 4	共 2 3 講	GID11221	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	長谷部 めぐみ	(G)	TI (14)	1	金 4	共 2 3 講
		GID11122	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	近藤 富英	(G特)	TI (15)	1	金 4	共 3 3 講	GID11222	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	近藤 富英	(G特)	TI (15)	1	金 4	共 3 3 講
		GID11123	アカガミツク・イングリッesh・フエイズI(Ⅰ)(初級)	足立 総世	(非)	TI (16)	1	金 4	共 2 8 講	GID11223	アカガミツク・イングリッesh・フエイズII(Ⅰ)(初級)	未定	(非)	TI (16)	1	金 4	共 2 8 講

区分	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室
英語	英 語	GID11711	クリティカル・リーディングⅠ(上級)	スプリング 有木子	(非)	TⅠ(水士・實・建)《1》	1	月 2	共 4 6 講	GID11811	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	スプリング 有木子	(非)	TⅠ(水士・實・建)《1》	1	月 2	共 4 6 講
		GID11712	クリティカル・リーディングⅠ(上級)	サモエル ウェンジャー	(非)	TⅠ(水士・實・建)《2》	1	月 2	共 5 6 講	GID11812	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	サモエル ウェンジャー	(非)	TⅠ(水士・實・建)《2》	1	月 2	共 5 6 講
		GID11713	クリティカル・リーディングⅠ(中級)	清澤 美恵	(非)	TⅠ(水士・實・建)《3》	1	月 2	共 6 4 講	GID11813	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	清澤 美恵	(非)	TⅠ(水士・實・建)《3》	1	月 2	共 6 4 講
		GID11714	クリティカル・リーディングⅠ(中級)	ステファーン マカガイア	(非)	TⅠ(水士・實・建)《4》	1	月 2	共 5 3 講	GID11814	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	ステファーン マカガイア	(非)	TⅠ(水士・實・建)《4》	1	月 2	共 5 3 講
		GID11715	クリティカル・リーディングⅠ(初級)	マーク プライアリー	(G)	TⅠ(水士・實・建)《5》	1	月 2	共 5 5 講	GID11815	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	マーク プライアリー	(G)	TⅠ(水士・實・建)《5》	1	月 2	共 5 5 講
		GID11716	クリティカル・リーディングⅠ(上級)	兼元 美友	(G)	TⅠ(電情・機械)《6》	1	月 4	共 5 5 講	GID11816	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	兼元 美友	(G)	TⅠ(電情・機械)《6》	1	月 4	共 5 5 講
		GID11717	クリティカル・リーディングⅠ(上級)	デイヴィッド グレイ	(非)	TⅠ(電情・機械)《7》	1	月 4	共 6 4 講	GID11817	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	デイヴィッド グレイ	(非)	TⅠ(電情・機械)《7》	1	月 4	共 6 4 講
		GID11718	クリティカル・リーディングⅠ(中級)	森木 順子	(非)	TⅠ(電情・機械)《8》	1	月 4	共 4 0 1 演	GID11818	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	森木 順子	(非)	TⅠ(電情・機械)《8》	1	月 4	共 4 0 1 演
		GID11719	クリティカル・リーディングⅠ(中級)	村田 明	(非)	TⅠ(電情・機械)《9》	1	月 4	共 2 8 講	GID11819	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	村田 明	(非)	TⅠ(電情・機械)《9》	1	月 4	共 2 8 講
		GID11720	クリティカル・リーディングⅠ(初級)	林 英美	(非)	TⅠ(電情・機械)《10》	1	月 4	共 4 6 講	GID11820	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	林 英美	(非)	TⅠ(電情・機械)《10》	1	月 4	共 4 6 講
		GID11721	クリティカル・リーディングⅠ(初級)	マーク プライアリー	(G)	TⅠ(電情・機械)《11》	1	月 4	共 5 3 講	GID11821	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	未定			1	月 4	共 5 3 講
		GID11124	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(上級)	マーク プライアリー	(G)	AⅠ(1)	1	木 2	共 3 4 講	GID11224	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(上級)	マーク プライアリー	(G)	AⅠ(1)	1	木 2	共 3 4 講
		GID11125	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(中級)	藤原 隆史	(非)	AⅠ(2)	1	木 2	共 2 4 講	GID11225	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(中級)	藤原 隆史	(非)	AⅠ(2)	1	木 2	共 2 4 講
		GID11126	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	宮崎 ひろ美	(非)	AⅠ(3)	1	木 2	共 4 0 1 演	GID11226	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	未定			1	木 2	共 4 0 1 演
		GID11127	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	大島 香織	(非)	AⅠ(4)	1	木 2	共 2 5 講	GID11227	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	大島 香織	(非)	AⅠ(4)	1	木 2	共 2 5 講
		GID11128	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(中級)	足立 総世	(非)	AⅠ(5)	1	木 4	共 2 5 講	GID11228	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(中級)	未定			1	木 2	共 2 5 講
		GID11129	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	宮坂 るみ	(非)	AⅠ(6)	1	木 4	共 3 6 講	GID11229	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	宮坂 るみ	(非)	AⅠ(6)	1	木 2	共 3 6 講
		GID11722	クリティカル・リーディングⅠ(上級)	スプリング 有木子	(非)	AⅠ《1》	1	月 1	共 4 6 講	GID11822	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	スプリング 有木子	(非)	AⅠ《1》	1	月 1	共 4 6 講
		GID11723	クリティカル・リーディングⅠ(中級)	ステファーン マカガイア	(非)	AⅠ《2》	1	月 1	共 5 3 講	GID11823	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	ステファーン マカガイア	(非)	AⅠ《2》	1	月 1	共 5 3 講
		GID11724	クリティカル・リーディングⅠ(中級)	マーク プライアリー	(G)	AⅠ《3》	1	月 1	共 5 5 講	GID11824	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	マーク プライアリー	(G)	AⅠ《3》	1	月 1	共 5 5 講
		GID11725	クリティカル・リーディングⅠ(初級)	森木 順子	(非)	AⅠ《4》	1	月 1	共 4 0 1 演	GID11825	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	未定			1	月 1	共 4 0 1 演
		GID11130	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(上級)	マーク プライアリー	(G)	FⅠ(1)	1	火 2	共 3 4 講	GID11230	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(上級)	マーク プライアリー	(G)	FⅠ(1)	1	火 2	共 3 4 講
		GID11131	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(中級)	高橋 ユウエン	(非)	FⅠ(2)	1	火 2	共 3 3 講	GID11231	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(中級)	高橋 ユウエン	(非)	FⅠ(2)	1	火 2	共 3 3 講
		GID11132	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	ジャスティン ハーヴェー	(非)	FⅠ(3)	1	火 2	共 2 6 講	GID11232	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	ジャスティン ハーヴェー	(非)	FⅠ(3)	1	火 2	共 2 6 講
		GID11133	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(中級)	リアナ ジョセフ	(非)	FⅠ(4)	1	火 2	共 3 5 講	GID11233	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(中級)	リアナ ジョセフ	(非)	FⅠ(4)	1	火 2	共 3 5 講
		GID11134	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	山口 和彦	(G特)	FⅠ(5)	1	火 2	共 3 7 講	GID11234	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	未定			1	火 2	共 3 7 講
		GID11135	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(中級)	芦田 真樹子	(非)	FⅠ(6)	1	火 2	共 3 6 講	GID11235	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(中級)	芦田 真樹子	(非)	FⅠ(6)	1	火 2	共 3 6 講
		GID11136	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	宮坂 るみ	(非)	FⅠ(7)	1	火 2	共 2 5 講	GID11236	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	宮坂 るみ	(非)	FⅠ(7)	1	火 2	共 2 5 講
		GID11137	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	スプリング 有木子	(非)	FⅠ(8)	1	火 2	共 2 4 講	GID11237	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	スプリング 有木子	(非)	FⅠ(8)	1	火 2	共 2 4 講
		GID11138	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	内川 安江	(非)	FⅠ(9)	1	火 2	共 2 3 講	GID11238	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	内川 安江	(非)	FⅠ(9)	1	火 2	共 2 3 講
		GID11139	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)(初級)	近藤 富英	(G特)	FⅠ(10)	1	火 2	共 4 0 1 演	GID11239	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅡ(A)(初級)	近藤 富英	(G特)	FⅠ(10)	1	火 2	共 4 0 1 演
		GID11516	ブラクテイクカル・イングリッシュⅠ(上級)	デイヴィッド ルンダカ	(G)	FⅠ【1】	1	木 4	共 4 6 講	GID11616	ブラクテイクカル・イングリッシュⅡ(上級)	デイヴィッド ルンダカ	(G)	FⅠ【1】	1	木 4	共 4 6 講
		GID11517	ブラクテイクカル・イングリッシュⅠ(中級)	長谷部 めぐみ	(G)	FⅠ【2】	1	木 4	共 3 7 講	GID11617	ブラクテイクカル・イングリッシュⅡ(中級)	長谷部 めぐみ	(G)	FⅠ【2】	1	木 4	共 3 7 講
		GID11518	ブラクテイクカル・イングリッシュⅠ(中級)	岩井 恵利奈	(G)	FⅠ【3】	1	木 4	共 5 5 講	GID11618	ブラクテイクカル・イングリッシュⅡ(中級)	岩井 恵利奈	(G)	FⅠ【3】	1	木 4	共 5 5 講
		GID11519	ブラクテイクカル・イングリッシュⅠ(初級)	加藤 欽三	(G特)	FⅠ【4】	1	木 4	共 5 3 講	GID11619	ブラクテイクカル・イングリッシュⅡ(初級)	未定			1	木 4	共 5 3 講
		GID11520	ブラクテイクカル・イングリッシュⅠ(初級)	蓬萊 朋子	(G)	FⅠ【5】	1	木 4	共 4 0 1 演	GID11620	ブラクテイクカル・イングリッシュⅡ(初級)	蓬萊 朋子	(G)	FⅠ【5】	1	木 4	共 4 0 1 演
		GID11521	ブラクテイクカル・イングリッシュⅠ(初級)	芦田 真樹子	(非)	FⅠ【6】	1	木 4	共 2 8 講	GID11621	ブラクテイクカル・イングリッシュⅡ(初級)	芦田 真樹子	(非)	FⅠ【6】	1	木 4	共 2 8 講
言語 (1 年次)																	
										GID11140	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(A)	山口 和彦	(G特)	再履修生 (1 年生のみ)	1	木 5	共 4 0 講
										GID11239	アカデミック・イングリッシュ・フーズⅠ(B)	兼元 美友	(G)	再履修生 (1 年生のみ)	1	月 5	共 4 0 講

区分	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	所属 担当	対象学生	規定 単位数	曜日 時間	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	所属 担当	対象学生	規定 単位数	曜日 時間	講義室
中国語		GID12101	中国語初級 (総合) I	陳 喜	(非)	全	1	月 5	共 3 6 講	GID12201	中国語初級 (総合) II	島崎 朋子	(非)	全	1	月 5	共 3 6 講
		GID12102	中国語初級 (総合) I	島崎 朋子	(非)	全	1	月 4	共 3 6 講	GID12202	中国語初級 (総合) II	島崎 朋子	(非)	全	1	月 4	共 3 6 講
		GID12301	中国語初級 (文法) I	伊藤 加奈子	(L)	L I / 全	1	水 1	共 6 4 講	GID12401	中国語初級 (文法) II	伊藤 加奈子	(L)	L I / 全	1	水 1	共 6 4 講
		GID12302	中国語初級 (文法) I	李 丹丹	(非)	L I / 全	1	水 1	共 3 3 講	GID12402	中国語初級 (文法) II	李 丹丹	(非)	L I / 全	1	水 1	共 3 3 講
		GID12501	中国語初級 (読解・会話) I	陳 喜	(非)	L I / 全	1	月 3	共 3 6 講	GID12601	中国語初級 (読解・会話) II	島崎 朋子	(非)	L I / 全	1	月 3	共 3 6 講
		GID12502	中国語初級 (読解・会話) I	中島 暉	(非)	L I / 全	1	月 3	共 2 3 講	GID12602	中国語初級 (読解・会話) II	中島 暉	(非)	L I / 全	1	月 3	共 2 3 講
ドイツ語		GID13101	ドイツ語初級 (総合) I	松岡 幸司	(G)	全	1	月 5	共 2 8 講	GID13201	ドイツ語初級 (総合) II	松岡 幸司	(G)	全	1	月 5	共 2 8 講
		GID13103	ドイツ語初級 (総合) I	浜 泰子	(非)	全	1	火 3	共 3 5 講	GID13203	ドイツ語初級 (総合) II	浜 泰子	(非)	全	1	火 3	共 3 5 講
		GID13301	ドイツ語初級 (文法) I	和田 真歩	(非)	L I	1	水 1	共 3 6 講	GID13401	ドイツ語初級 (文法) II	和田 真歩	(非)	L I	1	水 1	共 3 6 講
		GID13302	ドイツ語初級 (文法) I	磯部 美穂	(L)	L I	1	月 3	共 6 5 講	GID13402	ドイツ語初級 (文法) II	磯部 美穂	(L)	L I	1	月 3	共 6 5 講
		GID13303	ドイツ語初級 (文法) I	浜 泰子	(非)	全	1	火 1	共 3 2 講	GID13403	ドイツ語初級 (文法) II	浜 泰子	(非)	全	1	火 1	共 3 2 講
		GID13501	ドイツ語初級 (読解・会話) I	松岡 幸司	(G)	L I	1	月 3	共 5 2 講	GID13601	ドイツ語初級 (読解・会話) II	松岡 幸司	(G)	L I	1	月 3	共 5 2 講
フランス語		GID13502	ドイツ語初級 (読解・会話) I	松岡 幸司	(G)	L I	1	水 1	共 4 0 1 演	GID13602	ドイツ語初級 (読解・会話) II	松岡 幸司	(G)	L I	1	水 1	共 4 0 1 演
		GID13503	ドイツ語初級 (読解・会話) I	松岡 幸司	(G)	全	1	木 3	共 3 3 講	GID13603	ドイツ語初級 (読解・会話) II	松岡 幸司	(G)	全	1	木 3	共 3 3 講
		GID13204	ドイツ語初級 (総合) II 【EA】	松岡 幸司	(G)	全 (前期後期スタート学生対象)	1	集中 不定	【EA】	GID13104	ドイツ語初級 (総合) I 【EA】	松岡 幸司	(G)	全 (後期スタート)	1	集中 不定	【EA】
		GID14101	フランス語初級 (総合) I	鈴木 球子	(G)	全	1	月 5	共 3 5 講	GID14201	フランス語初級 (総合) II	鈴木 球子	(G)	全	1	月 5	共 3 5 講
		GID14301	フランス語初級 (文法) I	鎌田 隆行	(L)	L I / 全	1	水 1	共 5 3 講	GID14401	フランス語初級 (文法) II	鎌田 隆行	(L)	L I / 全	1	水 1	共 5 3 講
		GID14501	フランス語初級 (読解・会話) I	吉田 正明	(非)	L I / 全	1	月 3	共 3 4 講	GID14601	フランス語初級 (読解・会話) II	吉田 正明	(非)	L I / 全	1	月 3	共 3 4 講
ハンガール		GID14502	フランス語初級 (読解・会話) I	鈴木 球子	(G)	L I / 全	1	月 3	共 3 5 講	GID14602	フランス語初級 (読解・会話) II	鈴木 球子	(G)	L I / 全	1	月 3	共 3 5 講
		GID15101	ハンガール初級 (総合) I	延 鎮淑	(非)	全	1	月 5	共 3 7 講	GID15201	ハンガール初級 (総合) II	延 鎮淑	(非)	全	1	月 5	共 3 7 講
		GID15301	ハンガール初級 (文法) I	延 鎮淑	(非)	L I / 全	1	水 1	共 4 6 講	GID15401	ハンガール初級 (文法) II	延 鎮淑	(非)	L I / 全	1	水 1	共 4 6 講
		GID15501	ハンガール初級 (読解・会話) I	延 鎮淑	(非)	L I / 全	1	月 3	共 5 3 講	GID15601	ハンガール初級 (読解・会話) II	延 鎮淑	(非)	L I / 全	1	月 3	共 5 3 講
		GID16101	スペイン語初級 (総合) I	足立 総世	(非)	全	1	月 5	共 4 0 1 演	GID16201	スペイン語初級 (総合) II	伊藤 エドナ・リリアナ	(非)	全	1	月 5	共 4 0 1 演
		GID16301	スペイン語初級 (文法) I	足立 総世	(非)	L I / 全	1	月 3	共 5 5 講	GID16401	スペイン語初級 (文法) II	伊藤 エドナ・リリアナ	(非)	L I / 全	1	月 3	共 5 5 講
スペイン語		GID16302	スペイン語初級 (文法) I	足立 総世	(非)	L I / 全	1	水 1	共 3 7 講	GID16501	スペイン語初級 (読解・会話) I	伊藤 エドナ・リリアナ	(非)	L I / 全	1	水 1	共 4 0 講
		GID16501	スペイン語初級 (読解・会話) I	伊藤 エドナ・リリアナ	(非)	L I / 全	1	水 1	共 4 0 講	GID16601	スペイン語初級 (読解・会話) II	伊藤 エドナ・リリアナ	(非)	L I / 全	1	水 1	共 4 0 講
		GID16502	スペイン語初級 (読解・会話) I	伊藤 エドナ・リリアナ	(非)	L I / 全	1	月 3	共 4 0 講								

(2) 教養系

R7 (2025) 年度

区分	前 期				後 期			
	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	期	副担当	所属	対象学生
哲 学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期
芸術学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期
文学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期
言語学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期
歴史学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期
社会学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期
心理学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期
教育学	規定 単位数	曜日 時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	期

《次頁へ続く》

区分	前期			後期			期														
	授業科目	時間割コード	副題	主担当教員	副担当	所属		対象学生	規定単位数	曜日・時間	演習	講義室	時間割コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定単位数	曜日・時間	演習
法学・政治学	G2B40901	G2B40901	日本国憲法	成澤 孝人		〇	全	2	月 3	共20講	共20講	G2B40906	日本国憲法	小池 洋平		(G)	全	2	水 4	共13講	講義室
	G2B40902	G2B40902	日本国憲法	小池 洋平		(G)	全	2	水 2	共20講	共20講	G2B40907	日本国憲法	小池 洋平		(G)	全	2	木 5	共20講	
	G2B40903	G2B40903	日本国憲法	小池 洋平		(G)	全	2	水 5	共20講	共20講	G2B40912	現代社会における統治機構	小池 洋平		(G)	全	2	水 5	共13講	
	G2B40904	G2B40904	日本国憲法	小池 洋平		(G)	全	2	木 4	共43講	共43講	G2B40921	消費生活と法	金井 悠一郎		〇	全	2	月 2	共61講	
	G2B40905	G2B40905	日本国憲法	小池 洋平		(G)	全	2	木 5	共20講	共20講										
	G2B40906	G2B40906	日本国憲法	関 良徳		(E)	全	2	集中不定	[EA]	[EA]	G2B45904	共生のための人権研究ゼミ	小池 洋平		(G)	全	2	木 3	共23講	
	G2B40907	G2B40907	法学入門	弘中 章		(E)	全	2	月 5	共20講	共20講										
	G2B40919	G2B40919	AIと知的財産法(JASRAC・著作権講座)	鈴木 雄一		(特)	全	2	金 4・5	経211											
	G2B40920	G2B40920	税法入門	橋本 彩		〇	全	2	月 3	共12講	共12講										
	G2B45910	G2B45910	社会科学入門ゼミ	沼尾 中久		〇	全	2	木 4	共62講	共62講										
	G2B45912	G2B45912	信州で考える憲法問題研究ゼミ	小池 洋平		(G)	全	2	水 3	共55講	共55講										
	G2B45913	G2B45913	小説で行政学ゼミ	沼尾 中久		〇	全	2	金 4	共62講	共62講										
	G2B41020	G2B41020	データによる経済・経営分析	棉 潔		〇	全	2	水 1	共61講	共61講	G2B41006	金融リテラシー	青木 周平		〇	全	2	金 3	共13講	
	G2B41J01	G2B41J01	マイクロ経済学入門[EA]	増原 宏明		〇	全	2	集中不定	[EA]	[EA]	G2B41012	金融リスク管理と信用	東 俊之		(G)	全	2	集中不定	共13講	[EA]
	G2B41J01	G2B41J01	マイクロ経済学入門[EA]	ウエズテニウス 嘉晃		〇	全	2	集中不定	[EA]	[EA]	G2B41018	生命保険を考える	山内 和義		(G)	全	2	木 3	共12講	
経済学・経営学	G2B46008	G2B46008	オークション入門ゼミ	広瀬 要輔		〇	全	2	金 1	共55講	共55講	G2B41022	信州の発酵食品メーカーの経営戦略[EA]	底野 充		(G)	全	2	集中不定	[EA]	[EA]
	G2B46009	G2B46009	社会問題研究ゼミ(基礎編)	井上 信宏		〇	全	2	木 2	共63講	共63講	G2B41J02	医療経済学入門[EA]	常本 尚司		(G)	全	2	集中不定	[EA]	[EA]
												G2B41J02	マイクロ経済学入門[EA]	増原 宏明		〇	全	2	集中不定	[EA]	[EA]
												G2B41J02	マイクロ経済学入門[EA]	ウエズテニウス 嘉晃		〇	全	2	集中不定	[EA]	[EA]
												G2B46011	経済分析のためのITスキル入門ゼミ	三上 亮		〇	全	2	木 2	共63講	
文化論	G2B41114	G2B41114	スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	足立 総世								G2B46012	社会問題研究ゼミ(応用編)	井上 信宏		〇	全	2	木 3	共63講	
	G2B41116	G2B41116	原文で読むドイツの日常と文化[EA]	松岡 幸司		(G)	全	2	集中不定	[EA]	[EA]	G2B41105	フランス語圏の文化	鈴木 球子		(G)	全	2	水 3	共43講	
	G2B41122	G2B41122	海外実践A	浜野 充		(G)	全	2	集中不定			G2B41107	ドイツ語圏の文化(文化と教育)	分藤 大翼		(G)	全	2	木 5	共12講	
	G2B46101	G2B46101	邦和の文化(邦和の文化の発展と発展の文化)	荒井 英治郎		(G)	全	2	火 4	共46講	共46講	G2B41129	海外実践B	松岡 幸司		(G)	全	2	水 2	共51講	
	G2B46104	G2B46104	ワールドワーク入門ゼミ	分藤 大翼		(G)	全	2	火 2	共40講	共40講	G2B41118	原文で読む現代ドイツ事情[EA]	浜野 充		(G)	全	2	集中不定	[EA]	[EA]
	G2B46105	G2B46105	ワールドワーク入門ゼミ	分藤 大翼		(G)	全	2	水 3	共40講	共40講	G2B46113	日韓関係ゼミ	松岡 幸司		(非)	全	2	水 2	共40講	
	G2B46112	G2B46112	韓国ゼミ	延 鏡淑		(非)	全	2	水 3	共64講	共64講										
	G2B46120	G2B46120	ワールドワーク入門ゼミ	分藤 大翼		(G)	全	2	水 5	共40講	共40講										
	G2B41203	G2B41203	グローバルダイアログ:異文化を語る、考える	仙石 祐		(G)	全	2	月 2	共65講	共65講	G2B41202	グローバルダイアログ:異文化を語る、考える	浜野 充		(G)	全	2	火 2	共62講	
	G2B41205	G2B41205	国際理解と多文化共生を考える I	佐藤 友則		(G)	全	2	火 5	共43講	共43講	G2B41204	グローバルコミュニケーション論B	仙石 祐		(G)	全	2	月 5	共43講	
国際共修	G2B41207	G2B41207	オンライン国際共修[CL(A)[EA]	仙石 祐		(G)	2年次生以上	2	集中不定	[EA]	[EA]	G2B41208	オンライン国際共修[CL(B)[EA]	仙石 祐		(G)	全	2	集中不定	[EA]	[EA]
	G2B46201	G2B46201	持続的「食・農・環境」論ゼミA	浜野 充		(G)	全	2	木5・集中	共26講	共26講	G2B46202	持続的「食・農・環境」論ゼミB	浜野 充		(G)	全	2	木5・集中	共26講	
	G2B46203	G2B46203	オンライン国際共修ゼミ(アレイション)[EA]	仙石 祐		(G)	全	2	集中不定	共26講	共26講	G2B46204	オンライン国際共修ゼミ(日本伝統文化と現代社会)[EA]	仙石 祐		(G)	全	2	集中不定	共26講	[EA]
	G2B46205	G2B46205	日本文化ゼミ:時根の魅力	ナカサト ローレン		(G)	全	2	木4・集中	共26講	共26講	G2B46206	国際共修CLゼミ:多文化共生in松本A	ナカサト ローレン		(G)	全	2	木4・集中	共26講	

(注意) ※のついでに科目は、e-Learningで実施される他大学開講科目です。授業時間帯等が異なりますので、詳細は97頁をご確認ください。教育の基礎的理解に関する科目等をご確認ください。

- ・20年度以降の入学学生は、上記以外にも、教職科目のうち「教養系」の科目として単位認定されるものがあります。詳細は109頁「3. 教育の基礎的理解に関する科目等」をご確認ください。
- ・「オンライン国際共修ICL」[EA]は、国内大学と連携したオンライン国際共修授業です。詳細は72頁をご確認ください。
- ・「オンライン国際共修ICL」[EA]「オンライン国際共修ICL(B)」[EA]は、国内大学と連携したオンライン国際共修授業です。詳細は72頁をご確認ください。

※(注意) 以下の科目は1単位です。

区 分	前 期						後 期													
	授業科目 時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	演習	講義室
人 文	哲 学										C2B40105	生命倫理【EA】 (長野県看護大学開講)※	星良 朝彦		長春大	全	1	集中 不定		【EA】
		G2B4F201	立志学【EA】	佐々木 康浩		(G特) ※A&S→→国際共修専攻	1	水 5		【EA】 共46講	C2B40108	倫理学【EA】 (長野県看護大学開講)※	星良 朝彦		長春大	全	1	集中 不定		【EA】
	社会学	G2B4F010	信州学【EA】	高野 嘉寿彦	小山 茂孝・佐宮 慎治	(G特) ※A&S→→国際共修専攻	1	集中 不定		【EA】	C2B4F020	信州学【EA】	高野 嘉寿彦	小山 茂孝・佐宮 慎治	(G)(特)	全	1	集中 不定		【EA】
社 会 学	G2B40616	信州大学ハイオグアフォー【EA】	松宮 慎治	林 靖人	(G)	全	1	集中 不定		【EA】										
	教育学										G2B4H010	STEAM教育概論【EA】	茅野 公穂	他	(E)	A&S→→→国際共修専攻	1	集中 不定		【EA】
国際共修	G2B41209	オンライン・国際共修CL(A-1)【EA】	仙石 祐		(G)	2年次生以上	1	集中 不定		【EA】	G2B41210	オンライン・国際共修CL(B-1)【EA】	仙石 祐		(G)	全	1	集中 不定		【EA】
	G2B41211	国際共修プロジェクト(A-1)	浜野 充	仙石 祐	(G)	全	1	集中 不定			G2B41212	国際共修プロジェクト(B-1)	仙石 祐	浜野 充	(G)	全	1	集中 不定		

区分	前 期				後 期				期													
	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	演習	講義室	
教養科学の基礎																						
	G2B55115	数学の活用に関する課題探究ゼミ		榎本 哲士								G2B55106	数理決定法入門ゼミ	中山 一昭		(S)	全	2	水 2	○	共55講	
	G2B50202	身近な物理現象と先端応用		宮地 幸祐		(E)	全	2	金 1	○	共26講	G2B55102	統計数学ゼミ	矢部 竜太		(U)	全	2	月 1	○	共63講	
	G2B50205	生活のなかの天文学		三澤 透		(T)	全	2	火 5		共13講	G2B50201	物理へのいざない	加藤 千尋	物理学コース教員	(S)	全	2	木 4		共61講	
	G2B50206	生活のなかの天文学		三澤 透		(G)	全	2	火 1		共20講	G2B50204	教養としての物理学	安達 弘通		(G)	全	2	木 4		共42講	
物理学の世界												G2B50207	観測天文学入門	三澤 透		(G)	全	2	火 3		共61講	
	G2B55202	宇宙を学際的に考えるゼミ		三澤 透		(G)	全	2	火 3		共20講	G2B50208	観測天文学入門	三澤 透		(G)	全	2	火 1		共61講	
												G2B50208	観測天文学入門	三澤 透		(G)	全	2	火 3		共61講	
												G2B5B101	物理学の世界【EA】	天谷 健一	神原 浩・安達 弘通	(E) (G)	2	集中 不定			【EA】	
												G2B55201	カオス体験ゼミ	松原 雅春		(T)	全	2	水 2	○	共62講	
化学の世界												G2B550302	暮らしのサイエンス	飯山 拓	飯山 拓・山田 孝文・ 三澤 透・三澤 透	(S)	全	2	水 4		共12講	
	G2B50304	化学と材料の進歩が世界を変える【EA】		市川 結	他	(F)	全	2	集中 不定		【EA】	G2B50303	ニューバイオテクノロジー入門	保坂 毅		(A)	全	2	火 4		共12講	
												G2B50305	化学の基礎	中田 勉		(G)	全	2	木 2		共13講	
												G2B50307	生活の中の化学	勝木 明夫		(G)	全	2	水 1		共61講	
												G2B5C101	化学の世界【EA】	勝木 明夫		(G)	2	集中 不定			【EA】	
生物学の世界												G2B55301	化学ゼミ	勝木 明夫		(G)	全	2	月 2	○	共26講	
	G2B50405	応用生物学への招待		堀江 智明	他	(F)	全	2	水 3		共12講	G2B50401	食と微生物	細見 昭		(A)	全	2	水 4		共43講	
	G2B5D101	生物学の世界【EA】		伊藤 靖夫	今津 道夫	(G)		2	集中 不定		【EA】	G2B50402	動物生命科学	鍾味 裕	他	(A)	全	2	木 3		共20講	
	G2B55401	生きものたちのふしぎ・多様性ゼミ		東城 幸治	小笠原 慎治	(S)	全	2	月 3	○	共51講	G2B50403	食と植物の文化論	松島 寛一		(A)	全	2	木 4		共20講	
	G2B55404	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ		伊藤 靖夫	伊藤 靖夫	(G)	全	2	水 3	○	共52講	G2B50404	農環境保全学	齋藤 勝晴		(A)	全	2	火 4		共13講	
地球科学の世界												G2B55408	遺伝学入門ゼミ	合津 道夫		(G)	全	2	水 1		共42講	
	G2B55408	遺伝学入門ゼミ		伊藤 靖夫		(G)	全	2	月 5	○	共生実験	G2B55409	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	伊藤 靖夫		(G)	全	2	月 2	○	共28講	
												G2B55410	微生物学入門ゼミ	合津 道夫		(G)	全	2	金 2	○	共35講	
	G2B50505	地球の素材(産状・成分と色彩)		牧野 州明		(S特)	全	2	火 3		共13講	G2B50506	地球の素材(産状・成分と色彩)	牧野 州明		(S特)	全	2	火 2		共65講	
	G2B50507	信州の防災学		菊池 聡	鎌内 大樹・神田 孝文	(L)	全	2	木 4		共20講											
地学の世界												G2B50508	歴史科目からの視点・地球を身近に感じるために	竹下 成宏		(E)	全	2	月 2			
	G2B5E101	地学の世界【EA】		吉田 孝紀	三澤 透	(S) (G)		2	集中 不定		【EA】											
	G2B55501	環境科学ゼミ		朴 虎東		(S)	全	2	火 2	○	共55講	G2B5F101	工学入門【EA】	是津 信行	他	(T) (F)	2	集中 不定			【EA】	
	G2B50601	電子情報システム工学入門		曾根原 誠		(T)	全(工学部除く)	2	火 4		共12講											
工学入門												G2B50602	グリーンテクノロジー	影島 洋介	清水 雅裕	(T)	全	2	水 3			
	G2B50604	教養としての物質科学		安達 弘通		(G)	全	2	木 4		共42講	G2B55601	技術とエネルギーの入門ゼミ	佐藤 運海	村松 浩幸・川久保 英 崎の光 光明	(E)	全	2	水 2	○	共54講	
	G2B50607	建築史		土本 俊和		(T)	全	2	水 5		共13講	G2B55605	ものづくり入門ゼミ	神 和彦		(T)	全	2	水 4	○	共64講	
												G2B55606	3Dプリンタ活用ゼミ	杉本 光公	松本 成司	(G)	全	2	金 3	○	共24講	
情報学入門												G2B55602	ロボティクス実践ゼミ	松本 成司		(G)	全	2	水 5	○		
	G2B50708	情報学入門(社会と情報システム)【EA】		原嶋 秀次	松村 宣顕	(G)	全	2	集中 不定		【EA】	G2B50709	情報学入門(プログラミング、ネットワーク)【EA】	原嶋 秀次	松村 宣顕	(G)	全	2	集中 不定			【EA】
	G2B50710	ライフクエリエーター入門講義		丸橋 昌太郎	他	(U)	全	2	月 5		経第1	G2B55701	新聞で広がる社会の見方ゼミ(信濃毎日新聞社寄付講義)	荒井 英治郎		(G)	全	2	火 4	○	共40講	
	G2B55706	情報社会論ゼミ		湯田 彰夫		(G特)	全	2	水 2	○	共55講	G2B55707	情報社会論ゼミ	湯田 彰夫		(G特)	全	2	水 1	○	共55講	
	G2B55709	プログラミング入門ゼミ		松本 成司		(G)	全	2	金 5	○	共47講	G2B55710	プログラミング入門ゼミ	松本 成司		(G)	全	2	金 5	○	共47講	
物理学入門												G2B55711	Web制作ゼミ	松本 成司		(G)	全	2	木 5	○	共47講	
	G2B55721	高大接続におけるデータサイエンスゼミ		平井 佑樹		(G)	全	2	金・集中	○	共55講	G2B55714	データから見る長野県ゼミ	高野 嘉寿彦	太田家 健佑	(G)	全	2	金 2	○	共23講	
	G2B55724	データからの地域課題発見ゼミ		鈴木 治郎		(G特)	全	2	火 3	○	共54講	G2B55715	現代メディア・マーケティング入門ゼミ	丸橋 昌太郎		(U)	全	2	集中 不定	○		
												G2B55716	AI・ジェネラルスキル基礎ゼミ	林 憲一	丸橋 昌太郎	情報フロンティア・ター ム入講義と連携	(U特)	2	月 6	○	経211	
												G2B55722	高大接続におけるデータサイエンスゼミ	平井 佑樹		(G)	全	2	金 4	○	共401演	
化学の世界												G2B55723	データからの地域課題発見ゼミ	平井 佑樹		(G)	全	2	金3・集中		共401演	
												G2B55726	データからの地域課題発見ゼミ	鈴木 治郎		(G特)	全	2	火 2	○	共54講	
												G2B55730	時系列データ分析ゼミ	太田家 健佑		(G)	全	2	月 2	○	共34講	

(注意) ・※のついている科目は、e-Learningで実施される他大学開講科目です。詳細は97頁を必ずご確認ください。

・2020年度以降の入学学生は、上記以外にも「教養系」の科目として単位認定されるものがあります。詳細は、109頁「3 教育の基礎的理解に関する科目等」をご確認ください。

区分	前				期				後				期								
	授業科目	時間割コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定単位数	曜日・時間	演習	講義室	時間割コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定単位数	曜日・時間	演習	講義室
環境科学	G2B60109	環境と材料科学&生物科学		鈴木 正浩	他	(F)	全	2	水 2		共71講	G2B60102	環境法入門【EA】	小林 寛		(I)	全	2	集中・不定		【EA】
	G2B60111	環境保全論入門		浅野 郁		(G)	全	2	月 1		共42講	G2B60103	再生可能エネルギー概論	松岡 浩仁		(T)	全	2	火 2		共12講
	G2B60112	環境保全論入門【EA】		浅野 郁		(G)	全	2	集中・不定		【EA】	G2B60104	再生可能エネルギー概論	松岡 浩仁		(T)	全	2	火 4		共61講
	G2B60114	生物と環境		今津 道夫		(G)	全	2	木 2		共61講	G2B60105	環境のためのナノカーボン、エネルギー材料、水処理	竹内 健司	林 道雄・村松 龍之介	(T)	全	2	金 4		共71講
	G2B60118	環境共存の社会学入門		金澤 謙太郎		(G)	全	2	月 5		共42講	G2B60110	動物と人間社会	山中 仁木		(G)	全	2	水 2		共12講
	G2B60121	環境問題の社会学入門		金澤 謙太郎		(G)	全	2	月 4		共42講	G2B60119	環境共存の社会学入門	金澤 謙太郎		(G)	全	2	月 4		共42講
	G2B60143	環境問題の社会学入門		金澤 謙太郎		(G)	全	2	金 3		共61講	G2B60122	環境マインド実践基礎論	浅野 郁	矢原 ひかり	(G)	全	2	水 5		共43講
	G2B60146	農山村と野生動物及び環境		内川 義行		(A)	全	2	火 3		共61講	G2B60124	環境マインド実践基礎論	浅野 郁		(G)	全	2	月 2		共43講
	G2B60147	木質の科学		山田 明義		(A)	全	2	火 4		共71講	G2B60125	自然環境と文化	分藤 大翼		(G)	全	2	月 3		共12講
	G2B6A101	環境学入門【EA】		是津 信行	他	(T)	全	2	集中・不定		【EA】	G2B60126	自然環境と文化	分藤 大翼		(G)	全	2	金 3		共61講
	G2B65101	土壌学ゼミ		國頭 恭		(S)	全	2	火 1	○	共63講	G2B60127	自然環境と文化	分藤 大翼		(G)	全	2	金 4		共61講
	G2B65108	信州生態資源ゼミ		金澤 謙太郎		(G)	全	2	月 2	○	共23講	G2B60133	環境保全論入門	浅野 郁		(G)	全	2	月 1		共12講
環境・健康	G2B65109	モノを巡るアプローチゼミ		金澤 謙太郎		(G)	全	2	月 2	○	共23講	G2B60136	環境共存の社会学入門	金澤 謙太郎		(G)	全	2	金 3		共71講
	G2B65115	環境心理学ゼミ		柳瀬 亮太		(T)	全	2	水 2	○	共64講	G2B60139	生物と環境	今津 道夫		(G)	全	2	火 3		共42講
	G2B65130	環境と暮らしを考えるゼミ		矢原 ひかり		(G特)	全	2	月 2	○	共24講	G2B60145	環境共存の社会学入門	金澤 謙太郎		(G)	全	2	火 2		共13講
	G2B65131	環境と暮らしを考えるゼミ		矢原 ひかり		(G特)	全	2	月 4	○	共24講	G2B60148	自然災害と環境	堤 大三		(A)	全	2	金 4		共12講
	G2B65132	生物多様性保全について考えるゼミ(国内編)		浅野 郁		(G)	全	2	火 1	○	共40講	G2B60149	環境保全論入門【EA】	浅野 郁		(G)	全	2	集中・不定		【EA】
	G2B65133	生物多様性保全について考えるゼミ(国内編)		浅野 郁		(G)	全	2	火 2	○	共40講					(G)	全	2	金 2	○	共40講
	G2B65135	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65110	モノを巡るアプローチゼミ	金澤 謙太郎		(G)	全	2	金 2	○	共40講
	G2B65136	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65111	ドイツ環境ゼミ	松岡 幸司		(G)	全	2	集中・不定		○
	G2B65137	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65116	Low Energy Building(省エネルギー住宅)ゼミ	マーク プライアリー		(G)	全	2	火 4	○	共35講
	G2B65138	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65122	信州生態資源ゼミ	金澤 謙太郎		(G)	全	2	月 2	○	共23講
	G2B65139	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65128	環境と暮らしを考えるゼミ	矢原 ひかり		(G特)	全	2	月 2	○	共24講
	G2B65140	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65129	環境と暮らしを考えるゼミ	矢原 ひかり		(G特)	全	2	月 4	○	共24講
社会と健康	G2B65141	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65134	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65142	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65135	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65143	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65136	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65144	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65137	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65145	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65138	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65146	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65139	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65147	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65140	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65148	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65141	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65149	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65142	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65150	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65143	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65151	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65144	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
	G2B65152	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)		浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講	G2B65145	生物多様性保全について考えるゼミ(国際編)	浅野 郁		(G)	全	2	月 2	○	共40講
人体と科学	G2B65202	手話言語と社会【EA】		平澤 まさ美		(非)	全	2	集中・不定		【EA】	G2B60201	共生社会のための障害学入門	庄司 和史		(G特)	全	2	月 4		共61講
	G2B60204	生活習慣と健康【EA】(佐久大学開講)		朴 相俊		(佐久大)	全	2	集中・不定		【EA】	G2B60203	手話言語コミュニケーションと社会【EA】	平澤 まさ美		(非)	全	2	集中・不定		【EA】
	G2B6B101	社会福祉の考え方【EA】		矢野 亮	他	(佐野大)	全	2	集中・不定		【EA】					(H)	全	2	火 5	○	保223
	G2B6B201	地域と福祉【EA】		根本 貴子	狩野 徹 他	(佐久大)	全	2	集中・不定		【EA】	G2B65203	臨床検査を体験するゼミ	木村 文一		(H)	全	2	火 5	○	保223
	G2B65204	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ		青木 薫	他	(H)	全(医学部除く)	2	月 5	○	保311	G2B65207	インクルーシブデザインゼミ	加藤 彩乃		(G)	全	2	木 5	○	共23講
	G2B65205	生活習慣と健康【EA】(佐久大学開講)		矢野 亮	他	(佐久大)	全	2	金 3	○	共37講	G2B65213	社会と健康・スポーツゼミ	友川 幸	他	(E)	全	2	木 4	○	共23講
	G2B65206	インクルーシブデザインゼミ		庄司 和史	森光 晃子	(G特)	全	2	金 3	○	共37講	G2B65214	人と地球の健康課題を考えるゼミ	伊澤 淳		(H)	全	2	金 4	○	保212
	G2B60301	ノーベル賞から探るからだのしくみ		加藤 彩乃	他	(M)	全(医学部除く)	2	水 4	○	共37講	G2B60304	私たちと放射線	廣田 昌大		(G)	全	2	月 2		共13講
	G2B60303	人体のしくみと生活		吉沢 隆浩		(G)	全	2	月 3		共42講	G2B65301	人体計測入門ゼミ	速水 達也		(G)	全	2	木 1	○	共40講
	G2B60305	人体の構造と働き		植村 健		(G)	全	2	月 1		共12講	G2B65302	救急対応とテーピングゼミ	廣野 雅一		(G)	全	2	水2+集中	○	共28講
	G2B65401	スポーツ活動論ゼミ		杉本 光公		(G)	全	2	火3+集中	○	共53講	G2B65402	アウトドアスポーツ活動論ゼミ	杉本 光公		(G)	全	2	集中・不定	○	○
	G2B65403	身体運動科学ゼミ		速水 達也		(G)	全	2	火 3	○	共34講	G2B65405	信州地域スポーツ探究ゼミ	速水 達也	廣野 雅一	(G)	全	2	火1+集中	○	共40講
G2B65406	身体運動科学ゼミ		速水 達也		(G)	全	2	火 3	○	共34講	G2B65406	身体運動科学ゼミ	速水 達也	廣野 雅一	(G)	全	2	火 2	○	共40講	

※(注意) 以下の「ところから」の健康【EA】は1単位です。

区 分	前				期				後				期								
	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	演習	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	演習	講義室
社会と健康	G2B6B301		ころとからだの健康【EA】	茅野 理恵	他	(E)	全 学域1～4年生全学域生	1	集中・不定		【EA】										

《 次頁へ続く 》

後期																						
区分	授業科目	時間割コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定単位数	曜日・時限	演習	講義室	時間割コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定単位数	曜日・時限	演習	講義室	
	キャンパススポーツ実習	G2B60503	バドミントン	矢野 貴直		(非)	全	1	金 3		共1体	G2B60505	インクルージブススポーツ	加藤 彩乃		(G)	全	1	木 3		共1体	
		G2B60504	バドミントン	矢野 貴直		(非)	全	1	金 4		共1体	G2B60518	バスケットボール	古澤 栄一		(G)	全	1	木 2		共1体	
		G2B60506	ターゲットスポーツ	加藤 彩乃		(G)	全	1	水 2		共1体	G2B60522	バレーボール	古屋 顯一		(G特)	全	1	火 3		共1体	
		G2B60509	コアオーディションエクササイズ	速水 達也		(G)	全	1	水 1		共1体	G2B60523	バレーボール	古屋 顯一		(G特)	全	1	火 4		共1体	
		G2B60510	ニューススポーツ	速水 達也		(G)	全	1	月 1		共1体	G2B60524	フットネス	廣野 準一	速水 達也	(G)	全	1	水 3		共1体	
		G2B60511	剣道	廣野 準一		(G)	全	1	水 1		共2体											
		G2B60512	テニス	古澤 栄一		(非)	全	1	水 2		共2体											
		G2B60513	サッカー	石田 義雄		(非)	全	1	木 3		共1体											
		G2B60514	サッカー	石田 義雄		(非)	全	1	木 4		共1体											
		G2B60515	バレーボール	北沢 洋一		(非)	全	1	火 4		共1体											
	アウトドアスポーツ実習	G2B60516	バレーボール	北沢 洋一		(非)	全	1	水 3		共1体											
		G2B60517	バレーボール	北沢 洋一		(非)	全	1	水 4		共1体											
		G2B60520	ソフトボール	古屋 顯一		(G特)	全	1	火 3		野球場											
		G2B60521	ニューススポーツ	古屋 顯一		(G特)	全	1	火 4		共2体											
		G2B60525	弓道	杉本 光公		(G)	全	1	木 3		第2号運動場											
		G2B60526	弓道	杉本 光公		(G)	全	1	木 4		第2号運動場											
	アウトドアスポーツ実習	G2B60605	トレッキング	廣野 準一	加藤 彩乃	(G)	全	1	集中不定						杉本 光公		(G)	全	1	集中不定		
		G2B60607	スポーツフィッシング	杉本 光公		(G)	全	1	集中不定						速水 達也		(G)					
		G2B60608	信大マラソン	杉本 光公		(G)	全	1	集中不定						廣野 準一		(G)					
		G2B60609	ゴルフ	杉本 光公		(G)	全	1	集中不定						加藤 彩乃		(G)					
		G2B60612	トレッキング	速水 達也	廣野 準一	(G)	全	1	集中不定				G2B60611	スノー・スポーツ	橋本 政晴		(E)					
															藤田 青郎		(E)					
															古屋 顯一		(G特)					
															野口 和行		(非)					
															未定		(非)					
															田中 誠二		(非)					
	高年次スポーツ実習	G2B60701	アウトドアマスターⅠ	杉本 光公		(G)	※	1	集中不定						古澤 栄一		(非)					
		G2B60702	アウトドアマスターⅡ	廣野 準一		(G)		1	集中不定													
		G2B60703	ゴルフマスターⅠ	杉本 光公		(G)		1	集中不定													
		G2B60704	ゴルフマスターⅡ	速水 達也		(G)		1	集中不定													

(注意) ・高年次スポーツ実習は、「信州大学スポーツ実習に関する養成プログラム」の一つとして開講するため、卒業要件には含まない。
・対象学生欄には、「前年度までに、トレーニング、マリンスポーツ、スポーツフィッシング、信大マラソン、スノーボード、ネイチャーズ」※のいずれも履修している科目は、e-Learningで実施される他大学開講科目です。授業時間帯等が異なりますので、詳細は97頁をご確認ください。
・※2020年度以降の入学生は、上記以外に、「教養系」の科目として単位認定されるものがあります。詳細は、109頁「3 教育の基礎的理解に関する科目等」をご確認ください。

e-Learningで実施される長野県内他大学開講科目一覧 《全て「教養系」の単位として認定されます。》

R7年度

【前期】

区分	授業科目	時間割コード	副題	担当教員	所属	対象学生	規定単位数	曜日	時限	講義室	シラバスページ	初回授業日	備考
環境・健康	社会と健康	G2B60204	生活習慣と健康【EA】	朴 相俊	佐久大学	全※3	2	集中	不定		※1	※2	

【後期】

区分	授業科目	時間割コード	副題	担当教員	所属	対象学生	規定単位数	曜日	時限	講義室	シラバスページ	初回授業日	備考
人文・社会	哲学	G2B40103	自己発見の方法【EA】	田村 亮子	清泉大学	全	2	集中	不定				
	言語学	G2B40408	言語学 I【EA】	金田一 真澄	長野県立大学	全	2	集中	不定				
	経済学・経営学	G2B41012	経営組織論【EA】	東 俊之	長野県立大学	全	2	集中	不定				
	経済学・経営学	G2B41021	医療経済学【EA】	堂本 尚司	長野県立大学	全	2	集中	不定				
	哲学	G2B40105	生命倫理【EA】	屋良 朝彦	長野県看護大学	全	1	集中	不定				全8回・1単位
	哲学	G2B40106	倫理学【EA】	屋良 朝彦	長野県看護大学	全	1	集中	不定				全8回・1単位

※1:シラバスは、高等教育コンソーシアム信州のホームページ(<https://www.c-snet.jp/>)を参照してください。

※2:授業は、開講大学の学年暦に従って行われます。

※3:過去の開講科目「健康管理と生活習慣」を単位修得済みの場合は、受講することができません。

・全授業がe-Learningです。任意の時間帯に、学習管理システム(LMS)上の教育用コンテンツ等を利用し、受講してください。

・履修登録は他の教養系の授業と同様に履修抽選システムを利用して行ってください。各シラバス「単位互換授業受講学生定員」欄に記載されている定員を超える場合には、抽選により受講者を決定します。履修登録期間等については、52～53頁を確認してください。

・受講票の提出は必要ありません。

※詳細は必ず高等教育コンソーシアム信州が作成する「令和7年度長野県内大学単位互換受講の手引き」(共通教育窓口・各学部学務で配布)で確認してください。

◆◆高等教育コンソーシアム信州のe-Learning授業とは◆◆

高等教育コンソーシアム信州とは、長野県内11の4年制大学（公立諏訪東京理科大学、佐久大学、信州大学、清泉大学、長野県看護大学、長野県立大学、長野保健医療大学、長野大学、松本看護大学、松本歯科大学、松本大学）の連携事業です。各大学で開講されている授業をe-Learningで受講できるよう授業配信を行っています。e-Learning授業で修得した単位は、長野県内大学単位互換協定に基づき、自大学の単位として認定されます。

皆さんは、他大学で開講されている授業を、画面を通して受講することになります。掲示板、メール等を通して質疑応答も行うことができます。

「ShinXiaコース」(地域活性化人材育成事業～SPARC～) 開講科目一覧

R7 (2025年度)

【1年次から履修可能な科目】

期 前													期 後												
系	区分	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	副担当	所属	規定 単位数	曜日	時限	講義室	備考	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	副担当	所属	規定 単位数	曜日	時限	講義室	備考		
基礎系	-	統計	G1B1A101	統計リテラシー【EA】	平井 佑樹	永井 康史・太田 康佑	(G)	2	集中	不定		ShinXiaコース必修 ※1	社会学	G2B4F102	信州学【EA】	高野嘉寿彦	小山 茂敏・松宮 慎佑	(G) (G特)	1	集中	不定		ShinXiaコース必修 ※1		
		社会学	G2B4F101	信州学【EA】	高野嘉寿彦	小山 茂寿・松宮 慎佑	(G特)	1	水	5	共46講		心理学	G2B4G101	心理学【EA】	渡邊 智之	他	(E)	1	集中	不定				
			G2B4F201	立志学【EA】	佐々木 康浩	広瀬 要輔・本多 亮 岸田 武仁・三上 亮	(J)	2	集中	不定		※2	教育学	G2B4H101	STEAM教育概論【EA】	茅野 公穂	増原 宏明	(J)	2	集中	不定		※4		
		人文・社会	G2B4J101	ミクロ経済学入門【EA】	増原 宏明	ウエズテアリス 彰晃	(J)	2	集中	不定		※2	経済学・経営学	G2B4J201	マクロ経済学入門【EA】	増原 宏明	ウエズテアリス 彰晃	(J)	2	集中	不定		※2		
														生物学の世界	G2B5D101	生物学の世界【EA】	伊藤 靖夫	今津 道夫	(G)	2	集中	不定		ShinXiaコース選択必修 ※3	
教養系	自然・技術	地学の世界	G2B5E101	地学の世界【EA】	吉田 孝紀	齋藤 武士・山田 桂 三穂 遼	(S) (G)	2	集中	不定		ShinXiaコース選択必修	地学の世界	G2B5C101	化学の世界【EA】	勝木 明夫	他	(G)	2	集中	不定		ShinXiaコース選択必修		
		環境科学	G2B6A101	環境学入門【EA】	是津 信行	他	(T)	2	集中	不定		ShinXiaコース選択必修	工学入門	G2B5F101	工学入門【EA】	是津 信行	他	(T) (F)	2	集中	不定		ShinXiaコース選択必修		
	環境・健康		G2B6B101	社会福祉の考え方【EA】	矢野 亮	他	長野大学	2	集中	不定															
			G2B6B201	地域と福祉【EA】	根本 貴子	狩野 徹 他	佐久大学	2	集中	不定															
			G2B6B301	こころとからだの健康【EA】	茅野 理恵	他	(E)	1	集中	不定															

【2年次から履修可能な科目】

前 期				後 期								
系	区分	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	副担当	所 属	規定 単位数	曜 日	時 限	講義室	備 考
教養系	人文・社会	経済学・経営学	G2B4J301	情報活用型ビジネスコミュニケーション【EA】	吉川 厚	他	(G特)	2	集中	不定		

※1 「信州学」は同学期に開講されますが、同一の内容です。副題は、履修抽選においてShinXiaコース希望者が優先されます。

※2 「ミクロ経済学入門」と「マクロ経済学入門」は、両学期に開講されますが、同一の内容です。カリキュラムの都合上ShinXiaコース希望者は「ミクロ経済学入門」は後期、「マクロ経済学入門」は前期での履修を推奨します。

※3 「生物学の世界」は専門基礎系及び農学部専門科目の「生物学A」、「生物学B」と内容が重複するため、**医学部医学科及び農学部の学生は履修することはできません。**

※4 「STEAM教育概論」は教育学部専門科目「STEAM教育概論」と内容が重複するため、**教育学部の学生は履修することはできません。**

1. 対象学生

① 経法学部応用経済学科、工学部物質化学科及び電子情報システム工学科、繊維学部先進繊維・感性工学科及び化学・材料学科の学生
ShinXiaコースを履修可能です。所定の10単位を取得することで地域活性化人材として認定されます。コースの詳細は別途配布するリーフレットをご覧ください。

② ①以外の学生

ShinXiaコースの選択はできませんが、コースで開講される授業(上表のもの)を履修することが可能です。ただし、定員を超過した場合は、ShinXiaコース学生等を優先することがあります。

2. 履修上の注意

・一部授業を除き、非同期型(オンデマンド型)オンライン授業です(曜日・時限が「集中・不定」ではない授業は、同期型(リアルタイム型)オンライン授業)。9ALPS中段の「年度共通サイト」のメニュー内の「ShinXia-LMS」からアクセスし、

受講したい授業を検索してください。前期は4/18まで、後期は10/2までゲート公開しているため、履修登録前でもコースを閲覧することが可能です。

・履修登録は他の共通教育科目と同様に履修抽選システムを利用して行ってください。履修希望者が定員を超過した場合は、ShinXiaコースの学生等を優先することがあります。

ShinXiaコース履修希望者は、授業の抽選に応募する際に「ShinXia コース希望者」欄に忘れずにチェックを入れてください。(前期のみ)

・シラバスは、信州大学のシラバスシステムのほか、ShinXiaのホームページ(https://sparc.nagano.jp/students/)にも掲載しています。

3. ShinXiaコース履修希望者への注意事項

・ShinXiaコースの履修要件等のコース情報は対象学科の学生に配布するリーフレットをご確認ください。ShinXiaコース履修希望者は、リーフレットを計画的に履修してください。

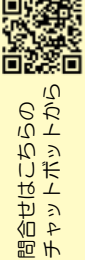
なお、ShinXiaコースの必修科目「データサイエンスリテラシー」は、全学部1年生の必修科目である「データサイエンスリテラシー(EA)」と同一科目です。85頁を参照のうえ、所属学部の指定クラスで履修してください。

・ShinXiaコースへの正式な登録は1年次後期からとなります。コースへの登録方法は前期中に案内をします。

◆◆ 「地域活性化人材育成事業～SPARC～」とは ◆◆ Superminent Program for Activating Regional Collaborationの略です！

信州大学・長野大学・佐久大学の3大学で連携して取り組んでいる事業で、地域で活躍できる「地域活性化人材」を育成するための取組です。(本事業のことを「ShinXia (シンシア)」と呼んでいます。)信州大学からは、経法学部応用経済学科、工学部物質化学科及び電子情報システム工学科、繊維学部先進繊維・感性工学科及び化学・材料学科が参画しています。それらの学科の学生のうち希望者は「ShinXiaコース」を履修することができ、所定の10単位を取得すると、「地域活性化人材」として認定されます。必修科目のほかに、より深く学ぶための選択科目も用意しているため、積極的に履修してください。なお、これらの科目は共通教育科目としてカウント可能です。

これらの社会で求められる「課題解決能力」や「DX・GX」について学びたい学生におすすめです。ほとんどの授業が非同期型(オンデマンド型)オンライン授業で行われることや共通教育科目として開講することにより履修しやすい設計になっています。



問合せはこちらの
チャットボットから

今年度開講する全学横断特別教育プログラムの受講者対象の授業は以下のとおりです。履修要件等については、各コースのガイダンス等で確認してください。
※履修登録の期間、方法は他の教養系の授業と同様です。52～53頁を参照してください。

◆ローカル・イノベーター養成コース

学期	区分	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位 数	曜日 時限	講義室	備考
前期	人文・社会	社会学	G2B45603	課題解決インタナショナルシップゼミ【EA】	勝亦 達夫	林 靖人	(G)	ローカルイノベーター養成コース受講者	2	集中 不定	【EA】	
		経済学・経営学	G2B46003	イノベーション・リテラシーゼミ【EA】	林 靖人	勝亦 達夫・山田 祐・大島 正幸・大里 裕金・中嶋 開多	(G・G特)	ローカルイノベーター養成コース受講者	2	集中 不定	【EA】	
後期	人文・社会	社会学	G2B45604	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ【EA】	勝亦 達夫	林 靖人	(G)	ローカルイノベーター養成コース受講者	2	集中 不定	【EA】	

◆グローバルコア人材養成コース

学期	区分	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	所属	対象学生	規定 単位 数	曜日 時限	講義室	備考
前期	人文・社会	国際共修	G2B46203	オンライン国際共修ゼミ(マレーシア)【EA】	仙石 祐	(G)	グローバルコア人材養成コースBASICコース受講者	2	集中 不定	【EA】	(再掲)
		教育学	G2B40805	グローバルコア人材養成概論	仙石 祐	(G)	グローバルコア人材養成コースBASICコース受講者	2	火6・集中	共37講	
後期	人文・社会	国際共修	G2B46204	オンライン国際共修ゼミ(日本伝統文化と現代社会)【EA】	仙石 祐	(G)	グローバルコア人材養成コースBASICコース受講者	2	集中 不定	【EA】	(再掲)

◆環境マインド実践人材養成コース

学期	区分	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	所属	対象学生	規定 単位 数	曜日 時限	講義室	備考
前期	環境・健康	環境科学	G2B68101	環境マインド実践ゼミⅠ	浅野 郁	矢原 ひかり	(G)	環境マインド実践人材養成コースに本登録した学生	2	集中 不定	※卒業要件外
後期	環境・健康	環境科学	G2B68102	環境マインド実践ゼミⅡ	浅野 郁	矢原 ひかり	(G)	環境マインド実践人材養成コースに本登録した学生	2	集中 不定	※卒業要件外

◆ストラテジー・デザイン人材養成コース

学期	区分	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	所属	対象学生	規定 単位 数	曜日 時限	講義室	備考
前期	人文・社会	教育学	G2B45814	ストラテジー構築実践ゼミⅠ【EA】	林 靖人	荒川 裕貴	(G)	ストラテジー・デザイン人材養成コース受講者	2	集中 不定	【EA】
後期	人文・社会	教育学	G2B45815	ストラテジー構築実践ゼミⅡ【EA】	林 靖人	荒川 裕貴	(G)	ストラテジー・デザイン人材養成コース受講者	2	集中 不定	【EA】
前期	人文・社会	教育学	G2B45816	ストラテジー・デザインインタナショナルシップゼミ【EA】	林 靖人		(G)	ストラテジー・デザイン人材養成コース受講者	2	集中 不定	【EA】

◆ライフクリエイター養成コース

学期	区分	授業科目	時間割 コード	副題	担当教員	所属	対象学生	規定 単位 数	曜日 時限	講義室	備考
後期	自然・技術	情報学入門	G2B55716	AIジェネラルスキル基礎ゼミ	林 憲一	丸橋 昌太郎	(J特・J)	原則としてライフクリエイター入門講義受講者	2	月 6 経211	(再掲)
通年	自然・技術	情報学入門	G2B55718	AIジェネラルスキル応用ゼミ	林 憲一	丸橋 昌太郎	(J特・J)	原則としてライフクリエイター入門講義受講者	2	月6・集中	
通年	自然・技術	情報学入門	G2B55728	AIジェネラルスキル実践ゼミ	林 憲一	丸橋 昌太郎	(J特・J)	原則としてライフクリエイター入門講義受講者	2	集中 不定	

(3) 専門基礎系

○基礎科学

R7(2025)年度

		前 期					後 期					期									
区分	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時間	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時間	講義室		
基礎科学	数 学	G3E11101	微分積分学Ⅰ	谷内 靖		(S)	MI (医：①)	2	火 3	共5.1講	G3E11201	微分積分学Ⅱ	謝 賀		(S)	MI (医)	2	火 3	共5.1講		
		G3E11102	微分積分学Ⅰ	高野 嘉寿彦		(G)	MI (医：②)	2	火 3	共5.2講	G3E11202	微分積分学Ⅱ	一ノ瀬 弥		(非)	TI (質：①)	2	火 2	共5.6講		
		G3E11103	微分積分学Ⅰ			(非)	TI (質：①)	2	火 2	共5.6講	G3E11203	微分積分学Ⅱ	永井 康史		(G)	TI (質：②)	2	火 2	共5.2講		
		G3E11104	微分積分学Ⅰ	永井 康史		(G)	TI (質：②)	2	火 2	共5.2講	G3E11204	微分積分学Ⅱ	高野 嘉寿彦		(G)	TI (電情：①)	2	火 1	共4.2講		
		G3E11105	微分積分学Ⅰ			(G)	TI (電情：①)	2	火 1	共4.2講	G3E11205	微分積分学Ⅱ	永井 康史		(G)	TI (電情：②)	2	火 1	共5.2講		
		G3E11106	微分積分学Ⅰ	永井 康史		(G)	TI (電情：②)	2	火 1	共5.2講	G3E11206	微分積分学Ⅱ	飯田 洋市		(非)	TI (電情：③)	2	火 1	共5.1講		
		G3E11107	微分積分学Ⅰ	飯田 洋市		(非)	TI (電情：③)	2	火 1	共5.1講	G3E11207	微分積分学Ⅱ	阿部 翠空星		(非)	TI (水土)	2	水 3	共5.1講		
		G3E11108	微分積分学Ⅰ	阿部 翠空星		(非)	TI (水土)	2	水 2	共4.2講	G3E11208	微分積分学Ⅱ	高野 嘉寿彦		(G)	TI (機械：①)	2	木 4	共7.1講		
		G3E11109	微分積分学Ⅰ	高野 嘉寿彦		(G)	TI (機械：①)	2	木 4	共7.1講	G3E11209	微分積分学Ⅱ	泉 真之介		(S特)	TI (機械：②)	2	木 4	共5.1講		
		G3E11110	微分積分学Ⅰ	泉 真之介		(S特)	TI (機械：②)	2	木 4	共5.1講	G3E11210	微分積分学Ⅱ	阿部 翠空星		(非)	TI (建)	2	火 3	共4.3講		
		G3E11111	微分積分学Ⅰ	永井 康史		(G)	TI (建)	2	木 1	共4.3講	G3E11212	微分積分学Ⅱ	高野 嘉寿彦		(G)	FI (機)	2	木 1	共4.2講		
		G3E11112	微分積分学Ⅰ	堀場 洋輔		(F)	FI (織)	2	金 2	共1.2講											
		G3E11113	微分積分学Ⅰ	高野 嘉寿彦		(G)	FI (機)	2	木 1	共4.2講											
		G3E11114	微分積分学Ⅰ	室谷 心		(F非)	FI (化：A)	2	金 3	共4.6講											
		G3E11115	微分積分学Ⅰ	室谷 心		(F非)	FI (化：B)	2	金 4	共4.6講											
		G3E11116	微分積分学Ⅰ	阿部 翠空星		(非)	E I【理】，F I (生)	2	木 2	共5.6講	G3E11305	線形代数学Ⅰ	泉 真之介		(S特)	E I【理】，F I (生)	2	水 1	共5.2講		
											G3E11306	線形代数学Ⅰ	高野 嘉寿彦		(G)	TI (質)	2	木 2	共7.1講		
											G3E11308	線形代数学Ⅰ	阿部 誠		(T)	TI (電情：①)	2	水 3	共4.2講		
											G3E11309	線形代数学Ⅰ	阿部 誠		(T)	TI (電情：②)	2	水 4	共4.2講		
											G3E11310	線形代数学Ⅰ	阿部 翠空星		(非)	TI (水土)	2	水 2	共5.1講		
											G3E11311	線形代数学Ⅰ	室谷 心		(F非)	TI (機械：①)	2	木 1	共5.2講		
											G3E11312	線形代数学Ⅰ	永井 康史		(G)	TI (機械：②)	2	木 1	共4.3講		
											G3E11313	線形代数学Ⅰ	永井 康史		(G)	TI (建)	2	木 2	共3.7講		
		G3E11301	線形代数学Ⅰ			阿部 翠空星		(非)	FI (織)	2	木 3	共6.5講	G3E11401	線形代数学Ⅱ	泉 真之介		(S特)	FI (織)	2	水 3	共6.5講
		G3E11302	線形代数学Ⅰ			阿部 翠空星		(非)	FI (機)	2	水 3	共6.5講	G3E11402	線形代数学Ⅱ	松岡 謙晶		(非)	FI (機)	2	木 3	共4.2講
		G3E11303	線形代数学Ⅰ			泉 真之介		(S特)	FI (化：A)	2	木 2	共4.2講									
		G3E11304	線形代数学Ⅰ			松岡 謙晶		(非)	FI (化：B)	2	木 2	共4.6講									

区分	授業科目	時間割コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室
基礎科学	物理学	G3E12101	力学	天谷 健一		(E)	E I 【理】	2	金 1	共 5 1 講									
		G3E12102	力学	安達 弘通		(G)	M I (医)	2	木 2	共 5 1 講									
		G3E12103	力学	三澤 透		(G)	M I (医：基礎クラス)	2	金 3	共 4 2 講									
		G3E12105	力学	安達 弘通		(G)	M I (保) 【検・理・作】	2	木 3	共 3 7 講									
		G3E12106	力学	小竹 悟		(S)	T I (質：①)	2	木 2	共 6 5 講									
		G3E12107	力学	樋口 雅彦		(S)	T I (質：②)	2	木 2	共 5 2 講									
											G3E12113	力学	西新 幹彦		(T)	T I (電情)	2	火 4	共 2 0 講
		G3E12108	力学	川村 嘉春		(S)	T I (水士)	2	木 2	共 5 3 講	G3E12201	力学 I	宝田 亘		(F)	F I (織)	2	水 4	共 6 5 講
		G3E12109	力学	浅岡 龍徳		(T)	T I (機械)	2	月 2	共 7 1 講									
		G3E12110	力学	松本 成司		(G)	T I (建)	2	木 2	共 4 3 講									
		G3E12111	力学	三澤 透		(G)	T I (質・水士・建) 基礎クラス	2	木 2	共 4 1 1 演									
		G3E12202	力学 I	鮎 力民		(F特)	F I (機)	2	月 4	共 1 2 講	G3E12302	力学 II	鮎 力民		(F特)	F I (機)	2	月 2	共 4 2 講
		G3E12112	力学	安達 弘通		(G)	F I (生)	2	木 5	共 5 1 講	G3E12114	力学	三澤 透		(G)	F I (化：A)	2	木 2	共 5 2 講
											G3E12115	力学	三澤 透		(G)	F I (化：B)	2	木 3	共 5 2 講
											G3E12116	力学	安達 弘通		(G)	E I 【理・MI・TI (理・水士・建)】、F I (生)※初年度理Ⅱ必修対象	2	木 5	共 5 1 講
											G3E12401	電磁気学	安達 弘通		(G)	M I (医)	2	木 2	共 5 1 講
											G3E12402	電磁気学	三澤 透		(G)	M I (医：基礎クラス)	2	金 3	共 4 1 1 演
											G3E12403	電磁気学	安達 弘通		(G)	M I (保) 【検】	2	木 3	共 3 7 講
化学	G3E13101	一般化学 I		勝木 明夫		(G)	E I 【理】・T I (水士・建)	2	月 1	共 4 3 講									
	G3E13102	一般化学 I		勝木 明夫		(G)	M I (保) 【検】	2	火 2	共 4 6 講	G3E13201	一般化学 II	本吉谷 二郎		(F特)	M I (保) 【検】	2	金 3	共 4 2 講
	G3E13103	一般化学 I		清水 雅裕	影島 洋介	(T)	T I (質)	2	水 3	共 6 1 講	G3E13202	一般化学 II	田中 伸明		(T)	T I (質)	2	水 2	共 4 2 講
	G3E13104	一般化学 I		勝木 明夫		(G)	T I (電情)	2	金 2	共 4 3 講	G3E13203	一般化学 II	勝木 明夫		(G)	T I (電情・機械)・F I (機・生)	2	月 1	共 4 3 講
	G3E13105	一般化学 I		勝木 明夫		(G)	T I (機械)	2	火 1	共 4 3 講									
	G3E13106	一般化学 I		本吉谷 二郎		(F特)	F I (機)	2	木 3	共 4 3 講									
	G3E13107	一般化学 I		福長 博	杉本 渉	(F)	F I (化)	2	金 2	共 6 1 講	G3E13204	一般化学 II	荒木 潤		(F)	F I (化)	2	火 3	共 7 1 講
	G3E13109	一般化学 I		勝木 明夫		(G)	F I (生)	2	水 1	共 4 3 講									

区分	授業科目	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室	時間割 コード	副題	主担当教員	副担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日・時間	講義室
基礎科学	生 物 学	G3E14101	生物学A	久保 浩義			(S特) E I 【理】、M I (医) 【医】 【他】	2	月 5	共 7 1 講	G3E14106	生物学A	伊藤 靖夫		(G)	T I	2	月 5	共 3 4 講
		G3E14102	生物学A	伊藤 靖夫			(G) M I (医：①)	2	火 1	共 4 6 講									
		G3E14103	生物学A	伊藤 靖夫			(G) M I (医：②)	2	水 1	共 2 8 講									
		G3E14105	生物学A	久保 浩義			(S特) F I (生)	2	月 4	共 7 1 講									
											G3E14202	生物学B	今津 道夫		(G)	M I (医：①)	2	火 1	共 4 3 講
		G3E14201	生物学B	今津 道夫			(G) F I (生)	2	金 2	共 3 5 講	G3E14203	生物学B	今津 道夫		(G)	M I (医：②)	2	金 4	共 6 5 講
											G3E14204	生物学B	今津 道夫		(G)	T I	2	金 5	共 6 5 講
	地 学	G3E15101	地学概論 I	吉田 孝紀	牧野 州明	(S・S特)	F I	2	月 1	共 7 1 講	G3E15102	地学概論 I	森清 壽郎		(S特)	E I 【理】、T I、F I	2	金 3	共 2 0 講
											G3E15201	地学概論 II	齋藤 武士	山田 桂	(S)	F I	2	火 1	共 2 0 講
											G3E15202	地学概論 II	森清 壽郎		(S特)	T I、F I	2	金 2	共 4 3 講
		G3E15301	地学実験	大塚 勉	山田 桂 他	(G特・S)	A I、F I (織)	2	月3～4	共 3 7 講	G3E15303	地学実験	大塚 勉	山田 桂 他	(G特・S)	F I (生)	2	月3～4	共 3 7 講
		G3E15302	地学実験	山田 桂	大塚 勉 他	(S・G特)	F I (機・化)	2	火3～4	共 3 7 講									

2 専門科目（1年次生）

R7(2025)年度

前 期			後 期										期										
学 部	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	単位 学修単位数	曜 日	時 限	講義室	備 考	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	単位 学修単位数	曜 日	時 限	講義室	備 考	
人文学部	L2910001	新入生ゼミナール【L1】	飯岡 詩朗		(L) L I		2	木 5	人 2 0 1			L2910201	人文科学通論Ⅱ【L1】	飯岡 詩朗		(L) L I		2	月 2				
	L2910002	新入生ゼミナール【L2】	伊藤 尽		(L) L I		2	木 5	人 2 0 2			L2910202	人文科学通論Ⅱ【L2】	伊藤 尽		(L) L I		2	月 2				
	L2910003	新入生ゼミナール【L3】	氏岡 真士		(L) L I		2	木 5	人 2 0 4			L2910203	人文科学通論Ⅱ【L3】	氏岡 真士		(L) L I		2	月 2				
	L2910004	新入生ゼミナール【L4】	澁谷 豊		(L) L I		2	木 5	人 2 0 5			L2910204	人文科学通論Ⅱ【L4】	澁谷 豊		(L) L I		2	月 2				
	L2910005	新入生ゼミナール【L5】	白井 真理子		(L) L I		2	木 5	人 2 0 6			L2910205	人文科学通論Ⅱ【L5】	白井 真理子		(L) L I		2	月 2				
	L2910006	新入生ゼミナール【L6】	田所 朱莉		(L) L I		2	木 5	人 3			L2910206	人文科学通論Ⅱ【L6】	田所 朱莉		(L) L I		2	月 2			不定期 開講	
	L2910007	新入生ゼミナール【L7】	早坂 俊廣		(L) L I		2	木 5	人 4 0 1			L2910207	人文科学通論Ⅱ【L7】	早坂 俊廣		(L) L I		2	月 2				
	L2910008	新入生ゼミナール【L8】	三谷 尚澄		(L) L I		2	木 5	人 5 0 1			L2910208	人文科学通論Ⅱ【L8】	三谷 尚澄		(L) L I		2	月 2				
	L2910100	人文科学通論Ⅰ【EA】	磯部 美穂	氏岡 真士 学務委員会	(L) L I				人 4 W-1 利用可														
	L1120100	哲学・思想論概論Ⅰ	三谷 尚澄	篠原 成彦	(L) L I		2	月 4	人 1 共 1 3			L1120200	哲学・思想論概論Ⅱ	護山 真也		(L) L I		2	月 4				
	L1220100	芸術コミュニケーション概論Ⅰ	濱崎 友絵		(L) L I		2	木 4	人 4														
	L1220200	芸術コミュニケーション概論Ⅱ	金井 直		(L) L I		2	月 5	人 4														
	L1320100	文化情報論概論Ⅰ【EA】	佐藤 広英		(L) L I		2	木 3	人 4			L1320200	文化情報論概論Ⅱ【EA】	菊池 聡		(L) L I		2	木 3				W-1 開講
	L1420100	社会学概論Ⅰ	茅野 恒秀		(L) L I		2	木 2	人 4			L1420200	社会学概論Ⅱ	前田 豊		(L) L I		2	木 2				
	L1521100	心理学概論Ⅰ	今井 章		(L) L I		2	月 4	人 4														
	L1621100	社会心理学概論Ⅰ（社会・集団・家族心理学）【EA】	岡本 卓也		(L) L I		2	金 2	人 4			L1621200	社会心理学概論Ⅱ【EA】	岡本 卓也		(L) L I		2	金 2				W-1 開講
	L1720100	日本史概論Ⅰ	山本 英二		(L) L I		2	火 1	人 4			L1720200	日本史概論Ⅱ	塩原 佳典		(L) L I		2	金 2				
	L1820200	東洋史概論Ⅱ【EA】	豊岡 康史		(L) L I		2	集中	人 4			L1820100	東洋史概論Ⅰ	新津 健一郎		(L) L I		2	木 3				
L1920200	西洋史概論Ⅱ	佐藤 真紀		(L) L I		2	水 3	共 1 3															
L2020100	比較文学概論Ⅰ	野津 寛		(L) L I		2	月 5	人 3			L2020200	比較文学概論Ⅱ	澁谷 豊		(L) L I		2	月 5					
L2120100	中国語学概論Ⅰ	伊藤 加奈子		(L) L I		2	水 3	人 3			L2120400	中国語学概論Ⅱ	氏岡 真士		(L) L I		2	木 3					
L2220100	ドイツ言語文化概論Ⅰ	磯部 美穂		(L) L I		2	金 2	人 5			L2320100	フランス言語文化概論Ⅰ	鎌田 隆行		(L) L I		2	金 2					
L2220200	ドイツ言語文化概論Ⅱ	葛西 敬之		(L) L I		2	木 3	人 1															
L2420100	英語学概論Ⅰ	伊藤 尽		(L) L I		2	木 4	人 1			L2420200	英語学概論Ⅱ	飯岡 詩朗		(L) L I		2	水 3					
L2520100	英語文学概論Ⅰ	田所 朱莉		(L) L I		2	木 2	人 1			L2520200	英語文学概論Ⅱ	飯岡 詩朗		(L) L I		2	木 4					
L2620100	日本文学概論Ⅰ	渡邊 匡一		(L) L I		2	木 6	人 4			L2620200	日本文学概論Ⅱ	渡邊 匡一		(L) L I		2	木 6					
L2620300	日本文学史Ⅰ	速水 香織		(L) L I		2	水 3	人 4			L2620400	日本文学史Ⅱ	速水 香織		(L) L I		2	水 3					
L2720100	日本語学概論Ⅰ	中澤 光平		(L) L I		2	木 1	人 4			L2720200	日本語学概論Ⅱ	中澤 光平		(L) L I		2	木 1					
L2720300	日本語史Ⅰ	山田 健三		(L) L I		2	木 2	人 2 1 2			L2720400	日本語史Ⅱ	山田 健三		(L) L I		2	木 2					
L2820100	日本語教育学概論Ⅰ	坂口 和寛		(L) L I		2	火 1	人 5			L2820200	日本語教育学概論Ⅱ	坂口 和寛		(L) L I		2	火 1					
L2990300	博物館教育論	福島 正樹	田村 徳至	(L) L I		2	集中(通年)	理 1			L2990100	生涯学習概論【EA】	荒井 英治郎		(G) L I		2	集中					
※1	海外短期研修Ⅱ	国際交流委員会		(L) L I		4	集中	-			L2990200	博物館概論	窪田 雅之		(F) L I		2	火 5					
※1) 海外短期研修Ⅱの履修を希望する学生は、シラバスの内容を確認してください。																							

2 専門科目（1年次）

開設授業科目表

後 期		前 期																	
学 部	期	学 部	期																
時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	曜日 時間	講義室	備考	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	曜日 時間	講義室	備考		
E4000900	教職・カリキュラム論A	森下 孟	谷塚光典	(E) E I	E I	2	火 2	共20講	通年	E4000900	教職・カリキュラム論A	森下 孟	谷塚光典	(E) E I	E I	2	火 3	共20講	通年
E5004900	環境教育	水谷 瑞希		(E) E I	E I	2	集中不定 月 4	共20講	E4280900	総合的な学習の時間の指導法	森下 孟	安達 仁美	(E) E I	E I	1	集中不定		通年	
E5016900	野外教育	瀧 直也	結城直啓・橋本政晴	(E) E I	E I	1	集中不定		E4121900	特別支援教育概論A	奥村真衣子	楠見友輔・戸谷健史・宮地弘一郎	(E) E I (現、野、国、英、保、心、家、心)	E I	2	月 5	共20講		
E2630900	体育学基礎A	大木 雄太		(E) E I	E I	2	火 3	共64講	E4122900	特別支援教育特論	楠見 友輔	奥村真衣子・下山真次・宮地弘一郎	(E) E I (特)	E I	2	月 5	共312演		
E9124200	基礎心理学	高橋 ユウエン		(E) E I (心)	E I (心)	2	火 4	共313演	E7220100	スポーツ・体育学入門	橋本 政晴	小林比呂代・藤原崇雅・大井和彦	(E) E I (野・保)	E I	2	木 3	共54講		
E4370900	初等体育科指導法基礎A	岩田 靖		(E) E I (保、心、家、心)	E I (保、心、家、心)	2	木 4	共61講	E0100900	国語基礎A	西 一夫	小鉢比呂子・藤崎聖也・松島恒雄・龍崎正典・廣内大助・内山孝雄	(E) E I	E I	2	金 5	共53講		
E2620900	水泳	速水 達也	岩田 靖	(G) E I	E I	1	水2・集中	共52講	E0200900	社会基礎A	関 良徳		(E) E I	E I	2	月 2	共20講		
E4120900	発達・教育心理学概論A	島田 英昭		(E) E I (現、国、英、数、保、心、家、心)	E I (現、国、英、数、保、心、家、心)	2	集中不定	【EA】	E0900900	家庭生活基礎A	沖嶋 直子	山岸明浩・福田典子	(E) E I (現、国、家、心)	E I	2	金 3	共12講		
E7182100	現代教育ゼミナール	水口 崇	徳井 厚子	(E) E I (現)	E I (現)	2	火 3	共40講	E4320900	算数科指導法基礎A	茅野 公穂	宮崎健夫・橋本智士	(E) E I	E I	2	金 2	共20講		
E7282100	野外教育ゼミナール	結城 直啓		(E) E I (野)	E I (野)	2	木 3	共55講	E4623900	数学教育教材論	茅野 公穂	宮崎健夫・橋本智士	(E) E I	E I	2	金 3	共55講		
E8082100	国語教育ゼミナール	小林 比呂代	大井 和彦	(E) E I (国)	E I (国)	2	金 2	共34講	E220900	線形代数学	佐久川 雅児		(E) E I	E I	2	金 1	共52講		
E8182100	英語教育ゼミナール	酒井 英樹		(E) E I (英)	E I (英)	2	火 4	共211演	E7100100	現代教育入門	水口 崇	徳井 厚子	(E) E I (現)	E I (現)	2	火 4	共54講		
E8282100	社会科学教育ゼミナール	松島 恒熙		(E) E I (社)	E I (社)	2	木 5	共63講	E9112200	心理学概論A	島田 英昭		(E) E I	E I	1	火 5	共35講		
E9382100	数学教育ゼミナール	榎本 哲士	佐藤義典・尾花信子・宮崎健夫・藤原崇・大井和彦	(E) E I (数)	E I (数)	2	金 1	共52講	E4120901	発達・教育心理学概論B	島田 英昭		(E) E I (野、社、理、数、保、心、家、心)	E I	2	集中不定	【EA】		
E9482100	理科教育ゼミナール	天谷 健一		(E) E I (理)	E I (理)	2	金 2	共33講	E2741900	技術と環境	村松 浩幸		(E) E I (も)	E I (も)	2	木 1	【EA】		
E9582100	音楽教育ゼミナール	桐原 礼		(E) E I (音)	E I (音)	2	火 3	共71講	E2535900	造形基礎演習	猪瀬 昌延	大島賢一・中野良寿	(E) E I (図)	E I (図)	2	火 5	共401演		
E9682100	図画工作・美術教育ゼミナール	猪瀬 昌延	大島賢一・中野良寿	(E) E I (図)	E I (図)	2	火 4	共401演	E43309004	初等理科指導法基礎E	植原 俊晴		(E) E I (野、理、保、心)	E I (野、理、保、心)	2	金 4	共51講		
E9782100	保健体育ゼミナール	大木 雄太		(E) E I (保)	E I (保)	2	木 3	共55講	E43509004	初等音楽科指導法基礎E	桐原 礼		(E) E I	E I	2	水 2	共71講		
E9882100	ものづくり・技術教育ゼミナール	川久保英樹	佐藤義典・村松浩幸・小倉光明	(E) E I (も)	E I (も)	2	火 4	共411演	E5020900	STEAM教育概論	茅野 公穂	村松 浩幸	(E) E I	E I	1	集中不定	【EA】	一部対面授業を含む	
E9982100	家庭科教育ゼミナール	福田 典子	山岸明浩・沖嶋直子	(E) E I (家)	E I (家)	2	金 2	共211演	E2617900	剣道	廣野 準一	友川 幸	(G) E I	E I	1	木 1	共26・共65講		
E9082100	特別支援教育ゼミナール	宮地 弘一郎	下山真衣・楠見友輔	(E) E I (特)	E I (特)	2	火 5	共40講											
E9182100	心理支援教育ゼミナール	向井 秀文		(E) E I (心)	E I (心)	2	火 5	共313演											
E5017900	学習科学概論A	島田 英昭	安達仁美・佐藤和紀・三和秀平	(E) E I	E I	1	集中不定	【EA】	E5017901	学習科学概論B	島田 英昭	安達仁美・佐藤和紀・三和秀平	(E) E I	E I	1	集中不定	【EA】	一部対面授業を含む	
E5022100	地域教育概論 I	西 一夫		(E) E I	E I	2	集中不定		E5022101	地域教育概論 I	西 一夫		(E) E I	E I	1	集中不定			
J5020100	経済数学A	田中 康平		(J) J I (経)	J I (経)	2	火 4	経第2	J5010100	統計学 I	藤森 洸		(J) J I (経)	J I (経)	2	金 2	経第1	通年	
J9030100	社会科学のための基礎力演習	WU PO TSANG		(J) J I	J I	2	金 4	経402	J9030100	社会科学のための基礎力演習	WU PO TSANG		(J) J I	J I	4	金 4	経402	通年	
J9532100	社会科学特別講義 (現代世界史基礎)	池上 彰	丸橋 昌太郎	(J) J I (経)	J I (経)	2	集中不定	経第2	J5030100	経済数学B	田中 康平		(J) J I (経)	J I (経)	2	火 2	経第1		
J6922100	*法務特別講義 (現代世界史基礎)	池上 彰	丸橋 昌太郎	(J) J I (法)	J I (法)	2	集中不定	経第2	J5040100	ミクロ経済学 I	舩田 武仁	舩田 武仁	(J) J I (経)	J I (経)	4	火4・水1	経第2		
									J6010100	刑法 I	濱田 新		(J) J I	J I	4	木3・木4	経第1		
									J6020100	民法総則・物権法	宗村 和広		(J) J I	J I	4	金2・金3	経第3		
J9010101	新入生ゼミナール I			(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定	J9020101	新入生ゼミナール II	石橋 敬介		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定		
J9010102	新入生ゼミナール I	藤野 義和		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定	J9020102	新入生ゼミナール II	都築 幸宏		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定		
J9010103	新入生ゼミナール I	岡 利恵子		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定	J9020103	新入生ゼミナール II	LEE HYUNIK		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定		
J9010104	新入生ゼミナール I	LEE HYUNIK		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定	J9020104	新入生ゼミナール II	橋本 規之		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定		
J9010105	新入生ゼミナール I	舩田 武仁		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定	J9020105	新入生ゼミナール II	舩田 武仁		(J) J I (経)	J I (経)	2	水 2	未定		
J9010106	新入生ゼミナール I	栗嶋 さくら		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定	J9020106	新入生ゼミナール II	濱田 新		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定		
J9010107	新入生ゼミナール I	成澤 孝人		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定	J9020107	新入生ゼミナール II	宗村 和広		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定		
J9010108	新入生ゼミナール I	金井 悠一郎		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定	J9020108	新入生ゼミナール II	弘中 章		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定		
J9010109	新入生ゼミナール I	船渡 康平		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定	J9020109	新入生ゼミナール II	久保田 隆		(J) J I (法)	J I (法)	2	水 2	未定		

学部		前期				後期				理 学 部								
時間制 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	履日 時限	講義室	備考	時間制 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	履日 時限	講義室	備考	
SG301.01	線形代数学Ⅰ	境 圭一		(S)	SⅠ (数)	2 木 3	理Ⅰ		SG302.01	線形代数学Ⅱ	上山 健太		(S)	SⅠ (数)	2 木 3	理Ⅰ		
SG301.02	線形代数学Ⅰ	花木 圭秀		(S)	SⅠ (物・化)	2 火 1	共 5 6 講		SG302.02	線形代数学Ⅱ	阿部 聖宏		(S 特)	SⅠ (物・化)	2 火 2	理Ⅰ		
SG301.03	線形代数学Ⅰ	境 圭一		(S)	SⅠ (地・生・物)	2 火 1	共 6 5 講		SG302.03	線形代数学Ⅱ	松下 尚弘		(S)	SⅠ (地・生・物)	2 火 2	理Ⅰ	3	
SG303.01	微分積分Ⅰ	佐々木 格		(S)	SⅠ (数)	2 月 3	理Ⅰ		SG304.01	微分積分Ⅱ	宮西 吉久		(S)	SⅠ (数)	2 月 3	理Ⅰ		
SG303.02	微分積分Ⅰ	謝 賢		(S)	SⅠ (物・化)	2 木 2	理Ⅰ		SG304.02	微分積分Ⅱ	乙部 蔵己		(S)	SⅠ (物・化)	2 木 2	理Ⅰ		
SG303.03	微分積分Ⅰ	乙部 蔵己		(S)	SⅠ (地・生・物)	2 木 2	経 第 3		SG304.03	微分積分Ⅱ	泉 真之介		(S 特)	SⅠ (地・生・物)	2 木 2	理Ⅰ	3	
SG311.01	物理学概論Ⅰ	川村 嘉春		(S)	SⅠ (地・生)	2 金 2	理 3		SG312.01	物理学概論Ⅱ	天児 寛		(S)	SⅠ (数・地・生)	2 金 1	理 3		
SG311.02	物理学概論Ⅰ	川村 嘉春		(S)	SⅠ (数・物・地)	2 月 2	理 3		SG312.02	物理学概論Ⅱ	天児 寛		(S 特)	SⅠ (化・物・地)	2 月 4	理Ⅰ	3	
SG321.01	化学概論Ⅰ	大木 寛		(S 特)	SⅠ (地・生)	2 火 2	理Ⅰ		SG322.01	化学概論Ⅱ	樋上 照男		(S)	SⅠ (生・物)	2 月 4	理Ⅰ	3	
SG321.02	化学概論Ⅰ	樋上 照男		(S 特)	SⅠ (地・生)	2 金 3	共 1 2 講		SG322.02	化学概論Ⅱ	太田 哲		(S)	SⅠ (生・物)	2 金 2	理Ⅰ	3	
SG361.01	生物学概論Ⅰ	石川 厚	他	(S)	SⅠ (物・地・物)	2 火 3・4	共 2 8 講		SG361.02	生物学概論Ⅱ	武田 貴志	他	(S 特)	SⅠ (化・生)	2 火 3・4	共 2 8 講		
SG331.01	生物学実験Ⅰ	高木 功次	他	(S)	SⅠ (物)	2 火 5		オンライン	SG332.01	生物学実験Ⅱ	浅見 崇比呂		(S 特)	SⅠ (化・地)	2 木 4	理Ⅰ	3	
SG371.01	生物学実験	柴田 直樹		(S 100%)	SⅠ (物)	2 水 4・5	共生実験		SG332.02	生物学実験Ⅱ	山本 雅道		(S 特)	SⅠ (数・物・物)	2 火 5	理 3		
SG371.02	生物学実験	柴田 直樹		(S 100%)	SⅠ (地・物)	2 木 4・5	共生実験		SG342.01	地学概論Ⅱ	齋藤 武士		(S)	SⅠ	2 火 1	共 2 0 講		
SG371.03	生物学実験	柴田 直樹		(S 100%)	SⅠ (数・化)	2 金 4・5	共生実験		SG381.02	地学実験	大塚 勉	地学分野の教員全員	(G 特)	SⅠ (生)	2 月 3・4	共 3 7 講		
SG341.01	地学概論Ⅰ	吉田 孝紀	牧野 州明	(S)	SⅠ	2 月 1	共 7 1 講		SG381.03	地学実験	山田 桂	地学分野の教員全員	(S)	SⅠ (数・物・物)	2 火 3・4	共 3 7 講		
SG341.02	地学概論Ⅰ	吉田 孝紀	牧野 州明	(S 特)	SⅠ	2 火 2	共 7 1 講		SG201.00	グリーンサイエンス通論Ⅰ	金 継業	他	(S)	SⅠ	2 月 1	共 2 0 講		
SG381.01	地学実験	山田 桂	地学分野の教員全員	(S 100%)	SⅠ (化)	2 火 3・4	共 3 7 講		SG113.00	キャリアデザイン概論	長谷川 庸司	他	(S)	SⅠ	1 火 5	理 8		
SA401.00	線形代数学演習Ⅰ	境 圭一		(S)	SⅠ (数)	1 木 4	理Ⅰ		SA404.00	線形代数学演習Ⅱ	上山 健太		(S)	SⅠ (数)	1 木 4	理Ⅰ		
SA402.00	微分積分演習Ⅰ	佐々木 格		(S)	SⅠ (数)	1 月 4	理Ⅰ		SA405.00	微分積分演習Ⅱ	宮西 吉久		(S)	SⅠ (数)	1 月 4	理Ⅰ		
SA403.00	微分積分学詳論Ⅰ	佐々木 格		(S)	SⅠ (数)	2 火 1	理Ⅰ		SA406.00	微分積分学詳論Ⅱ	宮西 吉久		(S)	SⅠ (数)	2 火 3	理Ⅰ		
SG101.01	情報科学演習Ⅰ	謝 賢		(S)	SⅠ (数)	2 金 2	理 P C		SA407.00	集合論	栗林 勝彦		(S)	SⅠ (数)	2 木 2	共 4 3 講		
SB405.00	力学Ⅰ	中島 美帆		(S)	SⅠ (物)	2 木 4	理 3		SA701.00	アドバンスゼミ	境 圭一		(S)	SⅠ (数)	1 不定			
SB501.00	真空解析論	長谷川 庸司		(S)	SⅠ (物)	2 金 2	理 1 2		SB401.00	物理学実験Ⅰ	川出 健太郎	高野 恵介	(S)	SⅠ (物)	2 水 3・4	物理学理表Ⅰ		
SB502.00	相対性理論Ⅰ	奥山 和美		(S)	SⅠ (物)	2 金 4	理 8		SB406.00	力学Ⅱ	加藤 千尋		(S)	SⅠ (物)	2 金 4	理 8		
SB420.00	情報科学演習Ⅰ	中島 美帆	小竹 悟	(S)	SⅠ (物)	2 月 3	理 3		SB417.00	物理学実験Ⅰ	小竹 悟		(S)	SⅠ (物)	2 金 1	理 1 3		
SG101.02	情報科学演習Ⅰ	長谷川 庸司		(S)	SⅠ (物)	2 金 1	理 P C		SB421.00	物理学演習Ⅱ	加藤 千尋	長谷川 庸司	(S)	SⅠ (物)	2 月 3	理 3		
SC401.00	基礎分析化学	金 継業		(S)	SⅠ (化)	2 金 2	理 1 3		SB701.00	アドバンスゼミ	志水 久		(S)	SⅠ (物)	1 不定			
SC403.00	基礎有機化学	太田 哲		(S)	SⅠ (化)	2 月 3	理 P C		SC402.00	基礎無機化学	竹内 あかり		(S)	SⅠ (化)	2 金 2	理 8		
SG101.03	情報科学演習Ⅰ	大木 寛		(S)	SⅠ (化)	2 水 5	理 P C・8		SC404.00	基礎物理化学	飯山 拓		(S)	SⅠ (化)	2 水 1	理 3		
SD401.00	地質学入門実習	常盤 哲也		(S)	SⅠ (地)	1 水 4	理 1 2		SC405.00	基礎化学実験	武田 貴志		(S)	SⅠ (化)	2 火 3・4	共 2 8 講		
SG101.04	情報科学演習Ⅰ	森 宏		(S)	SⅠ (地)	2 月 2	理 P C		SC501.00	化学数学	石川 厚	演 齋 亜 富	(S)	SⅠ (化)	2 水 3	理 8		
SG101.05	情報科学演習Ⅰ	高橋 耕一		(S)	SⅠ (生)	2 月 4	理 1 3		SC701.00	アドバンスゼミ	演 齋 亜 富	他	(S)	SⅠ (化)	1 不定			
SE403.00	系統分類・進化学Ⅰ	東城 幸治		(S)	SⅠ (生)	2 月 4	理 1 3		SD402.00	地質学序説	山田 桂	吉田 孝紀・森 宏	(S)	SⅠ (地)	2 水 3	理 3		
SE402.00	基礎生物学実験	東城 幸治		(S 100%)	SⅠ (生)	2 火 3・4	理 1 2		SD403.00	地質学序説ゼミ	山田 桂	吉田 孝紀・森 宏	(S)	SⅠ (地)	1 水 4	理 3		
SF401.00	物質物理学序説Ⅰ	朴 虎東		(S)	SⅠ (生)	2 金 1	理 1 2		SD701.00	アドバンスゼミ	江島 雅美		(S)	SⅠ (地)	1 水 4	理 3	オンライン	
SG101.06	情報科学演習Ⅰ	岩田 直樹	牧田 直樹	(S)	SⅠ (物)	2 木 3	理 P C		SE401.00	分子細胞生物学Ⅰ	小笠原 誠治		(S)	SⅠ (生)	2 水 1	不定		
SF416.00	野外調査実習Ⅰ	牧田 直樹		(S)	SⅠ (物)	1 集中 不定			SE701.00	アドバンスゼミ	高梨 功次郎	細田 久・田中 隆二・藤田 孝・村松 孝一・村松 孝二	(S)	SⅠ (生)	2 金 1	理 5		
SG102.01	新入生ゼミナール	松下 尚弘		(S)	SⅠ (数)	2 火 3	理 3		SF402.00	物質物理学序説Ⅱ	朴 虎東	細田 久・田中 隆二・藤田 孝・村松 孝一・村松 孝二	(S)	SⅠ (生)	2 金 1	理 5		
SG102.03	新入生ゼミナール	樋口 雅彦		(S)	SⅠ (物)	2 金 3	理 3		SF701.00	アドバンスゼミ	村越 直美	渡史	(S)	SⅠ (物)	2 火 5	集中	学芸員	
SG102.04	新入生ゼミナール	大木 寛		(S)	SⅠ (化)	2 水 3	理 3		SGH01900	博物館概論	窪田 雅之		(非)	SⅠ (生)	2 火 5	集中	学芸員	
SG102.05	新入生ゼミナール	常盤 哲也		(S)	SⅠ (地)	2 水 3	理 1 2		SGH03900	生涯学習概論	荒井 英治郎		(G)	SⅠ	2 集中			
SG102.06	新入生ゼミナール	柴田 直樹	他	(S)	SⅠ (生)	2 水 3	理 2											
SG102.07	新入生ゼミナール	浦井 暖史	牧田 直樹	(S)	SⅠ (物)	2 水 3	理 1 3											
SGH07900	博物館教育論	福島 正樹	田村 徳至	(特)	SⅠ (G)	2 理 1		通年・(前期履修) 中級履修・後期履修 (前期・後期履修)										

– 106 –

学部	前期					後期					期								
	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	曜日 時限	講義室	備考	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	曜日 時限	講義室	備考	
工学部	T1000110	物質化学ゼミナール	水野正浩	萩尾健史・清水雅裕・山田智也	(T)	T I (質)	2 水 4	共 6 1 講	初回・オンライン使用	T1003110	物質化学入門	萩尾健史	新井 進・奥村 歩久・酒井 俊昭・高津 信行・柳田 誠二・岡田 友彦	(T)	T I (質)	2 水 3	共 6 1 講	初回・オンライン使用	
	T2000110	電子情報システム工学ゼミナール	曽根原 誠		(T)	T I (電情)	2 火 2	共 4 2 講		T2003111	基礎電気電子回路	曽根原 誠		(T)	T I (電情)	2 水 5	共 2 0 講		
	T3000111	水環境・土木工学ゼミナール	河村 隆	他	(T)	T I (水土)	2 水 4	共 5 1 講	初回・オンライン使用	T2004110	プログラミング言語 I	小林 一樹	小形 真平・佐藤 真平	(T)	T I (電情)	2 月 3	共 2 0 講		
										T2005210	基礎論理回路	太子 敏則		(T)	T I (電情)	2 火 5	共 2 0 講		
	T4000110	機械システム工学ゼミナール	山崎 公俊	吉田 尚史	(T)	T I (機械)	2 火 4～5 (後半)	共 6 1 講											
	T5000110	建築ゼミナール	梅干野 成央	他	(T)	T I (建)	2 水 3～4 (後半)	共 4 7 講											
	T2001110	基礎数学	田中 清		(T)	T I (電情：①)	2 火 3	共 4 2 講		T3001110	水環境・土木工学基礎	清野 竜太郎	他	(T)	T I (水土)	2 火 4	共 6 2 講		
	T2001111	基礎数学	田中 清		(T)	T I (電情：②)	2 火 3	共 4 3 講		T4003110	機械設計製図 I	柳 和彦	牛 立斌	(T)	T I (機械)	1 水 2～3	共 6 1 講	3限62講	
	T2002110	電気物理	田代 晋久		(T)	T I (電情：①)	2 火 4	共 4 2 講		T4020130	力学 II	松原 雅春		(T)	T I (機械)	2 水 4～5 (後半)	共 6 1 講		
	T2002111	電気物理	田代 晋久		(T)	T I (電情：②)	2 火 4	共 4 3 講		T4023130	材料力学 I	西村 正臣		(T)	T I (機械)	2 水 4～5 (後半)	共 6 1 講		
	T4001110	数学演習	吉野 正人		(T)	T I (機械)	1 火 4～5 (後半)	共 6 1 講											
										T5020110	設計基礎 II	遠藤 洋平	他	(T)	T I (建)	2 水 3	共 4 7 講		
										T5021110	設計基礎演習	遠藤 洋平	他	(T)	T I (建)	1 水 4	共 4 7 講		
	T5019110	設計基礎 I	梅干野 成央	他	(T)	T I (建)	2 水 3～4 (後半)	共 4 7 講							(T)	T I (質のみ)	1 集 不定		オンライン
										T0021900	化学概論	錦織 広昌			(特)	T I (質・水土・機)	1 金 3	共 5 3 講	
										T0022900	生物学概論	小松 寅雄			(特)	T I (質・水土・機)	1 火 3	共 5 3 講	
										T0023900	地学概論	桜井 達雄							
	T0H008900	博物館情報・メディア論	小山 茂喜	他	(G特)	T I	- 集中 通年		学芸員	T0H01900	生涯学習概論	荒井 英治郎			(G)	T I	2 集中		学芸員
										T0H02900	博物館概論	窪田 雅之			(非)	T I	2 火 5	人 4	学芸員
	T0H07900	博物館教育論	福島 正樹	田村 徳至	(特)(G)	T I	2 集中(通年)	理 1	学芸員・図書館員・博物館員(特)(G)										
										T0H08900	博物館情報・メディア論	小山 茂喜	他		(G特)	T I	2 集中 通年		学芸員

前 期			後 期																	
学 部	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所 属	対 象 学 生	規定単位数	曜 日 時 限	講義室	備 考	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所 属	対 象 学 生	規定単位数	曜 日 時 限	講義室	備 考
農 学 部	A1Y01100	一般化学Ⅰ	勝木 明夫		(G) AⅠ (生命・山岳)		2	水 2	共 4 3 講		A1Y03100	有機化学Ⅰ	大神田 淳子	他	(A) AⅠ		2	火 2	共 4 3 講	
	A1Y01101	一般化学Ⅰ	勝木 明夫		(G) AⅠ (食料・地域)		2	月 2	共 4 3 講		A1Y04101	生化学	鏡味 裕	他	(A) AⅠ (食料・地域)		2	水 3	共 2 0 講	
	A1Y02100	一般化学Ⅱ	勝木 明夫		(G) AⅠ		2	金 1	共 4 3 講		A1Y05100	生物学A	伊藤 靖夫		(G) AⅠ (履修済ミクラス)		2	火 3	共 4 6 講	
	A1Y04100	生化学	小西 博昭	他	(A) AⅠ (生命・山岳)		2	金 3	共 4 3 講		A1Y05101	生物学A	伊藤 靖夫		(G) AⅠ (履修済ミクラス)		2	金 1	共 2 8 講	
	A1Y05102	生物学A	伊藤 靖夫		(G) AⅠ (未履修ミクラス)		2	火 3	共 4 6 講	※クラス分 けは明示で 指示	A1Y05103	生物学A	伊藤 靖夫		(G) AⅠ (履修済ミクラス)		2	金 3	共 4 6 講	
	A1Y06100	生物学B	今津 道夫		(G) AⅠ (食料・地域)		2	木 1	共 1 3 講		A1Y06102	生物学B	今津 道夫		(G) AⅠ (山岳)		2	金 5	共 6 5 講	
	A1Y06101	生物学B	今津 道夫		(G) AⅠ (生命)		2	水 1	共 1 3 講		A1Y07100	物理学概論	安達 弘通		(G) AⅠ (生命・食料・地域)		2	木 1	共 1 2 講	
	A1Y07101	物理学概論	安達 弘通		(G) AⅠ (山岳)		2	木 1	共 5 1 講		A1Y09100	地学概論Ⅱ	齋藤 武士	山田 桂	(S) AⅠ		2	火 1	共 2 0 講	
	A1Y08100	地学概論Ⅰ	吉田 孝紀		(S) AⅠ		2	火 2	共 7 1 講		A1Y10100	生命・食品科学概論	中村 浩蔵	他	(A) AⅠ		2	火 4	共 4 3 講	
	A3Y40200	グローバルゼミ	諸白 冢奈子		(G) AⅠ		1	集中	不定		A1Y11100	食料生産システム科学概論	松島 憲一	他	(A) AⅠ		2	金 4	共 2 0 講	
	A4C42100	山岳圏森林・環境共生学基礎演習	福山 泰治郎		(A) AⅠ (山岳)		2	集中	不定		A1Y12100	山岳圏森林・環境共生学概論	安江 恒	他	(A) AⅠ		2	水 4	共 2 0 講	※2
	A4D01100	社会学概論	茅野 恒秀		(中) AⅠ (地域)		2	木 2	人 4	※1	A4D40100	課題解決基礎PBL	竹田 謙一	他	(A) AⅠ (地域)		2	木 4～5	共 2 4 講	※3
	A4D02100	文化情報論概論【EA】	佐藤 広英		(L) AⅠ (地域)		2	木 3	【EA】	※1										
A4D03100	社会心理学概論【EA】	岡本 卓也		(L) AⅠ (地域)		2	金 2	【EA】	※1											
A4D04100	哲学・思想論概論	三谷 尚澄	篠原 成彦	(L) AⅠ (地域)		2	月 4	【EA】 共13 履修済ミクラス 以外												
A1Y13100	新入生ゼミナール	竹野 誠記		(A) AⅠ (生命)		2	火 4	共 5 1 講												
A1Y13101	新入生ゼミナール	根本 和洋		(A) AⅠ (食料)		2	火 4	共 5 6 講												
A1Y13102	新入生ゼミナール	福山 泰治郎		(A) AⅠ (山岳)		2	火 4	共 5 2 講												
A1Y13103	新入生ゼミナール	城田 徹央		(A) AⅠ (地域)		2	火 4	共 5 3 講												
※1) 地域協創特別コース以外の学生は、履修登録することができません。 ※2) 履修登録者が講義室の収容人数を超えた場合は、抽選により受講者を決定します。詳細はシラバスを確認してください。 ※3) 地域協創特別コースの学生が対象となりますが、地域協創特別コース以外の学生も10名まで受講可能です。受講に関する説明会を掲示にて案内する予定です。																				
織 維 学 部	F3A10110	新入生ゼミナール	朱 春紅	他	(F) FⅠ (織)		2	金 4	共 1 2 講		F3002010	繊維科学の基礎 (講義)	若月 薫	他	(F) FⅠ		2	金 4		【EA】
	F3B10110	新入生ゼミナール	小関 道彦	他	(F) FⅠ (機)		1	水 4	共 4 2 講		F3A50910	先進繊維・感性工学概論	朱 春紅	他	(F) FⅠ (織)		2	木 2	共 4 2 講	
	F3C10110	新入生ゼミナール	服部 義之他		(F) FⅠ (化)		1	水 4	共 7 1 講		F3B50110	機械・ロボット学概論	小関 道彦	他	(F) FⅠ (機)		2	木 2	共 6 5 講	
	F3D10110	新入生ゼミナール	野川 優洋	他	(F) FⅠ (生)		2	水 3	共 6 2 講		F3C10210	情報科学演習	瀧澤 辰洋	高橋 伸英	(F) FⅠ (化)		2	水 3	共 7 1 講	
	F3D10210	応用生物学入門	堀江 智明	他	(F) FⅠ (生)		2	水 4	共 1 2 講		F3C10310	化学・材料ゼミナー	高橋 伸英	他	(F) FⅠ (化)		2	水 4	共 7 1 講	
											F3D50110	基礎生物科学	林田 信明		(F) FⅠ (生)		2	火 3	共 6 5 講	

3 教育の基礎的理解に関する科目等・大学が独自に設定する科目 《令和7年度(2025年度)入学生(1年生)対象科目》

R7(2025)年度

注:【 】は区分を示す

前 期					後 期				
時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	選必	規定 単位数	曜日 時限	講義室
Q3500900	教職論【第3欄】	※ 橋本 萌		(G)	L, S, T, A, F	必	2	水 5	共513講
Q3500901	教職論【第3欄】	※ 橋本 萌		(G)	L, S, T, A, F	必	2	水 1	共713講
Q3500902	教職論【第3欄】	※ 橋本 萌		(G)	L, S, T, A, F	必	2	木 1	共20講
Q3000900	教育の思想と歴史【第3欄】	※ 橋本 萌		(G)	L, S, T, A, F	選	2	集中 不定	共20講
Q3002900	教育学概論【第3欄】	※ 荒井 英治郎		(G)	L, S, T, A, F	必	2	火 1	共13講
Q3002901	教育学概論【第3欄】	※ 荒井 英治郎		(G)	L, S, T, A, F	必	2	火 2	共13講
Q3002902	教育学概論【第3欄】	※ 荒井 英治郎		(G)	L, S, T, A, F	必	2	水 1	共12講
Q3100900	発達と教育【第3欄】	※ 横嶋 敬行		(G)	L, S, T, A, F	必	2	月 5	共13講
Q3100901	発達と教育【第3欄】	※ 横嶋 敬行		(G)	L, S, T, A, F	必	2	木 5	共13講
Q3100902	発達と教育【第3欄】	※ 横嶋 敬行		(G)	L, S, T, A, F	必	2	金 5	共13講
Q3400900	教育課程の編成法【第3欄】	小山 茂喜		(G特)	L, S, T, A, F	必	2	集中 不定	共20講
Q4401900	学校教育と情報【第4欄】	※ 藤井 善章		(G)	L, S, T, A, F	★選	2	集中 不定	共13講
Q4502900	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法【第4欄】	田村 徳至		(G)	T, A, F	必	1	集中 不定	共20講
Q4403900		小山 茂喜		(G特)	L, S, T, A, F	★選	1	通年 不定	【EA】

★選：選択必修（どちらかの授業を履修すること。）

大学が独自に設定する科目 注:【 】は区分を示す

前 期					後 期				
時間割 コード	授業科目	主担当教員	副担当	所属	対象学生	選必	規定 単位数	曜日 時限	講義室
Q6100900	教育臨床基礎演習【第6欄】	荒井 英治郎		(G)	L, S, T, A, F	選	1	通年 不定	

教職科目(※印)については、学部ごとに対応が異なる授業科目があります。詳細については、以下をご参照ください

人文学部、工学部 上表の「教育の基礎的理解に関する科目等・大学が独自に設定する科目」は、全て教職科目としてのみ認定されます。（教職科目は卒業要件には含まれません。）

経済学部、医学部医学部 令和7(2025)年度入学生は、以下対応表の教職科目9科目を履修すると、教養系として単位認定されます。

理学部、農学部、繊維学部 令和7(2025)年度入学生は、以下対応表の教職科目9科目については、教養系としても単位認定されます。

医学部保健学部

<看護学専攻、検査技術科学専攻> 令和7(2025)年度入学生は、以下対応表の教職科目9科目を履修すると、教養系として単位認定されます。

<理学療法学専攻、作業療法学専攻、理学療法学専攻、理学療法学専攻> 令和7(2025)年度入学生は、MHから始まる「教職論【第3欄】」、「発達と教育【第4欄】」、「教育学概論【第3欄】」、「教育相談の理論と実践【第4欄】」、「生徒指導の理論と実践【第4欄】」の5科目のうち4単位分を、専門科目として履修しますので、教養系としては履修できません。なお、以下対応表の教職科目9科目のうち、これらを除く4科目を履修すると、教養系として単位認定されます。

【対応表】

認定される教養系	教職科目名(※印のある科目)
《哲学》	道徳教育の理論と実践【第4欄】(2年次以降に履修)
《歴史学》	教育の思想と歴史【第3欄】
《心理学》	発達と教育【第3欄】
《教育学》	教育学概論【第3欄】、教職論【第3欄】、教育の制度と経営【第3欄】、教育相談の理論と実践【第4欄】、生徒指導の理論と実践【第4欄】(2年次以降に履修)
《情報学入門》	学校教育と情報【第4欄】

3 教育の基礎的理解に関する科目等・大学が独自に設定する科目

開設授業科目表

注：()アカデミック・イングリッシュ・フエイズ【】プラクティカル・イングリッシュ

後 期																
区分	時間割 コード	授業科目	主担当教員 副 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室	時間割 コード	授業科目	主担当教員 副 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室
英 語	G3D21101	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（上級）	デイヴィッド ルシカ	(G)	LⅡ (1)	2	金 1	共 3 4 講	G3D21201	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（上級）	デイヴィッド ルシカ	(G)	LⅡ (1)	2	金 1	共 3 4 講
	G3D21102	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（中級）	サカサト ローレン	(G)	LⅡ (2)	2	金 1	共 3 6 講	G3D21202	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（中級）	未定	(非)	LⅡ (2)	2	金 1	共 3 6 講
	G3D21103	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（中級）	デイヴィッド グレイ	(非)	LⅡ (3)	2	金 1	共 2 5 講	G3D21203	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（中級）	デイヴィッド グレイ	(非)	LⅡ (3)	2	金 1	共 2 5 講
	G3D21104	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（初級）	ショーン マーメット	(非)	LⅡ (4)	2	金 1	共 4 0 1 演	G3D21204	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（初級）	ショーン マーメット	(非)	LⅡ (4)	2	金 1	共 4 0 1 演
	G3D21105	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（初級）	スプリング 有木子	(非)	LⅡ (5)	2	金 1	共 2 4 講	G3D21205	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（初級）	未定		LⅡ (5)	2	金 1	共 2 4 講
	G3D21309	プラクティカル・イングリッシュⅢ（上級）	高橋 ユウエン	(非)	JⅡ【1】	2	火 3	共 3 3 講	G3D21409	プラクティカル・イングリッシュⅣ（上級）	高橋 ユウエン	(非)	JⅡ【1】	2	火 3	共 3 3 講
	G3D21310	プラクティカル・イングリッシュⅢ（中級）	芦田 真樹子	(非)	JⅡ【2】	2	火 3	共 3 6 講	G3D21410	プラクティカル・イングリッシュⅣ（中級）	芦田 真樹子	(非)	JⅡ【2】	2	火 3	共 3 6 講
	G3D21311	プラクティカル・イングリッシュⅢ（中級）	宮坂 るみ	(非)	JⅡ (3)	2	火 3	共 2 5 講	G3D21411	プラクティカル・イングリッシュⅣ（中級）	北原 守	(非)	JⅡ (3)	2	火 3	共 2 5 講
	G3D21312	プラクティカル・イングリッシュⅢ（中級）	サカサト ローレン	(G)	JⅡ (4)	2	火 3	共 2 6 講	G3D21412	プラクティカル・イングリッシュⅣ（中級）	未定		JⅡ (4)	2	火 3	共 2 6 講
	G3D21313	プラクティカル・イングリッシュⅢ（初級）	清澤 美恵	(非)	JⅡ (5)	2	火 3	共 2 4 講	G3D21413	プラクティカル・イングリッシュⅣ（初級）	清澤 美恵	(非)	JⅡ (5)	2	火 3	共 2 4 講
	G3D21314	プラクティカル・イングリッシュⅢ（初級）	内川 安江	(非)	JⅡ【6】	2	火 3	共 2 3 講	G3D21414	プラクティカル・イングリッシュⅣ（初級）	内川 安江	(非)	JⅡ【6】	2	火 3	共 2 3 講
	G3D21106	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（上級）	マロー キム ゼセラ	(G)	SⅡ (1)	2	火 4	共 3 3 講	G3D21206	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（上級）	マロー キム ゼセラ	(G)	SⅡ (1)	2	火 4	共 3 3 講
	G3D21107	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（中級）	近藤 富英	(G 特)	SⅡ (2)	2	火 4	共 2 5 講	G3D21207	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（中級）	北原 守	(非)	SⅡ (2)	2	火 4	共 2 5 講
	G3D21108	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（中級）	リアナ ジョセフ	(非)	SⅡ (3)	2	火 4	共 2 4 講	G3D21208	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（中級）	リアナ ジョセフ	(非)	SⅡ (3)	2	火 4	共 2 4 講
	G3D21109	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（中級）	内川 安江	(非)	SⅡ (4)	2	火 4	共 2 3 講	G3D21209	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（中級）	内川 安江	(非)	SⅡ (4)	2	火 4	共 2 3 講
	G3D21110	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（初級）	ジャスティン ハーダー	(非)	SⅡ (5)	2	火 4	共 3 4 講	G3D21210	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（初級）	ジャスティン ハーダー	(非)	SⅡ (5)	2	火 4	共 3 4 講
	G3D21111	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（初級）	芦田 真樹子	(非)	SⅡ (6)	2	火 4	共 3 6 講	G3D21211	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（初級）	芦田 真樹子	(非)	SⅡ (6)	2	火 4	共 3 6 講
	G3D21112	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（上級）	ジャスティン ハーダー	(非)	MⅡ (医) (1)	2	火 5	共 3 4 講	G3D21212	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（上級）	ジャスティン ハーダー	(非)	MⅡ (医) (1)	2	火 5	共 3 4 講
	G3D21113	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（上級）	近藤 富英	(G 特)	MⅡ (医) (2)	2	火 5	共 2 5 講	G3D21213	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（上級）	近藤 富英	(G 特)	MⅡ (医) (2)	2	火 5	共 3 3 講
	G3D21114	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（上級）	マロー キム ゼセラ	(G)	MⅡ (医) (3)	2	火 5	共 3 3 講	G3D21214	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（上級）	未定		MⅡ (医) (3)	2	火 5	共 3 6 講
	G3D21115	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（上級）	デイヴィッド ルシカ	(G)	MⅡ (保) (1)	2	木 1	共 3 4 講	G3D21215	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（上級）	デイヴィッド ルシカ	(G)	MⅡ (保) (1)	2	木 5	共 3 4 講
	G3D21116	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（中級）	足立 総世	(非)	MⅡ (保) (2)	2	木 1	共 3 6 講	G3D21216	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（中級）	フレッド カルス	(非)	MⅡ (保) (2)	2	木 5	共 2 5 講
	G3D21117	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（中級）	近藤 富英	(G 特)	MⅡ (保) (3)	2	木 1	共 2 4 講	G3D21217	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（中級）	ジャスティン ハーダー	(非)	MⅡ (保) (3)	2	木 5	共 2 4 講
	G3D21118	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅢ（初級）	スプリング 有木子	(非)	MⅡ (保) (4)	2	木 1	共 2 6 講	G3D21218	アカデミック・イングリッシュ・フエイズⅣ（初級）	未定		MⅡ (保) (4)	2	木 5	共 2 6 講

区分	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日 時限	講義室
中国語	G3D22101	中国語中級Ⅰ	李 丹 丹		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 3 講	G3D22201	中国語中級Ⅱ	李 丹 丹		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 3 講
	G3D22102	中国語中級Ⅰ	百瀬 美津江		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 4 講	G3D22202	中国語中級Ⅱ	百瀬 美津江		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 4 講
ドイツ語	G3D23101	ドイツ語中級Ⅰ	松岡 幸司		(G)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 2 講	G3D23201	ドイツ語中級Ⅱ	松岡 幸司		(G)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 2 講
	G3D23102	ドイツ語中級Ⅰ	葛西 敬之		(L)	LⅡ	2	木 5	共 3 6 講	G3D23202	ドイツ語中級Ⅱ	葛西 敬之		(L)	LⅡ	2	木 5	共 3 6 講
フランス語	G3D24101	フランス語中級Ⅰ	鈴木 球子		(G)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 5 講	G3D24201	フランス語中級Ⅱ	鈴木 球子		(G)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 5 講
ハンゲル	G3D25101	ハンゲル中級Ⅰ	延 鍾淑		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 4 0 1 演	G3D25201	ハンゲル中級Ⅱ	延 鍾淑		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 4 0 1 演
スペイン語	G3D26101	スペイン語中級Ⅰ	足立 総世		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 7 講	G3D26201	スペイン語中級Ⅱ	伊藤 エドナ・リアナ		(非)	LⅡ／全Ⅱ	2	木 5	共 3 7 講

松本地区以外高年次（専門基礎系）

専門基礎系（言語）（松本地区以外高年次）

R7(2025)年度

区分		前 期										後 期									
授業科目	時間割 コード	授業科目	主担当教員	所 属 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日	備考	時間割 コード	授業科目	主担当教員	所 属 担当	所属	対象学生	規定 単位数	曜日	備考			
英 語	G3D21301	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（上級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【1】	2	金 1			G3D21401	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（上級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【1】	2	金 1					
	G3D21302	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（上級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【2】	2	月 2			G3D21402	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（上級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【2】	2	月 2					
	G3D21303	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【3】	2	月 3			G3D21403	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【3】	2	月 3					
	G3D21304	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【4】	2	金 2			G3D21404	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【4】	2	金 2					
	G3D21305	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【5】	2	月 4			G3D21405	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【5】	2	月 4					
	G3D21306	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（初級）	酒井 英樹	(E)	EⅡ【6】	2	月 3			G3D21406	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（初級）	田中 江扶	(E)	EⅡ【6】	2	月 3					
	G3D21307	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【7】	2	金 3			G3D21407	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	ダルトン コーリン	(G)	EⅡ【7】	2	金 3					
	G3D21308	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（初級）	高橋 ユウエン	(非)	EⅡ【8】	2	金 2			G3D21408	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（初級）	高橋 ユウエン	(非)	EⅡ【8】	2	金 2					
	G3D21119	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	カワモト ボーリン	(T)	TⅡ（質1）	2	水 3			G3D21219	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（質4）	2	水 4					
	G3D21120	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（質2）	2	月 3			G3D21220	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	板倉 ひろこ	(T)	TⅡ（質5）	2	水 3					
	G3D21121	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（質3）	2	水 3			G3D21221	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（質6）	2	水 3					
	G3D21122	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	藤田 あき美	(T)	TⅡ（電情1）	2	月 3			G3D21222	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	藤田 あき美	(T)	TⅡ（電情6）	2	月 1					
	G3D21123	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	藤田 あき美	(T)	TⅡ（電情2）	2	火 3			G3D21223	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	藤田 あき美	(T)	TⅡ（電情7）	2	月 4					
	G3D21124	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	板倉 ひろこ	(T)	TⅡ（電情3）	2	火 3			G3D21224	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	板倉 ひろこ	(T)	TⅡ（電情8）	2	月 4					
	G3D21125	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（電情4）	2	火 3			G3D21225	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（電情9）	2	月 4					
	G3D21126	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（電情5）	2	火 4			G3D21226	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	カワモト ボーリン	(T)	TⅡ（電情10）	2	金 5					
	G3D21127	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（水士1）	2	月 1			G3D21227	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	カワモト ボーリン	(T)	TⅡ（水士3）	2	月 2					
	G3D21128	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（水士2）	2	水 5			G3D21228	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	カワモト ボーリン	(T)	TⅡ（水士4）	2	金 4					
	G3D21129	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	カワモト ボーリン	(T)	TⅡ（機械1）	2	水 4			G3D21229	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（機械4）	2	月 3					
	G3D21130	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（機械2）	2	水 4			G3D21230	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（機械5）	2	月 5					
	G3D21131	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（機械3）	2	月 4			G3D21231	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	カワモト ボーリン	(T)	TⅡ（機械6）	2	木 5					
	G3D21132	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	藤田 あき美	(T)	TⅡ（建1）	2	月 2			G3D21232	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（建3）	2	月 2					
	G3D21133	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（建2）	2	月 2			G3D21233	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ	コリガン スタープン	(非)	TⅡ（建4）	2	水 5					
	G3D21134	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ（中級）	アワラズ バクドウ	(G)	AⅡ（1）	2	月 4			G3D21234	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ（中級）	アワラズ バクドウ	(G)	AⅡ（1）	2	月 3					
	G3D21135	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ（中級）	リアナ ジョセフ	(非)	AⅡ（2）	2	月 4			G3D21235	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ（中級）	リアナ ジョセフ	(非)	AⅡ（2）	2	月 3					
	G3D21136	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ（中級）	矢亀 尋美	(非)	AⅡ（3）	2	月 4			G3D21236	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ（中級）	北原 守	(非)	AⅡ（3）	2	月 3					
	G3D21137	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ（初級）	アワラズ バクドウ	(G)	AⅡ（4）	2	月 5			G3D21237	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ（初級）	アワラズ バクドウ	(G)	AⅡ（4）	2	月 4					
	G3D21138	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅢ（初級）	矢亀 尋美	(非)	AⅡ（5）	2	月 5			G3D21238	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅣ（初級）	北原 守	(非)	AⅡ（5）	2	月 4					
	G3D21315	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【織1】	2	水 1			G3D21415	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【織1】	2	金 1					
	G3D21316	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【織2】	2	水 2			G3D21416	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【織2】	2	金 2					
	G3D21317	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【織1】	2	水 2			G3D21417	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【織1】	2	金 2					
	G3D21318	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【織2】	2	水 1			G3D21418	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【織2】	2	金 1					
	G3D21319	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【化1】	2	火 2			G3D21419	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【化1】	2	火 2					
	G3D21320	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【化2】	2	火 2			G3D21420	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【化2】	2	火 2					
	G3D21321	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（初級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【化3】	2	火 1			G3D21421	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（初級）	サミエール ウインフリー	(非)	FⅡ【化3】	2	火 1					
	G3D21322	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（中級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【生1】	2	月 2			G3D21422	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（中級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【生1】	2	月 2					
	G3D21323	ブラクテイカル・イングリッシュⅢ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【生2】	2	月 1			G3D21423	ブラクテイカル・イングリッシュⅣ（初級）	バレーラ ジャスティン	(G)	FⅡ【生2】	2	月 1					
以下は再履修者向けのe-Learningによる授業です。																					
専門基礎系（言語）	G1D11522	ブラクテイカル・イングリッシュⅠ【EA】	長谷部 めぐみ	(G)	再履修生	1	【EA】			G1D11240	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅡ(A)【EA】	未定	(G)	再履修生	1	【EA】					
	G1D11726	クリテイカル・リーディングⅠ【EA】	長谷部 めぐみ	(G)	再履修生	1	【EA】			G1D11429	アカデミック・イングリッシュ・フレイズⅡ(B)【EA】	岩井 恵利奈	(G)	再履修生	1	【EA】					
										G1D11622	ブラクテイカル・イングリッシュⅡ【EA】	蓬菜 朋子	(G)	再履修生	1	【EA】					
										G1D11826	クリテイカル・リーディングⅡ【EA】	長谷部 めぐみ	(G)	再履修生	1	【EA】					

松本地区以外高年次（専門基礎系）

開設授業科目表

後 期																			
区分	授業科目	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副 担当	所 属	対象学生	規定 単位数	曜 日	備考	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副 担当	所 属	対象学生	規定 単位数	曜 日	備考
専門基礎系（言語）	ドイツ語	G1D13102	ドイツ語初級（総合）Ⅰ【EA】	松岡 幸司		(G)	同名の対面授業を受講できない学生	1	【EA】		G1D13202	ドイツ語初級（総合）Ⅱ【EA】	松岡 幸司		(G)	同名の対面授業を受講できない学生	1	【EA】	
	フランス語	G3D24102	フランス語中級Ⅰ【EA】	鈴木 珠子		(G)	各地学部高年次	2	【EA】		G3D24202	フランス語中級Ⅱ【EA】	鈴木 珠子		(G)	各地学部高年次	2	【EA】	
	ハンゲル	G3D25102	ハンゲル中級Ⅰ【EA】	延 鐘淑		(非)	各地学部高年次	2	【EA】		G3D25202	ハンゲル中級Ⅱ【EA】	延 鐘淑		(非)	各地学部高年次	2	【EA】	

専門基礎系（基礎科学）（松本地区以外高年次）

後 期																			
区分	授業科目	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副 担当	所 属	対象学生	規定 単位数	曜 日	備 考	時間割 コード	授業科目	主担当教員	副 担当	所 属	対象学生	規定 単位数	曜 日	備 考
専門基礎系（基礎科学）（松本地区以外高年次）	数 学	G3E11117	微分積分学Ⅰ	河邊 淳		(T非)	T高年次	2	集中 不定		G3E11213	微分積分学Ⅱ	河邊 淳		(T非)	T高年次	2	集中 不定	
		G3E11118	微分積分学Ⅰ	高橋 正人		(F特)	FⅡ	2	集中 不定		G3E11214	微分積分学Ⅱ	高橋 正人		(F特)	FⅡ	2	集中 不定	
		G3E11403	線形代数学Ⅱ	大野 博道		(T)	TⅡ（電情：①）	2	水 2										
		G3E11404	線形代数学Ⅱ	大野 博道		(T)	TⅡ（電情：②）	2	木 4										
		G3E11405	線形代数学Ⅱ	伊藤 昇		(T)	TⅡ（機械）	2	火 1										
		G3E11406	線形代数学Ⅱ	中里 亮介		(T)	TⅡ（水士）	2	木 3										
		G3E11407	線形代数学Ⅱ	大野 博道		(T)	TⅡ（建）	2	金 3										
		G3E11314	線形代数学Ⅰ	河邊 淳		(T非)	T高年次	2	集中 不定										
		G3E11315	線形代数学Ⅰ	高橋 正人		(F特)	FⅡ	2	集中 不定		G3E11408	線形代数学Ⅱ	高橋 正人		(F特)	FⅡ	2	集中 不定	
物理 学	G3E12501	波動と光	川原 琢也		(T)	TⅡ（水士・機械・建築）	2	木 1											
	G3E12502	波動と光	川原 琢也		(T)	TⅡ（電情）	2	木 2											
	G3E12117	力学【EA】	三澤 透		(G)	EⅡ【理】、TⅡ（理・水 士・建）、FⅡ（化・生物・高 年次再編修者対象（成績修得 不可））	2	【EA】											
	G3E12203	力学Ⅰ	鮎 力民		(F特)	FⅡ	2	集中 不定											
化 学	G3E13110	一般化学Ⅰ【EA】	杉本 渉	※	(F)	FⅡ・Ⅲ	2	集中 不定											
	G3E13205	一般化学Ⅱ	浅尾 直樹		(F)	FⅡ・Ⅲ	2	集中 不定											

2025 年度（令和 7 年度）

授 業 時 間 割 表

（学部別）

□ 学部別時間割（前期・後期）

・ 人文学部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	116 頁
・ 教育学部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	117 頁
・ 経法学部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	118 頁
・ 理 学 部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	120 頁
・ 医 学 部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	126 頁
・ 工 学 部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131 頁
・ 農 学 部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	136 頁
・ 繊維学部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	140 頁

授業時間割表の見方

授業時間割表の色分け

黒 色 = 共通教育科目（専門基礎系「基礎科学」を除く）

青 色 = 専門基礎系 基礎科学

赤 色 = 専門科目

黄塗りつぶし = 履修登録単位数の上限に含まない科目

信州大学全学教育センター

人文学部

令和 7 年度 前期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副題		日本史概論Ⅰ 日本語教育学概論Ⅰ	中国語初級(文法)Ⅰ ドイツ語初級(文法)Ⅰ ドイツ語初級(読解・会話)Ⅰ フランス語初級(文法)Ⅰ ハンガール初級(文法)Ⅰ スペイン語初級(文法)Ⅰ スペイン語初級(読解・会話)Ⅰ	日本語学概論Ⅰ		(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	人文科学通論Ⅰ【EA】	健康科学・理論と実践	CRⅠ	社会学概論Ⅰ 英語文学概論Ⅰ 日本語史Ⅰ	社会心理学概論Ⅰ (社会・集団・家族心理学)【EA】 ドイツ言語文化概論Ⅰ	博物館教育論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	中国語初級(読解・会話)Ⅰ ドイツ語初級(文法)Ⅰ ドイツ語初級(読解・会話)Ⅰ フランス語初級(読解・会話)Ⅰ ハンガール初級(読解・会話)Ⅰ スペイン語初級(文法)Ⅰ スペイン語初級(読解・会話)Ⅰ		中国語学概論Ⅰ 日本文学史Ⅰ 西洋史概論Ⅱ	文化情報論概論Ⅰ【EA】 中国文学概論Ⅰ ドイツ言語文化概論Ⅱ	AEⅠ(B)	東洋史概論Ⅱ【EA】
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	哲学・思想論概論Ⅰ 心理学概論Ⅰ			芸術コミュニケーション概論Ⅰ 英語学概論Ⅰ		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	芸術コミュニケーション概論Ⅱ 比較文学概論Ⅰ			新入生セミナー		木曜日・6時限 日本文学概論Ⅰ
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副題		日本語教育学概論Ⅱ	中国語初級(文法)Ⅱ ドイツ語初級(文法)Ⅱ ドイツ語初級(読解・会話)Ⅱ フランス語初級(文法)Ⅱ ハンガール初級(文法)Ⅱ スペイン語初級(読解・会話)Ⅱ	日本語学概論Ⅱ		生涯学習概論【EA】
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	人文科学通論Ⅱ【EA】		CRⅡ	社会学概論Ⅱ 日本語史Ⅱ	社会心理学概論Ⅱ【EA】 日本史概論Ⅱ フランス言語文化概論Ⅰ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	中国語初級(読解・会話)Ⅱ ドイツ語初級(文法)Ⅱ ドイツ語初級(読解・会話)Ⅱ フランス語初級(読解・会話)Ⅱ ハンガール初級(読解・会話)Ⅱ スペイン語初級(文法)Ⅱ		英語学概論Ⅱ 日本文学史Ⅱ	文化情報論概論Ⅱ【EA】 東洋史概論Ⅰ 中国文学概論Ⅱ	AEⅡ(B)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	哲学・思想論概論Ⅱ		英語文学概論Ⅱ			
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	比較文学概論Ⅱ ((前半)博物館教育論)	博物館概論				木曜日・6時限 日本文学概論Ⅱ
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

教育学部

令和 7 年度 前期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副題	一般化学Ⅰ【理】				数学教育ゼミナール(数) 力学【理】	(水泳) (環境教育)
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題		教職・カリキュラム論A	水泳	微分積分学Ⅰ【理】	国語教育ゼミナール(国) 理科教育ゼミナール(理) 家庭科教育ゼミナール(家)	発達・教育心理学概論A (現, 国, 英, 数, 図, 家, 心)
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	AEⅠ(B) PEⅠ	体育学基礎A 現代教育ゼミナール(現) 音楽教育ゼミナール(音)	AEⅠ(B) PEⅠ	野外教育ゼミナール(野) 保健体育ゼミナール(保)		野外教育
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	環境教育	英語教育ゼミナール(英) 図画工作・美術教育ゼミナール(図) ものづくり・技術教育ゼミナール(も) 基礎心理学(心)		初等体育科指導法基礎A (野, 社, 理, 音, 保, も, 特)		学習科学概論A
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	生物学A【理】	特別支援教育ゼミナール(特) 心理支援教育ゼミナール(心)		社会科教育ゼミナール(社)		(前半)データサイエンスリテラシー【EA】 地域教育概論Ⅰ
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副題		健康科学・理論と実践【現, 社】 健康科学・理論と実践【国, 英, 保】 健康科学・理論と実践【数, 理】 健康科学・理論と実践【音, 図, も, 家】	線形代数学Ⅰ【理】	剣道 技術と環境(も)	線形代数学	発達・教育心理学概論B (野, 社, 理, 音, 保, も, 特)
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	社会基礎A		初等音楽科指導法基礎E(現, 図, 家, 心)		算数科指導法基礎A	総合的な学習の時間の指導法
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	AEⅡ(B) PEⅡ	教職・カリキュラム論A	AEⅡ(B) PEⅡ	スポーツ・体育学入門(野・保)	家庭生活基礎A(現, 図, 心) 数学教育教材論 地学概論Ⅰ【理】	STEAM教育概論
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	健康科学・理論と実践【野, 特, 心】	現代教育入門(現)			初等理科指導法基礎E(野, 理, 保, も)	学習科学概論B
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	特別支援教育概論A (現, 野, 国, 英, 社, 数, 理, 音, 図, 保, も, 家, 心) 特別支援教育特論(特)	造形基礎演習(図) 心理学概論A			国語基礎A	(地域教育概論Ⅰ)
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

教育学部

経法学部

応用経済学科1年

令和 7 年度 前 期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
			AEⅠ(B)				(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題			新入生ゼミナールⅠ			社会科学特別講義(現代世界史基礎)
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	経済数学A	PEⅠ		社会科学のための基礎力演習 (通年・留学生向け)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

応用経済学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
			AEⅡ(B)	(ミクロ経済学Ⅰ)			
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		経済数学B	新入生ゼミナールⅡ		統計学Ⅰ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		ミクロ経済学Ⅰ	PEⅡ		(社会科学のための基礎力演習) (通年・留学生向け)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

経法学部

総合法律学科1年

令和 7 年度 前 期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
			AE I (B)				(前半) データサイエンスリテラシー【EA】
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題			新入生ゼミナールⅠ			法務特別講義(現代世界史基礎)
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践		PE I		社会科学のための基礎力演習 (通年・留学生向け)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

総合法律学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
			AE II (B)				
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題			新入生ゼミナールⅡ		民法総則・物権法	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題				刑法Ⅰ	(民法総則・物権法)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題			PE II	(刑法Ⅰ)	(社会科学のための基礎力演習) (通年・留学生向け)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

経法学部

理学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

数学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		地学概論Ⅰ	微分積分学詳論Ⅰ		PEⅠ		博物館教育論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	物理学概論Ⅰ	化学概論Ⅰ 地学概論Ⅰ	AEⅠ(A)		情報科学演習	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	微分積分学Ⅰ	新入生ゼミナール		線形代数学Ⅰ		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	微分積分学演習Ⅰ			線形代数学演習Ⅰ	生物学実験	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題		生物学概論Ⅰ			(生物学実験)	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

数学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		グリーンサイエンス通論Ⅰ	地学概論Ⅱ		PEⅡ	物理学概論Ⅱ	生涯学習概論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	健康科学・理論と実践		AEⅡ(A)	集合論		アドバンスゼミ
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	微分積分学Ⅱ	微分積分学詳論Ⅱ 化学実験 地学実験		線形代数学Ⅱ		(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	微分積分学演習Ⅱ 化学概論Ⅱ	(化学実験) (地学実験)		線形代数学演習Ⅱ		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	((前半)博物館教育論)	キャリアデザイン概論 生物学概論Ⅱ 博物館概論				
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

理学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

理学科 物理学コース 1 年

時限		月	火	水	木	金	集中
		地学概論 I	線形代数学 I		PE I	情報科学演習	博物館教育論
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		地学概論 I 化学概論 I	AE I (A)	微分積分学 I	誤差解析論	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	物理学演習 I	化学実験			新入生ゼミナール	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		(化学実験)	生物学実験	力学 I	相対性理論 I	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題		生物学概論 I	(生物学実験)			
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

理学科 物理学コース 1 年

時限		月	火	水	木	金	集中
		グリーンサイエンス通論 I	地学概論 II		PE II	物理数学 I	生涯学習概論
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	線形代数学 II	AE II (A)	微分積分学 II		アドバンスゼミ
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	物理学演習 II	地学実験	物理学実験 I			(前半) データサイエンスリテラシー [EA]
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	化学概論 II	(地学実験)	(物理学実験 I)		力学 II	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	((前半) 博物館教育論)	生物学概論 II キャリアデザイン概論 博物館概論				
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

理学部

理学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

理学科 化学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		地学概論Ⅰ	線形代数学Ⅰ		PEⅠ		博物館教育論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	物理学概論Ⅰ	地学概論Ⅰ	AEⅠ(A)	微分積分学Ⅰ	基礎分析化学	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	基礎有機化学	地学実験	新入生ゼミナール			
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題		(地学実験)			生物学実験	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題		生物学概論Ⅰ	情報科学演習		(生物学実験)	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

理学科 化学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		グリーンサイエンス通論Ⅰ	地学概論Ⅱ	基礎物理化学	PEⅡ		生涯学習概論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	健康科学・理論と実践	線形代数学Ⅱ	AEⅡ(A)	微分積分学Ⅱ	基礎無機化学	アドバンスゼミ
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題		基礎化学実験	化学数学			(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	物理学概論Ⅱ	(基礎化学実験)		生物学概論Ⅱ		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	((前半)博物館教育論)	キャリアデザイン概論 博物館概論				
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

理学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

理学科 地球学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
			線形代数学Ⅰ		PEⅠ		博物館教育論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		情報科学演習		AEⅠ(A)	微分積分学Ⅰ	物理学概論Ⅰ	
2	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
			化学実験	新入生ゼミナール		化学概論Ⅰ	
3	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
			(化学実験)	地質学入門実習	生物学実験		
4	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
			生物学概論Ⅰ		(生物学実験)		
5	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

理学科 地球学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		グリーンサイエンス通論Ⅰ	地学概論Ⅱ		PEⅡ	物理学概論Ⅱ	生涯学習概論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		健康科学・理論と実践	線形代数学Ⅱ	AEⅡ(A)	微分積分学Ⅱ		アドバンスゼミ
2	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
				地質学序説			(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
3	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		化学概論Ⅱ		地質学序説実習	生物学概論Ⅱ		
4	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		(前半)博物館教育論	キャリアデザイン概論 博物館概論				
5	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

理学部

理学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

理学科 生物学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		地学概論Ⅰ	線形代数学Ⅰ		PEⅠ		博物館教育論
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		地学概論Ⅰ 情報科学演習	AEⅠ(A)	微分積分学Ⅰ	物理学概論Ⅰ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題		基礎生物学実験	新入生ゼミナール		化学概論Ⅰ	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	系統分類・進化学Ⅰ	(基礎生物学実験)				
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

理学科 生物学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		グリーンサイエンス通論Ⅰ	地学概論Ⅱ	分子細胞生物学Ⅰ	PEⅡ	物理学概論Ⅱ	生涯学習概論
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	線形代数学Ⅱ	AEⅡ(A)	微分積分学Ⅱ	化学概論Ⅱ	アドバンスセミ
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	地学実験	化学実験				(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	(地学実験)	(化学実験)				
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	(前半)博物館教育論	キャリアデザイン概論 博物館概論				
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部在学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

理学部

令和 7 年度 前期 時間割表

理学科 物質循環学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		地学概論Ⅰ	線形代数学Ⅰ		PEⅠ	物質循環学序説Ⅰ	博物館教育論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	物理学概論Ⅰ	地学概論Ⅰ 化学概論Ⅰ	AEⅠ(A)	微分積分学Ⅰ		野外調査実習Ⅰ
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題		化学実験	新入生ゼミナール	情報科学演習		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題		(化学実験)		生物学実験		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題		生物学概論Ⅰ		(生物学実験)		
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後期 時間割表

理学科 物質循環学コース1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		グリーンサイエンス通論Ⅰ	地学概論Ⅱ		PEⅡ	物質循環学序説Ⅱ	生涯学習概論
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	健康科学・理論と実践	線形代数学Ⅱ	AEⅡ(A)	微分積分学Ⅱ	化学概論Ⅱ	アドバンスゼミ
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題		地学実験				(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	物理学概論Ⅱ	(地学実験)				
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	(前半)博物館教育論	キャリアデザイン概論 生物学概論Ⅱ 博物館概論				
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

理学部

医学部

医学科1年

令和 7 年度 前 期 時間割表

時限		月 CR I	火 生物学A(医:①)	水 生物学A(医:②)	木	金	集中
1	科目名 または 副 題						(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題				力学		
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	医学概論 I	微分積分学 I		ヒト生物学 I	力学(基礎クラス)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	医学部新入生セミナー	生化学	AE I (B)			
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

医学科1年

時限		月 CR II	火 生物学B(医:①)	水	木 人体の構造	金 (人体の構造)	集中
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		健康科学・理論と実践	ゲノム・染色体・遺伝子	電磁気学		
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	(医学概論 I)	微分積分学 II		ヒト生物学 II	電磁気学(基礎クラス)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題			AE II (B)	発生学総論/再生医学	生物学B(医:②)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

医学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

保健学科 看護学専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	国際医療協力論	健康科学・理論と実践	AEⅠ(B)	(前半)看護学概論Ⅰ (看護に関わる概念)		
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	生化学			((前半)看護学概論Ⅰ (看護に関わる概念))	CRⅠ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	人体の構造と機能Ⅰ(解剖学)	人体の構造と機能Ⅱ(生理学)		(前半)看護学概論Ⅱ(看護実践)		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	新人生ゼミナール			((前半)看護学概論Ⅱ(看護実践))		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	生物学A		海外研修ゼミナール	(前半)コミュニケーション方法Ⅰ(基礎)		木曜日・不定 (後半)基礎看護学実習Ⅰ(医療活動) (後半)地域老年看護学実習
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

保健学科 看護学専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	病理病態学Ⅰ	遺伝と病気	AEⅡ(B)	((前半)看護方法Ⅰ(生活援助技術)) ((後半)基礎看護学実習Ⅰ(臨床判断))		(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	健康科学概論	微生物と感染	リハビリテーション概論	((前半)看護方法Ⅰ(生活援助技術)) ((後半)基礎看護学実習Ⅱ(臨床判断))	CRⅡ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	人体の構造と機能Ⅲ(症状学)	栄養学		(前半)精神看護学概論 ((後半)基礎看護学実習Ⅱ(臨床判断))		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		看護方法Ⅰ(生活援助技術)		(前半)コミュニケーション方法Ⅱ(応用) ((後半)基礎看護学実習Ⅱ(臨床判断))	ヒューマンセクシュアリティ	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題		(看護方法Ⅰ(生活援助技術))		((後半)基礎看護学実習Ⅱ(臨床判断))		
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

医学部

医学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

保健学科 検査技術科学専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		国際医療協力論	健康科学・理論と実践	AEⅠ(B)			
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		生化学	一般化学Ⅰ	臨床検査総論Ⅰ		CRⅠ	
2	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		系統解剖学	生理学		力学		
3	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		新入生ゼミナール					
4	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		生物学A	組織学	海外研修ゼミナール			
5	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の子生便覧を参照してください。

※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

保健学科 検査技術科学専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		病理病態学Ⅰ	遺伝と病気	AEⅡ(B)			(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		健康科学概論	微生物と感染	リハビリテーション概論		CRⅡ	
2	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		検査機器総論	栄養学		電磁気学	一般化学Ⅱ	
3	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
			生理学実習		組織学実習	ヒューマンセクシュアリティ	
4	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
			(生理学実習)		(組織学実習)		
5	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の子生便覧を参照してください。

※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

医学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

保健学科 理学療法専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		国際医療協力論	健康科学・理論と実践	AE I (B)	教職論		見学実習
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	生化学	教育学概論			CR I	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	系統解剖学	生理学		力学		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	新入生ゼミナール					
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	理学療法概論	組織学	海外研修ゼミナール 教職論	発達と教育	発達と教育	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

保健学科 理学療法専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		病理病態学 I	遺伝と病気	AE II (B)	肉眼解剖学実習	人間発達学	(見学実習)
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	健康科学概論	微生物と感染	リハビリテーション概論 (肉眼解剖学実習)		CR II	(前半) データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	生理学実習	栄養学			機能解剖触診法	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	(生理学実習)	運動学			ヒューマンセクシュアリティ	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	中枢神経解剖学	(運動学)		教育相談の理論と実践	物理療法基礎論	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

医学部

医学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

保健学科 作業療法学専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		国際医療協力論	健康科学・理論と実践	AEⅠ(B)	教職論		作業療法見学実習
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	生化学	教育学概論			CRⅠ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	系統解剖学	生理学		力学	基礎作業学	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	新入生ゼミナール			基礎作業学実習Ⅰ	作業療法概論	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	発達と教育	組織学	海外研修ゼミナール 教職論	(基礎作業学実習Ⅰ)	発達と教育	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

保健学科 作業療法学専攻1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		病理病態学Ⅰ	遺伝と病気	AEⅡ(B)	肉眼解剖学実習	人間発達学	(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副題	健康科学概論	微生物と感染	リハビリテーション概論 (肉眼解剖学実習)		CRⅡ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副題	生理学実習	栄養学			基礎作業学実習Ⅱ	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副題	(生理学実習)	運動学			(基礎作業学実習Ⅱ)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題	中枢神経解剖学	(運動学)		教育相談の理論と実践		
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

工学部

物質化学科1年

令和 7 年度 前 期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題		健康科学・理論と実践(質①)				博物館教育論
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	CR I	微分積分学 I		力学 力学(基礎クラス)		博物館情報・メディア論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題			一般化学 I	AE I (A)		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題			物質化学セミナー		AE I (A)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

物質化学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題						博物館情報・メディア論
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	CR II	微分積分学 II	一般化学 II	線形代数学 I	地学概論 II	生涯学習概論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践(質②)	地学概論	物質化学入門	AE II (A)	地学概論 I 生物学概論	(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題					AE II (A)	化学概論
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	生物学A ((前半)博物館教育論)	博物館概論			生物学B	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

工学部

工学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

電子情報システム工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題		微分積分学Ⅰ				博物館教育論
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		電子情報システム工学ゼミナール			一般化学Ⅰ	博物館情報・メディア論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	基礎数学		AEⅠ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	CRⅠ	電気物理			AEⅠ(A)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

電子情報システム工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	一般化学Ⅱ	微分積分学Ⅱ				(博物館情報・メディア論)
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題					地学概論Ⅱ	生涯学習概論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	プログラミング言語Ⅰ		線形代数学Ⅰ(電情:①)	AEⅡ(A)	地学概論Ⅰ	(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	CRⅡ	力学	線形代数学Ⅰ(電情:②)		AEⅡ(A)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	生物学A (前年)博物館教育論	基礎論理回路 博物館概論	基礎電気電子回路		生物学B	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

工学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

水環境・土木工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	一般化学Ⅰ					博物館教育論
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	CRⅠ		微分積分学Ⅰ	力学 力学(基礎クラス)		博物館情報・メディア論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題			水環境・土木工学ゼミナール (水土:①)	AEⅠ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題			水環境・土木工学ゼミナール (水土:②)		AEⅠ(A)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

水環境・土木工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題						博物館情報・メディア論
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	CRⅡ		線形代数学Ⅰ		地学概論Ⅱ	生涯学習概論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題		地学概論	微分積分学Ⅱ	AEⅡ(A)	地学概論Ⅰ 生物学概論	(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	水環境・土木工学基礎			AEⅡ(A)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	生物学A ((前半)博物館教育論)	博物館概論			生物学B	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

工学部

工学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

機械システム工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題		一般化学Ⅰ				博物館教育論
	単位数						
	時間割コード	力学					
2	科目名 または 副 題						博物館情報・メディア論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題				AEⅠ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	CRⅠ	((前半)機械システム 工学ゼミナール (後半)数学演習		微分積分学Ⅰ	AEⅠ(A)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題		((前半)機械システム 工学ゼミナール) ((後半)数学演習)				
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

機械システム工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	一般化学Ⅱ			線形代数学Ⅰ		博物館情報・メディア論
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		健康科学・理論と実践	機械設計製図Ⅰ		地学概論Ⅱ	生涯学習概論
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題		地学概論	(機械設計製図Ⅰ)	AEⅡ(A)	地学概論Ⅰ 生物学概論	((前半)データサイエンスリテラシー[EA])
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	CRⅡ		((前半)力学Ⅱ (後半)材料力学Ⅰ	微分積分学Ⅱ	AEⅡ(A)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題	生物学A ((前半)博物館教育論)	博物館概論	((前半)力学Ⅱ) ((後半)材料力学Ⅰ)		生物学B	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

工学部

建築学科1年

令和 7 年度 前 期 時間割表

時限		月	火	水	木	金	集中
		一般化学Ⅰ			微分積分学Ⅰ		博物館教育論
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
		CRⅠ	健康科学・理論と実践		力学 力学(基礎クラス)		博物館情報・メディア論
2	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
				(前半)建築ゼミナール (後半)設計基礎Ⅰ	AEⅠ(A)		
3	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
				((前半)建築ゼミナール) ((後半)設計基礎Ⅰ)		AEⅠ(A)	
4	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

建築学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
							博物館情報・メディア論
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
		CRⅡ			線形代数Ⅰ	地学概論Ⅱ	生涯学習概論
2	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
			微分積分学Ⅱ	設計基礎Ⅱ	AEⅡ(A)	地学概論Ⅰ	(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
3	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
				設計基礎演習		AEⅡ(A)	
4	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
		生物学A	博物館概論			生物学B	
5	科目名 または 副 題	((前半)博物館教育論)					
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

工学部

農学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

農学生命科学科 生命・食品科学コース1年

時限		月 CR I	火	水 生物学B	木	金 一般化学Ⅱ	集中 クローバルゼミ
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		地学概論Ⅰ	一般化学Ⅰ	AEⅠ(A)		(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	地学実験	生物学A(未履修クラス)			生化学	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	(地学実験)	新人生ゼミナール		AEⅠ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

農学生命科学科 生命・食品科学コース1年

時限		月 CR II	火 地学概論Ⅱ	水	木 物理学概論	金 生物学A(履修済みクラス)	集中
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		有機化学Ⅰ		AEⅡ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	生物学A(履修済みクラス)			生物学A(履修済みクラス)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		生命・食品科学概論	山岳園森林・環境共生学概論		食料生産システム科学概論	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE、PE、CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

農学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

農学生命科学科 食料生産システム科学コース 1 年

時限		月 CR I	火	水	木 生物学B	金 一般化学Ⅱ	集中 グローバルゼミ
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	一般化学Ⅰ	地学概論Ⅰ		AEⅠ(A)		(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	地学実験	生物学A(未履修クラス)				
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	(地学実験)	新人生ゼミナール		AEⅠ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

農学生命科学科 食料生産システム科学コース 1 年

時限		月 CR II	火 地学概論Ⅱ	水	木 物理学概論	金 生物学A(履修済みクラス)	集中
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		有機化学Ⅰ		AEⅡ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	生物学A(履修済みクラス)	生化学		生物学A(履修済みクラス)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		生命・食品科学概論	山岳園森林・環境共生学概論		食料生産システム科学概論	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

農学部

農学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

農学生命科学科 山岳圏森林・環境共生学コース1年

時限		月 CR I	火	水	木 物理学概論	金 一般化学Ⅱ	集中 山岳圏森林・環境共生学基礎演習
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		地学概論Ⅰ	一般化学Ⅰ	AEⅠ(A)		グローバルゼミ
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	地学実験	生物学A(未履修クラス)			生化学	(前半)データサイエンスリテラシー【EA】
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	(地学実験)	新人生ゼミナール		AEⅠ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

農学生命科学科 山岳圏森林・環境共生学コース1年

時限		月 CR II	火 地学概論Ⅱ	水	木	金 生物学A(履修済みクラス)	集中
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		有機化学Ⅰ		AEⅡ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	生物学A(履修済みクラス)			生物学A(履修済みクラス)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		生命・食品科学概論	山岳圏森林・環境共生学概論		食料生産システム科学概論	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題					生物学B	
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

農学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

農学生命科学科 地域協創特別コース1年

時限		月 CR I	火	水	木 生物学B	金 一般化学Ⅱ	集中 グローバルゼミ
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	一般化学Ⅰ	地学概論Ⅰ		社会学概論	社会心理学概論(EA)	(前半)データサイエンスリテラシー(EA)
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	地学実験	生物学A(未履修クラス)		文化情報論概論(EA)		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	(地学実験) 哲学・思想論概論	新人生ゼミナール		AEⅠ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

農学生命科学科 地域協創特別コース1年

時限		月 CRⅡ	火 地学概論Ⅱ	水	木 物理学概論	金 生物学A(履修済みクラス)	集中
1	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		有機化学Ⅰ		AEⅡ(A)		
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	生物学A(履修済みクラス)	生化学		生物学A(履修済みクラス)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		生命・食品科学概論	山岳園森林・環境共生学概論	課題解決基礎PBL	食料生産システム科学概論	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題				(課題解決基礎PBL)		
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

農学部

繊維学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

先進繊維・感性工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	地学概論Ⅰ					
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	AEⅠ(A)			微分積分学Ⅰ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題	地学実験			線形代数学Ⅰ		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	(地学実験)			PEⅠ	新人生セミナー	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

先進繊維・感性工学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題		地学概論Ⅱ				(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		AEⅡ(A)		先進繊維・感性工学概論	地学概論Ⅱ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題			線形代数学Ⅱ		地学概論Ⅰ	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題			力学Ⅰ	PEⅡ	繊維科学の基礎(講義)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

繊維学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

機械・ロボット学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	地学概論Ⅰ			微分積分学Ⅰ		
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践	AEⅠ(A)				
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題		地学実験	線形代数学Ⅰ	一般化学Ⅰ		
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	力学Ⅰ	(地学実験)	新人生ゼミナール	PEⅠ		
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

機械・ロボット学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	一般化学Ⅱ	地学概論Ⅱ		微分積分学Ⅱ		(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題	力学Ⅱ	AEⅡ(A)		機械・ロボット学概論	地学概論Ⅱ	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題				線形代数学Ⅱ	地学概論Ⅰ	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題				PEⅡ	繊維科学の基礎(講義)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

繊維学部

繊維学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

化学・材料学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題	地学概論 I					
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		AE I (A)		線形代数学 I	一般化学 I	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題		地学実験			微分積分学 I (化:A)	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題		(地学実験)	新人生セミナー	PE I	微分積分学 I (化:B)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

化学・材料学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
1	科目名 または 副 題		地学概論 II				(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
	単位数						
	時間割コード						
2	科目名 または 副 題		AE II (A)		力学(化:A)	地学概論 II	
	単位数						
	時間割コード						
3	科目名 または 副 題		一般化学 II	情報科学演習	力学(化:B)	地学概論 I	
	単位数						
	時間割コード						
4	科目名 または 副 題	健康科学・理論と実践		化学・材料セミナー	PE II	繊維科学の基礎(講義)	
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副 題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。

必修／選択の別は、履修要件表 (P4～26) または学部の学生便覧を参照してください。

※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

繊維学部

令和 7 年度 前 期 時間割表

応用生物科学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		地学概論Ⅰ		一般化学Ⅰ			
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		健康科学・理論と実践	AEⅠ(A)		微分積分学Ⅰ	生物学B	
2	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
				新入生ゼミナール			
3	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		生物学A		応用生物学入門	PEⅠ		
4	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
					力学		
5	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

令和 7 年度 後 期 時間割表

応用生物科学科1年

時限		月	火	水	木	金	集中
		一般化学Ⅱ	地学概論Ⅱ	線形代数学Ⅰ			(前半)データサイエンスリテラシー[EA]
1	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
			AEⅡ(A)			地学概論Ⅱ	
2	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		地学実験	基礎生物科学			地学概論Ⅰ	
3	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
		(地学実験)			PEⅡ	繊維科学の基礎(講義)	
4	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						
5	科目名 または 副題						
	単位数						
	時間割コード						

※この時間割表には必修科目だけではなく選択科目も掲載されています。
必修／選択の別は、履修要件表(P4～26)または学部の学生便覧を参照してください。
※AE, PE, CRは英語の授業の略称です。(P30参照)

授業時間割表
(学部別)

繊維学部

2025 年度（令和 7 年度） 授 業 時 間 割 表 （曜日・時限別）

- ・ 履修登録期限……………145 頁
- ・ 履修登録上の注意及び時間割表の見方……………146 頁

□ 曜日・時限別時間割（前期・後期）

■ 前期	月曜日	……………148 頁
	火曜日	……………153 頁
	水曜日	……………158 頁
	木曜日	……………163 頁
	金曜日	……………168 頁
	集中講義	……………173 頁
	非同期型オンライン……………	174 頁
■ 後期	月曜日	……………176 頁
	火曜日	……………181 頁
	水曜日	……………186 頁
	木曜日	……………191 頁
	金曜日	……………196 頁
	集中講義	……………201 頁
	非同期型オンライン……………	202 頁

※医学部医学科 2 年次生対象の専門科目については、この曜日別時間割表に掲載
されていません。詳細は 2025 医学科シラバスを確認してください。

信州大学全学教育センター

＊ ＊ ＊ 前期履修登録期限 ＊ ＊ ＊

登録期限：48～54 頁参照

【前期・前期(前半)・前期(後半)・通年・集中(前期)の授業科目の登録】

＊ ＊ ＊ 後期履修登録期限 ＊ ＊ ＊

登録期限：50～54 頁参照

【後期・後期(前半)・後期(後半)・集中(後期)の授業科目の登録】

※2年生以上（医学科は3年生以上）の学生は、キャンパス情報システムによる履修登録期限が所属学部で定める期間となるので、ご注意ください。詳細は所属学部の公用掲示板等をご覧ください。

履修登録上の注意及び時間割表の見方

1. 履修登録上の注意

共通教育科目の履修登録は Web を利用して行います。登録にあたっては共通教育履修案内の「5. 履修登録の方法－受講するための手続き－」を熟読した上で行ってください。「微分積分学Ⅰ」などの授業は類似した名称が多いので間違いのないよう十分に確認をしてください。また、前期・後期それぞれの登録期限は厳守してください。

所定の期限までに正規の受講手続き（キャンパス情報システムへの Web 登録）を行わないと、授業に出席しても受験資格が与えられず、単位を修得することができなくなるので、注意してください。

また、履修登録確認期間内に、必ず自分が登録した内容を再確認し、必要があれば訂正してください。この確認を怠って登録誤りや登録もれ、履修登録単位の上限を超えて履修登録が行われた場合は、成績評価が出ず単位の修得や進級に支障をきたすことがあります。

2. 時間割表の見方

①この曜日別授業時間割表は今年度開講する、共通教育科目（松本地区以外で開講する高年次対象除く）、1 年次生対象の専門科目・教職に関する科目（高年次対象除く）について学期・曜日・時限ごとにまとめてあります。

※各ページの掲載順は、時間割コード順となっています。履修登録の際は、対象学生欄をよく見て、コードを間違えないように注意してください。

②表の見方

授業時間割表

(曜日・時限別)

《前期》		月曜日		1 時限			
時間割コード	授 業 名 (副題)	担当教員(所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備 考	
	*** 基盤系 ***						
00000000	〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇 (〇)	2	全	共 12 講		
	*** 教養系 ***						
00000000	〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇 (〇)	1	S II	理 12		
	*** 専門科目 ***						
00000000	〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇 (〇)	4	L I	人第 2		
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	

②授業名（副題）：青色の網掛けは通年科目。

③担当教員：（ ）内は教員の所属学部等の略記。

④単位

⑤対象学生：略記は 8 0 頁の表参照。

(例) L I＝人文学部 1 年次生 L II＝人文学部 2 年次生
全＝全学部生

⑥講義室：頭に 人・経・理・医・保 とつくものは各学部の建物。

(例) 共 1 2 講＝共通教育第 1 講義棟の 1 2 番講義室
人 2＝人文学部の第 2 講義室

⑦備考：その他、例えば、週 2 コマセット履修の場合の他のコマの曜日時限、当該期の（前半）（後半）に開講されている場合などに表示されています。

令和7年度

前期

授業時間割表

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期

1 時限

1 時限

備考

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

開講日・講義室等
詳細は49Pを参照

* * * 基盤系 言語 * * *

* * *	教養系	* * *
-------	-----	-------

* * * 專門基礎系 基礎科学 * * *

*** 専門基礎系 言語（2年次） ***

* * * 專門科目 * * *

* * * 教職關係科目 * * *

* * * 日本語・日本事情教育科目 * * *

2 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
月2

《前期》

月曜日

3時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B20011	現代生物学史：分子遺伝学編	伊藤 靖夫 (G)	2	全	共47講	
	*** 基盤系 健康 ***					
G1C10005	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	T I (電情:①)	共61講	(後半) 杉本 共1体
G1C10006	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	T I (電情:②)	共61講	(後半) 廣野 共2体
G1C10007	健康科学・理論と実践	廣野 準一 他 (G)	1	T I (電情:③)	共2体	(後半) 森田 共61講
G1C10008	健康科学・理論と実践	杉本 光公 他 (G)	1	T I (電情:④)	共1体	(後半) 森田 共61講
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11306	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (上級)	マワー キム ギセラ (G)	1	E I (1)	共33講	
G1D11307	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (中級)	林 英美 (非)	1	E I (2)	共24講	
G1D11308	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (中級)	デイヴィッド グレイ (非)	1	E I (3)	共25講	
G1D11309	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (初級)	フレッド カルス (非)	1	E I (4)	共26講	
G1D11501	プラクティカル・イングリッシュ I (上級)	清澤 美恵 (非)	1	E I 【1】	共64講	
G1D11502	プラクティカル・イングリッシュ I (中級)	岩井 恵利奈 (G)	1	E I 【2】	共28講	
G1D11503	プラクティカル・イングリッシュ I (初級)	近藤 富英 (G特)	1	E I 【3】	共46講	
G1D12501	中国語初級 (読解・会話) I	陳 喜 (非)	1	L I / 全	共36講	
G1D12502	中国語初級 (読解・会話) I	中島 暉 (非)	1	L I / 全	共23講	
G1D13302	ドイツ語初級 (文法) I	磯部 美穂 (L)	1	L I	共65講	
G1D13501	ドイツ語初級 (読解・会話) I	松岡 幸司 (G)	1	L I	共52講	
G1D14501	フランス語初級 (読解・会話) I	吉田 正明 (非)	1	L I / 全	共34講	
G1D14502	フランス語初級 (読解・会話) I	鈴木 球子 (G)	1	L I / 全	共35講	
G1D15501	ハンガール初級 (読解・会話) I	延 鎮淑 (非)	1	L I / 全	共53講	
G1D16301	スペイン語初級 (文法) I	足立 総世 (非)	1	L I / 全	共55講	
G1D16502	スペイン語初級 (読解・会話) I	伊藤 エドナ・リリアナ (非)	1	L I / 全	共40講	
	*** 教養系 ***					
G2B40901	日本国憲法	成澤 孝人 (J)	2	全	共20講	
G2B40920	税法入門	橋本 彩 他 (J)	2	全	共12講	
G2B55401	生きもののたちのふしぎ・多様性ゼミ	東城 幸治 他 (S)	2	全	共51講	
G2B60303	人体のしくみと生活	吉沢 隆浩 (G)	2	全	共42講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E15301	地学実験	大塚 勉 他 (G特)	2	A I, F I (織)	共37講	月3・4
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
M01003	医学概論 I	森 淳一郎 他 (M)	-	M I (医)	医2実	通年
MH101100	人体の構造と機能 I (解剖学)	寺田 信生 (H)	1	M I (保) 【看】	保多目的	講義室は別途指示
MH266100	系統解剖学	寺田 信生 (H)	1	M I (保) 【検】	保多目的	講義室は別途指示
MH623100	系統解剖学	寺田 信生 (H)	2	M I (保) 【理・作】	保多目的	講義室は別途指示
SB420100	物理学演習 I	中島 美帆 他 (S)	2	S I (物)	理3	
SC403100	基礎有機化学	太田 哲 (S)	2	S I (化)	理11	
SG303101	微分積分学 I	佐々木 格 (S)	2	S I (数)	理1	
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					
R4007110	日本語表現文型 I	李 娜 (G)	1	外国人留学生	共313演	

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
月3

4 時限

前期
月4

《前期》

月曜日

5時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B30022	地域のトップリーダーを繋ぐ【EA】	林 靖人 他 (G)	2	全	-	【EA】
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D12101	中国語初級（総合）Ⅰ	陳 喜 (非)	1	全	共36講	
G1D13101	ドイツ語初級（総合）Ⅰ	松岡 幸司 (G)	1	全	共28講	
G1D14101	フランス語初級（総合）Ⅰ	鈴木 球子 (G)	1	全	共35講	
G1D15101	ハンガール初級（総合）Ⅰ	延 鎮淑 (非)	1	全	共37講	
G1D16101	スペイン語初級（総合）Ⅰ	足立 総世 (非)	1	全	共401演	
	*** 教養系 ***					
G2B40310	古典文学の恋愛裏事情【EA】	西 一夫 (E)	2	全	-	【EA】
G2B40909	法学入門	弘中 章 (J)	2	全	共20講	
G2B41203	グローバルコミュニケーション論A	仙石 祐 (G)	2	全	共43講	
G2B50710	ライフクリエイター入門講義	丸橋 昌太郎 他 (J)	2	全	経第1	
G2B55405	遺伝学入門ゼミ	伊藤 靖夫 (G)	2	全	共生実験	
G2B60118	環境共存の社会学入門	金澤 謙太郎 (G)	2	全	共42講	
G2B65204	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	青木 薫 他 (H)	2	全（医学部除く）	保311	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E14101	生物学A	久保 浩義 (S特)	2	EⅠ【理】，MⅠ（保）【看】【検】	共71講	
	*** 専門基礎系 言語（2年次） ***					
	*** 専門科目 ***					
L1220200	芸術コミュニケーション概論Ⅱ	金井 直 (L)	2	LⅠ	人4	
L2020100	比較文学概論Ⅰ	野津 寛 (L)	2	LⅠ	人3	
MH301100	理学療法概論	横川 吉晴 他 (H)	1	MⅠ（保）【理】	保111	
MH663101	発達と教育	横嶋 敬行 (G)	2	MⅠ（保）【作】	共13講	
	*** 教職関係科目 ***					
Q3100900	発達と教育【第3欄】	横嶋 敬行 (G)	2	L，S，T，A，F	共13講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

《前期》

月曜日

6時限

時間割 コード	授 業 科 目	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 教養系 ***					
G2B55718	AIジェネラルスキル応用ゼミ	林 憲一 他 (J特)	-	原則としてライフクリエイター入門講義受講者	-	通年 月6+集中

《前期》

火曜日

1 時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
GOA10029	学術リテラシー	杉本 光公 (G)	1	全	共 3 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10030	学術リテラシー	杉本 光公 (G)	1	全	共 3 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
	*** 基盤系 健康 ***					
G1C10013	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	M I (保:①)	共 6 1 講	(後半) 加藤 共2体
G1C10014	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	M I (保:②)	共 6 1 講	(後半) 遠水 共1体
G1C10015	健康科学・理論と実践	速水 達也 他 (G)	1	M I (保:③)	共 1 体	(後半) 森田 共61講
G1C10016	健康科学・理論と実践	加藤 彩乃 他 (G)	1	T I (質:①)	共 2 体	(後半) 森田 共61講
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11314	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (上級)	リアナ ジョセフ (非)	1	J I (1)	共 3 5 講	
G1D11315	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (中級)	スプリング 有木子 (非)	1	J I (2)	共 2 4 講	
G1D11316	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (中級)	ナカサト ローレン (G)	1	J I (3)	共 3 6 講	
G1D11317	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (中級)	兼元 美友 (G)	1	J I (4)	共 2 8 講	
G1D11318	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (初級)	宮坂 るみ (非)	1	J I (5)	共 2 5 講	
G1D11319	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (初級)	マーク ブライアリー (G)	1	J I (6)	共 3 4 講	
G1D13303	ドイツ語初級 (文法) I	浜 泰子 (非)	1	全	共 3 2 講	
	*** 教養系 ***					
G2B50205	生活のなかの天文学	三澤 透 (G)	2	全	共 2 0 講	
G2B65101	土壌学ゼミ	國頭 恭 (S)	2	全	共 6 3 講	
G2B65132	生物多様性保全について考えるゼミ (国内編)	浅野 郁 (G)	2	全	共 4 0 講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11105	微分積分学 I	高野 嘉寿彦 (G)	2	T I (電情:①)	共 4 2 講	
G3E11106	微分積分学 I	永井 康史 (G)	2	T I (電情:②)	共 5 2 講	
G3E11107	微分積分学 I	飯田 洋市 (非)	2	T I (電情:③)	共 5 1 講	
G3E13105	一般化学 I	勝木 明夫 (G)	2	T I (機械)	共 4 3 講	
G3E14102	生物学A	伊藤 靖夫 (G)	2	M I (医:①)	共 4 6 講	
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
L1720100	日本史概論 I	山本 英二 (L)	2	L I	人 4	
L2820100	日本語教育学概論 I	坂口 和寛 (L)	2	L I	人 5	
SA403100	微分積分学詳論 I	佐々木 格 (S)	2	S I (数)	理 1	
SG301102	線形代数学 I	花木 章秀 (S)	2	S I (物・化)	共 5 6 講	
SG301103	線形代数学 I	境 圭一 (S)	2	S I (地・生・循)	共 6 5 講	
	*** 教職関係科目 ***					
Q3002900	教育学概論【第3欄】	荒井 英治郎 (G)	2	L, S, T, A, F	共 1 3 講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
火 1

《前期》

火曜日

2時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
GOA10013	学術リテラシー	松岡 浩仁 (T)	1	全	共28講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10014	学術リテラシー	松岡 浩仁 (T)	1	全	共28講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B20002	意外と長い人工知能の歴史	鈴木 治郎 (G特)	2	全	共12講	
	*** 基盤系 健康 ***					
G1C10017	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	L I ①	共61講	(後半) 速水 共1体
G1C10018	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	L I ②	共61講	(後半) 加藤 共2体
G1C10019	健康科学・理論と実践	加藤 彩乃 他 (G)	1	L I ③	共2体	(後半) 森田 共61講
G1C10020	健康科学・理論と実践	速水 達也 他 (G)	1	T I (建)	共1体	(後半) 森田 共61講
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11130	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (上級)	マーク ブライアリー (G)	1	F I (1)	共34講	
G1D11131	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (中級)	高橋 ユウエン (非)	1	F I (2)	共33講	
G1D11132	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (中級)	ジャスティン ハーヴィー (非)	1	F I (3)	共26講	
G1D11133	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (中級)	リアナ ジョセフ (非)	1	F I (4)	共35講	
G1D11134	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (中級)	山口 和彦 (G特)	1	F I (5)	共37講	
G1D11135	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (中級)	芦田 真樹子 (非)	1	F I (6)	共36講	
G1D11136	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (初級)	宮坂 るみ (非)	1	F I (7)	共25講	
G1D11137	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (初級)	スプリング 有木子 (非)	1	F I (8)	共24講	
G1D11138	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (初級)	内川 安江 (非)	1	F I (9)	共23講	
G1D11139	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (初級)	近藤 富英 (G特)	1	F I (10)	共401演	
	*** 教養系 ***					
G2B41201	グローバル・ダイアログ：異文化を語る、考える	仙石 祐 他 (G)	2	全	共65講	
G2B45412	翻訳を通してことばと文化を考えるゼミ	兼元 美友 (G)	2	全	共63講	
G2B55501	環境科学ゼミ	朴 虎東 (S)	2	全	共55講	
G2B65109	モノを辿るアプローチゼミ	金澤 謙太郎 (G)	2	全	共64講	
G2B65133	生物多様性保全について考えるゼミ (国内編)	浅野 郁 (G)	2	全	共40講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11103	微分積分学Ⅰ	一ノ瀬 弥 (非)	2	T I (質：①)	共56講	
G3E11104	微分積分学Ⅰ	永井 康史 (G)	2	T I (質：②)	共52講	
G3E13102	一般化学Ⅰ	勝木 明夫 (G)	2	M I (保) 【検】	共46講	
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
A1Y08100	地学概論Ⅰ	吉田 孝紀 (S)	2	A I	共71講	
E4000900	教職・カリキュラム論A	森下 孟 他 (E)	2	E I	共20講	通年
MH662101	教育学概論	荒井 英治郎 (G)	2	M I (保) 【理・作】	共13講	
SG101105	情報科学演習	高橋 耕一 (S)	2	S I (生)	理PC	
SG321101	化学概論Ⅰ	大木 寛 (S)	2	S I (数・物・循)	理1	
SG341102	地学概論Ⅰ	吉田 孝紀 他 (S)	2	S I	共71講	
T2000110	電子情報システム工学ゼミナール	曾根原 誠 (T)	2	T I (電情)	共42講	
	*** 教職関係科目 ***					
Q3002901	教育学概論【第3欄】	荒井 英治郎 (G)	2	L, S, T, A, F	共13講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)前期
火2

《前期》

火曜日

3時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
GOA10043	学術リテラシー	今津 道夫 (G)	1	全	共 4 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10044	学術リテラシー	今津 道夫 (G)	1	全	共 4 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B20013	ものづくり、互換性と標準化	松岡 浩仁 (T)	2	全	共 1 2 講	
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D13103	ドイツ語初級 (総合) I	浜 泰子 (非)	1	全	共 3 5 講	
	*** 教養系 ***					
G2B50206	生活のなかの天文学	三澤 透 (G)	2	全	共 2 0 講	
G2B50505	地球の素材 (産状・成分と色彩)	牧野 州明 (S特)	2	全	共 1 3 講	
G2B55724	データからの地域課題発見ゼミ	鈴木 治郎 (G特)	2	全	共 5 4 講	
G2B60146	農山村と野生動物及び環境	内川 義行 (A)	2	全	共 6 1 講	
G2B60520	ソフトボール	古屋 顯一 (G特)	1	全	野球場	
G2B65401	スポーツ活動論ゼミ	杉本 光公 (G)	2	全	共 5 3 講	火 3 + 集中
G2B65403	身体運動科学ゼミ	速水 達也 (G)	2	全	共 3 4 講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11101	微分積分学 I	谷内 靖 (S)	2	M I (医: ①)	共 5 1 講	
G3E11102	微分積分学 I	高野 嘉寿彦 (G)	2	M I (医: ②)	共 5 2 講	
G3E15302	地学実験	山田 桂 他 (S)	2	F I (機・化)	共 3 7 講	火 3・4
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
G3D21309	ブラクティカル・イングリッシュⅢ (上級)	高橋 ユウエン (非)	2	J II 【1】	共 3 3 講	
G3D21310	ブラクティカル・イングリッシュⅢ (中級)	芦田 真樹子 (非)	2	J II 【2】	共 3 6 講	
G3D21311	ブラクティカル・イングリッシュⅢ (中級)	宮坂 るみ (非)	2	J II 【3】	共 2 5 講	
G3D21312	ブラクティカル・イングリッシュⅢ (中級)	ナカサト ローレン (G)	2	J II 【4】	共 2 6 講	
G3D21313	ブラクティカル・イングリッシュⅢ (初級)	清澤 美恵 (非)	2	J II 【5】	共 2 4 講	
G3D21314	ブラクティカル・イングリッシュⅢ (初級)	内川 安江 (非)	2	J II 【6】	共 2 3 講	
	*** 専門科目 ***					
A1Y05102	生物学A	伊藤 靖夫 (G)	2	A I (未履修クラス)	共 4 6 講	
E2630900	体育学基礎A	大木 雄太 (E)	2	E I	共 6 4 講	
E7182100	現代教育ゼミナール	水口 崇 他 (E)	2	E I (現)	共 4 0 講	
E8582100	音楽教育ゼミナール	桐原 礼 (E)	2	E I (音)	共 7 1 講	
MH102100	人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	安尾 将法 (H)	1	M I (保) 【看】	保多目的	講義室は別途指示
MH264100	生理学	安尾 将法 (H)	1	M I (保) 【検】	保多目的	講義室は別途指示
MH621100	生理学	安尾 将法 (H)	2	M I (保) 【理・作】	保多目的	講義室は別途指示
SE402100	基礎生物学実験	東城 幸治 他 (S)	2	S I (生)	理生物実南	火 3・4
SG102101	新入生ゼミナール	松下 尚弘 (S)	2	S I (数)	理 3	
SG361101	化学実験	石川 厚 他 (S)	2	S I (物・地・循)	共 2 8 講	火 3・4
SG381101	地学実験	山田 桂 他 (S)	2	S I (化)	共 3 7 講	火 3・4
T2001110	基礎数学	田中 清 (T)	2	T I (電情: ①)	共 4 2 講	
T2001111	基礎数学	田中 清 (T)	2	T I (電情: ②)	共 4 3 講	
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					
R4016110	武道・伝統文化実習 I	佐藤 友則 他 (G)	1	外国人留学生	共 5 5 講	

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
火 3

《前期》

火曜日

4時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B30007	キャリア形成論Ⅰ	勝亦 達夫 (G)	2	全	共13講	
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
	*** 教養系 ***					
G2B40801	現代教育を考える	島田 英昭 他 (E)	2	全	共20講	
G2B46101	松本市の魅力発見ゼミ-松本の「アハ!」になろう-(松本市寄付講義)	荒井 英治郎 (G)	2	全	共46講	
G2B46207	日本文化ゼミ：将棋の魅力	仙石 祐 (G)	2	全	共26講	火4＋集中
G2B50601	電子情報システム工学入門	曾根原 誠 (T)	2	全(工学部除く)	共12講	
G2B60147	木質の科学	山田 明義 (A)	2	全	共71講	
G2B60515	バレーボール	北沢 洋一 (非)	1	全	共1体	
G2B60521	ニュースポーツ	古屋 顯一 (G特)	1	全	共2体	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E15302	地学実験	山田 桂 他 (S)	2	F I (機・化)	共37講	火3・4
	*** 専門基礎系 言語(2年次) ***					
G3D21106	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(上級)	マワー キム ギセラ (G)	2	S II (1)	共33講	
G3D21107	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(中級)	近藤 富英 (G特)	2	S II (2)	共25講	
G3D21108	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(中級)	リアナ ジョセフ (非)	2	S II (3)	共24講	
G3D21109	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(中級)	内川 安江 (非)	2	S II (4)	共23講	
G3D21110	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(初級)	ジャスティン ハーヴィー (非)	2	S II (5)	共34講	
G3D21111	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ(初級)	芦田 真樹子 (非)	2	S II (6)	共36講	
	*** 専門科目 ***					
A1Y13100	新入生ゼミナール	竹野 誠記 (A)	2	A I (生命)	共51講	
A1Y13101	新入生ゼミナール	根本 和洋 (A)	2	A I (食料)	共56講	
A1Y13102	新入生ゼミナール	福山 泰治郎 (A)	2	A I (山岳)	共52講	
A1Y13103	新入生ゼミナール	城田 徹央 (A)	2	A I (地域)	共53講	
E8182100	英語教育ゼミナール	酒井 英樹 (E)	2	E I (英)	共211演	
E8682100	図画工作・美術教育ゼミナール	猪瀬 昌延 他 (E)	2	E I (図)	共401演	
E8882100	ものづくり・技術教育ゼミナール	川久保 英樹 他 (E)	2	E I (も)	共411演	
E9124200	基礎心理学	高橋 ユウエン (非)	2	E I (心)	共313演	
J5020100	経済数学A	田中 康平 (J)	2	J I (経)	経第2	
M01030	生化学	平塚 佐千枝 他 (M)	2	M I (医)	医2実	
SE402100	基礎生物学実験	東城 幸治 他 (S)	2	S I (生)	理生物実南	火3・4
SG361101	化学実験	石川 厚 他 (S)	2	S I (物・地・循)	共28講	火3・4
SG381101	地学実験	山田 桂 他 (S)	2	S I (化)	共37講	火3・4
T2002110	電気物理	田代 晋久 (T)	2	T I (電情：①)	共42講	
T2002111	電気物理	田代 晋久 (T)	2	T I (電情：②)	共43講	
T4000110	機械システム工学ゼミナール	山崎 公俊 他 (T)	2	T I (機械)	共61講	(前半)火4・5
T4001110	数学演習	吉野 正人 (T)	1	T I (機械)	共61講	(後半)火4・5
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)前期
火4

5 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
火5

《前期》

水曜日

2 時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
G0A10031	学術リテラシー	松宮 慎治 (G)	1	全	共 3 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
G0A10032	学術リテラシー	松宮 慎治 (G)	1	全	共 3 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
G0A10041	学術リテラシー	山崎 真照 (G)	1	全	共 4 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
G0A10042	学術リテラシー	山崎 真照 (G)	1	全	共 4 7 講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B30011	韓国の文化 (映画で学ぶ)	延 鎮淑 (非)	2	全	共 1 2 講	
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11101	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (上級)	リアナ ジョセフ (非)	1	S I (1)	共 3 5 講	
G1D11102	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (上級)	マーク ブライアリー (G)	1	S I (2)	共 3 4 講	
G1D11103	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (中級)	ジャスティン ハーヴィー (非)	1	S I (3)	共 3 6 講	
G1D11104	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (中級)	デイヴィッド グレイ (非)	1	S I (4)	共 3 3 講	
G1D11105	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)	スプリング 有木子 (非)	1	S I (5)	共 2 6 講	
G1D11106	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)	内川 安江 (非)	1	S I (6)	共 2 3 講	
G1D11107	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)	長谷部 めぐみ (G)	1	S I (7)	共 2 4 講	
G1D11701	クリティカル・リーディング I (上級)	兼元 美友 (G)	1	L I 《1》	共 5 6 講	
G1D11702	クリティカル・リーディング I (中級)	デイヴィッド ルジチカ (G)	1	L I 《2》	共 5 3 講	
G1D11703	クリティカル・リーディング I (中級)	フレッド カルス (非)	1	L I 《3》	共 4 6 講	
G1D11704	クリティカル・リーディング I (初級)	森木 順子 (非)	1	L I 《4》	共 4 0 1 演	
	*** 教養系 ***					
G2B40902	日本国憲法	小池 洋平 (G)	2	全	共 2 0 講	
G2B46104	フィールドワーク入門ゼミ	分藤 大翼 (G)	2	全	共 4 0 講	
G2B55706	情報社会論ゼミ	湯田 彰夫 (G特)	2	全	共 5 5 講	
G2B60109	環境と材料科学&生物科学	鈴木 正浩 他 (F)	2	全	共 7 1 講	
G2B60506	ターゲットスポーツ	加藤 彩乃 (G)	1	全	共 1 体	
G2B60512	テニス	古澤 栄一 (非)	1	全	共 テニス	
G2B65115	環境心理学ゼミ	柳瀬 亮太 (T)	2	全	共 2 5 講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11108	微分積分学 I	阿部 翠空星 (非)	2	T I (水土)	共 4 2 講	
	*** 専門基礎系 言語 (2 年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
A1 Y01100	一般化学 I	勝木 明夫 (G)	2	A I (生命・山岳)	共 4 3 講	
E2620900	水泳	速水 達也 他 (G)	1	E I	共 5 2 講	水 2 + 集中
J9010101	新入生ゼミナール I	ウェステニウス 嘉晃 (J)	2	J I (経)		
J9010102	新入生ゼミナール I	藤野 義和 (J)	2	J I (経)		
J9010103	新入生ゼミナール I	関 利恵子 (J)	2	J I (経)		
J9010104	新入生ゼミナール I	LEE HYUNUK (J)	2	J I (経)		
J9010105	新入生ゼミナール I	舩田 武仁 (J)	2	J I (経)		
J9010106	新入生ゼミナール I	箕輪 さくら (J)	2	J I (法)		
J9010107	新入生ゼミナール I	成澤 孝人 (J)	2	J I (法)		
J9010108	新入生ゼミナール I	金井 悠一郎 (J)	2	J I (法)		
J9010109	新入生ゼミナール I	船渡 康平 (J)	2	J I (法)		
MH268100	臨床検査総論 I	新井 慎平 他 (H)	1	M I (保) 【検】	保 2 1 1	
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					
R4021110	留学生の地域まなび I	佐藤 友則 他 (G)	2	外国人留学生	共 6 4 講	

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
水 2

3 時限

前期
水3

4 時限

前期
水4

《前期》

水曜日

5時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B10001	Rで学ぶ統計の基礎	前田 豊 (L)	2	全	共43講	
G1B30003	人生100年時代のDEI【EA】	中島 美帆 他 (S)	2	全	-	【EA】
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
	*** 教養系 ***					
G2B40507	古代の社会と文明	新津 健一郎 (L)	2	全	共12講	
G2B40903	日本国憲法	小池 洋平 (G)	2	全	共20講	
G2B45102	時について考えるゼミ	安達 弘通 (G)	2	全	共33講	
G2B45503	歌と学校ゼミ：「母校愛」をはぐくむ仕掛けを探る	加藤 善子 (G)	2	全	共34講	
G2B46120	フィールドワーク入門ゼミ	分藤 大翼 (G)	2	全	共40講	
G2B4F201	立志学【EA】	佐々木 康浩 (G特)	1	ShinXiaコース希望者が優先	共46講	【EA】または共46講
G2B50607	建築史	土本 俊和 (T)	2	全	共13講	
G2B55602	ロボティクス実践ゼミ	松本 成司 (G)	2	全	共47講	
G2B65206	インクルーシブデザインゼミ	加藤 彩乃 (G)	2	全	共37講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
	*** 専門基礎系 言語（2年次） ***					
	*** 専門科目 ***					
MH516100	海外研修ゼミナール	石田 史織 他 (H)	2	MI（保）	保211	
MH661102	教職論	橋本 萌 (G)	2	MI（保）【理・作】	共51講	
SG101103	情報科学演習	大木 寛 他 (S)	2	SI（化）	理PC・8	
SG371101	生物学実験	柴田 直樹 他 (S)	2	SI（物）	共生実験	水4・5
	*** 教職関係科目 ***					
Q3500900	教職論【第3欄】	橋本 萌 (G)	2	L, S, T, A, F	共51講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					
R4015110	日本社会と日本人【EA】	佐藤 友則 (G)	2	外国人留学生	-	【EA】

《前期》

水曜日

6時限

時間割 コード	授 業 科 目	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 教養系 ***					
G2B45813	キャリアプランニング・ゼミ（キャリア形成論Ⅲ）	勝亦 達夫 他 (G)	2	2年次以上	共28講	

1 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
木1

《前期》

木曜日

2時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
GOA10001	学術リテラシー	今井 章 (L)	1	全	共28講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10002	学術リテラシー	今井 章 (L)	1	全	共28講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10015	学術リテラシー	濱野 光市 (A特)	1	全	共37講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10016	学術リテラシー	濱野 光市 (A特)	1	全	共37講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10017	学術リテラシー	本吉谷 二郎 (F特)	1	全	共47講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
GOA10018	学術リテラシー	本吉谷 二郎 (F特)	1	全	共47講	開講日・講義室等 詳細は49Pを参照
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B20003	科学と政治の日本戦後史	小池 洋平 (G)	2	全	共20講	
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11124	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (上級)	マーク ブライアリー (G)	1	AⅠ (1)	共34講	
G1D11125	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (中級)	藤原 隆史 (非)	1	AⅠ (2)	共24講	
G1D11126	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (初級)	宮崎 ひろ美 (非)	1	AⅠ (3)	共401演	
G1D11127	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ (A) (初級)	大島 香織 (非)	1	AⅠ (4)	共25講	
	*** 教養系 ***					
G2B40201	世界の音楽	濱崎 友絵 (L)	2	全	共12講	
G2B40203	映像・人類学	分藤 大翼 (G)	2	全	共71講	
G2B40302	出版メディアと江戸文学	速水 香織 (L)	2	全	共62講	
G2B40704	メディア心理学	佐藤 広英 (L)	2	全	共13講	
G2B45606	テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	伊東 秀一 (G特)	2	全	共23講	
G2B46009	社会問題研究ゼミ (基礎編)	井上 信宏 (J)	2	全	共63講	
G2B60114	生物と環境	今津 道夫 (G)	2	全	共61講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11116	微分積分学Ⅰ	阿部 翠空星 (非)	2	EⅠ【理】、FⅠ(生)	共56講	
G3E11303	線形代数学Ⅰ	泉 真之介 (S特)	2	FⅠ(化:A)	共42講	
G3E11304	線形代数学Ⅰ	松岡 謙晶 (非)	2	FⅠ(化:B)	共46講	
G3E12102	力学	安達 弘通 (G)	2	MⅠ(医)	共51講	
G3E12106	力学	小竹 悟 (S)	2	TⅠ(質:①)	共65講	
G3E12107	力学	樋口 雅彦 (S)	2	TⅠ(質:②)	共52講	
G3E12108	力学	川村 嘉春 (S)	2	TⅠ(水土)	共53講	
G3E12110	力学	松本 成司 (G)	2	TⅠ(建)	共43講	
G3E12111	力学	三澤 透 (G)	2	TⅠ(質・水土・建)基礎クラス	共411演	
	*** 専門基礎系 言語(2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
A4D01100	社会学概論	茅野 恒秀 (L非)	2	AⅠ(地域)	人4	
L1420100	社会学概論Ⅰ	茅野 恒秀 (L非)	2	LⅠ	人4	
L2520100	英語文学概論Ⅰ	田所 朱莉 (L)	2	LⅠ	人1	
L2720300	日本語史Ⅰ	山田 健三 (L特)	2	LⅠ	人212	
MH175100	看護学概論Ⅰ(看護に関わる概念)	浅野 美礼 他 (H)	1	MⅠ(保)【看】	保311	(前半)木1・2
SG303102	微分積分学Ⅰ	謝 寶 (S)	2	SⅠ(物・化)	理1	
SG303103	微分積分学Ⅰ	乙部 厳己 (S)	2	SⅠ(地・生・循)	経第3	
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)前期
木2

3 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
木3

《前期》

木曜日

4時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B30024	異文化理解 (中国の文化)	李 丹丹 (非)	2	全	共56講	
G1B30027	スタートアップ入門	松山 紀里子 (G)	2	全	共12講	
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11128	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)(中級)	足立 総世 (非)	1	AⅠ(5)	共25講	
G1D11129	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)(初級)	宮坂 るみ (非)	1	AⅠ(6)	共36講	
G1D11516	プラクティカル・イングリッシュⅠ(上級)	デイヴィッド ルジチカ (G)	1	FⅠ【1】	共46講	
G1D11517	プラクティカル・イングリッシュⅠ(中級)	長谷部 めぐみ (G)	1	FⅠ【2】	共37講	
G1D11518	プラクティカル・イングリッシュⅠ(中級)	岩井 恵利奈 (G)	1	FⅠ【3】	共55講	
G1D11519	プラクティカル・イングリッシュⅠ(初級)	加藤 鉦三 (G特)	1	FⅠ【4】	共53講	
G1D11520	プラクティカル・イングリッシュⅠ(初級)	蓬萊 朋子 (G)	1	FⅠ【5】	共401演	
G1D11521	プラクティカル・イングリッシュⅠ(初級)	芦田 真樹子 (非)	1	FⅠ【6】	共28講	
	*** 教養系 ***					
G2B40904	日本国憲法	小池 洋平 (G)	2	全	共43講	
G2B45605	新聞をつくろう！(MGプレス制作ゼミ)	太田家 健佑 他 (G)	2	全	共23講	
G2B45910	社会科学入門ゼミ	沼尾 史久 (J)	2	全	共62講	
G2B46205	国際共修ICLゼミ：多文化共生in松本A	ナカサト ローレン 他 (G)	2	全	共26講	木4＋集中
G2B50507	信州の防災学	菊池 聡 他 (L)	2	全	共20講	
G2B50604	教養としての物質科学	安達 弘通 (G)	2	全	共42講	
G2B60301	ノーベル賞から探るからだのしくみ	森 政之 他 (M)	2	全(医学部医学科除く)	共13講	
G2B60514	サッカー	石田 義雄 (非)	1	全	グリーンフィールド	
G2B60526	弓道	杉本 光公 (G)	1	全	2弓道場	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11109	微分積分学Ⅰ	高野 嘉寿彦 (G)	2	TⅠ(機械：①)	共71講	
G3E11110	微分積分学Ⅰ	泉 真之介 (S特)	2	TⅠ(機械：②)	共51講	
	*** 専門基礎系 言語(2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
E4370900	初等体育科指導法基礎A	岩田 靖 (E)	2	EⅠ(野、社、理、音、保、も、特)	共61講	
L1220100	芸術コミュニケーション概論Ⅰ	濱崎 友絵 (L)	2	LⅠ	人4	
L2420100	英語学概論Ⅰ	伊藤 尽 (L)	2	LⅠ	人1	
MH176100	看護学概論Ⅱ(看護実践)	浅野 美礼 他 (H)	1	MⅠ(保)【看】	保311	(前半)木3・4
MH403100	基礎作業学実習Ⅰ	大塚 りさ 他 (H)	1	MⅠ(保)【作】	保作業	木4・5
SA401100	線形代数学演習Ⅰ	境 圭一 (S)	1	SⅠ(数)	理1	
SB405100	力学Ⅰ	中島 美帆 (S)	2	SⅠ(物)	理3	
SG371102	生物学実験	柴田 直樹 他 (S)	2	SⅠ(地・循)	共生実験	木4・5
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
木4

《前期》

木曜日

5時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
	*** 教養系 ***					
G2B40205	映像・人類学	分藤 大翼 (G)	2	全	共12講	
G2B40806	大学生から始めるキャリアデザイン	勝亦 達夫 他 (G)	2	全	共43講	
G2B40905	日本国憲法	小池 洋平 (G)	2	全	共20講	
G2B46201	持続的「食・農・環境」論ゼミA	浜野 充 (G)	2	全	共26講	木5+集中
G2B55711	Web制作ゼミ	松本 成司 (G)	2	全	共47講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E12112	力学	安達 弘通 (G)	2	F I (生)	共51講	
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
G3D22101	中国語中級 I	李 丹丹 (非)	2	L II / 全 II	共33講	
G3D22102	中国語中級 I	百瀬 美津江 (非)	2	L II / 全 II	共34講	
G3D23101	ドイツ語中級 I	松岡 幸司 (G)	2	L II / 全 II	共32講	
G3D23102	ドイツ語中級 I	葛西 敬之 (L)	2	L II	共36講	
G3D24101	フランス語中級 I	鈴木 球子 (G)	2	L II / 全 II	共35講	
G3D25101	ハンブル中級 I	延 鎮淑 (非)	2	L II / 全 II	共401演	
G3D26101	スペイン語中級 I	足立 総世 (非)	2	L II / 全 II	共37講	
	*** 専門科目 ***					
E8282100	社会科教育ゼミナール	松島 恒熙 (E)	2	E I (社)	共63講	
L2910001	新入生ゼミナール 【L1】	飯岡 詩朗 (L)	2	L I	人201	
L2910002	新入生ゼミナール 【L2】	伊藤 尽 (L)	2	L I	人202	
L2910003	新入生ゼミナール 【L3】	氏岡 真士 (L)	2	L I	人204	
L2910004	新入生ゼミナール 【L4】	澁谷 豊 (L)	2	L I	人205	
L2910005	新入生ゼミナール 【L5】	白井 真理子 (L)	2	L I	人206	
L2910006	新入生ゼミナール 【L6】	田所 朱莉 (L)	2	L I	人3	
L2910007	新入生ゼミナール 【L7】	早坂 俊廣 (L)	2	L I	人401	
L2910008	新入生ゼミナール 【L8】	三谷 尚澄 (L)	2	L I	人501	
MH177100	コミュニケーション方法論 I (基礎)	小林 千世 他 (H)	1	M I (保) 【看】	保311	前半
MH403100	基礎作業学実習 I	大塚 りさ 他 (H)	1	M I (保) 【作】	保作業	木4・5
MH663102	発達と教育	横嶋 敬行 (G)	2	M I (保) 【理】	共13講	
SG371102	生物学実験	柴田 直樹 他 (S)	2	S I (地・循)	共生実験	木4・5
	*** 教職関係科目 ***					
Q3100901	発達と教育【第3欄】	横嶋 敬行 (G)	2	L, S, T, A, F	共13講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期
木5・6

《前期》

木曜日

6時限

時間割 コード	授 業 科 目	担当教員 (所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 専門科目 ***					
L2620100	日本文学概論 I	渡邊 匡一 (L)	2	L I	人4	

1 時限

	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***				
G3D21101	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ (上級)	デイヴィッド ルジチカ (G)	2	LⅡ (1)	共34講
G3D21102	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ (中級)	ナカサト ローレン (G)	2	LⅡ (2)	共36講
G3D21103	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ (中級)	デイヴィッド グレイ (非)	2	LⅡ (3)	共25講
G3D21104	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ (初級)	ショーン マーメット (非)	2	LⅡ (4)	共401演
G3D21105	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ (初級)	スプリング 有木子 (非)	2	LⅡ (5)	共24講

前期金1

2 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

金
2

3 時限

3 時限

備考

4 時限

前期金4

《前期》 集 中 講 義

◎集中講義の履修登録も、他の科目と同様に、必ず履修登録期間内に行ってください。

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	履修登録上限 位数に含まない 授業	備 考
	*** 基盤系 健康 ***						
G1C10041	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	全 I (通常の運動が困難な学生)			
G1C10043	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	-	再履修生 (H27~R6年度入学生のみ) および2・3年次編入学生			通年
	*** 教養系 ***						
G2B40807	国際教養A	松岡 幸司 他 (G)	2	全		○	
G2B40809	国際教養B	松岡 幸司 他 (G)	2	全		○	
G2B41122	海外実践A	浜野 充 (G)	2	全		○	
G2B41211	国際共修プロジェクト(A-1)	浜野 充 他 (G)	1	全			
G2B45603	課題解決インターンシップゼミ【EA】	勝亦 達夫 他 (G)	2	ローカルイノベーター養成コース受講者			【EA】
G2B45611	ENGINEインターンシップゼミ【EA】	勝亦 達夫 他 (G)	2	ENGINEプログラム受講者		○	【EA】
G2B45814	ストラテジー構築実践ゼミ I【EA】	林 靖人 他 (G)	2	ストラテジー・デザイン人材養成コース受講者			【EA】
G2B45816	ストラテジー・デザインインターンシップゼミ【EA】	林 靖人 他 (G)	2	ストラテジー・デザイン人材養成コース受講者			【EA】
G2B46003	イノベーション・リテラシーゼミ【EA】	林 靖人 他 (G)	2	ローカルイノベーター養成コース受講者			【EA】
G2B46201	持続的「食・農・環境」論ゼミA	浜野 充 (G)	2	全			木5+集中
G2B46203	オンライン国際共修ゼミ(マレーシア)【EA】	仙石 祐 (G)	2	グローバルコア人材養成コースBASICコース受講者		○	【EA】
G2B46205	国際共修ICLゼミ: 多文化共生in松本A	ナカサト ローレン 他 (G)	2	全			木4+集中
G2B46207	日本文化ゼミ: 将棋の魅力	仙石 祐 (G)	2	全			火4+集中
G2B55721	高大接続におけるデータサイエンスゼミ	平井 佑樹 (G)	2	全			金4+集中
G2B55718	AIジェネラルスキル応用ゼミ	林 憲一 他 (J特)	-	原則としてライフクリエイター入門講義受講者			通年 月6+集中
G2B55728	AIジェネラルスキル実践ゼミ	林 憲一 他 (J特)	-	原則としてライフクリエイター入門講義受講者			通年
G2B60605	トレッキング	廣野 準一 他 (G)	1	全	●教養系「スポーツ実習」除く)の集中講義の 履修方法については、各授業のシラバス及び 公用掲示板をご確認ください。 ●教養系「スポーツ実習」の集中講義は、エント リによる抽選後、自動で履修登録されます。		
G2B60607	スポーツフィッシング	杉本 光公 (G)	1	全		○	
G2B60608	信大マラソン	杉本 光公 (G)	1	全			
G2B60609	ゴルフ	杉本 光公 (G)	1	全		○	
G2B60612	トレッキング	速水 達也 他 (G)	1	全			
G2B60701	アウトドアマスター I	杉本 光公 他 (G)	1	前年度までに、トレッキング、マリンスポーツ、スポーツ フィッシング、信大マラソン、スノー・スポーツ、ネイ チャースキーを修得した学生		○	
G2B60702	アウトドアマスター II	廣野 準一 他 (G)	1	前年度までに、アウトドアマスター I を修得した学生		○	
G2B60703	ゴルフマスター I	杉本 光公 他 (G)	1	前年度までに、ゴルフを修得した学生		○	
G2B60704	ゴルフマスター II	速水 達也 他 (G)	1	前年度までに、ゴルフマスター I を修得した学生		○	
G2B65401	スポーツ活動論ゼミ	杉本 光公 (G)	2	全			火3+集中
G2B68101	環境マインド実践ゼミ I	浅野 郁 他 (G)	2	環境マインド実践人材養成コースに本登録した学生		○	
	*** 専門科目 ***						
A3Y40200	グローバルゼミ	ファフズ バクドウ 他 (G)	1	A I			
A4C42100	山岳圏森林・環境共生学基礎演習	福山 泰治郎 (A)	2	A I (山岳)			
E2620900	水泳	速水 達也 他 (G)	1	E I			水2+集中
E5004900	環境教育	水谷 瑞希 (E)	2	E I			集中+月4
E5016900	野外教育	瀧 直也 他 (E)	1	E I			
E5017900	学習科学概論A	島田 英昭 他 (E)	1	E I			【EA】 一部対面授業含む
E5022100	地域教育概論 I	西 一夫 (E)	1	E I			通年
J5932100	社会科学特別講義 (現代世界史基礎)	池上 彰 他 (J特)	2	J I (経)	経第2		
J6922100	*法務特別講義 (現代世界史基礎)	池上 彰 他 (J特)	2	J I (法)	経第2		
MH3A5100	見学実習	小宅 一彰 他 (H)	-	M I (保)【理】			通年
MH435100	作業療法見学実習	佐賀里 昭 他 (H)	1	M I (保)【作】			
SF416100	野外調査実習 I	牧田 直樹 他 (S)	1	S I (循)			
L2990300	博物館教育論	福島 正樹 他 (特)	-	L I	理1		通年 (前期集中+ 後期月5 (前半))
SGH07900	博物館教育論	福島 正樹 他 (特)	-	S I	理1		通年 (前期集中+ 後期月5 (前半))
TOH07900	博物館教育論	福島 正樹 他 (特)	-	T I	理1		通年 (前期集中+ 後期月5 (前半))
TOH08900	博物館情報・メディア論	小山 茂喜 他 (G特)	-	T I			通年
	*** 教職関係科目 ***						
Q3000900	教育の思想と歴史【第3欄】	橋本 萌 (G)	2	L, S, T, A, F	共20講	○	
Q3400900	教育課程の編成法【第3欄】	小山 茂喜 (G特)	1	L, S	共20講	○	
Q4401900	学校教育と情報【第4欄】	藤井 善章 (G)	2	L, S, T, A, F	共13講	○	
Q4403900	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法【第4欄】	小山 茂喜 (G特)	-	L, S, T, A, F	-	○	通年【EA】
Q4502900	進路指導・キャリア教育の理論と実践【第4欄】	田村 徳至 (G)	1	T, A, F	共20講	○	
Q6100900	教育臨床基礎演習【第6欄】	荒井 英治郎 他 (G)	-	L, S, T, A, F		○	通年

※履修登録上限単位数の詳細については、38頁を確認してください。

授業時間割表
(曜日・時間別)

前期 集中

《前期》 非同期オンライン（オンデマンド型）授業

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備 考
【EA】講義は全ての授業をPC上で行います。 （※ただし、初回ガイダンスや履修登録方法について指示がある講義もありますので、必ずシラバスの内容を確認してください。）						
	*** 基盤系 リテラシー ***					
G0A20001	データサイエンスリテラシー【EA】	太田家 健佑 (G)	1	L I		前半【EA】
G0A20002	データサイエンスリテラシー【EA】	平井 佑樹 (G)	1	E I		前半【EA】
G0A20003	データサイエンスリテラシー【EA】	高野 嘉寿彦 (G)	1	J I		前半【EA】
G0A20004	データサイエンスリテラシー【EA】	鈴木 治郎 (G特)	1	M I (医)		前半【EA】
G0A20005	データサイエンスリテラシー【EA】	太田家 健佑 (G)	1	A I		前半【EA】
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B10031	統計学からデータサイエンスへ【EA】	鈴木 治郎 (G特)	2	全		【EA】
G1B1A101	統計リテラシー【EA】	平井 佑樹 他 (G)	2	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G1B30008	キャリア形成論Ⅰ【EA】	勝亦 達夫 (G)	2	全		【EA】
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11522	プラクティカル・イングリッシュⅠ【EA】	長谷部 めぐみ (G)	1	再履修生		【EA】
G1D11726	クリティカル・リーディングⅠ【EA】	長谷部 めぐみ (G)	1	再履修生		【EA】
G1D13102	ドイツ語初級（総合）Ⅰ【EA】	松岡 幸司 (G)	1	同名の対面授業を受講できない学生		【EA】
G1D13204	ドイツ語初級（総合）Ⅱ【EA】	松岡 幸司 (G)	1	全（前年度後期スタート学生対象）		【EA】
	*** 教養系 ***					
G2B40602	ジェンダー論【EA】	加藤 善子 (G)	2	全		【EA】
G2B40616	信州大学パイオグラフィー【EA】	松宮 慎治 他 (G)	1	全		【EA】
G2B40908	日本国憲法【EA】	関 良徳 (E)	2	全		【EA】
G2B41116	原文で読むドイツの日常と文化【EA】	松岡 幸司 (G)	2	全（ドイツ語初級レベル修了を条件とする）		【EA】
G2B41207	オンライン国際共修ICL(A)【EA】	仙石 祐 (G)	2	2年次生以上		【EA】
G2B41209	オンライン国際共修ICL(A-1)【EA】	仙石 祐 (G)	1	2年次生以上		【EA】
G2B45611	ENGINEインターンシップゼミ【EA】	勝亦 達夫 他 (G)	2	ENGINEプログラム受講者		【EA】
G2B4F101	信州学【EA】	高野 嘉寿彦 他 (G)	1	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G2B4J101	ミクロ経済学入門【EA】	増原 宏明 他 (J)	2	全		【EA】
G2B4J201	マクロ経済学入門【EA】	ウェステニウス 嘉晃 (J)	2	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G2B50304	化学と材料の進歩が世界を変える【EA】	市川 結 他 (F)	2	全		【EA】
G2B50708	情報学入門（社会と情報システム）【EA】	原嶋 秀次 他 (G)	2	全		【EA】
G2B5D101	生物学の世界【EA】	伊藤 靖夫 他 (G)	2	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G2B5E101	地学の世界【EA】	吉田 孝紀 他 (S)	2	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G2B60112	環境保全論入門【EA】	浅野 郁 (G)	2	全		【EA】
G2B60202	手話言語と社会【EA】	平澤 まさ美 (非)	2	全		【EA】
G2B60204	生活習慣と健康【EA】【佐久大学開講】	朴 相俊 (佐久大)	2	全		【EA】
G2B6A101	環境学入門【EA】	是津 信行 他 (T)	2	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G2B6B101	社会福祉の考え方【EA】	矢野 亮 他 (長野大)	2	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G2B6B201	地域と福祉【EA】	根本 貴子 他 (佐久大)	2	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
G2B6B301	こころとからだの健康【EA】	茅野 理恵 他 (E)	1	ShinXiaコース希望者が優先		【EA】
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E12117	力学【EA】	三澤 透 (G)	2	EⅡ【理】、TⅡ【資・水・土・環】、FⅡ【化・生】 ※高年次再履修者対象（未履修者不可）		【EA】
	*** 専門基礎系 言語（2年次） ***					
G3D24102	フランス語中級Ⅰ【EA】	鈴木 球子 (G)	2	各地学部高年次		【EA】
G3D25102	ハンガール中級Ⅰ【EA】	延 鎮淑 (非)	2	各地学部高年次		【EA】
	*** 専門科目 ***					
E4120900	発達・教育心理学概論A	島田 英昭 (E)	2	EⅠ（現、国、英、数、国、家、心）		【EA】
L1820200	東洋史概論Ⅱ【EA】	豊岡 康史 (L)	2	LⅠ		【EA】

授業時間割表
(曜日・時限別)

前期 非同期オンライン（オンデマンド型）授業

令和7年度

後 期

授 業 時 間 割 表

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期

《後期》

月曜日

1 時限

[illegible]

– 176 –

2 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

– 177 –

《後期》

月曜日

3時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B10015	統計学入門	永井 康史 (G)	2	全	共43講	
	*** 基盤系 健康 ***					
G1C10025	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	A I ①	共71講	(後半) 加藤 共2体
G1C10026	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	A I ②	共71講	(後半) 速水 共1体
G1C10027	健康科学・理論と実践	速水 達也 他 (G)	1	A I ③	共1体	(後半) 森田 共71講
G1C10028	健康科学・理論と実践	加藤 彩乃 他 (G)	1	T I (質:②)	共2体	(後半) 森田 共71講
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11406	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B)(上級)	マワー キム ギセラ (G)	1	E I (1)	共33講	
G1D11407	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B)(中級)	林 英美 (非)	1	E I (2)	共24講	
G1D11408	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B)(中級)	未定	1	E I (3)	共25講	
G1D11409	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(B)(初級)	フレッド カルス (非)	1	E I (4)	共26講	
G1D11601	プラクティカル・イングリッシュⅡ(上級)	清澤 美恵 (非)	1	E I 【1】	共64講	
G1D11602	プラクティカル・イングリッシュⅡ(中級)	岩井 恵利奈 (G)	1	E I 【2】	共28講	
G1D11603	プラクティカル・イングリッシュⅡ(初級)	近藤 富英 (G特)	1	E I 【3】	共46講	
G1D12601	中国語初級(読解・会話)Ⅱ	島崎 朋子 (非)	1	L I / 全	共36講	
G1D12602	中国語初級(読解・会話)Ⅱ	中島 暉 (非)	1	L I / 全	共23講	
G1D13402	ドイツ語初級(文法)Ⅱ	磯部 美穂 (L)	1	L I	共65講	
G1D13601	ドイツ語初級(読解・会話)Ⅱ	松岡 幸司 (G)	1	L I	共52講	
G1D14601	フランス語初級(読解・会話)Ⅱ	吉田 正明 (非)	1	L I / 全	共34講	
G1D14602	フランス語初級(読解・会話)Ⅱ	鈴木 球子 (G)	1	L I / 全	共35講	
G1D15601	ハンガール初級(読解・会話)Ⅱ	延 鎮淑 (非)	1	L I / 全	共53講	
G1D16401	スペイン語初級(文法)Ⅱ	伊藤 エドナ・リリアナ (非)	1	L I / 全	共55講	
	*** 教養系 ***					
G2B60125	自然環境と文化	分藤 大翼 (G)	2	全	共12講	
G2B60142	環境問題の社会学入門	金澤 謙太郎 (G)	2	全	共42講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E15303	地学実験	大塚 勉 他 (G特)	2	F I (生)	共37講	月3・4
	*** 専門基礎系 言語(2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
M01003	医学概論Ⅰ	森 淳一郎 他 (M)	2	M I (医)	医2実	通年
MH103100	人体の構造と機能Ⅲ(症候学)	伊澤 淳 (H)	1	M I (保)【看】	保多目的	
MH286100	検査機器総論	松田 和之 (H)	1	M I (保)【検】	保222	
MH631100	生理学実習	安尾 将法 (H)	2	M I (保)【理・作】	保211	月3・4
SB421100	物理学演習Ⅱ	加藤 千尋 他 (S)	2	S I (物)	理3	
SG304101	微分積分学Ⅱ	宮西 吉久 (S)	2	S I (数)	理1	
SG381102	地学実験	大塚 勉 他 (G特)	2	S I (生)	共37講	月3・4
T2004110	プログラミング言語Ⅰ	小林 一樹 他 (T)	2	T I (電情)	共20講	
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					
R4008120	日本語表現文型Ⅱ	李 娜 (G)	1	外国人留学生	共313演	

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期
月3

《後期》

月曜日

4 時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
	*** 基盤系 健康 ***					
G1C10029	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	E I 【野, 特, 心】	共 7 1 講	(後半) 速水 共1体
G1C10030	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	T I (水土)	共 7 1 講	(後半) 加藤 共2体
G1C10031	健康科学・理論と実践	加藤 彩乃 他 (G)	1	F I (化:①)	共 2 体	(後半) 森田 共71講
G1C10032	健康科学・理論と実践	速水 達也 他 (G)	1	F I (化:②)	共 1 体	(後半) 森田 共71講
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11816	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	兼元 美友 (G)	1	T I (電情・機械)《6》	共 5 5 講	
G1D11817	クリティカル・リーディングⅡ(上級)	デイヴィッド グレイ (非)	1	T I (電情・機械)《7》	共 6 4 講	
G1D11818	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	森木 順子 (非)	1	T I (電情・機械)《8》	共 4 0 1 演	
G1D11819	クリティカル・リーディングⅡ(中級)	村田 明 (非)	1	T I (電情・機械)《9》	共 2 8 講	
G1D11820	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	林 英美 (非)	1	T I (電情・機械)《10》	共 4 6 講	
G1D11821	クリティカル・リーディングⅡ(初級)	未定	1	T I (電情・機械)《11》	共 5 3 講	
G1D12202	中国語初級(総合)Ⅱ	島崎 朋子 (非)	1	全	共 3 6 講	
	*** 教養系 ***					
G2B40508	日本の教育と社会の歴史	塩原 佳典 (L)	2	全	共 1 2 講	
G2B60119	環境共存の社会学入門	金澤 謙太郎 (G)	2	全	共 4 2 講	
G2B60201	共生社会のための障害学入門	庄司 和史 (G特)	2	全	共 6 1 講	
G2B65129	環境と暮らしを考えるゼミ	矢原 ひかり (G特)	2	全	共 2 4 講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E15303	地学実験	大塚 勉 他 (G特)	2	F I (生)	共 3 7 講	月 3・4
	*** 専門基礎系 言語(2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
L1120200	哲学・思想論概論Ⅱ	護山 真也 他 (L)	2	L I	人 4	
MH631100	生理学実習	安尾 将法 (H)	2	M I (保) 【理・作】	保 2 1 1	月 3・4
SA405100	微分積分学演習Ⅱ	宮西 吉久 (S)	1	S I (数)	理 1	
SG312102	物理学概論Ⅱ	天児 寧 (S)	2	S I (化・循)	理 1 3	
SG322101	化学概論Ⅱ	樋上 照男 (S特)	2	S I (数・物・地)	理 1 2	
SG381102	地学実験	大塚 勉 他 (G特)	2	S I (生)	共 3 7 講	月 3・4
	*** 教職関係科目 ***					
Q3300900	特別支援教育の理論と実践Ⅰ【第3欄】	横嶋 敬行 (G)	1	L, S, T, A, F	共 1 3 講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期
月 4

《後期》

月曜日

5時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11329	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(B)	兼元 美友 (G)	1	再履修生 (1年生のみ)	共40講	
G1D12201	中国語初級(総合)Ⅱ	島崎 朋子 (非)	1	全	共36講	
G1D13201	ドイツ語初級(総合)Ⅱ	松岡 幸司 (G)	1	全	共28講	
G1D14201	フランス語初級(総合)Ⅱ	鈴木 球子 (G)	1	全	共35講	
G1D15201	ハンガール初級(総合)Ⅱ	延 鎮淑 (非)	1	全	共37講	
G1D16201	スペイン語初級(総合)Ⅱ	伊藤 エドナ・リリアナ (非)	1	全	共401演	
	*** 教養系 ***					
G2B41204	グローバルコミュニケーション論B	仙石 祐 (G)	2	全	共43講	
G2B45301	西洋古典語の世界ゼミ	野津 寛 (L)	2	全	共33講	
G2B45610	ストラテジー&リサーチ・リテラシーゼミ	林 靖人 他 (G)	2	全	共46講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E14106	生物学A	伊藤 靖夫 (G)	2	T I	共34講	
	*** 専門基礎系 言語(2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
E4121900	特別支援教育概論A	奥村 真衣子 他 (E)	2	E I (現、野、国、英、社、数、理、音、図、保、も、家、心)	共20講	
E4122900	特別支援教育特論	楠見 友輔 他 (E)	2	E I (特)	共312演	
L2020200	比較文学概論Ⅱ	澁谷 豊 (L)	2	L I	人4	
L2990300	博物館教育論	福島 正樹 他 (特)	2	L I	理1	通年(前期集中+後期月5(前半))
MH632100	中枢神経解剖学	寺田 信生 (H)	2	M I (保)【理・作】	保211	
SGH07900	博物館教育論	福島 正樹 他 (特)	2	S I	理1	通年(前期集中+後期月5(前半))
TOH07900	博物館教育論	福島 正樹 他 (特)	2	T I	理1	通年(前期集中+後期月5(前半))
	*** 教職関係科目 ***					
Q4600900	教育相談の理論と実践【第4欄】	横嶋 敬行 (G)	2	L, S, T, A, F	共13講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

《後期》

月曜日

6時限

時間割 コード	授 業 科 目	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 教養系 ***					
G2B55716	AIジェネラルスキル基礎ゼミ	林 憲一 他 (J特)	2	原則ライフクリエイター入門講義受講者	経211	
G2B55718	AIジェネラルスキル応用ゼミ	林 憲一 他 (J特)	2	原則ライフクリエイター入門講義受講者		通年 月6+集中

1 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期
火1

《後期》

火曜日

2時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B20004	数と形の歴史を見てみよう	高野 嘉寿彦 (G)	2	全	共42講	
	*** 基盤系 健康 ***					
G1C10037	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	M I (医:①)	共71講	(後半) 廣野 共2体
G1C10038	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	M I (医:②)	共71講	(後半) 杉本 共1体
G1C10039	健康科学・理論と実践	杉本 光公 他 (G)	1	T I (機械:①)	共1体	(後半) 森田 共71講
G1C10040	健康科学・理論と実践	廣野 準一 他 (G)	1	T I (機械:②)	共2体	(後半) 森田 共71講
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11230	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (上級)	マーク ブライアリー (G)	1	F I (1)	共34講	
G1D11231	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (中級)	高橋 ユウエン (非)	1	F I (2)	共33講	
G1D11232	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (中級)	ジャスティン ハーヴィー (非)	1	F I (3)	共26講	
G1D11233	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (中級)	リアナ ジョセフ (非)	1	F I (4)	共35講	
G1D11234	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (中級)	未定	1	F I (5)	共37講	
G1D11235	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (中級)	芦田 真樹子 (非)	1	F I (6)	共36講	
G1D11236	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (初級)	宮坂 るみ (非)	1	F I (7)	共25講	
G1D11237	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (初級)	スプリング 有木子 (非)	1	F I (8)	共24講	
G1D11238	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (初級)	内川 安江 (非)	1	F I (9)	共23講	
G1D11239	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (初級)	近藤 富英 (G特)	1	F I (10)	共401演	
	*** 教養系 ***					
G2B40104	出会いの哲学	鶴飼 哲 (非)	2	全	共61講	
G2B40706	身体と環境の心理学	高瀬 弘樹 (L)	2	全	共20講	
G2B41107	ドイツ語圏の文化 (文化と教育)	松岡 幸司 (G)	2	全	共51講	
G2B41202	グローバル・ダイアログ: 異文化を語る、考える	浜野 充 他 (G)	2	全	共62講	
G2B45105	中国哲学から考える「戦争と平和」ゼミ	早坂 俊廣 (L)	2	全	共53講	
G2B50506	地球の素材 (産状・成分と色彩)	牧野 州明 (S特)	2	全	共65講	
G2B55726	データからの地域課題発見ゼミ	鈴木 治郎 (G特)	2	全	共54講	
G2B60103	再生可能エネルギー概論	松岡 浩仁 (T)	2	全	共12講	
G2B60145	環境共存の社会学入門	金澤 謙太郎 (G)	2	全	共13講	
G2B65137	生物多様性保全について考えるゼミ (国際編)	浅野 郁 (G)	2	全	共55講	
G2B65406	身体運動科学ゼミ	速水 達也 他 (G)	2	全	共40講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11202	微分積分学Ⅱ	一ノ瀬 弥 (非)	2	T I (質:①)	共56講	
G3E11203	微分積分学Ⅱ	永井 康史 (G)	2	T I (質:②)	共52講	
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
A1Y03100	有機化学Ⅰ	大神田 淳子 他 (A)	2	A I	共43講	
J5030100	経済数学B	田中 康平 (J)	2	J I (経)	経第1	
MH511100	微生物と感染	松本 竹久 (H)	2	M I (保)	保多目的	
SG302102	線形代数学Ⅱ	阿部 翠空星 (S非)	2	S I (物・化)	理1	
SG302103	線形代数学Ⅱ	松下 尚弘 (S)	2	S I (地・生・循)	理13	
	*** 教職関係科目 ***					
Q6001900	現代社会と教育問題【第6欄】	荒井 英治郎 (G)	2	L, S, T, A, F	共46講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)後期
火2

3 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期
火3

4 時限

後期
火4

《後期》

火曜日

5時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
	*** 教養系 ***					
G2B40615	大学と社会	松宮 慎治 (G)	2	全	共42講	
G2B41206	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	佐藤 友則 (G)	2	全	共43講	
G2B45616	性と生を考えるゼミ	中込 さと子 他 (H)	2	全 (M(保)除く)	保212	
G2B45808	価値創造実践ゼミ	林 靖人 (G)	2	全	共46講	
G2B65203	臨床検査を体験するゼミ	木村 文一 (H)	2	全	保223	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
G3D21212	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ (上級)	ジャスティン ハーヴィー (非)	2	MⅡ (医) (1)	共34講	
G3D21213	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ (上級)	近藤 富英 (G特)	2	MⅡ (医) (2)	共33講	
G3D21214	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ (上級)	未定	2	MⅡ (医) (3)	共36講	
	*** 専門科目 ***					
E2535900	造形基礎演習	猪瀬 昌延 他 (E)	2	EⅠ (図)	共401演	
E9112200	心理学概論A	島田 英昭 (E)	1	EⅠ	共35講	
L2990200	博物館概論	窪田 雅之 (非)	2	LⅠ	人4	
MH179100	看護方法論Ⅰ (生活援助技術)	浅野 美礼 他 (H)	3	MⅠ (保) 【看】	保311	火4～5 (前半) 木1～2
MH212100	生理学実習	安尾 将法 他 (H)	2	MⅠ (保) 【検】	保241	火4・5
MH634100	運動学	百瀬 公人 他 (H)	2	MⅠ (保) 【理・作】	保211	火4・5
SG113100	キャリアデザイン概論	長谷川 庸司 他 (S)	1	SⅠ	理8	
SG332102	生物学概論Ⅱ	山本 雅道 (S特)	2	SⅠ (数・物・循)	理3	
SGH01900	博物館概論	窪田 雅之 (非)	2	SⅠ	人4	
TOH02900	博物館概論	窪田 雅之 (非)	2	TⅠ	人4	
T2005210	基礎論理回路	太子 敏則 (T)	2	TⅠ (電情)	共20講	
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期
火5・6

《後期》

火曜日

6時限

時間割 コード	授 業 科 目	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 教養系 ***					
G2B40805	グローバルコア人材養成概論	仙石 祐 他 (G)	2	グローバルコア人材養成コースBASICコース及びADVANCEDコース受講生	共37講	

1 時限

[illegible]

授業時間割表 (曜日・時限別)

後期
水1

《後期》

水曜日

2 時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B10011	統計学の基礎	湯田 彰夫 (G特)	2	全	共 6 5 講	
G1B20010	科学技術の進歩がもたらした人間社会の変革	秋山 靖博 他 (F)	2	全	共 4 3 講	
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11201	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (上級)	リアナ ジョセフ (非)	1	S I (1)	共 3 5 講	
G1D11202	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (上級)	マーク ブライアリー (G)	1	S I (2)	共 3 4 講	
G1D11203	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (中級)	ジャスティン ハーヴィー (非)	1	S I (3)	共 3 6 講	
G1D11204	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (中級)	デイヴィッド グレイ (非)	1	S I (4)	共 3 3 講	
G1D11205	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (初級)	スプリング 有木子 (非)	1	S I (5)	共 2 6 講	
G1D11206	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (初級)	内川 安江 (非)	1	S I (6)	共 2 3 講	
G1D11207	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A) (初級)	長谷部 めぐみ (G)	1	S I (7)	共 2 4 講	
G1D11801	クリティカル・リーディングⅡ (上級)	兼元 美友 (G)	1	L I 《1》	共 5 6 講	
G1D11802	クリティカル・リーディングⅡ (中級)	デイヴィッド ルジチカ (G)	1	L I 《2》	共 5 3 講	
G1D11803	クリティカル・リーディングⅡ (中級)	フレッド カルス (非)	1	L I 《3》	共 4 6 講	
G1D11804	クリティカル・リーディングⅡ (初級)	森木 順子 (非)	1	L I 《4》	共 4 0 1 演	
	*** 教養系 ***					
G2B45106	ヨーロッパ近代文学・哲学入門ゼミ	鈴木 球子 (G)	2	全	共 2 5 講	
G2B46113	日韓関係ゼミ	延 鎮淑 (非)	2	全	共 4 0 講	
G2B55106	数理決定法入門ゼミ	中山 一昭 (S)	2	全	共 5 5 講	
G2B55201	カオス体験ゼミ	松原 雅春 (T)	2	全	共 6 2 講	
G2B55601	技術とエネルギーの入門ゼミ	佐藤 運海 他 (E)	2	全	共 5 4 講	
G2B60110	動物と人間社会	山中 仁木 (G)	2	全	共 1 2 講	
G2B65302	救急対応とテーピングゼミ	廣野 準一 (G)	2	全	共 2 8 講	水 2 + 集中
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11310	線形代数学Ⅰ	阿部 翠空星 (非)	2	T I (水土)	共 5 1 講	
G3E13202	一般化学Ⅱ	田中 伸明 (T)	2	T I (質)	共 4 2 講	
	*** 専門基礎系 言語 (2 年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
E4350904	初等音楽科指導法基礎E	桐原 礼 (E)	2	E I (現, 図, 家, 心)	共 7 1 講	
J9020101	新入生ゼミナールⅡ	石橋 敬介 (J)	2	J I (経)		
J9020102	新入生ゼミナールⅡ	都築 幸宏 (J)	2	J I (経)		
J9020103	新入生ゼミナールⅡ	LEE HYUNUK (J)	2	J I (経)		
J9020104	新入生ゼミナールⅡ	橋本 規之 (J)	2	J I (経)		
J9020105	新入生ゼミナールⅡ	舩田 武仁 (J)	2	J I (経)		
J9020106	新入生ゼミナールⅡ	濱田 新 (J)	2	J I (法)		
J9020107	新入生ゼミナールⅡ	宗村 和広 (J)	2	J I (法)		
J9020108	新入生ゼミナールⅡ	弘中 章 (J)	2	J I (法)		
J9020109	新入生ゼミナールⅡ	久保田 隆 (J)	2	J I (法)		
M01050	ゲノム・染色体・遺伝子	古庄 知己 他 (M)	2	M I (医)	医 2 実	
MH506100	リハビリテーション概論	青木 薫 (H)	2	M I (保)	保多目的	
T4003110	機械設計製図Ⅰ	榊 和彦 他 (T)	1	T I (機械)	共 6 1 講	水 2・3
	*** 教職関係科目 ***					
Q3204902	教育の制度と経営【第3欄】	荒井 英治郎 (G)	2	L, S, T, A, F	共 1 3 講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					
R4022120	留学生の地域まなびⅡ	佐藤 友則 他 (G)	2	外国人留学生	共 6 4 講	

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期
水 2

3 時限

3 時限

後期
水3

4 時限

後期 水4

5 時限

5 時限

備考

	* * * 教養系 * * *
--	-----------------

共 12 講

共 4 2 講

共 13 講

共 3 3 講

共 35 講

共 23 講

共 4 3 講

	*** 專門基礎系 言語 (2 年次) ***	
--	-------------------------	--

共 3 4 講

共 25 講

共 24 講

共 26 講

	* * *	專門科目	* * *
--	-------	------	-------

共 20 講

共 6 1 講	(前半) 水 4 ・ 5
---------	--------------

共 6 1 講	(後半) 水 4・5
---------	------------

	* * * 教職関係科目 * * *	
--	--------------------	--

* * * 日本語・日本事情教育科目 * * *

—	【EA】
---	------

[illegible]

1 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

– 191 –

《後期》

木曜日

2時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11224	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)(上級)	マーク ブライアリー (G)	1	A I (1)	共34講	
G1D11225	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)(中級)	藤原 隆史 (非)	1	A I (2)	共24講	
G1D11226	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)(初級)	未定	1	A I (3)	共401演	
G1D11227	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)(初級)	大島 香織 (非)	1	A I (4)	共25講	
G1D11228	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)(中級)	未定	1	A I (5)	共26講	
G1D11229	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)(初級)	宮坂 るみ (非)	1	A I (6)	共36講	
	*** 教養系 ***					
G2B45303	シェイクスピアを読むゼミ	デイヴィッド ルジチカ (G)	2	全	共32講	
G2B46011	経済分析のためのITスキル入門ゼミ	三上 亮 (J)	2	全	共63講	
G2B50305	生化学の基礎	中田 勉 (G)	2	全	共13講	
G2B60518	バスケットボール	古澤 栄一 (非)	1	全	共1体	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E11306	線形代数学Ⅰ	高野 嘉寿彦 (G)	2	T I (質)	共71講	
G3E11313	線形代数学Ⅰ	永井 康史 (G)	2	T I (建)	共37講	
G3E12114	力学	三澤 透 (G)	2	F I (化:A)	共52講	
G3E12401	電磁気学	安達 弘通 (G)	2	M I (医)	共51講	
	*** 専門基礎系 言語(2年次) ***					
	*** 専門科目 ***					
F3A50910	先進繊維・感性工学概論	朱 春紅 他 (F)	2	F I (織)	共42講	
F3B50110	機械・ロボット学概論	小関 道彦 他 (F)	2	F I (機)	共65講	
MH633100	肉眼解剖学実習	寺田 信生 (H)	2	M I (保) 【理・作】	医解実	
L1420200	社会学概論Ⅱ	前田 豊 (L)	2	L I	人4	
L2720400	日本語史Ⅱ	山田 健三 (L特)	2	L I	人212	
MH179100	看護方法論Ⅰ(生活援助技術)	浅野 美礼 他 (H)	3	M I (保) 【看】	保311	火4~5 (前半) 木1~2
MH183100	基礎看護学実習Ⅱ(臨床判断)	浅野 美礼 他 (H)	1	M I (保) 【看】	保311	(後半) 木1~5
SA407100	集合論	栗林 勝彦 (S)	2	S I (数)	共43講	
SG304102	微分積分学Ⅱ	乙部 厳己 (S)	2	S I (物・化)	理1	
SG304103	微分積分学Ⅱ	泉 真之介 (S特)	2	S I (地・生・循)	理13	
	*** 教職関係科目 ***					
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					
R4010120	日本語聴解Ⅱ	佐藤 友則 (G)	1	外国人留学生	共23講	

授業時間割表
(曜日・時限別)後期
木2

3 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

木
3

4 時限

4 時限

4 時限

《後期》

木曜日

5 時限

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
	*** 基盤系 学術リテラシー ***					
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
	*** 基盤系 健康 ***					
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11140	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅠ(A)	山口 和彦 (G特)	1	再履修生 (1年生のみ)	共40講	
	*** 教養系 ***					
G2B40907	日本国憲法	小池 洋平 (G)	2	全	共20講	
G2B41105	アフリカ文化論	分藤 大翼 (G)	2	全	共12講	
G2B45308	漢文学ゼミ	氏岡 真士 (L)	2	全	共313演	
G2B45809	キャリアデザイン実践ゼミ	勝亦 達夫 他 (G)	2	全	共28講	
G2B46202	持続的「食・農・環境」論ゼミB	浜野 充 (G)	2	全	共26講	木5+集中
G2B55712	Web制作ゼミ	松本 成司 (G)	2	全	共47講	
G2B65207	インクルーシブデザインゼミ	加藤 彩乃 (G)	2	全	共23講	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***					
G3E12116	力学	安達 弘通 (G)	2	EⅠ【理】、MⅠ、TⅠ(資・水士・建)、FⅠ(生) ※初年次再履修者対象	共51講	
	*** 専門基礎系 言語 (2年次) ***					
G3D22201	中国語中級Ⅱ	李 丹丹 (非)	2	LⅡ／全Ⅱ	共33講	
G3D22202	中国語中級Ⅱ	百瀬 美津江 (非)	2	LⅡ／全Ⅱ	共34講	
G3D23201	ドイツ語中級Ⅱ	松岡 幸司 (G)	2	LⅡ／全Ⅱ	共32講	
G3D23202	ドイツ語中級Ⅱ	葛西 敬之 (L)	2	LⅡ	共36講	
G3D24201	フランス語中級Ⅱ	鈴木 球子 (G)	2	LⅡ／全Ⅱ	共35講	
G3D25201	ハングル中級Ⅱ	延 鎮淑 (非)	2	LⅡ／全Ⅱ	共401演	
G3D26201	スペイン語中級Ⅱ	伊藤 エドナ・リリアナ (非)	2	LⅡ／全Ⅱ	共37講	
	*** 専門科目 ***					
A4D40100	課題解決基礎PBL	竹田 謙一 他 (A)	2	AⅠ(地域)	共24講	木4・5
MH183100	基礎看護学実習Ⅱ(臨床判断)	浅野 美礼 他 (H)	1	MⅠ(保)【看】	保311	(後半)木1~5
MH211100	組織学実習	寺田 信生 (H)	2	MⅠ(保)【検】	保形態	木4・5
MH665101	教育相談の理論と実践	横嶋 敬行 (G)	2	MⅠ(保)【理・作】	共13講	
	*** 教職関係科目 ***					
Q4600901	教育相談の理論と実践【第4欄】	横嶋 敬行 (G)	2	L, S, T, A, F	共13講	
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***					

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期
木5・6

《後期》

木曜日

6 時限

時間割 コード	授 業 科 目	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備考
	*** 専門科目 ***					
L2620200	日本文学概論Ⅱ	渡邊 匡一 (L)	2	LⅠ	人4	

1 時限

後期
金1

2 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

– 197 –

3 時限

3 時限

備考

R4002120	日本語読解Ⅱ	佐藤 友則	(G)	1	外国人留学生
----------	--------	-------	-----	---	--------

共 5 2 講

TQ22900	生物學概論
---------	-------

R4002120	日本語読解Ⅱ
----------	--------

共 5 2 講

4 時限

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期 金4

5 時限

5 時限

《後期》 集 中 講 義

◎集中講義の履修登録も、他の題目と同様に、必ず履修登録期間内に行ってください。

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	履修登録上限 単位数に含まない 授業	備 考
	*** 基盤系 健康 ***						
G1C10042	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	全 I (通常の運動が困難な学生)			
G1C10043	健康科学・理論と実践	森田 洋 他 (M)	1	再履修生 (H27～R6年度入学生のみ) および2・3年次編入学生			通年
	*** 教養系 ***						
G2B40805	グローバルコア人材養成概論	仙石 祐 他 (G)	2	グローバルコア人材養成コースADVANCEDコース受講者			火 6 + 集中
G2B40808	国際教養A	松岡 幸司 他 (G)	2	全		○	
G2B40810	国際教養B	松岡 幸司 他 (G)	2	全		○	
G2B41129	海外実践B	浜野 充 (G)	2	全		○	
G2B41212	国際共修プロジェクト(B-1)	仙石 祐 他 (G)	1	全			
G2B45604	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ【EA】	勝亦 達夫 他 (G)	2	ローカルイノベーター養成コース受講者			【EA】
G2B45815	ストラテジー構築実践ゼミⅡ【EA】	林 靖人 他 (G)	2	ストラテジー・デザイン人材養成コース受講者			【EA】
G2B46202	持続的「食・農・環境」論ゼミB	浜野 充 (G)	2	全			木 5 + 集中
G2B46204	オンライン国際共修ゼミ(日本伝統文化と現代社会)【EA】	仙石 祐 (G)	2	グローバルコア人材養成コースBASICコース受講者		○	【EA】
G2B46206	国際共修ICLゼミ：多文化共生in松本B	ナカサト ローレン 他 (G)	2	全			木 4 + 集中
G2B55715	現代メディア・マーケティング入門ゼミ	丸橋 昌太郎 (J)	2	全		○	
G2B55723	データから白馬村の観光を考えるゼミ(ドコモ・白馬村連携講義)	平井 佑樹 (G)	2	全			金 3 + 集中
G2B55718	AIジェネラルスキル応用ゼミ	林 憲一 他 (J特)	2	原則ライフクリエイター入門講義受講者			通年 月 6 + 集中
G2B55728	AIジェネラルスキル実践ゼミ	林 憲一 他 (J特)	2	原則としてライフクリエイター入門講義受講者			通年
G2B60611	スノー・スポーツ	杉本 光公 他 (G)	1	全		○	
G2B65111	ドイツ環境ゼミ	松岡 幸司 (G)	2	前期からドイツ語を履修している1年次生 および1年次よりドイツ語を履修している2年次生		○	
G2B65302	救急対応とテーピングゼミ	廣野 準一 (G)	2	全			水 2 + 集中
G2B65402	アウトドアスポーツ活動論ゼミ	杉本 光公 (G)	2	全		○	
G2B65405	信州地域スポーツ探求ゼミ	速水 達也 他 (G)	2	全			火 1 + 集中
G2B68102	環境マインド実践ゼミⅡ	浅野 郁 他 (G)	2	環境マインド実践人材養成コースに本登録した学生		○	
	*** 専門基礎系 基礎科学 ***						
	*** 専門科目 ***						
E4280900	総合的な学習の時間の指導法	森下 孟 他 (E)	1	E I			
E5022100	地域教育概論Ⅰ	西 一夫 (E)	1	E I			通年
L2990100	生涯学習概論【EA】	荒井 英治郎 (G)	2	L I			【EA】
MH3A5100	見学実習	小宅 一彰 他 (H)	1	M I (保)【理】			通年
SA701100	アドバンスゼミ	境 圭一 (S)	1	S I (数)			
SB701100	アドバンスゼミ	志水 久 他 (S)	1	S I (物)			
SC701100	アドバンスゼミ	濱崎 亜富 他 (S)	1	S I (化)			
SD701100	アドバンスゼミ	江島 輝美 (S)	1	S I (地)			
SE701100	アドバンスゼミ	高梨 功次郎 (S)	1	S I (生)			
SF701100	アドバンスゼミ	村越 直美 他 (S)	1	S I (循)			
SGH03900	生涯学習概論	荒井 英治郎 (G)	2	S I			【EA】
TOH01900	生涯学習概論	荒井 英治郎 (G)	2	T I			【EA】
TOH08900	博物館情報・メディア論	小山 茂喜 他 (G特)	2	T I			通年
	*** 教職関係科目 ***						
Q3400901	教育課程の編成法【第3欄】	小山 茂喜 (G特)	1	T, A, F	共 1 2 講	○	
Q4403900	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法【第4欄】	小山 茂喜 (G特)	1	L, S, T, A, F		○	通年【EA】
Q4502901	進路指導・キャリア教育の理論と実践【第4欄】	田村 徳至 (G)	1	L, S	共 2 0 講	○	
Q6100900	教育臨床基礎演習【第6欄】	荒井 英治郎 (G)	1	L, S, T, A, F		○	通年
Q6200900	生涯学習概論【第6欄】	荒井 英治郎 (G)	2	L, S, T, A, F		○	【EA】
	*** 日本語・日本事情教育科目 ***						

※履修登録上限単位数の詳細については、38頁を確認してください。

授業時間割表
(曜日・時間別)

後期 集中

《後期》 非同期オンライン（オンデマンド型）授業

時間割 コード	副 題	担当教員 (所属)	単 位	対 象 学 生	講義室	備 考
【EA】講義は全ての授業をPC上で行います。 （※ただし、初回ガイダンスや履修登録方法について指示がある講義もありますので、必ずシラバスの内容を確認してください。）						
	*** 基盤系 リテラシー ***					
G0A20006	データサイエンスリテラシー【EA】	鈴木 治郎 (G特)	1	S I		前半【EA】
G0A20007	データサイエンスリテラシー【EA】	鈴木 治郎 (G特)	1	M I (保)		前半【EA】
G0A20008	データサイエンスリテラシー【EA】	平井 佑樹 (G)	1	T I		前半【EA】
G0A20009	データサイエンスリテラシー【EA】	太田家 健佑 (G)	1	F I		前半【EA】
	*** 基盤系 統計・科学史・現代社会論 ***					
G1B30017	キャリア形成論Ⅱ【EA】	勝亦 達夫 (G)	2	全		【EA】
G1B30023	スタートアップ入門【EA】	松山 紀里子 (G)	2	全		【EA】
G1B30026	ビジネスとマネジメント【EA】	藤野 義和 他 (J)	2	全		【EA】
	*** 基盤系 言語 ***					
G1D11240	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (A)【EA】	未定	1	再履修生		【EA】
G1D11429	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ (B)【EA】	岩井 恵利奈 (G)	1	再履修生		【EA】
G1D11622	プラクティカル・イングリッシュⅡ【EA】	蓬萊 朋子 (G)	1	再履修生		【EA】
G1D11826	クリティカル・リーディングⅡ【EA】	長谷部 めぐみ (G)	1	再履修生		【EA】
G1D13104	ドイツ語初級（総合）Ⅰ【EA】	松岡 幸司 (G)	1	全（後期スタート）		【EA】
G1D13202	ドイツ語初級（総合）Ⅱ【EA】	松岡 幸司 (G)	1	同名の対面授業を受講できない学生		【EA】
	*** 教養系 ***					
G2B40103	自己発見の方法【EA】【清泉大学開講】	田村 亮子 (清泉大)	2	全		【EA】
G2B40105	生命倫理【EA】【長野県看護大学開講】	屋良 朝彦 (県看護大)	1	全		【EA】
G2B40106	倫理学【EA】【長野県看護大学開講】	屋良 朝彦 (県看護大)	1	全		【EA】
G2B40408	言語学Ⅰ【EA】【長野県立大学開講】	金田一 真澄 (長県大)	2	全		【EA】
G2B41012	経営組織論【EA】【長野県立大学開講、コンソーシアム信州】	東 俊之 (長県大)	2	全		【EA】
G2B41021	医療経済学【EA】【長野県立大学開講】	堂本 尚司 (長県大)	2	全		【EA】
G2B41022	信州の発酵食品メーカーの経営戦略【EA】	浜野 充 (G)	2	全		【EA】
G2B41118	原文で読む現代ドイツ事情【EA】	松岡 幸司 (G)	2	全（ドイツ語初級レベル修了を条件とする）		【EA】
G2B41208	オンライン国際共修ICL(B)【EA】	仙石 祐 (G)	2	全		【EA】
G2B41210	オンライン国際共修ICL(B-1)【EA】	仙石 祐 (G)	1	全		【EA】
G2B4F102	信州学【EA】	高野 嘉寿彦 他 (G)	1	全		【EA】
G2B4G101	心理学【EA】	渡邊 智之 (長野大)	2	ShinXiaコース選択者が優先		【EA】
G2B4H101	STEAM教育概論【EA】	茅野 公穂 他 (E)	1	ShinXiaコース選択者が優先		【EA】
G2B4J102	ミクロ経済学入門【EA】	増原 宏明 他 (J)	2	ShinXiaコース選択者が優先		【EA】
G2B4J202	マクロ経済学入門【EA】	ウェステニウス 嘉晃 (J)	2	全		【EA】
G2B50709	情報学入門（プログラミング、ネットワーク）【EA】	原嶋 秀次 他 (G)	2	全		【EA】
G2B5B101	物理学の世界【EA】	天谷 健一 他 (E)	2	ShinXiaコース選択者が優先		【EA】
G2B5C101	化学の世界【EA】	勝木 明夫 (G)	2	ShinXiaコース選択者が優先		【EA】
G2B5F101	工学入門【EA】	是津 信行 他 (T)	2	ShinXiaコース選択者が優先		【EA】
G2B60102	環境法入門【EA】	小林 寛 (J)	2	全		【EA】
G2B60149	環境保全論入門【EA】	浅野 郁 (G)	2	全		【EA】
G2B60203	手話言語コミュニケーションと社会【EA】	平澤 まさ美 (非)	2	全		【EA】
	*** 専門基礎系 言語（2年次） ***					
G3D24202	フランス語中級Ⅱ【EA】	鈴木 球子 (G)	2	各地学部高年次		【EA】
G3D25202	ハンガール中級Ⅱ【EA】	延 鎮淑 (非)	2	各地学部高年次		【EA】
	*** 専門科目 ***					
E4120901	発達・教育心理学概論B	島田 英昭 (E)	2	E I (野、社、理、音、保、も、特)		【EA】
E5017901	学習科学概論B	島田 英昭 他 (E)	1	E I		【EA】 一部対面授業含む
E5020900	STEAM教育概論	茅野 公穂 他 (E)	1	E I		【EA】 一部対面授業含む
T0Q21900	化学概論	錦織 広昌 (T)	1	T I (質のみ)		【EA】

授業時間割表
(曜日・時限別)

後期 非同期オンライン（オンデマンド型）授業

付 録

＜授業担当教員(特任教員・非常勤講師)名簿＞

特任教員・非常勤講師は、講義日以外は来校しません。連絡方法はシラバス【(9)質問、相談への対応】で確認してください。なお、シラバスに記載されているもの以外は個人情報保護のため教えることはできません。

授業担当教員名	フリガナ	講 義 日	
		前期	後期
芦田 真樹子	(非) アシダ マキコ	火2.3.4 木3.4	火2.3.4 木3.4
足立 総世	(非) アダチ ミチヨ	月3.5 水1 木1.3.4.5 金3.4	なし
阿部 翠空星	(非) アベ スクセ	水2.3 木2.3	火3 水2.3
有賀 メアリー	(非) アルカ メアリー	金4	金4
飯田 洋市	(非) イイダ ヨウイチ	火1	火1
石田 義雄	(非) イシダ ヨシオ	木3.4	なし
泉 真之介	(S特) イズミ シンノスケ	木2.4	水1.3 木4
一ノ瀬 弥	(非) イチノセ ワタル	火2	火2
伊藤 エドナ・リリアナ	(非) イトウ エドナ・リリアナ	月3 水1	月3.5 水1 木5
伊東 秀一	(G特) イトウ シュウイチ	木4	なし
鵜飼 哲	(非) ウカイ サトシ	なし	火2
内川 安江	(非) ウチカワ アシエ	火2.3.4 水2	火2.3.4 水2
大島 香織	(非) オオシマ カオリ	木2.3	木2.3
大塚 勉	(G特) オオツカ ツトム	月3.4	月3.4
加藤 鉦三	(G特) カトウ コウゾウ	木4	なし
河邊 淳	(T非) カワヘ ジュン	【集中 工学部】	【集中 工学部】
北沢 洋一	(非) キタザワ ヨウイチ	火4 水3.4	なし
北原 守	(非) キタハラ マモル	なし	火3.4 【月3.4 農学部】
清澤 美恵	(非) キヨザワ ヨシエ	月2.3 火3 木3	月2.3 火3 木3
久保 浩義	(S特) クボ ヒロヨシ	月4.5	なし
小山 茂喜	(G特) コヤマ シゲキ	火5 金2.3 集中	月5 火4 水4 木5 集中
コリガン スティーブン	(非) コリガン スティーブン	【月1.2.3.4 火3.4 水3.4.5 工学部】	【月2.3.4.5 水3.4.5 工学部】
近藤 富英	(G特) コンドウ トミヒデ	月1.3 火2.4.5 木1.3金4	月1.3 火2.5 木3金4
サミュエル ウィンドリー	(非) サミュエル ウィンドリー	月1.2 金2 【火1.2 水1.2 繊維学部】	月1.2 【火1.2 金1.2 繊維学部】
ジェシカ ピオーラ	(非) ジェシカ ピオーラ	水3.4 金4	水3 金4
島崎 朋子	(非) シマサキ トモコ	月4	月3.4.5
ジャスティン ハーヴィー	(非) ジャスティン ハーヴィー	火2.4.5 水2.4	火2.4.5 水2.4.5
ショーン マーメット	(非) ショーン マーメット	金1.2	金1.2
庄司 和史	(G特) ショウジ マサシ	金3	月4
鈴木 治郎	(G特) スズキ ジロウ	火2.3 集中	火2 集中
スティーブン マクガイア	(非) スティーブン マクガイア	月1.2	月1.2
スプリング 有木子	(非) スプリング ユキコ	月1.2 火1.2 水1.2 木1 金1	月1.2 火1.2 水1.2
関 有沙	(S非) セキ アリサ	金2	なし
高橋 正人	(F特) タカハシ マサト	【集中 繊維学部】	【集中 繊維学部】
高橋 ユウエン	(非) タカハシ ユウエン	火2.3 【金2 教育学部】	火2.3 【金2 教育学部】
陳 喜	(非) チン キ	月3.5	なし
デイヴィッド グレイ	(非) デイヴィッド グレイ	月1.3.4 水2.4 金1	月1.4 水2.4 金1
中島 暉	(非) ナカジマ ホエ	月3	月3
浜 泰子	(非) ハマ ヤスコ	火1.3	火1.3

授業担当教員名		フリガナ	講 義 日	
			前期	後期
濱野 光市	(A特)	ハマノ コウイチ	木2	なし
林 憲一	(J特)	ハヤシ ケンイチ	月6 集中	月6 集中
藤原 隆史	(非)	フジワラ タカフミ	木1.2	木1.2
古澤 栄一	(非)	フルサワ エイチ	水2	木2 集中
古屋 顯一	(G特)	フルヤ ケンイチ	火3.4	火3.4 集中
フレッド カルス	(非)	フレッド カルス	月3 水2.3	月3 水2.3.5
鮑 力民	(F特)	ホウ リキミン	月4 集中	月2 集中
マイケル ジョンソン	(非)	マイケル ジョンソン	水3.4	水3.4
牧野 州明	(S特)	マキノ クニアキ	火3	火2
松岡 謙晶	(非)	マツオカ カネアキ	木2	木3
宮坂 るみ	(非)	ミヤサカ ルミ	火1.2.3 木1.3.4	火1.2 木1.2.3
宮崎 ひろ美	(非)	ミヤザキ ヒロミ	木1.2.3	なし
六浦 光一	(J非)	ムツウラ コウイチ	金2	なし
村田 明	(非)	ムラタ アキラ	月4 金4	月4 金4
室谷 心	(F非)	ムロヤ シン	金3・4	木1
本吉谷 二郎	(F特)	モトヨシヤ シロウ	木2.3	金3
百瀬 美津江	(非)	モモセ ミツエ	木5	木5
森木 順子	(非)	モリキ ジュンコ	月1.4 水2 金3.4	月4 水2 金3.4
森清 壽郎	(S特)	モリキヨ トシロウ	なし	金2.3
矢亀 尋美	(非)	ヤカメ ヒロミ	【月4・5 農学部】	なし
矢野 貴直	(非)	ヤノ タナオ	金3・4	なし
矢原 ひかり	(G特)	ヤハラ ヒカリ	月2.4	月2.4
山内 和義	(G特)	ヤマウチ カズヨシ	なし	木3
山口 和彦	(G特)	ヤマグチ カズヒコ	火2 水4	木5
湯田 彰夫	(G特)	ユダ アキオ	水1.2	水1.2
横内 美保子	(G非)	ヨコウチ ミホコ	木1	なし
吉田 正明	(非)	ヨシダ マサアキ	月3	月3
延 鎮淑	(非)	ヨン ジンスク	月3.5 水1.2.3 木5 集中	月3.5 水1.2 木5 集中
李 丹丹	(非)	リ タンタン	水1 木4.5	水1 木4.5
リアナ ジョセフ	(非)	リアナ ジョセフ	火1.2.4 水1.2.3【月4農学部】	火1.2.4 水1.2.3【月3農学部】
林 英美	(非)	リン エミ	月3.4	月3.4
ロデリック ミッチャム	(非)	ロデリック ミッチャム	金2.3	金2.3
和田 真歩	(非)	ワダ マホ	水1	水1

※オンライン授業等のため来校予定がない教員は、記載されていません。

【教員控室】 松本地区以外学部 of 教員、特任教員、非常勤講師の控室です。

松本地区以外学部・グローバル化推進センター	南校舎2階	基礎科学(生物・化学)	北校舎2階
教職科目	南校舎2階	基礎科学(数学・地学)	北校舎3階
言語(英語・初修外国語)	南校舎3階	教養系(環境及び自然科学系)	北校舎4階
教養系(人文及び社会科学系)	南校舎4階	基礎科学(物理)	

用語解説

用 語	解 説
ACSU（握手）	信州大学で学生生活を送る上で頻繁に使用するWEBサイトです。インターネットに接続できればパソコンでもスマートフォンでもアクセスすることが出来ます。 信州大学から付与するメールや、キャンパス情報システム、eALPSへは、このACSUからアクセスします。 また、学内でパソコンを使用し、インターネットに接続する場合等、このACSUから接続します。 ACSUの利用には入学時に配付したIDとパスワードが必要です。 ▼使い方：218～219頁を参照
eALPS （イーアルプス）	信州大学e-Learning（イーラーニング）情報通信技術（ICT）を利用した教育環境のことです。インターネットに接続されたパソコンからアクセスすることができます。 授業によってはeALPSで課題提出・資料配付・レポート提出を行う場合があります。 ACSUにログイン後、eALPSを選択して利用してください。 ▼使い方：234～236頁を参照
e-Learning （イーラーニング）	信州大学e-Learning情報通信技術（ICT）を利用した教育のことです。 主にコンピューターとネットワークを利用して通常の講義と同様に単位取得可能な自学自習方式の講義を行ったり、通常の対面講義支援・補完として教育に利用されています。 授業科目後ろに【EA】と記載されている授業は、ガイダンス、試験等を除きすべての講義をe-Learningで実施するEA（e-Learning ALL）授業です。
e-Learningセンター	全学e-Learning（eALPS）に関するサポート業務を行っています。 場所は、共通教育第1講義棟南校舎2階です。
GP（Grade Point）	成績評価の区分毎に付与されるポイント。
GPA （Grade Point Average）	学習成績を総合的に判断するための指標。計算方法等の詳細は、『9 GPA制度について』を確認してください。
ITピアサポート	パソコン利用で困った時に手助けしてくれる学生による支援です。場所は北校舎1Fです。
カリキュラム・ポリシー	教育課程の編成方針。ディプロマ・ポリシーで定めた目標を達成するための方策。「信州大学教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」参照。
キャンパス情報システム	大学から学生に伝えたい「お知らせ」や各種の情報をWEB上で参照できるシステムです。 パソコン・スマートフォンから授業に関する情報、休講情報、時間割・講義室変更、集中講義日程、シラバス等が参照できます。また、履修登録、履修抽選登録、成績確認、出席状況確認などもこのシステムで行います。ただし、全ての情報が掲載されるわけではありません。公用掲示板も併せて必ず確認してください。 ▼利用の手引き：221～229頁を参照
キャンパス情報システム ユーザー登録	最初にシステムを利用する場合、パソコンまたはスマートフォンで、入学時に配付された各自のIDとパスワードを登録します。
コマ（時限）	例：1時限目を1コマ目、2時限目を2コマ目、3時限目を3コマ目と言います。
再履修	履修の結果、不合格となった授業を、次のセメスター或いは次年度以降に同じ副題の授業で、改めて（再度）履修すること。 必修科目は、必ず履修しなければなりません。選択科目については、学生の意思に任されています。
初修外国語	現在本学で開講されている中国語、ドイツ語、フランス語、ハンデル、スペイン語のことです。（※英語以外の外国語）

用語解説

用 語	解 説
シラバス	◎シラバスーはじめにお読みくださいー（共通教育履修案内214～217頁）をご覧ください。 実施される授業の達成目標，授業の概要，授業計画，評価方法，履修上の注意，教員への質問・相談の方法，教科書，参考書等が記載されています。履修する授業のシラバスはよく読んでください。 ▼シラバス確認方法：□信州大学ホームページ(https://www.shinshu-u.ac.jp/) － 在学生の方 － シラバス － 共通教育 ※シラバスはパソコン・スマートフォンで閲覧することができます。
信大コンピテンシー	未来を共創するためのバックボーンとして信州大学の理念を集約する形で取りまとめられたものです。 大学生生活全体を通じて学生に育まれます。
成績証明書	合格した科目のみ表示した成績の一覧表で，学部長の署名入り。企業等に提出する時に使います。
成績通知書	「不可」を含んだ成績の一覧表。自身で確認し，履修計画の参考にしてください。
セメスター	前期や後期など「学期」のことを意味します。前期1セメスター，後期1セメスター
ディプロマ・ポリシー	学位授与の方針。卒業までに修得する能力及び達成する具体的な学修成果を示したものの。「信州大学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」参照。
不正行為	学生としての本分に反する試験時における不正行為をはじめ学内秩序を乱す行為，犯罪行為，交通事故・違反は，信州大学学則第65条等により懲戒処分（退学，停学，訓告）の対象となります。 『試験等における不正行為の事例』は，本文『8-1. 試験』項目を参照してください。その他の懲戒に関する詳細は，学部学生便覧等を参照してください。
履修登録単位数の上限 （上限単位数）	学期ごとに定められた，履修登録できる単位数の上限。この上限は，履修する授業のひとつひとつに十分な時間を掛けて皆さんが学修することを求めるため定めています。履修登録単位数の上限を超えて履修登録が行われた場合は，成績評価が出ませんので上限の範囲内で登録を行ってください。また，前期の成績が優秀な学生で学部長の許可がある場合は，後期に個々の学生ごとに上限を設定することが認められます。（この場合（“上限緩和”という）の詳細は，公用掲示板でお知らせします。） 履修登録単位数の上限には教職に関する科目（一部科目を除く）は含みません。 ※大学設置基準に基づく単位制度の趣旨から，大学での勉学は授業での学習に加えて，出席する授業の予習，復習を含む十分な自主的学習時間の確保が前提となっています。こうした趣旨から，履修登録単位数の上限制度が設けられています。

シラバス ーはじめにお読みくださいー

共通教育授業内容の紹介(シラバス)2025

シラバスには講義を受ける上で重要な情報が載っています。受講計画を立てる際に必ず確認しましょう。

シラバスはどうやって確認するの？

👉インターネット

シラバスはWeb公開されています。次のサイトからご覧ください。(次頁図参照)

信州大学ホームページ(<https://www.shinshu-u.ac.jp/>)

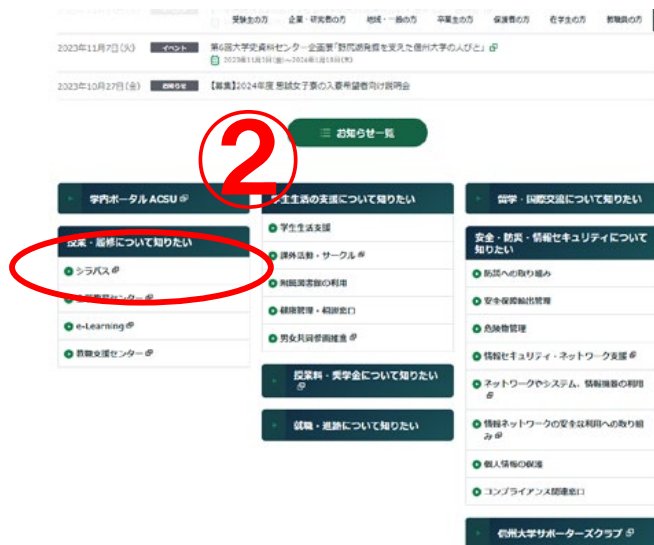
- ー 在学生の方 ー 授業・履修について知りたい ー シラバス
- ー 共通教育(全学教育センター)

または、キャンパス情報システム ー 履修・成績 ーシラバス からもご覧ください。

**<シラバス検索>では、
検索条件を入力すると、
簡単に気になる授業を検索
することができます。**



1年次生対象の共通教育科目と
教職関係科目は、共通教育窓口
にシラバスの冊子があります。



シラバス検索

検索条件を指定して「検索」をクリックしてください。

開講部局	共通教育(全学教育センター)
開講年度	2025 年度(西暦)
開講期間	☐ 前期 ☐ 後期 ☐ 通年
曜日	☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 不定
時限	☐ 1時限 ☐ 2時限 ☐ 3時限 ☐ 4時限 ☐ 5時限 ☐ 6時限 ☐ 7時限 ☐ 不定
授業名	(授業名の一部で検索します)
教員氏名	(教員漢字氏名の一部で検索します) (姓と名の間には全角スペースを入れてください) (教員カナ氏名の一部で検索します)
授業の内容・計画	(授業の内容・計画の一部で検索します)
対象学生	(対象学生の一部で検索します)
登録コード	で始まる ▼
市民開放授業	☐ 対象科目のみ
県内大学履修科目	☐ 対象科目のみ
大学院共通科目	☐ 対象科目のみ
信大コンピテンシー	☐ 対象科目のみ
授業で学べる「テーマ」 (2016年度以降指定可能) ※複数指定の場合はAND条件	☐ 地域運営 ☐ 芸術文化 ☐ 環境共生 ☐ 多文化協働 ☐ 健康長寿 ☐ 防災減災 ☐ キャリア
授業で扱う「志向」 (本学で重点的に育成するマインド) (2016年度以降指定可能) ※複数指定の場合はAND条件	☐ 信州志向 ☐ グローバル ☐ 環境
全学横断特別教育プログラム (2021年度以降指定可能) ※複数指定の場合はOR条件	☐ ローカル・イノベーター養成コース ・グローバルコア人材養成コース・BASIC ☐ 日本理解 ☐ 国際理解 ☐ 国際共修 ☐ グローバルコア人材養成コース・ADVANCED ☐ 環境マインド実践人材養成コース ☐ ストラテジー・デザイン人材養成コース ☐ ライフクリエイター養成コース ・ENGINE教育プログラム ☐ ENGINE ☐ ShinXiaコース
検索	

検索条件を指定(入力)して
検索 ボタンをクリック

「授業名」「教員氏名」
「授業の内容・計画」
「キーワード」内にある
単語から授業を探す方法

自分の知りたい社会課題から
授業を探す方法

全学横断特別教育プログラムの
認定科目を検索する方法

シラバスの見方

シラバスには講義を受ける上で重要な情報が載っています。受講する前に必ず読みましょう。

■(1)授業の達成目標■

この授業を履修することで獲得できる信州大学の「学位授与の方針」や、授業の到達目標が書かれています。

■(2)授業の概要■

「授業の達成目標」を達成するためにどのように授業を進めていくかが書かれています。

■(3)授業のキーワード■

授業の中で重要となる語句が書かれています。

■(4)授業計画■

16週間(授業15週+試験1週)の大きな流れが書かれています。隔週開講の授業や集中講義の場合は、これに該当しない場合もあります。

■(5)成績評価の方法■

成績を評価する際の具体的な方法が書かれています。

■(6)成績評価の基準■

授業の達成目標で設定した目標の到達度をどのような基準で評価判定するかが書かれています。

■(7)事前事後学習の内容■

授業時間外に行う学習内容が書かれています。

■(8)履修上の注意■

この授業を履修していく上で必要となる注意事項が書かれています。受講の前に必ず確認するようにしましょう。

■(9)質問、相談への対応■

担当教員に質問や相談をしたい時には、ここに書かれている方法で連絡をとりましょう。

■【教科書】/【参考書】■

授業で使用する教科書・参考書について書かれています。

シラバス表示		
開講年度	2025年度	登録コード
授業名	統計学の基礎	G1B10005
	Introduction to Statistics	
担当教員		副担当
講義期間	前期	曜日・時限
対象学生	全	授業形態
値大コンピテンシー【説明】	非該当	講義
授業で学べる「テーマ」	その他	
全学横断特別教育プログラム	ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース	
注：「曜日・時限」「講義室」等は変更される場合がありますので、「キャンパス情報システム」や「掲示」等で確認してください。		
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	【授業の達成目標】
(2)授業の概要	統計学の考え方、各種技法について教科書に沿って説明した後、主に教科書に掲載されている例題を用いて(パソコンによるデータ解析ソフトが使用可能なノートパソコンを持参してください。ほぼ毎週課題を課しますが、提出の締め切り、提出時の課題名はその都度異なります。)	
(3)授業のキーワード	記述統計学、推測統計学、理論分布、統計学的検定、帰無仮説、平均値の差の検定、回帰と相関、比の差の検定。	
(4)授業計画	以下のテーマについて講義します。 1) ガイダンス 2) 統計学の必要性と代表値について 3) 変動の指標について 4) 標本平均とは 5) 理論分布と確率 (1) 正規分布 6) 理論分布と確率 (2) t分布 7) 平均値の差の検定 8) 対応のある平均値の差の検定 9) ここまでの確認と中間試験 10) 一要因分散分析 (1) 分散比に基づく F検定 11) 一要因分散分析 (2) 処理平均の比較 12) 二要因分散分析 (1) 要因配置計画 13) 二要因分散分析 (2) 14) 回帰と相関 15) 比の差の検定、授業アンケート (最後の15分で実施) 16) 学期末試験	
(5)成績評価の方法	授業中に課すレポートの内容 (40点、前年度は10回) と中間試験・学期末試験の結果 (60点) によって評価します。欠席は10回以上ある場合は、単位を修得できません。	
(6)成績評価の基準	試験および各回の課題の内容から、授業を通して学んだ統計学の概念について理解しているか、各種統計手法を用いて正しい結果を導き出すことができるかを確認します。 ・代表値と変動の指標、様々な理論分布、変数間の関係を扱う統計手法について理解している (30%)。 ・どのような場合にどのような統計手法を適用できるかを理解している (20%)。 ・様々な場合における平均値の差の検定について理解している (50%)。	
(7)事前事後学習の内容	この講義は2単位科目ですので、60時間以上の時間外学習が必要となります。事前に授業資料をALPSに掲載しますので、必ず事前にダウンロードしてください。	
(8)履修上の注意	各回、授業の前半は講義、後半はコンピュータを用いた統計処理の実習を行います。表計算ソフトの基本的な使い方は説明したレポート作成のために、授業外学習時間の確保が必要です。	
(9)質問、相談への対応	質問・相談には、電子メール・面談により随時、応じます。	
(10)授業への出席	全ての回に出席することを前提とします。授業の欠席は、出席確認システムのみで行いますので、スマートフォン等のQRコード読み取りが可能な端末を持参してください。登録があった場合は、単位を認定しません。	
(11)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請を行います。	
【教科書】	ジョンソン、M.K. & リーバート、R.M., 統計の基礎, ISBN-10: 4781901964, サイエンス社	
【参考書】	特に指定するものではありません。	
【添付ファイル】	なし	

■(10)授業への出席■

授業への出席に関する注意事項が書かれています。受講の前に必ず確認するようにしましょう。

■(11)授業に出席できない場合の学修の補充■

やむを得ず「学修の補充の対象とする事由」で欠席した場合の注意事項が書かれています。「学修の補充の対象とする事由」であっても、補充が難しい場合がありますので、受講の前に必ず確認するようにしましょう。

信州大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

信州大学の理念と教育目標に基づき、学士課程において、次の方針に従って学位を授与します。

1. 各学部教育理念により設定された教育課程において、基準となる単位を修得し、かつ学部が定める審査に合格している。
2. 次に掲げる各項の能力を有している。
 - ① 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力
 - ② 的確に情報を収集し、理解し、発信する力
 - ③ 持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力

* * * * *

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める「資質」、「知識」や「能力」は、授業ならびに課外活動、インターンシップ、ボランティア活動等を通して、みなさんが信州大学を卒業するまでに身に付けておかなければならないものです。

シラバスは、授業ごとに、それらを履修することで身に付けられる「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」の要素を明示しています。

履修計画を作成する際は、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に定める三つの要素を身に付けられるように計画をたててください。

ポータルサイト ACSU・信州大学メール 利用方法

☑まずは学内ネットワークからポータルサイト ACSU に入って準備しよう

- ・ポータルサイト ACSU は、信州大学メールや、キャンパス情報システムなどの入り口です
- ・最初にログインした際、**初期パスワードを変更**します。忘れないようにメモなどしておいてください
 - 「5.初回ログイン時にパスワードを変更する」を参照してください
- ・学外ネットワークからの利用には多要素認証が必要なため**多要素認証の設定**をします
 - ポータルサイト ACSU の「多要素認証システム利用方法」にある手順に従って設定してください

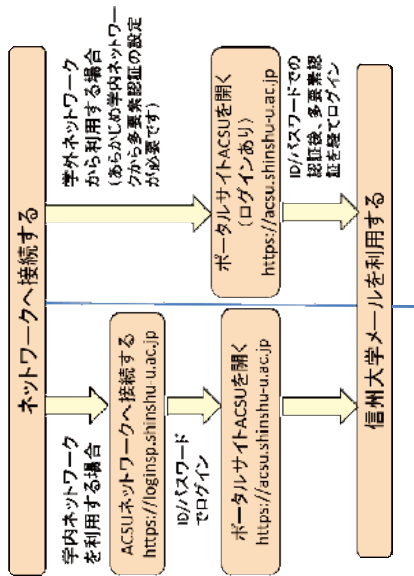
☑信州大学から付与されるメールアドレスを確認しよう

信州大学のメールアドレスは一人に一つ付与されています。

☑信州大学メールの利用方法を確認しよう

大学からの連絡は基本的にこのメールアドレスに送信します。

利用方法



1. ネットワークへ接続する

【学外のネットワークを利用する場合】

自宅からインターネット接続している場合や、スマートフォンのカリヤ回線を利用している場合は、3へ進んでください。

【学内のネットワークを利用する場合】

キャンパス内で利用する学内からインターネットへ接続可能な認証ネットワークを ACSU ネットワークと呼びます。ACSU ネットワークが利用できるアクセスポイントには各学部、図書館、生協等に設置されています。アクセスポイントへの**接続方法は建物によって異なりますので、各建物の窓口にお問い合わせください**(共通教育講義棟での接続は、事項「学内無線 LAN の利用法」参照のこと)。

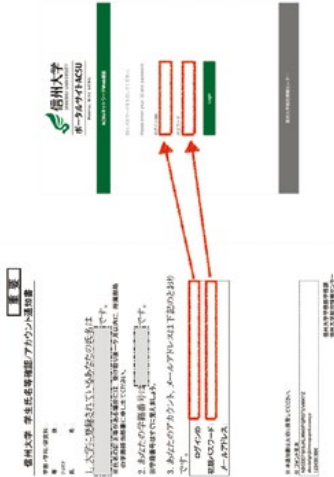
アクセスポイントへの接続ができれば、2へ進んでください。

2. 【学内からのみ実施】ACSU ネットワークへ接続する

学内 (キャンパス内) から、ポータルサイト ACSU、信州大学メールの利用等のためにインターネットへ接続するには、次の手順を実施してください。

- ① ネットワークが利用できる場所でパソコン等をネットワーク (有線・無線) につないでください。無線接続時の SSID は各学務係窓口にお問い合わせください。(例 共通教育: ASAHIPUBLIC-OO (部屋番号), 図書館: Library)
- ② 以下の URL にアクセスしてください。
Web 認証のログイン画面 URL (URL を入力してのブックマークを推奨します)
<https://loginsp.shinshu-u.ac.jp/>
*** この URL には学外からはアクセスできません**

- ③ ログイン画面に、入学時に配布された「**信州大学 学生氏名等確認/ アカウント通知書**」に記載されている ID と



パスワードを入力して「Login」をクリックしてください。

注意: 初期パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

- ④ 初回ログイン時は、ユーザ情報の送信確認のページが表示されますので、「同意」をクリックします。

- ⑤ 「ログインに成功しました。ネットワークを利用できます。」の画面がでましたら、ACSU ネットワーク (インターネット) が利用可能です。

3. ポータルサイト ACSU を開く

以下の URL へ接続します。

■ポータルサイト ACSU

<https://acsu.shinshu-u.ac.jp>

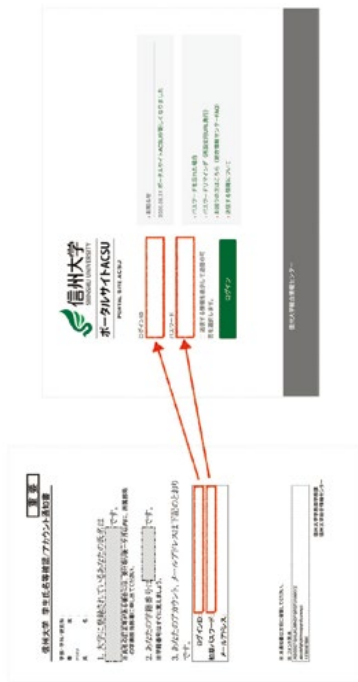


※ ポータルサイト ACSU は、信州大学で学生生活を送る上で頻繁に使用するサイトです。

ブラウザの「ブックマーク」や「お気に入り」に登録しておくことを推奨します。登録の際は上記 URL を手入力してください(「このタブをブックマークする」「このページをお気に入り追加」等の機能は使わずにブックマークマネージャ等で追加して上記 URL を手入力してください)。

(上記「2. [学内からのみ実施] ACSU ネットワークへ接続する」を実施した場合、この画面はスキップされます。)

ログイン画面が表示された場合は、入学時に配布された「信州大学 学生氏名等確認/ アカウント通知書」に記載されている ID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。



※記載されている初期パスワードは使い続けずに、複雑なパスワードにすみやかに変更してください。(後述 5 参照)

※「信州大学 学生氏名等確認/アカウント通知書」は、パスワードを忘れた場合にも必要になります。紛失しないように大切に保管してください。

紛失した場合は、共通教育窓口(2年生以上の学生は所属学部の学務窓口)に学生証を持参の上、再発行を申し出てください。

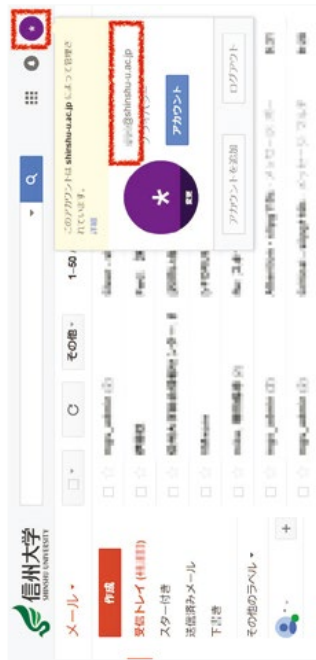
4. 信州大学メールを利用する

信州大学のメールシステムは Gmail を利用しています。



- ① ポータルサイト ACSU メニューの「Gmail@shinshu-u.ac.jp」をクリックしてください。
- ② 信州大学メール (Gmail) の「受信トレイ」画面が表示されます。
- ③ 画面右上のアカウントをクリックすると、メールアドレスが表示されるので、**信州大学のメールアドレス (xxxxxxx@shinshu-u.ac.jp)**であることを確認してください。(もし別の Gmail アドレスが表示されていたら、その下の「ログアウト」をクリックしてログアウトし、①からやり直してください)

大学からの連絡は基本的にこのメールアドレスに送信します。



■ Gmail マニュアル (ポータルサイト ACSU)

ポータルサイト ACSU メニュー「メール」>「Gmail 利用方法@shinshu-u.ac.jp」

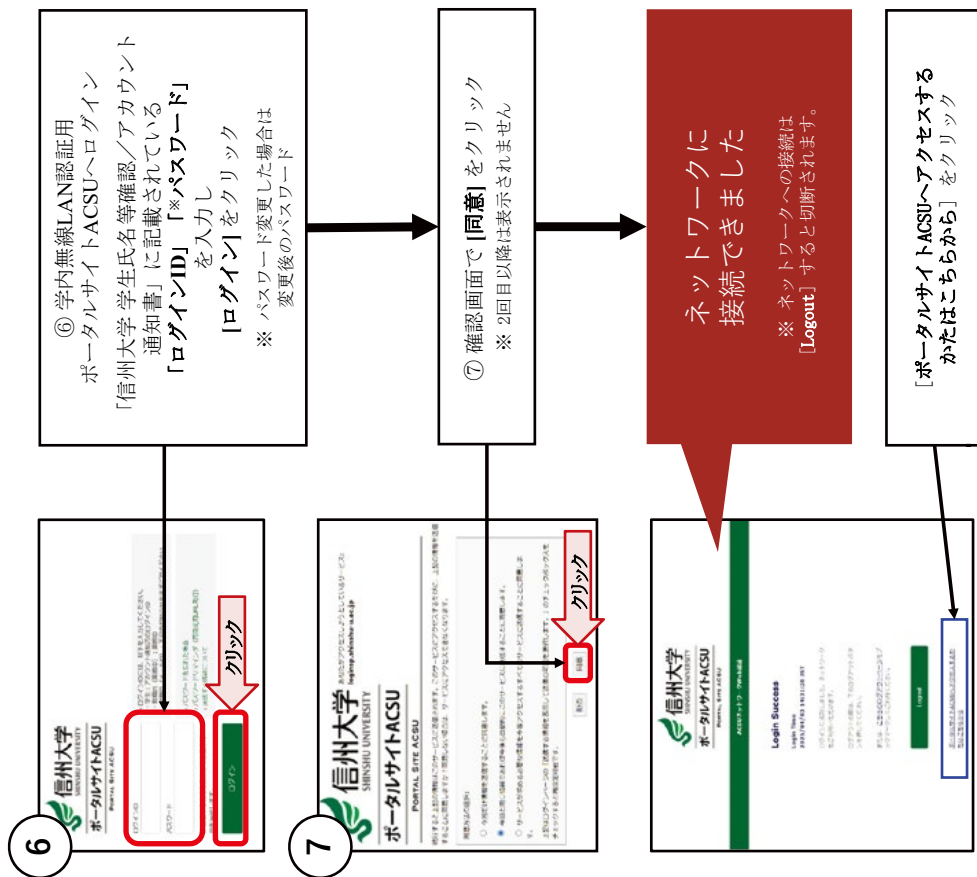
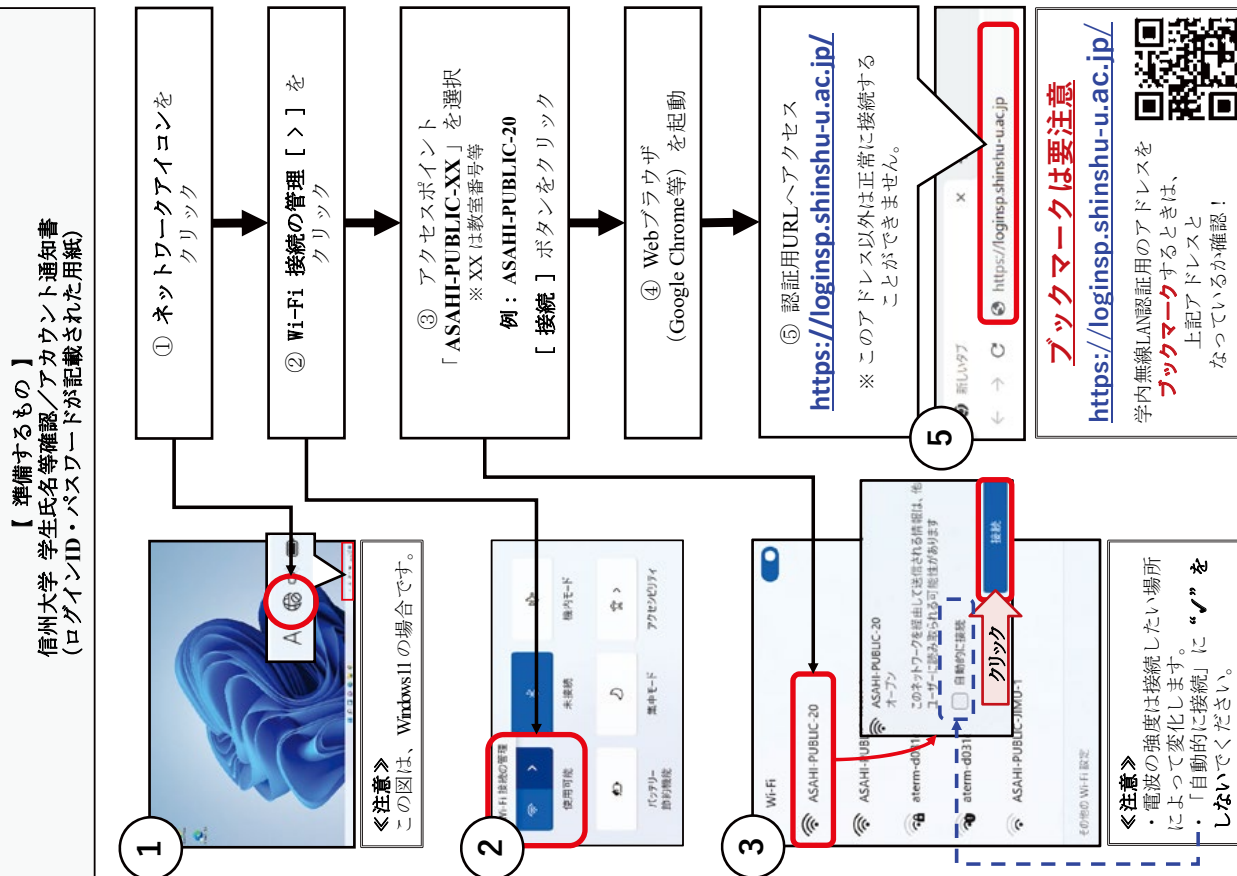
5. 初回ログイン時にパスワードを変更する

初期パスワードを利用し続けることはセキュリティ上とても危険です。ポータルサイト ACSU のパスワードは、複雑なパスワードに速やかに変更してください。

ポータルサイト ACSU 上部メニューから「パスワード変更」をクリックするとパスワード変更ができます。



【全学教育センター】 学内無線LANの利用方法



《正常に接続できなかった場合》
次の点を確認して、①からもう一度やり直してみてください。
・接続しようとしているコンピュータのWi-FiはONの状態になっていますか？
・「ASAHI-PUBLIC-XX」というアクセスポイントに接続していますか？
・アクセスしようとしているURLはマニュアルで示したURL (https://loginsp.shinshu-u.ac.jp/)と同じですか？
・ポータルサイトACSUにログインする際の「ログインID」「パスワード」は間違っていないでしょうか？ (パスワード変更した場合は、変更後のパスワードを入力していますか？)
※ 信州大学提供以外のセキュリティ対策ソフトウェアを利用している場合、ネットワーク接続ができないことがあります。その場合は、各自のセキュリティ対策ソフトウェアの設定画面で、<https://shinshu-u.ac.jp/>へのアクセスができるよう設定してください。

キャンパス情報システムについて

「キャンパス情報システム」は、インターネットが利用できる環境であれば、学内・学外を問わずいつでも使用でき（メンテナンス時間帯を除く）、WEB上で履修登録や成績の確認等、授業に関する手続を行うことができるほか、休講情報や大学からのお知らせ等を閲覧することができます。

（※公用掲示板に掲載される情報が全てキャンパス情報システムに掲載されるわけではありませんので注意してください。）

【重要】システム改修のため、2025年11月にキャンパス情報システムがリニューアルする予定です。新たなシステムの利用方法は改めてお知らせします。

キャンパス情報システムでできること

講義情報の参照	休講
	補講
	時間割・講義室等変更
	集中講義日程
	授業に関する情報
履修・成績関係	履修登録
	履修確認
	授業時間割表印刷
	出席状況の確認
	成績確認
	成績通知書印刷
	ディプロマ・サプリメント
	授業アンケート
学生生活情報の参照	シラバス参照
	授業料免除・奨学金申請情報
	授業料免除・奨学金連絡事項
お知らせの参照	健康診断結果
	大学からのお知らせ
	アルバイト情報
就職関連情報の参照	イベント・セミナー情報
	求人情報検索
	会社説明会情報検索
	企業情報検索
	インターンシップ情報検索
	合同企業説明会・就職セミナー情報
ユーザー情報	公務員関係・資格試験・各種イベント・その他情報
	登録情報確認・修正

利用方法

最初に利用する場合はユーザー登録が必要です。詳細については、次ページ以降を参照してください。

各項目の利用方法は、キャンパス情報システムトップページのメニュー「操作手引」のページに掲載されている操作手引書を参照してください。

キャンパス情報システム ユーザー登録の方法（学部生用）

キャンパス情報システムを利用するためには、まずユーザー登録が必要です。以下の手順でユーザー登録を行わないと、履修登録等が行えませんので、必ず時間に余裕をもってユーザー登録を行ってください。

1. キャンパス情報システムへの接続方法

あなたのパソコンやスマートフォン、演習室等のパソコンでネットワークに接続する場合は、ACSU（握手）から信州大学のネットワークに接続します。ACSU のログイン ID とパスワードは「信州大学学生氏名等確認/アカウント通知書」で確認してください。ログインした後、メニューからキャンパス情報システムに接続できます。シラバス参照・eALPS も ACSU から利用できます。自分のパソコンの「お気に入り」に登録しておきましょう。

◆ACSU ホームページ URL

<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/>

ポータルサイト ACSU

ホーム パスワード変更 パスワードリマインダ設定 パスワードリ

シラバス・キャンパス情報・出席確認

シラバス キャンパス情報システム

2. キャンパス情報システムのユーザー登録方法

(1) キャンパス情報システムに初めてログインすると、右の「キャンパス情報システム利用者登録」画面が開きます。

学部・学科、氏名、学籍番号の記載内容に間違いがないか確認し、ローマ字氏名、現住所、電話番号の情報を入力してください。

現住所については、郵便番号欄横の「番号検索」ボタンを押すと、画面が別を開いて郵便番号検索画面が表示されます。該当の地名をクリックすると、その郵便番号と住所を元の画面の「郵便番号」、「都道府県」、「市町村等」の入力欄にコピーできます。

各項目の入力を終了したら、画面下部にある「確認」ボタンを押してください。

キャンパス情報システム利用者登録

キャンパス情報システムを利用するには、初めに、あなたの学籍情報を登録する必要があります。
登録された情報は、プライバシーポリシーに基づいて利用します。
本登録後に内容を変更する必要がある場合には、必ず、変更を行ってください。
詳しくは、共通教育履修案内をご参照ください。

【学籍情報】

学部名	学部	学科(課程・系)	学科
氏名	学籍番号		

【ローマ字氏名】

姓	
名	

・日本人学生は、姓を「全て大文字」、名は「1文字目を大文字、2文字目を小文字」で入力してください。【例（佐藤太郎の場合）：SHINSHU Taro】
・外国人学生は、パスポート又は在留カードの英字氏名を記入してください。
・英文証明書等に使用しますので正確に登録してください。

【メールアドレス】

大学(ACSU) [学籍番号]@shinshu-u.ac.jp

【現住所】

郵便番号 [郵便番号] 番号検索

都道府県 [都道府県] 市町村等 [市町村等] 番地以降 [番地以降]

電話番号 [携帯番号] [固定番号] ※3桁-4桁-4桁

確認

(2) 右のように入力内容確認画面が表示されますので、入力内容の確認を行ってください。(この段階では、まだ入力内容の確定はされていません。)

入力内容が正しければ、「登録」ボタンを、訂正する場合には、「入力に戻る」ボタンを押してください。

※入力内容に問題があると、エラーメッセージが表示されますので、入力内容の訂正、または不足項目の入力をしてください。

キャンパス情報システム利用者登録

まだ登録は完了していません。
内容を確認し、間違いがなければ最下部にある[登録]ボタンを押して下さい。

【学籍情報】

学部名	学部	学科(課程・系)	学科
氏 名		学籍番号	

【ローマ字氏名】

姓	
名	

【メールアドレス】

大学(ACSU)	@shinshu-u.ac.jp
----------	------------------

【現住所】

郵便番号	
都道府県	
住 所	市町村等
	番地以降
電話番号	

登 録

入力に戻る

(3) ユーザー登録が完了すると、右の画面が表示され、大学(ACSU)のメールアドレスあてに、確認用のメールをお送りします。

キャンパス情報システム利用者登録

登録が完了しました。

大学(ACSU)のメールアドレス(16f9999f@shinshu-u.ac.jp)に確認用のメールを送信しました。
そのメールに書かれているアドレスにアクセスすると、キャンパス情報システムが利用可能になります。

学籍情報は担当者が確認してから登録しますので、変更が反映されるまで数日かかる場合があります。
登録が完了しましたらメールでご連絡します。

[キャンパス情報システムトップへ](#)

件名：キャンパス情報システム利用者登録受付のお知らせ
本文：キャンパス情報システム利用者登録を受け付けました。

下記アドレスにアクセスすることにより、キャンパス情報システムが利用可能になります。
<http://campus.shinshu-u.ac.jp/CampusWebJunc.dll/confmail?ID=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx>

●登録内容

.....

このメールに心当たりのない場合は各学部窓口までお問い合わせ下さい。

(4) 確認用のメールに記載された URL にアクセスすると以下の画面が表示され、キャンパス情報システムが利用可能になります。引き続きキャンパス情報システムを利用する場合は、この画面に記載された「ACSU トップページへ」のリンクをクリックして ACSU に再度ログインし、メニューからキャンパス情報システムを選択してください。

メールアドレスを確認しました

14M1234F 学生氏名 信太 太郎 さん
登録されたメールアドレスを確認しました。
[ACSUトップページへ](#)

付
録

3. その他利用上の注意事項

●自分の登録内容の確認・変更をしたい

- ⇒メニューの「ユーザー情報」→「登録情報確認・修正」から、自分の登録情報を確認できます。現住所、帰省先・緊急連絡先（１）、緊急連絡先（２）については登録情報の変更もできます。（保証人（父母等）の情報は確認のみで変更はできません。変更する場合は学務窓口で手続きしてください。）**学部新入生の保証人（父母等）、帰省先・緊急連絡先（１）、緊急連絡先（２）に関する情報の確認・修正は５月下旬頃から可能になります。**
- ・登録情報の変更を行った場合は、変更受付メールが届きます。（※担当者が確認してから登録するため、変更が反映されるまで数日かかる場合があります。）
 - ・前期と後期に初めてログインする時には、登録情報（現住所、保証人（父母等）、帰省先・緊急連絡先（１）、緊急連絡先（２））の確認画面が表示されます。変更があった場合は変更項目の入力（保証人の場合は窓口で手続）をしてください。

※ 登録情報に変更があった場合には、“必ず”変更の登録をしてください。

電話番号については、変更を怠ると大学からの至急・重要な連絡が受け取れなくなってしまいます。

保証人（父母等）、帰省先・緊急連絡先（１）、緊急連絡先（２）に関する情報についても、登録情報に変更があった場合には、必ず変更の登録（保証人の場合は窓口で手続）をしてください。

●ACSUの「パスワード」または「多要素パスワード」を忘れた

学生証を持参し「共通教育窓口」または「学部学務担当係」窓口で「パスワード」または「多要素パスワード」初期化の依頼をしてください（電話やメールでは受け付けません）。**「パスワード」と「多要素パスワード」は両方セットで初期化します（片方だけの初期化はできません）。**

入学時に配付された初期のパスワードを知りたい場合は、学生証を持参し「共通教育窓口」または「学部学務担当係」窓口で確認してください。電話やメールでは受け付けません。

●大学（ACSU）のメールを他のメールアドレスに転送したい

⇒信州大学情報基盤センターのHPの「信州大学メール」→「Gmail 転送設定」を参照してください。

●キャンパス情報システムについての不明な点は以下に照会してください。

窓口：共通教育窓口（１年生・医学科２年生） または 各学部学務担当係（２年生以上・大学院生）

電話：学務課 （0263）37-2426

「ディプロマ・サプリメント」について

1. 「ディプロマ・サプリメント」とは

「ディプロマ・サプリメント」とは、「どのような能力を身に付けたのか（学修成果）」を確認できるようにするために、単位を修得した各授業科目の「授業の達成目標」（当該授業科目のシラバスに記載されていたもの）と、大学、学部・学科等が定めている「学位授与の方針」の関係性を示した資料です。「ディプロマ・サプリメント」の導入のねらいは、学生が自らの学修成果を適切に把握して主体的に学びを深めていくことです。（令和5年度以降に入学した学部学生が対象です。）

※サンプル

ディプロマ・サプリメント

学籍番号： 氏名： 信州 太郎
所 属： 教育学部 学校教育教員養成課程 現代教育コース
入学年度： 2023 年次： 1

信州大学の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）（大学DP）

- ① 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力
- ② 的確に情報を収集し、理解し、発信する力
- ③ 持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力

学位に即した学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）（学位DP）

- ① 教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観
- ② 教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能
- ③ 他者と協働して教育活動をつくる社会的スキル
- ④ 理論と実践を往還する省察と改善の態度

学修内容：単位を取得した授業の「授業の達成目標」
【共通教育科目】

授業科目	授業の達成目標	①	②	③
学術リテラシー	・大学での学びを充実させるための読解力や記述力を身につけ、学術的な探究ができるようになる。 ・協働で学ぶことを通して、他者とのコミュニケーションがとれるようになる。 ・新聞や本などを読むことを通して教養を深め、ICTなどを活用して適切に情報を収集し、整理分析・表現する情報活用能力を身につける。		○	
データサイエンスリテラシー【EA】	データサイエンスの見方に沿って情報を捉えることができる。モデルカリキュラム「基礎」において、データの関心の中に代表値や分散など統計量を認識する。	○		

【専門科目】

授業科目	授業の達成目標	①	②	③	④
音楽基礎A	音楽教育に関わる深い教養を身に付けるとともに、教育者としての使命感や倫理観を高めることができるようになる。 小学校音楽科における音楽表現の基礎となる専門的知識および読譜の基礎的な技能を習得することができるようになる。	○	○		
教職・カリキュラム論A	教師としての自覚を深め、他者と協働しつつ教育経験を省察し、よりよい実践を行うことができるようになる。 教職ポートフォリオ（履修カルテ）の作成を通して、自己の課題を明確化できる。 発達・教育心理学に関する基礎的な知識を得て、自律的に考え、教育活動に応用する力をつけることにより、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。	○	○	○	○

2. 確認方法

キャンパス情報システムで閲覧することができます。

また、3年次以降は、「成績証明書」等と同様に、証明書自動発行機で発行できるようになりますので、就職活動等に活用することができます。（証明書自動発行機で発行可能となる時期については、改めてお知らせします。）

キャンパス情報システム

- ・ [トップページ](#)
- ・ [ログアウト](#)
- ◆ [講義情報](#)
- ・ [休講情報](#)
- ・ [補講情報](#)
- ・ [時間割・講義室等変更情報](#)
- ・ [集中講義日程情報](#)
- ・ [授業に関する情報](#)
- ◆ [履修・成績](#)
- ・ [シラバス](#)
- ・ [履修・成績](#)
- ・ [授業アンケート](#)

キャンパス情報システム

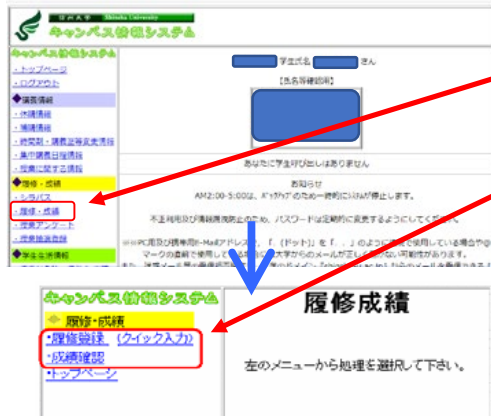
- ◆ [履修・成績](#)
- ・ [授業時間割表\(掲載表\)印刷](#)
- ・ [履修確認](#)
- ・ [成績確認](#)
- ◆ [ディプロマ・サプリメント](#)
- ・ [ディプロマ・サプリメント](#)
- ◆ [成績評価分布](#)
- ・ [成績評価分布検索](#)
- ・ [トップページ](#)



「Web による履修登録・成績確認」操作手引書

履修登録を行う前に、キャンパス情報システムにユーザー登録してください。
締め切り間際はアクセスが集中し、処理時間がかかることが予想されますので、余裕を持って登録してください。履修登録は、学内のパソコン・学外(自宅等)のパソコンの外、スマートフォンからも行えます。(一部の機種を除く。)

パソコンのブラウザ(Google Chrome を推奨)により、ACSUから、キャンパス情報システムに接続してください。(ACSU の URL: <https://acsu.shinshu-u.ac.jp/>)



メニュー「◆履修・成績」から「履修・成績」を選択

履修・成績メニューから「履修登録」を選択。
※登録する授業のコードが全てわかっている場合は「(クイック入力)」で登録できます。

履修確認期間ではメニューが「履修確認」になり、履修登録内容の確認・修正ができます。
確認期間終了後は修正できません。

※成績の確認や「成績通知書」を印刷したい場合は「成績確認」を選択。

注意 30分間サーバーにアクセスがないと自動的にログオフ(切り離し)されます。入力途中のデータは保存されませんので、注意してください。

▼履修登録・修正

履修登録

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 -- 登録単位数 0 修得単位確認

曜日	時限	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ	取消
月	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
月	1						
	2						

当該曜日・時限のコード欄にコードを入力します

コードがわからない場合は当該曜日・時限欄の「 (検索)」をクリック

授業検索

曜日・時限 月曜日 1時限

授業名 (授業名の一部で検索します)

教員名 (教員名の一部で検索します)

開講部局 ☐ 高等教育システムセンター ☐ 人文文学部 ☐ 教育学部 ☐ 経済学部 ☐ 理学部 ☐ 医学部 ☐ 工学部 ☐ 農学部 ☐ 歯学部 ☐ 大学院

開講場所 ☐ 高等教育システムセンター ☐ 人文文学部 ☐ 教育学部 ☐ 経済学部 ☐ 理学部 ☐ 医学部 ☐ 工学部 ☐ 農学部 ☐ 歯学部 ☐ 大学院

決定

コード 授業名 教員名 曜日・時限 開講部局 開講場所 講義期間 単位

検索条件を設定し「検索」をクリック

※設定せずにそのまま「検索」をクリックすると、当該曜日・時限の授業全てを表示します。

履修登録

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 -- 登録単位数 2 修得単位確認

曜日	時限	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ	取消
月	1	01523	社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	2		
	2						
	3						
	4						
	5						

授業検索

曜日・時限 月曜日 1時限

授業名 (授業名の一部で検索します)

教員名 (教員名の一部で検索します)

開講部局 ☐ 高等教育システムセンター ☐ 人文文学部 ☐ 教育学部 ☐ 経済学部 ☐ 理学部 ☐ 医学部 ☐ 工学部 ☐ 農学部 ☐ 歯学部 ☐ 大学院

開講場所 ☐ 高等教育システムセンター ☐ 人文文学部 ☐ 教育学部 ☐ 経済学部 ☐ 理学部 ☐ 医学部 ☐ 工学部 ☐ 農学部 ☐ 歯学部 ☐ 大学院

決定

コード	授業名	教員名	曜日・時	開講部局	開講場所	講義期間	単位
01523	社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	月・1	共通	共通	後期	2
02046	国際法入門ゼミ	菅野 正治	月・1	共通	共通	後期	2
02041	初級統計学	渡邊 勉	月・1	共通	共通	後期	2
02030	情報科学の基礎	渡邊 勉	月・1	共通	共通	後期	2
01240	英語Ⅰ(A)	渡邊 勉	月・1	共通	共通	後期	1

登録したい授業先頭の「決定」をクリック

※ 前期前半・前期後半等の同一時間帯に行われる授業の登録は、当該曜日時限と「その他」に登録してください。
週2コマ開設される授業や、前・後期で時限の異なる通年授業は、いずれか1時限分のみを登録してください。
なお、確認画面の表示は、入力とは別表示になりますのでご注意ください。

履修登録

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ	取消
月	1	01503	社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	2		☐
	2	01295	国際関係論ゼミ	坂井 哲	2		☐
	3	05223	社会の情報化と生活	小林 亮	2		☐
金	1	L1512	文化人類学概論	佐々木 明	2		☐
	2	03367	墨の生と死のしめみ	中島 弘	2		☐
	3						☐
その他	4						☐
	5						☐
	6						☐
	7						☐
	8						☐
	9						☐
	10						☐

登録内容に間違いがないことを確認して「登録」ボタンを押してください。

全て入力し終わったら「確認」をクリック

履修登録確認

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ
月	1	01503	社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	2	
	2	01295	国際関係論ゼミ	坂井 哲	2	
	3	05223	社会の情報化と生活	小林 亮	2	
金	1	L1512	文化人類学概論	佐々木 明	2	
	2	03367	墨の生と死のしめみ	中島 弘	2	
	3					
その他	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

登録内容に間違いがないことを確認して「登録」ボタンを押してください。

内容を確認し「登録」をクリック

履修登録

登録しました。

[履修・成績メニューに戻る](#)

この画面を必ず
確認すること

※以下同じ

入力された授業が
登録されます

▼登録した授業を取り消す

履修登録

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ	取消
月	1	01503	社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	2		☐
	2	01295	国際関係論ゼミ	坂井 哲	2		☐
	3	05223	社会の情報化と生活	小林 亮	2		☐
金	1	L1512	文化人類学概論	佐々木 明	2		☐
	2	03367	墨の生と死のしめみ	中島 弘	2		☐
	3						☐
その他	4						☐
	5						☐
	6						☐
	7						☐
	8						☐
	9						☐
	10						☐

登録内容に間違いがないことを確認して「登録」ボタンを押してください。

取り消す授業の「コード」を消去するか
もしくは、「取消」にチェックし
「確認」をクリック

履修登録確認

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 17

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ
月	1					
	2	01295	国際関係論ゼミ	坂井 哲	2	
	3	05223	社会の情報化と生活	小林 亮	2	
金	1	L1512	文化人類学概論	佐々木 明	2	
	2	03367	墨の生と死のしめみ	中島 弘	2	
	3					
その他	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

登録内容に間違いがないことを確認して「登録」ボタンを押してください。

取り消した授業の空欄を確認し、
「登録」をクリック

履修登録

登録しました。

[履修・成績メニューに戻る](#)

登録した授業が
取り消されます

▼登録コードがすべてわかっている場合

メニューで「(クイック入力)」を選択

履修登録 (クイック入力)

学籍番号 9999999X 氏名 佐川 太郎 所属 人文学部

ここでは履修登録のみが行えます。申込・削除を行う場合は通常の画面で行ってください。
入力時にコードを入力して「確認」ボタンを押してください。

※キャンパス情報システムを利用した履修登録の対象となっている授業については登録できません※

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ
月	1					
	2					
	3					
金	1					
	2					
	3					
その他	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

登録内容に間違いがないことを確認して「確認」ボタンを押してください。

授業時間割表でコードを確認しながら、
登録したい授業の「コード」をすべて
入力し「確認」をクリック

履修登録確認

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラーメッセージ
月	1	02061	初期仏教思想ゼミ	坂部 明	2	
	2	01295	国際関係論ゼミ	坂井 哲	2	
	3	05223	社会の情報化と生活	小林 亮	2	
金	1	L1512	文化人類学概論	佐々木 明	2	
	2	03367	墨の生と死のしめみ	中島 弘	2	
	3					
その他	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

登録内容に間違いがないことを確認して「登録」ボタンを押してください。

内容を確認し「登録」をクリック

履修登録

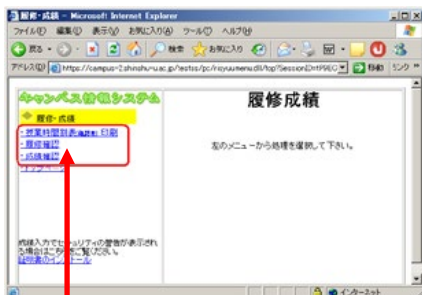
登録しました。

[履修・成績メニューに戻る](#)

入力された授業が
登録されます

付
録

▼履修の確認



メニューから「履修確認」を選択



「印刷」をクリック(操作は以下の印刷処理と同じ)

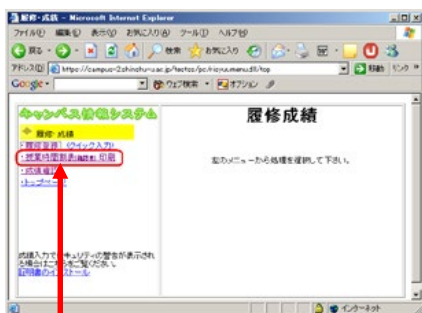
登録されている授業が
画面で確認できます

「修得単位数」をクリック

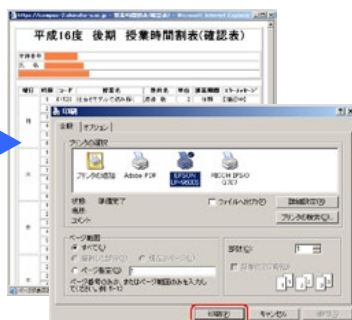


登録・修得単位数が
画面で確認できます

▼授業時間割表の印刷



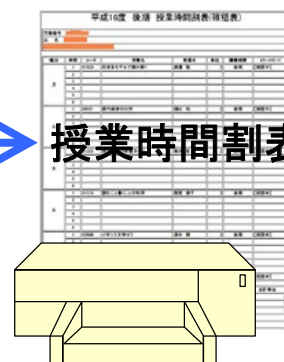
メニューから「授業時間割表
(確認票)印刷」を選択



「印刷」をクリック

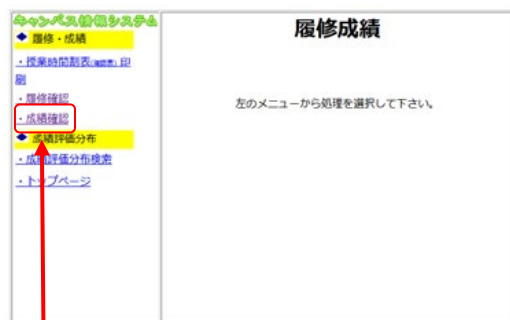
※「キャンセル」で印刷を中止

授業時間割表

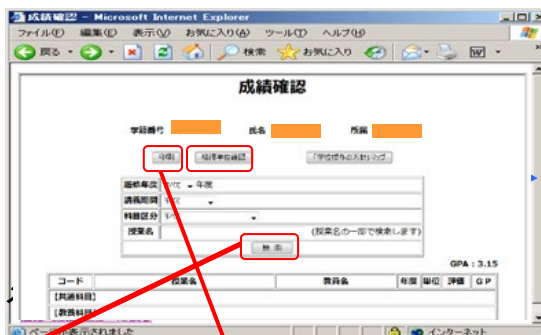


※登録期間中に出力すると【確認中】
と表示されます。

▼成績の確認



メニューから「成績確認」を選択



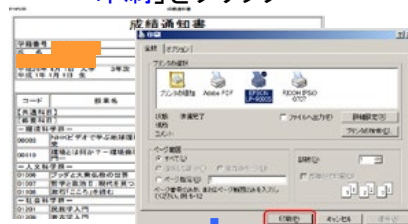
「印刷」をクリック

検索条件を設定し「検索」をクリック

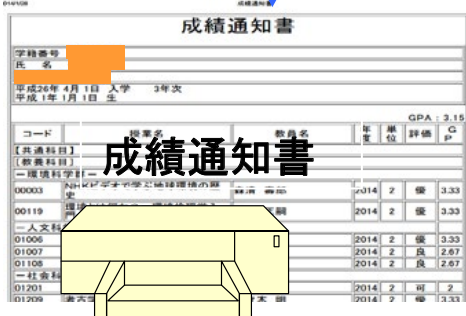


成績が画面で確認できます。

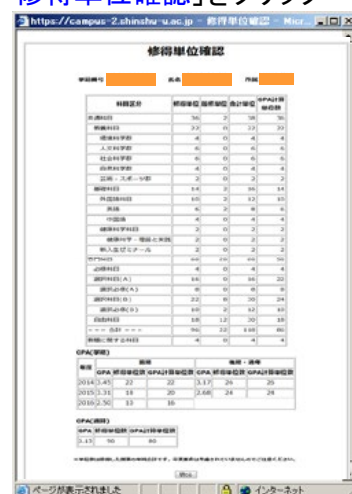
※「履修中」と表示される科目はまだ成績処理が終了していない科目です。



「印刷」をクリック ※「キャンセル」で中止



「修得単位確認」をクリック



修得単位が画面で確認できます。
※卒業要件は加味されていない
ので注意してください。

※ 成績処理が終了しないと成績を確認することができません。成績開示日は共通教育及び学部ごとに異なりますので、便覧・掲示等により確認してください。成績通知書は証明書発行機からも出力できます。

履修登録・成績確認についての質問及び問い合わせ先（なるべく直接窓口においでください）

○学部1年次生・医学科2年次生

共通教育窓口

TEL:0263-37-2976, 0263-37-2867

○高年次生・大学院生

各学部(研究科)学務係

○キャンパス情報システム全般に関して

学務課

TEL:0263-37-2426

共通教育科目(体育以外) 履修抽選登録方法

基盤系(統計・科学史・現代社会論)および教養系の履修抽選システムエントリー方法です。
エントリー可能な期間は52,53頁を参照してください。

【 エントリー方法 】

①キャンパス情報システムにログインし、そのメニューの中の「**授業抽選登録**」を選択する。

②以下の画面の「**2. 共通教育科目(体育以外)**」を選択する。

履修抽選登録
1. スポーツ実習(キャンパス・アウトドア)
2. 共通教育科目(体育以外)
キャンパス情報システムへ

③現在履修抽選システムに登録されている授業名が表示されますので、履修希望する授業名をクリックする。

履修抽選登録								
共通教育科目(体育以外)								
応募中	授業名(副題)	担当教員	開講学期	曜日・時限	締め切り	募集定員	現時点の応募者数	コメント・お知らせ
	映像・人類学	分藤 大翼	前期	木 2	02/26 23:59	100	0	※応募には指定のパスワードが必要です。
	熱帯雨林と社会	金澤 謙太郎	前期	月 5	02/26 23:59	100	0	※応募には指定のパスワードが必要です。
Topページへ								

④「**応募**」をクリックする。

※一部の授業では、エントリーに必要なパスワードを設定しています。パスワードは初回授業(非同期型オンラインおよび二部制)においてお知らせします。

履修抽選登録						
共通教育科目(体育以外)						
応募確認						
授業名(副題)	担当教員	開講学期	曜日・時限	締め切り	募集定員	コメント・お知らせ
熱帯雨林と社会	金澤 謙太郎	前期	月 5	2021/02/26	100	
エントリー用パスワード						
応募						
Topページへ						

⑤次の「受付完了」画面が表示されれば、エントリー完了です。

共通教育科目（体育以外）						
応募完了						
以下の内容で申し込みいたしました。						
締切り後に結果がメールされるまでお待ちください。						
授業名（副題）	担当教員	開講学期	曜日・時限	締め切り	募集定員	コメント・お知らせ
熱帯雨林と社会	金澤 謙太郎	前期	月 5	2021/02/26	100	
Topページへ						

⑥抽選結果については、結果発表日（5 2～5 3 頁参照）に、4 / 3（木）に配付された「信州大学 学生氏名等確認／アカウント通知書」に記載のメールアドレス宛に結果メールが送信され、当選した学生は、自動的に履修登録されます。万が一メールが届かない場合は、履修登録確認画面を開いて、履修登録されていれば、当選したことになります。

各曜日のエントリー締切前に限り、応募の取消が可能です。
 上記履修抽選に応募し、抽選に当たった場合は必ず履修すること。
 勝手な理由での履修放棄・変更は認められません。
 必修授業との重複等がないよう、自分の履修計画を十分検討・確認した上で応募すること。

※応募を取消する場合は、以下の画面で授業名をクリックして、「取消」をクリックする。（締切前に限る）

履修抽選登録							
共通教育科目（体育以外）							
応募中	授業題目	担当教員	開講学期	曜日・時限	締め切り	募集定員	コメント・お知らせ
☐	生活の中の科学	村上 好成	後期	月3	08/29	2	テスト用ですので、登録をしないでください。 ※応募には指定のパスワードが必要です。
Topページへ							

応募確認							
以下の題目の応募を取消します。							
授業	担当教員	開講学期	曜日・時限	締め切り	募集定員	コメント・お知らせ	
生活の中の科学	村上 好成	後期	月3	08/29	2	テスト用ですので、登録をしないでください。	
取消							
Topページへ戻る							

「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」 のエントリー方法と抽選システム

2025 年度版

1. はじめに

「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」は、定員内に受講生をおさめるために、事前に入エントリーし、抽選を行います。このマニュアルは、そのエントリー方法について示してあります。「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」を履修希望の学生は、マニュアルに従ってエントリー期間中に必ずエントリーしてください。

※eALPS 上に、オンラインガイダンス(動画)を掲載します。履修を希望する学生は、必ず視聴してください。

2. 全体の流れ

- エントリー期間■
4月3日(木)～4月8日(火) 15:00〜16:00 抽選は4月8日(火) 16:00以降>
- エントリー方法■
上記期間にパソコン又はスマートフォンからキャンパス情報システムにログインし、履修希望種目にエントリーしてください。
- ※前期・後期の全種目について抽選を行います。後期種目の履修希望者も、上記期間中に必ずエントリーしてください。
- ※履修可能な種目に、最低でも3種目以上エントリーするようにしてください。(5種目までエントリーできます)
- 抽 選 方 法■
コンピューターによって自動的に抽選が行われ、結果はメール送信されます。
- ※「信州大学 学生氏名等確認/アカウント通知書」に記載のメールアドレス宛に結果が送信されます。
- 履 修 登 録■
抽選によって履修が認められた場合、自動的にキャンパス情報システムに履修登録されますので、自分で登録することはありません。履修を認められた種目がキャンパス情報システムに登録済であることを、必ず自分で確認してください。

- 注 意■
①前期・後期の時間割を立案して、希望種目にエントリーしてください。必修授業と重複しないよう、種目を選択してください。
- ②各種目の必要経費や集中講義日程について、シラバスに記載がありますので、エントリー前に必ずシラバスを確認してください。
- ③抽選に当たった種目は必ず履修してください。取消は原則認められません。当選した種目を取消した場合、当該年度の「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の履修を認めません。
- ④高年次生のうち、すでに「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の単位を修得している学生は、エントリーすることはできません。履修を希望する場合は、追加募集に応募してください。この場合の募集は、公開掲示板でお知らせします。
- そ の 他■
・原則として、前期・後期を通じて、1種目履修することができます。
- ・「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」が必修である教育学部生については、一定の優先枠が設けられています。
- ・人文・理・工・農・繊維学部生のうち、教員免許取得希望者は「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」が必修となります。詳細については、教職ガイダンスでお知らせします。
- ・平成23年度から平成26年度まで開講されていた「スポーツ実践演習」、平成27年度から令和元年度まで開講され

ていた「体育・スポーツ群」は「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」を読み替えることになりました。従って、「スポーツ実践演習」「体育スポーツ群」の修得を希望する学生は、「キャンパススポーツ実習」又は「アウトドアスポーツ実習」を履修してください。

3. 募集定員

募集定員は、原則として「**キャンパススポーツ実習**」は30名、「**アウトドアスポーツ実習**」は教員一人当たり15名となっています。しかし種目によって多少異なりますので、各シラバスを確認してください。

4. エントリー方法

※図に表示されている種目・時間割コードは実際と異なります。

(1) キャンパス情報システムから抽選システムに移動し、エントリーする

ACSU にログインしキャンパス情報システムを選びます (「2025 共通教育履修案内付録 p221」参照)。そのメニューの中の「授業抽選登録」を選ぶと下記の画面が現れます (図1)。そして「1. スポーツ実習 (キャンパス・アウトドア)」を選ぶと、登録画面が現れます。この段階では何も登録されていません。エントリーする順位の授業の希望順位欄のプルダウンメニューより選択します。第1希望とその他の入力が終わったら、「応募リストへ」ボタンを押してください (図2)。

注意：最低でも3種目以上エントリーしないと次の画面に進めません。

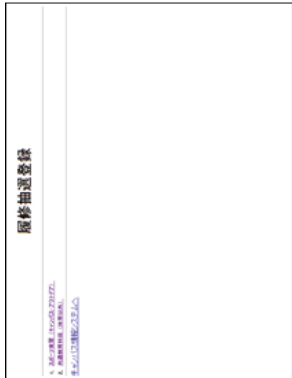


図 1

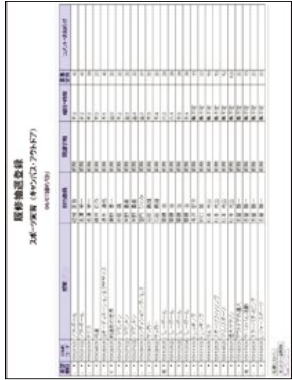


図 2

応募確認画面に希望した授業、開講学期、曜日、時限等が表示されます。また、教員免許取得希望者は□にチェックを入れてください。間違いがなければ**応募ボタン**を押してください (図3)。受付完了画面が現れ、エントリーはこれで終了です (図4)。

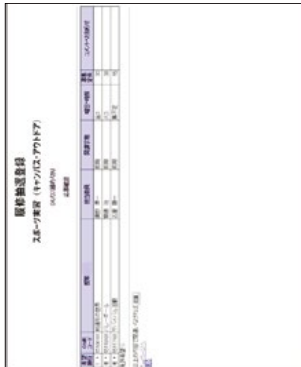


図 3

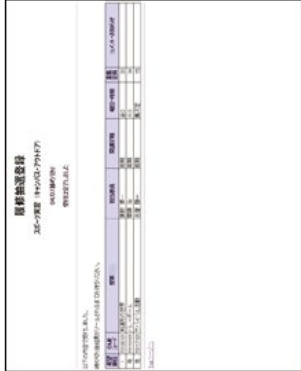


図 4

(2) エントリー後の修正

エントリーした後に間違いや、変更がある場合は、基本的に新規に登録するときと同じ方法です。図 1 の抽選登録画面から「1. スポーツ実習（キャンパス・アウトドア）」を選ぶと既にエントリー済みの場合は希望順位が表示された授業の一覧が出てきます（図 5）。そこで修正したい授業の希望順位を変更します。修正が終わったら、「応募リストへ」ボタンを押します。間違いがなければ**応募ボタン**を押してください。受付完了画面が現れ、エントリー後の修正は終了です。

なお、エントリー自体全て削除する場合は、図 5・6 でエントリー全削除ボタンを押してください。

図 5

図 6

【注意】

エントリーして抽選に当たった場合は、必ず履修してください。自己都合での履修取消・変更は、認められません。

当選した授業を取消した場合、当該年度の「キャンパススポーツ実習」・「アウトドアスポーツ実習」の履修を認めません。

必修授業との重複がないよう、自分の履修計画を十分検討し、シラバスで費用や日程等をよく確認した上で、エントリーしてください。

eALPS(信州大学共通教育基盤システム)利用の手引

eALPSで授業コースを利用するには
キャンパス情報システムから履修登録をする必要があります

1. eALPSへのアクセス

eALPSへアクセスするには、インターネットに接続できる
パソコンからWebブラウザを利用し
ポータルサイトACSU

<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/>

へログインする必要があります。

ポータルサイトACSUにログイン後、画面上部「クイックリ
ンク」のメニューに表示される【eALPS】をクリックします。



図1 ポータルサイトACSU ログイン後のメニュー画面

2. eALPS時間割利用方法

eALPSへアクセスすると、eALPS時間割に、各自履修登録をしている授業名が表示されます。eALPS時間
割に表示されている授業名をクリックすると、その授業コースを利用することができます。

eALPS時間割の詳細については、下の図2を参照してください。

【年度選択】
過去のコースを閲覧する時は
年度を選択します

【e-Learning センターからのお知らせ】
重要なお知らせが掲載されます。必ず確認してください

【開講期間】【学部リスト】
時間割に表示されない科目の確認は
こちらのボタンから行います
(次ページ以降の説明に従ってください)

【お問い合わせ】【サポート】
メールでe-Learning センターに問い合わせ
eALPSサポートサイトへのリンク

【授業名】
履修登録をした授業名が表示されます

【各種アクセスリンク】
各授業に関するアンケート等への
アクセスリンクが表示されます

【コース情報】
開講時期・時間割コード・担当教員等
コース情報が表示されます

【集中・不定】【ガイダンス・その他】
開講時期が“集中-不定期”の授業や
シラバスにないガイダンス用コース等は
時間割表欄外に表示されます

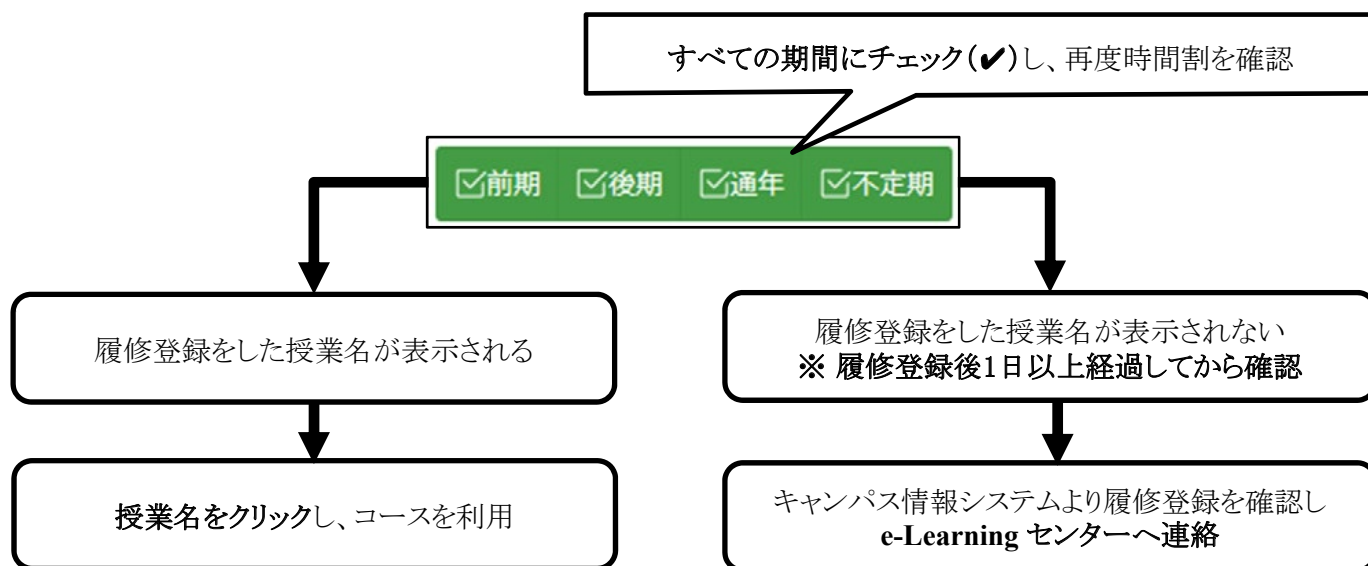
図2 各自のeALPS時間割画面

※ 時間割に授業名が表示され、授業コースを利用するには、キャンパス情報システムに履修登録をしてから **1日程度かかります**。
※ eALPS時間割は、キャンパス情報システムの時間割とは表記が異なります。

3. eALPS時間割 期間表示の変更方法

履修登録をしている授業名がeALPS時間割に表示されない場合は、表示期間を変更します。

※ 時間割欄外〔集中・不定〕の欄〕に表示される科目があります。そちらも確認してください。



4. eALPS時間割に表示されない授業コースの検索と利用方法

ゲスト公開や自己登録等のコース(履修登録なしに利用できるコース)を利用したい場合は、以下の手順でコースの検索を行い授業コースを利用します。

4-1. 授業科目が属する学部を選択

eALPSでは、授業を開講している学部サイト内に、授業コースが開設されています。

eALPS時間割を学部リストに変更し、検索する授業科目が属する学部名を選択します。

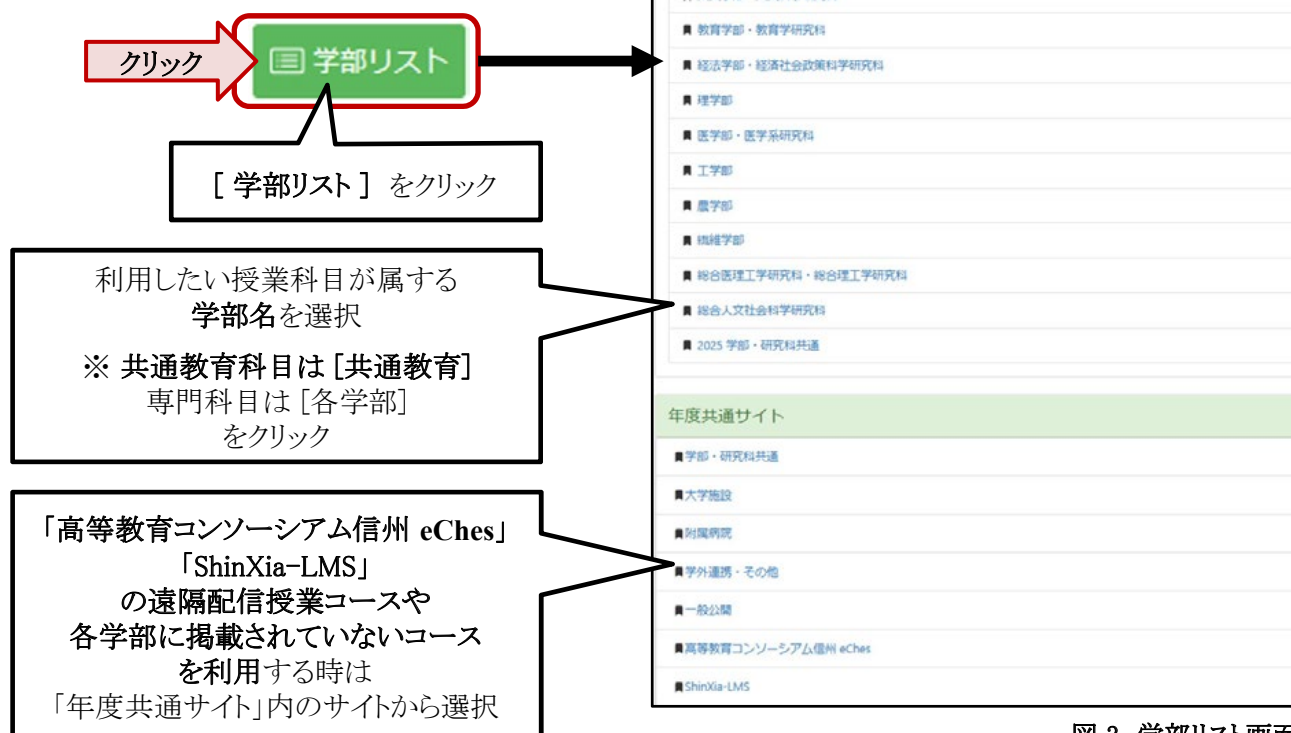


図 3 学部リスト画面

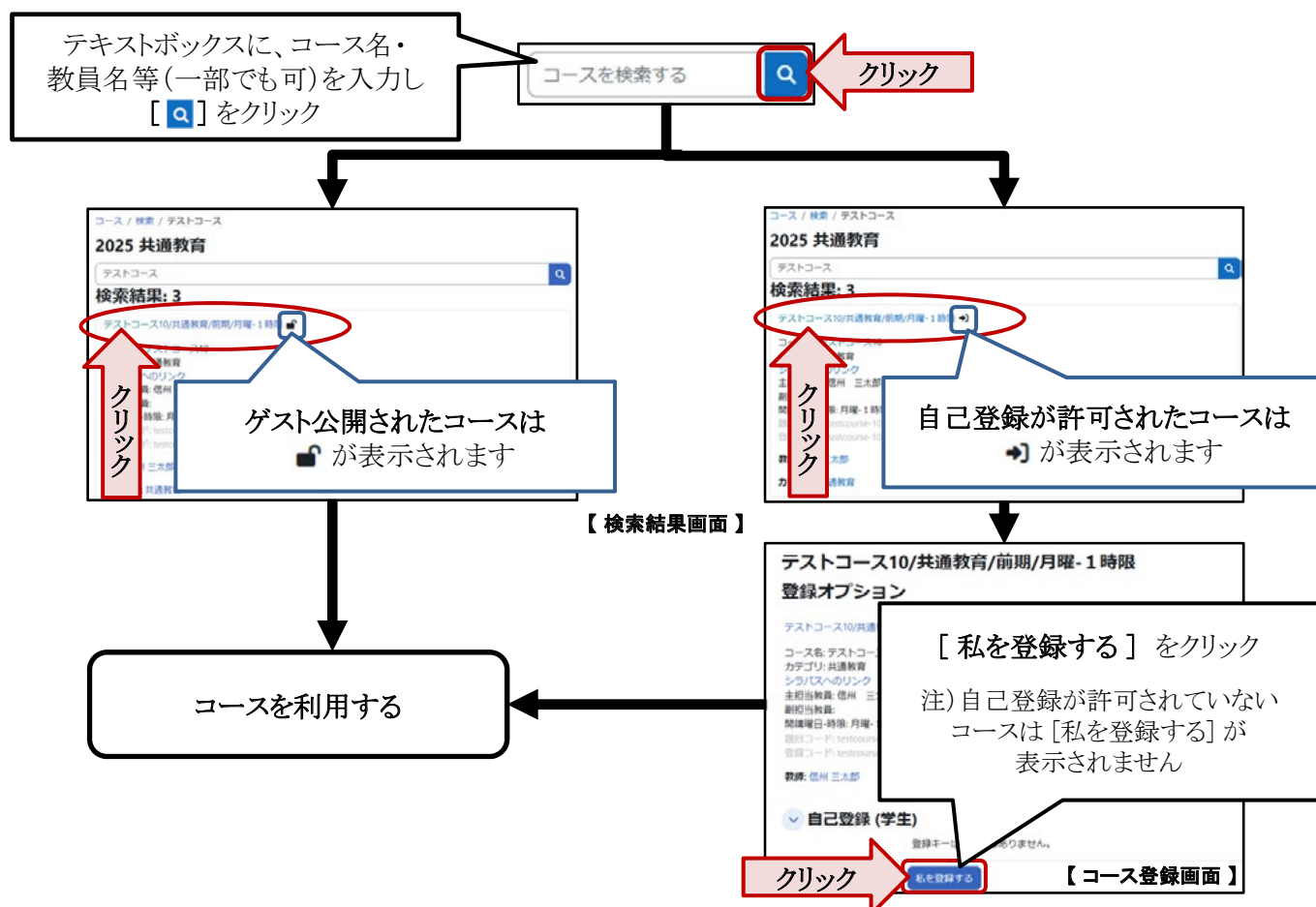
4-2. 各学部マイコース画面の表示

eALPS 学部リストから各学部サイトへアクセスするとeALPSマイコース画面が表示されます。



4-3. コースの検索と利用方法

ゲスト公開や自己登録を許可しているコースは、履修登録をしていなくても利用できます。履修登録前に授業コースを閲覧したい、教員の指示でシラバスにないコースを利用する場合は、eALPSマイコース画面でコースを検索して利用します。



5. 相談窓口

eALPS の利用方法で不明な点がありましたら、e-Learning センターにメールを送っていただくか、直接e-Learningセンターまでお越しください。

問い合わせの際は、授業コース名(時間割コード)・お困りの内容・利用端末の環境(OSや利用ブラウザ)等できるだけ詳細をお知らせください。

メールアドレス: elc@shinshu-u.ac.jp

場所: 共通教育第1講義棟 南校舎 2階
(平日 9:00 ~ 17:00)



ハラスメント(嫌がらせ)にあったら 【ハラスメント相談員】に相談してください ～信州大学イコール・パートナーシップ委員会から学生の皆さんへ～

ハラスメントって何?

◎ハラスメントとは、信州大学では、「ハラスメント等の防止等に関する規程」で、ハラスメントを次の4つに分類しています。(規程全文は、信州大学HP「信州大学について」→「大学概要・理念」→「国立大学法人信州大学規程集」→「規則一覽」→「第1編 全学 第6章 人事」に掲載。)

- I：セクシュアル・ハラスメント…
- ・意図するかどうかにかかわらず、性的目的又は性的な言動によって相手を不快にさせる行為や、利益若しくは不利益を与えることを利用して相手に性的な誘い又は要求をする行為のほか、単独または複数で修学環境を損ねるような行為も含まれます。また、これらの行為は異性に対するものだけでなく、同性に対するものも該当します。
 - ・セクシュアル・ハラスメントかどうかは、基本的には受け手が不快に感じるかどうかです。**当事者間の認識や意識のズレが原因となること少くありません。従って、相手を思いやる配慮が根絶の第一歩です。**
- II：アカデミック・ハラスメント…
- ・教員等が教育・研究において、地位・職務権限を利用して学生等に著しい不利益を与えたり、不適切な言動で環境を害したりする行為を言います。
 - ・典型的な事例は、人格まで否定するような言葉の暴力、正当な理由なくまっく指導してもとられない、研究・論文執筆等の妨害、非適切なノルマや雑用・私用の命令、極度のえこひいき、などです。
- III：パワー・ハラスメント…
- ・優越的または関係的背景とした言動であり、就業上や修学上の環境を害する行為です。
- IV：その他のハラスメント…
- ・その他のハラスメントとは、セクハラ、アカハラ、パワハラに準じる行為や学外者によるハラスメントです。

ハラスメントを受けて辛いと感じたら、ハラスメント相談員に相談してください。

◎ハラスメント相談員は、本学の教職員で構成され、教育・学生支援機構、各学部等の男女それぞれ複数名からなります。ハラスメント相談員は、あなたの立場になって相談にのります。

- (・ **秘密は厳守**されます。相談したからといって、不利益な取扱いをされることはありません。
・ ハラスメントを受けていることを聴いてももらいたいだけの時も連絡していただいて構いません。
・ 相談は友人と一緒に構いません。
・ 他学部の相談員に相談しても構いません。)
- ・ 相談内容によっては総合健康安全センターのカウンセリングを受けることができます。

◎ハラスメント相談員は、ハラスメント行為を受けているあなたの**サポーターのような立場の人**です。あなたとの相談の結果、事態解消のための行為者への「**申入れ**」や「**ハラスメント等相談調査対策委員会**」の設置(裏面※①、②)をあなたが望んだ場合、**イコール・パートナーシップ委員会(下記参照)への申請手続について助言してくれます**。イコール・パートナーシップ委員会は、必要に応じて関係の部長等と協力して「**申入れ**」や「ハラスメント等相談調査対策委員会」の設置を実施します。

ハラスメント相談員の連絡先は?

氏名一覧と連絡先は、ポータルサイトKSU内に掲示されている名簿でご覧になるか、各学務窓口あるいは「学生相談センター (0263-37-3165)」にお問い合わせください。

「イコール・パートナーシップ (IP) 委員会」とは?

本学の教職員各4名(男女同数)で構成され、ハラスメントのない信州大学にするために学長の下に設置された委員会です。しかし、真偽を調査する委員会ではありません。学生一人一人の人権を擁護するとともに、修学にふさわしい環境が確保されることを目的とする委員会です。差別・人権などについて疑問や問題があれば、委員会 (epinkai@shinshu-u.ac.jp) か委員いずれかに気軽に相談してください。

※① 行為者への「申入れ」とは?

イコール・パートナーシップ委員会が、行為者に対してハラスメントの原因となった行為をやめるよう通告することをいいます。相手に相談者が傷ついたりしたことを理解して、今後同じことをしないようにしてもらえば

よい、と考えるときに適しています。その際、行為者に対して匿名を希望すれば、そのように配慮をします。

※② 「ハラスメント等相談調査対策委員会」の設置とは?

行為者に「**申入れ**」をしなくても事態が解消しない場合等は、あなたの要望等を考慮の上、イコール・パートナーシップ委員会の判断により「**ハラスメント等相談調査対策委員会**」が設置されます。行為者とあなたの双方からの言い分を聞いた上で問題の所在を把握し、それに応じてその後の措置が決まっています。

学外にも相談窓口があります。

①主に女性のための相談窓口

施設等名	各相談	電話番号	曜日・時間等
長野県男女共同参画センターあいひびの	一般相談、法律相談(要予約) 女性のためのカウンセリン グ(要予約)	0266-22-8822	【一般】 火～土 9:00～12:00、13:00～16:30 【法律】 予約方法、実施日等直接確認願います。 第2土・第4金 10:00～15:50 (一人50分) 詳細については電話で直接確認願います。
松本市ジェンダー平等セ ンター / レアな松本	一般相談	(電話) 火・木 第1・3金 9:00～12:00 (最終受付11:30) 0263-37-1588 (面談相談) 第2・4金 13:00～16:00 (最終受付15:30) 0263-39-1105 (面談) 月・火・木 第1・3金 13:00～17:00 (要予約) 第2・4金 16:00～19:00 (要予約)	(電話) 火・木 第1・3金 9:00～12:00 (最終受付11:30) 第2・4金 13:00～16:00 (最終受付15:30) (面談) 月・火・木 第1・3金 13:00～17:00 (要予約) 第2・4金 16:00～19:00 (要予約)
長野県警・性別平等被害 ダイヤルサポート110	相談電話	0263-39-1105	第2・4火曜日 13:30～15:30 (要予約)
長野県労働者女性会館 しなのき	一般相談	0120-037-555	24時間対応
	女性弁護士による法律相談 (要予約)	026-237-8778	(電話) 平日、第2土 9:00～16:00 (面談) 平日 9:00～16:00 (要予約)
上田市市民プラザ・ゆう	専任相談員による相談 (要予約)	026-237-8303	第2水 10:00～12:00 (要予約) (1日4名まで、一人30分)
	女性弁護士による法律相談 (要予約)	0268-27-2688 0268-27-3123	火 11:00～18:00、木 10:00～17:00、 第2・第4土 10:00～17:00 (土曜の相談は2日前までに要予約) 偶数月第4木、奇数月第2・4木 10:00～12:00 (一人30分、無料)
伊勢丹保健福祉部	女性のための相談 (要予約)	0265-78-4111	(電話) 平日 8:30～17:00 (面談) 平日 8:30～17:00 (要予約)
女性の人權ハートライン	女性をめぐめる人権相談	0570-070-810	平日 8:30～17:15 ※IP電話からの場合 026-232-8145 (長野地方労務局)

②主に男性のための相談窓口

施設等名	各相談	電話番号	曜日・時間等
長野県男女共同参画センター あいひびの	男性のための相談 (電話相談)	0266-22-7111	金 17:00～19:00
松本市ジェンダー平等セ ンター / レアな松本	男性の悩み相談	0263-37-1587	第2・第3・第4火 17:00～20:00

③男女を問わずない相談窓口

施設等名	電話番号	曜日・時間
心の電話相談 長野県精神保健福祉センター	026-217-1680	平日 9:30～16:00
みんなの心権110番	0570-003-110	平日 8:30～17:15
長野県地方労務局人権保護課	026-235-6634	
法務局、上田支局人権相談所	0268-23-2001	
法務局松本支局人権相談所	0263-32-2571	平日 8:30～17:15
法務局伊勢丹支局人権相談所	0265-78-3462	

④性暴力に関する相談窓口

施設等名	電話番号	曜日・時間等
性暴力被害者支援センター 「ひんどうハートなびの」	#8891 ※通話料無料 ※NTTのり電話から10120-8891-77へ。 026-225-7123 ※通話料有料 ※一部のIP電話等からはこちらへ。	24時間ホットライン

詳細は、県や市町村のホームページなどをご覧ください。

信州大学キャンパス・コード (基本指針) とは・・・

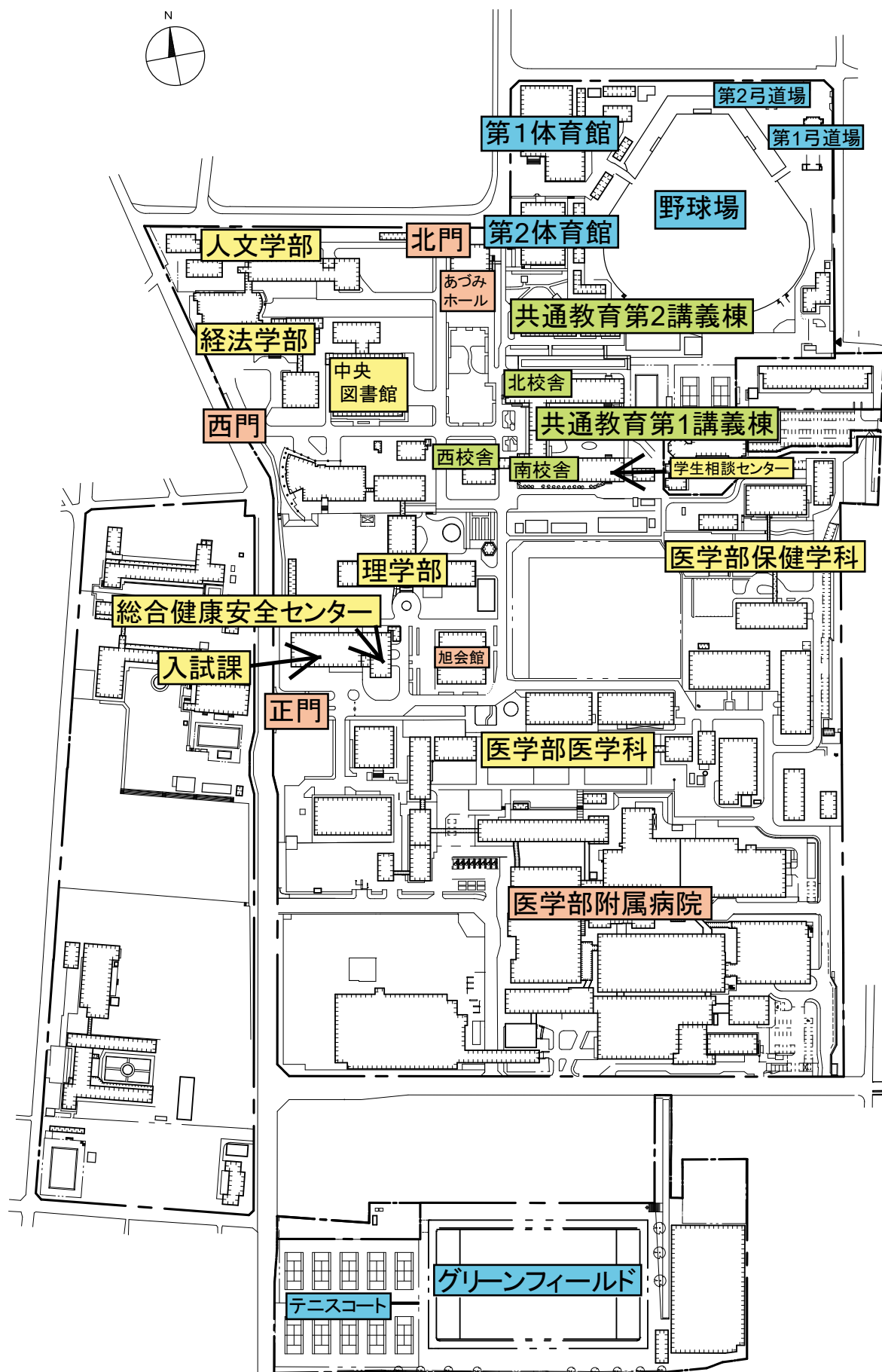
信州大学では、基本指針として6本の柱から成る**キャンパス・コード**を定めています。

※全文は、信州大学HP「信州大学について」→「信州大学の方針・取組」→「大学の取り組み」→「ハラスメント防止への取り組み」→「職員・学生の責務と権利」をご覧ください。

- 個人を人間として等しく尊重します。
- 性別別の規範をめざし、男女共同参画を推進します。
- 権利・権限を適正に行使します。
- 学問・言論の自由を尊重します。
- 人権侵害を防止します。
- プライバシー等を保護します。

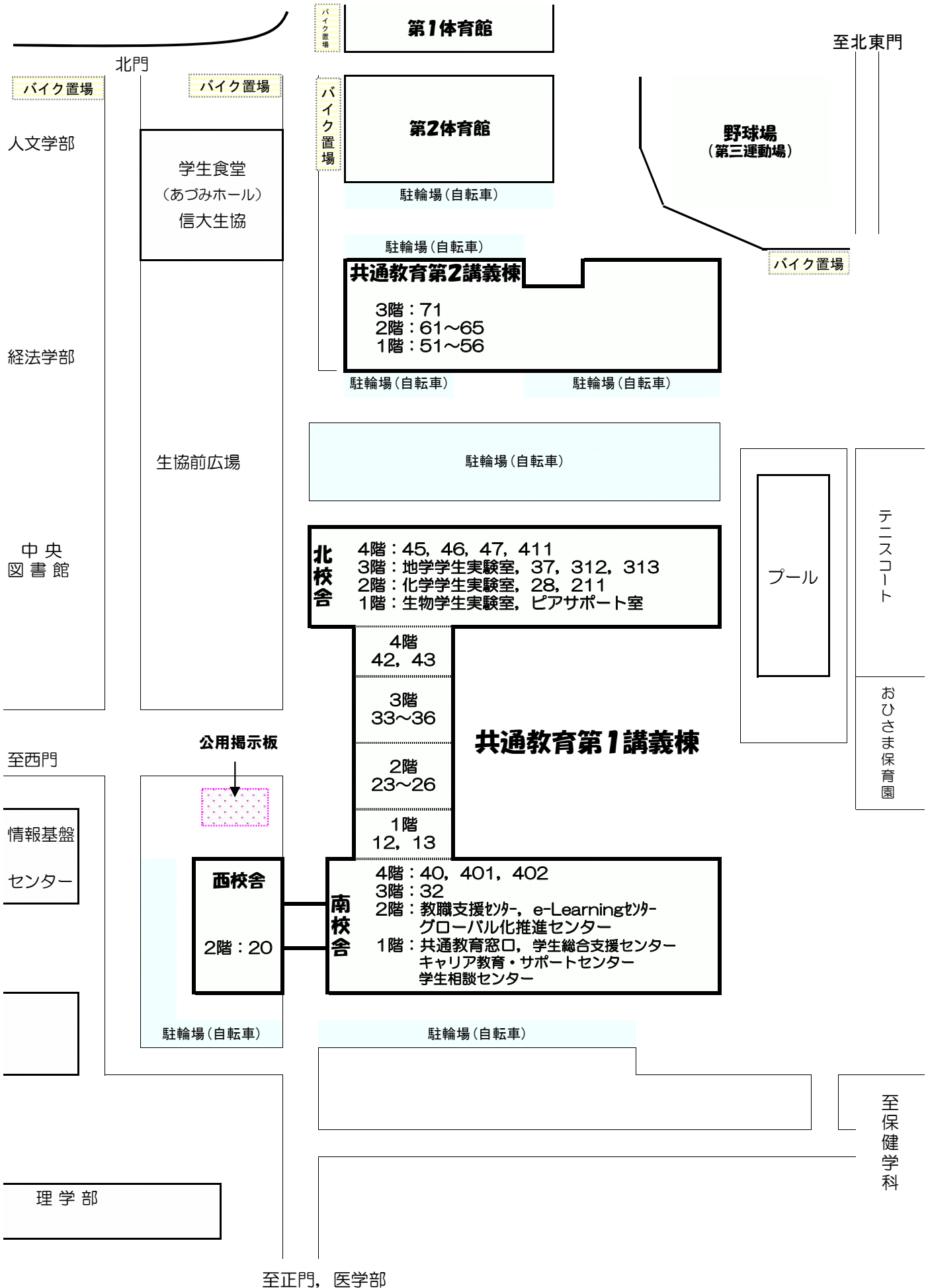
※ 前欄右欄はIP委員会のロゴで、「ep」の文字を男女のハートにデザインし、2つ合わせた四葉のクローバーです。

松本キャンパス建物配置図

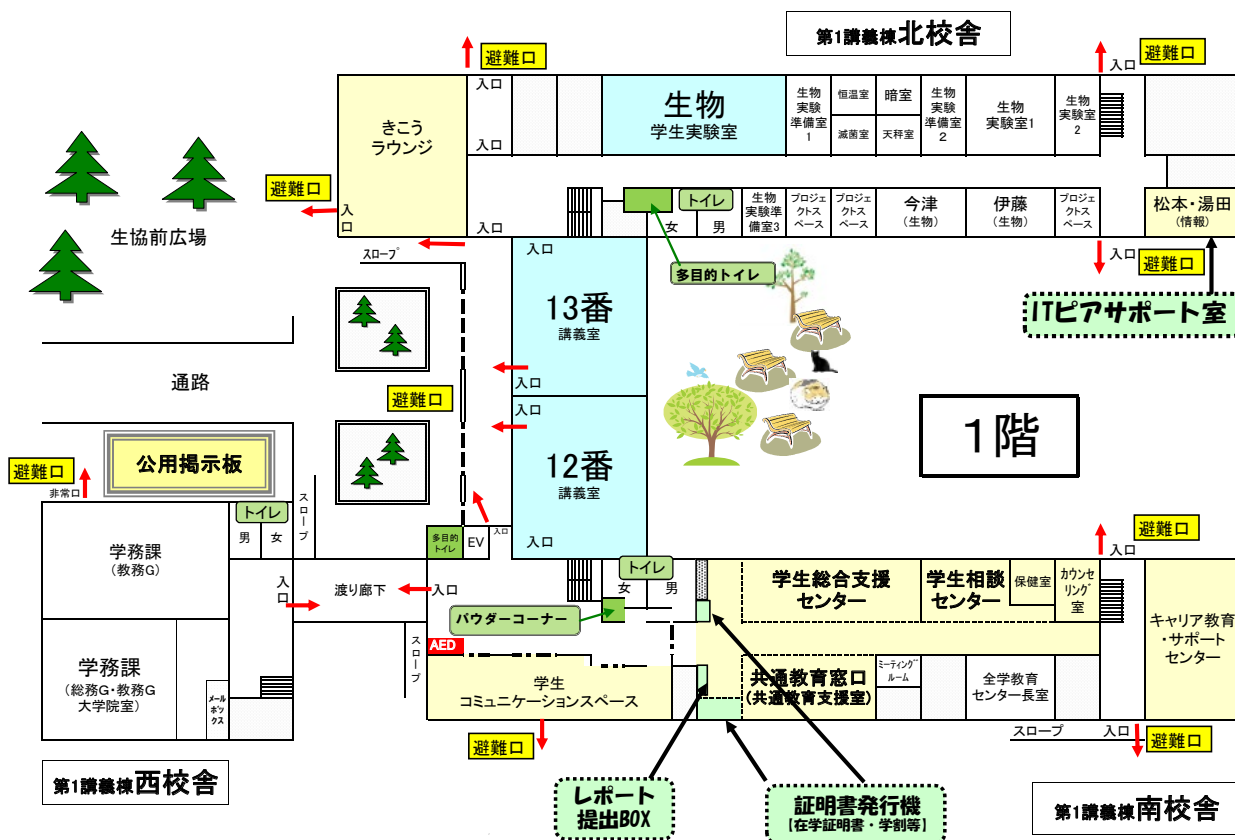
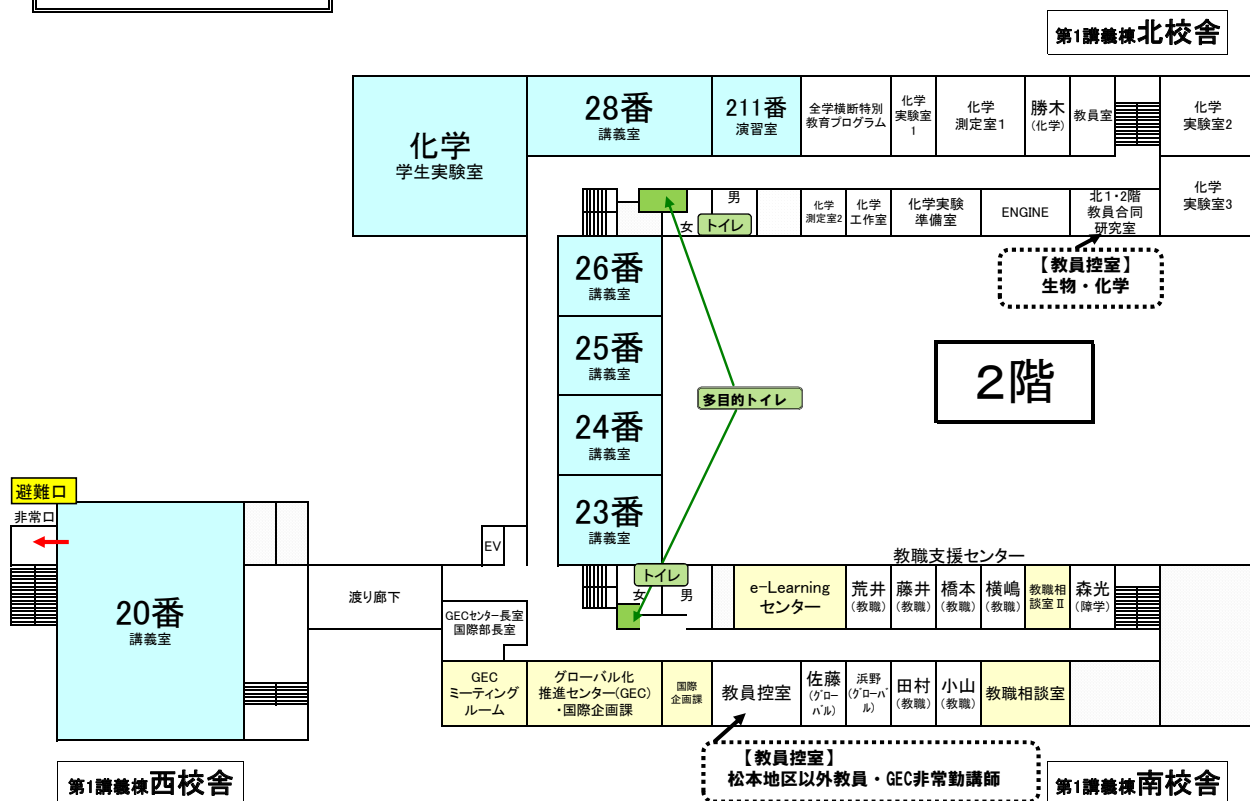


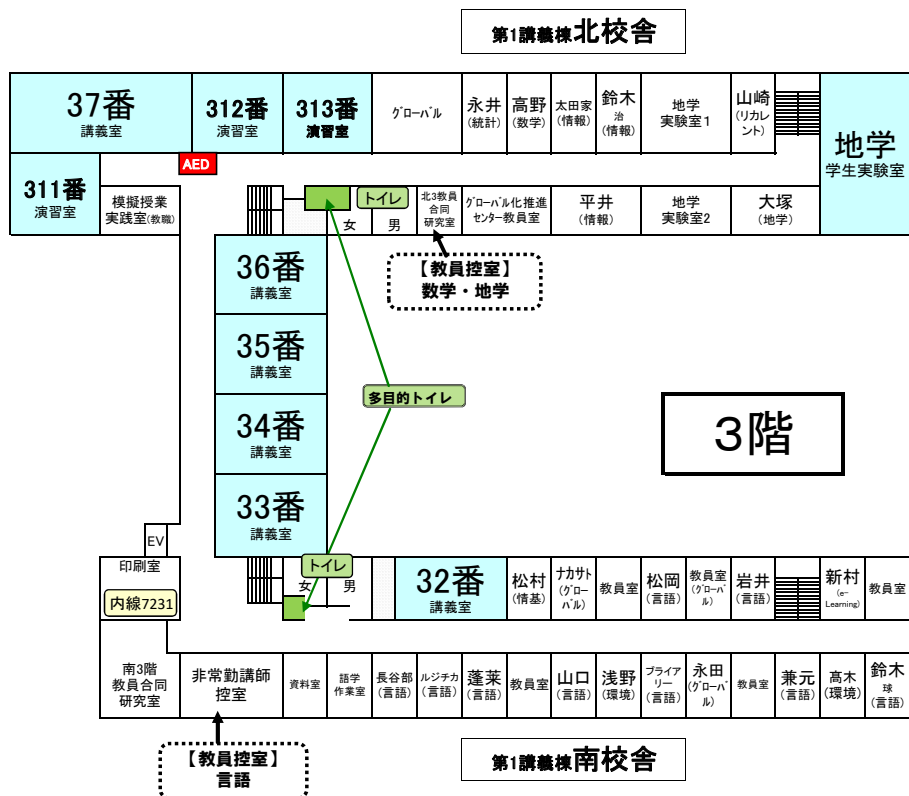
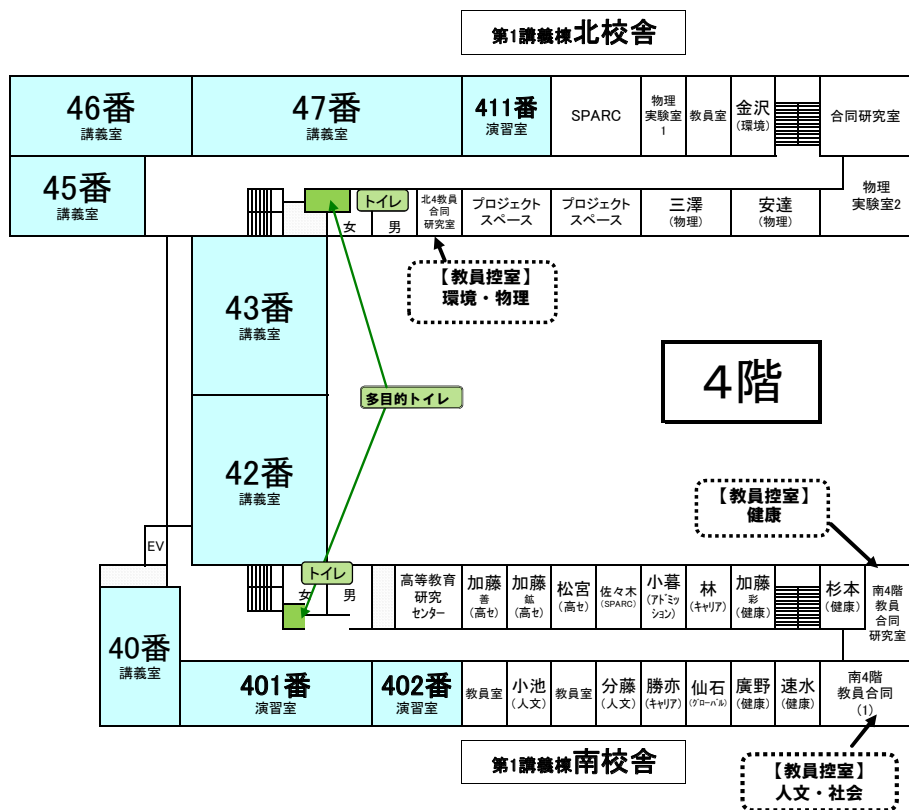
共通教育校舎配置図

※数字は講義室の番号です。

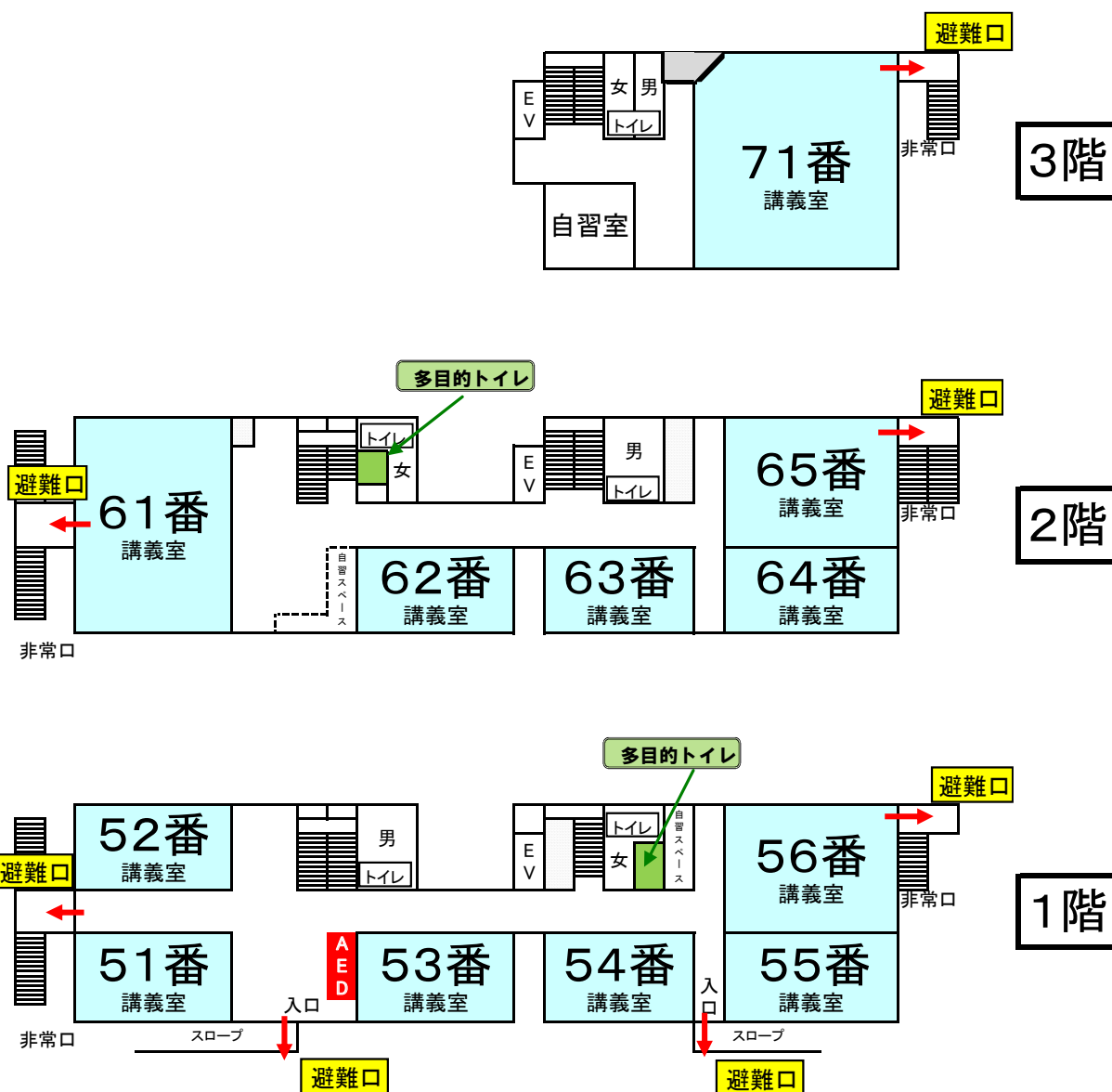


共通教育第1講義棟

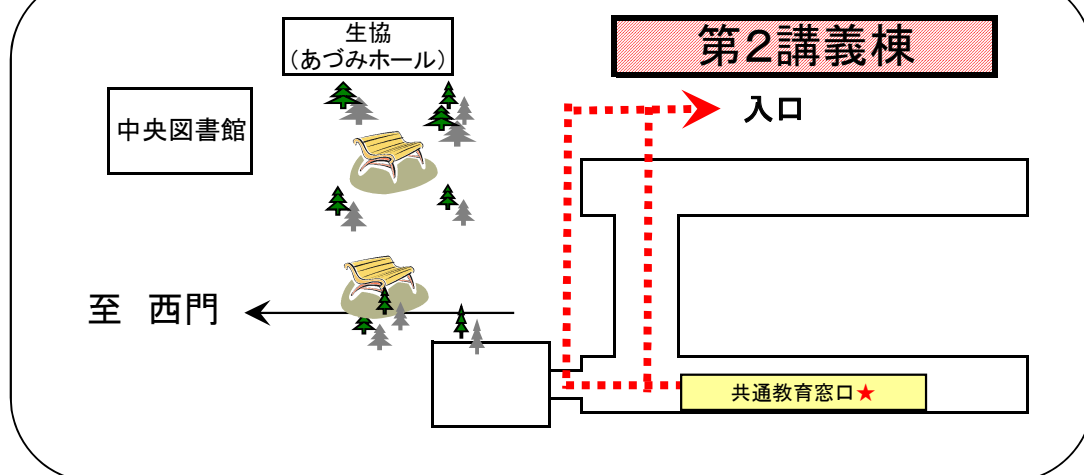




共通教育第2講義棟



第2講義棟 案内図



【参考】地震発生時の初動マニュアル（学生，教職員共通）

Basic Instructions in Case of an Earthquake

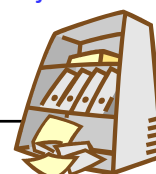
地震発生

- ◆ **まず，身を守る！** 机の下などへ
Get under a desk or table to protect yourself.
- ◆ **火元の確認！** ガスの元栓，実験器具，実験試薬等の確認
Check that any open flames have been extinguished and turn off gas supplies, etc.
- ◆ **脱出口の確保！** ドアを開ける
Check that you can open the door and leave it open while you do the following.



※ **自分の身を守ることを最優先に行動する！**

- ◆ **すばやく火の始末！** 火が出たら，落ち着いて初期消火
If a fire has started, try to put it out if you can.
- ◆ **同室員の安全を確認！** 倒れた書庫等の下敷きになっている人はいませんか？ Check to see if any of your classmates or colleagues have been injured
- ◆ **作動中の実験器具等の停止！** 二次災害を防ぐ
Switch off any electrical devices or experimental apparatus.



- ◆ **隣接する部屋は大丈夫？** 隣の教室，部屋等で救助を求めている人はいませんか？ Ascertain the situation in the adjoining rooms.
- ◆ **余震に注意！** Beware of aftershocks or additional quakes.

- ◆ **避難場所（野球場）への避難**
Evacuate to the baseball ground

(1) 授業担当教員は学生に避難場所（野球場）・経路を指示する
※避難経路は裏面参照

Teachers should instruct their students to evacuate to the baseball ground following the route given here (see over).

(2) 教員は教室に残った学生がいらないか確認後、避難する

※車椅子使用の学生がいる場合には、担当教員は補助員4名を指名し、一緒に避難すること

After checking that no students have been left behind in the classroom, teachers should also evacuate to the baseball ground.

If there is a student in a wheelchair, the teacher should select 4 other students to assist them in carrying the student to the evacuation site.



避難場所及び避難経路

The Evacuation Site and the Route You Should Take



○避難場所は野球場とする。

The designated evacuation site is the University's baseball ground.

○避難経路は、第2講義棟と生協（あづみホール）の間の通路（中央北通り）から、第1及び第2体育館の間の通路を抜け野球場に至る。

※建物の被災状況によっては第2講義棟と課外活動施設（やまなみ）の間を抜け、野球場に至る経路（図面破線）も可能。

The route you should take to the baseball ground from the General Education building goes between the second GE building and the University's Coop (Azumi) Hall, and then between the first and the second gymnasiums.

Depending on the situation, there is an alternative route, which is to pass through the alley between the second GE building and the facility for students' extracurricular activities.

○避難場所においては、学生は学部毎に集合の上、待機する。
教員は職員に避難完了の報告をする。

Once they have reached the evacuation site, students should gather together with other students from the same faculty and await further instructions. Teachers should report to the appropriate member of the office staff to confirm that their classroom has been evacuated.

掲示板を確認する習慣を持ちましょう

学生のみなさんへの公示や諸連絡は、公用
掲示板で行われます。見落としによる不利益
は、みなさんの責任となります。

毎日、公用掲示板・キャンパス情報システム
を確認する習慣を持つようにしてください。



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY



全学教育センター
CENTER FOR GENERAL EDUCATION

発 行：令和7年4月1日
発行者：信州大学全学教育センター長
住 所：〒390-8621 松本市旭3-1-1
連絡先：学務課 TEL (0263) 37-2978

学籍番号

氏名
